

安城こども園中規模及び保全改修主体工事

建築図			建築図			建築図		
図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺	図番	図面名称	縮尺
A-00	表紙・図面リスト	—	A-30	保育室8 (改修前・改修後) 平面詳細図・展開図	1/50	A-60	外構詳細図2	1/20・1/50
A-01	建築改修工事特記仕様書 1/10	—	A-31	保育室9 (改修前) 平面詳細図・展開図	1/50	A-61	外構詳細図3	1/5・1/10・1/20
A-02	建築改修工事特記仕様書 2/10	—	A-32	保育室9 (改修後) 平面詳細図・展開図	1/50	A-62	仮設計面図1	1/250
A-03	建築改修工事特記仕様書 3/10	—	A-33	トイレ2 (改修前・改修後) 平面詳細図・展開図	1/50	A-63	仮設計面図2	1/250
A-04	建築改修工事特記仕様書 4/10	—	A-34	トイレ3 (改修前・改修後) 平面詳細図・展開図	1/50	A-64	仮設計面図3	1/250
A-05	建築改修工事特記仕様書 5/10	—	A-35	トイレ4 (改修前・改修後) 平面詳細図・展開図	1/50	A-65	仮設計面図4	1/250
A-06	建築改修工事特記仕様書 6/10	—	A-36	トイレ5 (改修前・改修後) 平面詳細図・展開図	1/50	A-66	仮設計面図5	1/250
A-07	建築改修工事特記仕様書 7/10	—	A-37	階段室 (改修前) 平面詳細図・展開図	1/50	A-67	新設倉庫詳細図 (参考図)	1/40
A-08	建築改修工事特記仕様書 8/10	—	A-38	階段室 (改修後) 平面詳細図・展開図	1/50	A-68	新設倉庫基礎伏図 (参考図)	1/40
A-09	建築改修工事特記仕様書 9/10	—	A-39	テラス (改修前) 平面詳細図・展開図	1/50	A-69	建具詳細図 (参考図)	1/40
A-10	建築改修工事特記仕様書 10/10	—	A-40	テラス (改修後) 平面詳細図・展開図	1/50	A-70	敷地求積図	1/200
A-11	配置図 (改修前)・付近見取図・工事概要・建物概要	1/200・1/2500	A-41	2階廊下 (改修前) 平面詳細図・展開図	1/50	A-71	法チェック図1	—
A-12	配置図 (改修後)	1/200	A-42	2階廊下 (改修後) 平面詳細図・展開図	1/50	A-72	法チェック図2	—
A-13	外部仕上表・内部仕上表1 (改修前・改修後)	—	A-43	1階天井伏図 (改修前・改修後)	1/100			
A-14	内部仕上表2 (改修前・改修後)	—	A-44	2階天井伏図 (改修前・改修後)	1/100			
A-15	1階平面図 (改修前)	1/100	A-45	1階建具符号図 (改修前)	1/100			
A-16	1階平面図 (改修後)	1/100	A-46	1階建具符号図 (改修後)	1/100			
A-17	2階平面図 (改修前)	1/100	A-47	2階建具符号図 (改修前)	1/100			
A-18	2階平面図 (改修後)	1/100	A-48	2階建具符号図 (改修後)	1/100			
A-19	屋根伏図 (改修前・改修後)	1/100	A-49	建具表1 (改修前・改修後)	1/50			
A-20	立面図 (改修前)	1/100	A-50	建具表2 (改修前・改修後)	1/50			
A-21	立面図 (改修後)	1/100	A-51	建具表3 (改修前・改修後)	1/50			
A-22	断面詳細図1 (改修前・改修後)	1/30	A-52	建具表4 (改修前・改修後)	1/50			
A-23	断面詳細図2 (改修前・改修後)	1/30	A-53	建具表5 (改修前・改修後)	1/50	B-01	外壁劣化調査図1	1/100
A-24	保育室3 (改修前・改修後) 平面詳細図・展開図	1/50	A-54	建具表6 (改修前・改修後)	1/50	B-02	外壁劣化調査図2	1/100
A-25	保育室4 (改修前・改修後) 平面詳細図・展開図	1/50	A-55	既設備品リスト	1/200	B-03	内部劣化調査図1	1/50
A-26	保育室5 (改修前) 平面詳細図・展開図	1/50	A-56	家具詳細図1	1/30	B-04	内部劣化調査図2	1/50
A-27	保育室5 (改修後) 平面詳細図・展開図	1/50	A-57	部分詳細図1	1/30	B-05	内部劣化調査図3	1/50
A-28	保育室6 (改修前・改修後) 平面詳細図・展開図	1/50	A-58	部分詳細図2	1/5・1/10・1/20	B-06	内部劣化調査図4	1/50
A-29	保育室7 (改修前・改修後) 平面詳細図・展開図	1/50	A-59	外構詳細図1	1/5・1/10・1/20	B-07	内部劣化調査図5	1/50

2025年12月

株式会社デザインボックス名古屋オフィス

80枚

章	項目	特記事項	備考
2	2節 足場等	<p>* 足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」について(令和5年12月26日厚生労働省労働基準局長 基発1226第2号)に規定する「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」の2の(1)手すり据置方式又は2の(2)手すり先行専用足場方式により行う。</p> <p>* 屋根面からの墜落事故防止対策として、必要に応じて、JIS A8971(屋根工事用足場及び施工方法)に基づき、建方作業台、渡り廊下、墜落防護さく等の足場及び装備機材を設置する。</p> <p>* 外部足場 ※ 枠組足場またはくさび緊結式足場・単管本足場・仮設コンドラ・移動式足場・() 設置するシート等・防護シート(JISA8952)・防護ネット(JISA8960)・(防音シネット養生シート) 足場、防護シート等の設置範囲 ※ 図示による</p> <p>* 内部足場 ※ 脚立・足場板等 () ※ 材料、撤去材等の運搬方法・A種・B種・C種・D種・E種・() [表2.2.1] * 高さが5m以上の箇所での作業を行う場合、労働安全衛生規則の各規定により使用する要求性能墜落制止用器具はフルハーネス型とし、「墜落制止用器具の規格」(平成31年1月25日厚生労働省告示第11号)によるものとする。</p>	
	2.1 足場等		
	3節 養生		
	2.3.1 既存部分の養生		
仮設	2.3.2 仮設間仕切り	<p>* 既存部分の養生 ※ ビニルシート、合板等により適切に行う () * 既存部分の既存家具、既存設備等の養生方法 ※ 監督職員の承諾を受けてビニルシート等で行う () * 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 () ※ ビニルシート等・保管場所() * 固定された備品、机・ロッカー等の移動 () ※ 移動しない * 種別・A種・B種・C種 [表2.3.1] 設置箇所 ※ 図示による A種、B種の場合の材料・合板(厚さ ※ 9mm () mm) ※ せっこうボード(厚さ ※ 9.5mm () mm) 間仕切りへの仕上げ ※ 無 () ※ 有(範囲及び仕上げは図示による) * 仕様 ※ 合板張り木製扉程度 (アルミ製既製品鍵付) 設置箇所 ※ 図示による ()</p>	
	4節 仮設物		
	2.4.1		
	仮設扉		
工事	* 受注者事務所、材料置場その他仮設物の設置場所	<p>* 受注者事務所(設ける場合) ※ 構内(従業員宿舍除く)・構外 * 材料置場 ※ 構内・構外 * その他仮設物 ※ 構内(従業員宿舍除く)・構外 ※ 事務所等は建築基準法関係法令を遵守し、基礎を設置するなど適切に建築すること。 * 建設現場標識 ※ 設ける(他工事と共同設置を可とする)・設けない</p>	
	* 建設現場標識の設置		
防改修工事	1節 一般事項	<p>* 防水の保証期間は工事目的物引渡しからモルタル防水5年、その他防水10年とする。 * 降雨等に対する養生方法 ※ 3.1.3(5)による ()</p>	
	3.1.3 施工一般		
	1節～6節 防水工事		
	3.1.4 改修工法の種類		
防改修工事	3.2.5 ルーフドレン回りの処理	<p>* 防水改修工法・種別 () ※ 図示による * 立上り部等の既存防水層及び保護層の撤去 () ※ 図示による * 屋内防水で、新規防水工法にて保護層を新設・新設する () ※ 図示による * POAS、POASI、POD、PODI、POS、POSI、POX工法における改修用ドレンの設置 工法()・設置する ()・設置しない () ※ 図示による</p> <p>* 既存下地 補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示による () * 既存防水層の処理[M4AS工法、M4ASI工法、M4C工法及びM4DI工法] 仕上げ塗装の除去 ※ 図示による () [L4X工法] 仕上げ塗装の除去 ※ 図示による ()</p> <p>* POS工法及びPOSI工法(機械)における 既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※ 図示による ※ 3.2.6(4)(ウ)(e)による ()</p> <p>* 設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環取付部、塔屋出入口部及び * 防水層末端部等の収まり部の処理 () ※ 図示による () ※ 監督職員と協議</p>	
	3.2.6 既存下地の処理		
	3節 アスファルト防水		
	3.3.2 材料		
防改修工事	3.3.3 種類及び工程	<p>* 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ () ※ 図示による ※ 表3.3.3～表3.3.9による () * 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類、厚さ () ※ 図示による ※ 表3.3.3、表3.3.4、表3.3.8、表3.3.9による () * 押え金物 材質及び形状寸法 () ※ 図示による ※ アルミニウム製L-30×15×2.0mm程度 () * 屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材厚さ () ※ 図示による () * 屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材の種類及び厚さ () ※ 図示による () * 絶縁用シート材料 () ※ 図示による () ※ ホリエチレンフィルム@0.15mm以上・フラットヤーンクロス(70g/m²程度) () * 立上り部の保護の乾式保護材 () ※ 図示による () * 立上り部の保護のれんが () ※ 図示による ()</p> <p>* 屋根保護防水 新規防水層の種類及び工程 種別 () ※ 図示による [表3.3.3] * 立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置 () ※ 図示による () [表3.3.6] * 立上り部における保護工法 () ※ 図示による () * 屋根露出防水、屋根露出防水絶縁断熱工法 新規防水層の種別 () ※ 図示による [表3.3.7]～[表3.3.9] * 仕上塗料の種類 () ※ 図示による () 使用量 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による () ※ 図示による ()</p> <p>* 脱気装置の種類、設置数量 () ※ 図示による ※ アスファルトルーフィング類製造所の指定による [表3.3.10] * 屋内防水 新規防水層の種類及び工程 種別 () ※ 図示による () * 保護層の設置 () ※ 図示による ()</p> <p>E-1の工程3 () ※ 図示による () ※ 常時水に接する部位に適用 () * アスファルトルーフィング類のルーフトン回り及び立上り部周辺の断熱材張りじまい位置 () ※ 図示による () * 平場の保護コンクリート 厚さ () ※ 図示による () ※ こて仕上げ80mm以上、床タイル張り等仕上げ60mm以上 こて仕上げの場合の平たんさの種別 () ※ a種 () b種 () c種 () [表8.1.5]</p> <p>* 立上り部保護方法 () ※ 図示による () () ※ 図示による () ※ 図示による () * 屋上排水溝 () ※ 図示による ()</p>	
	3.3.4 施工		
	3.3.5 保護層等の施工		
	4節 改質アスファルトシート防水		
3.4.2 材料	<p>* 改質アスファルトシート 種類及び厚さ () ※ 図示による ※ 表3.4.1～表3.4.3までによる () * 押え金物 材質、形状及び寸法 () ※ 図示による ※ アルミニウム製L-30×15×2.0mm程度 ()</p>		

章	項目	特記事項	備考																				
防改修工事	3.4.3 種類及び工程	<p>* 屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材(発泡プラスチック断熱材)の種類及び厚さ () ※ 図示による () * 新規防水層の種別 () ※ 図示による () [表3.4.1] * 仕上塗料の種類 () ※ 図示による () [表3.4.3] 使用量 ※ アスファルトルーフィング類製造所の仕様による () ※ 図示による () * 工程2に先立ち設ける防湿用シート(設置[M3ASI工法、M4ASI工法及びPOASI工法]) ※ 図示による () * 脱気装置の種類、設置数量 ※ 改質アスファルトシート製造所の仕様による () ※ 図示による ()</p>																					
	5節 合成高分子系ルーフィングシート防水																						
	3.5.2 材料																						
	3.5.3 種類及び工程																						
防改修工事	3.5.4 施工	<p>* ルーフingシート種類及び厚さ () ※ 図示による () ※ 表3.5.1～表3.5.3までによる () * 絶縁用シート及びび可塑性剤以降防止用シート(材質 ※ 発泡ポリエチレンシート) ※ 図示による () * 固定金具の材質、形状及び寸法 () ※ 図示による () ※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれら鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので厚さ0.4mm以上 () ※ 図示による ()</p> <p>* 断熱工法に用いる断熱材 種類及び厚さ () ※ 図示による () * 新規防水層の種別 () ※ 図示による () [表3.5.1] * 脱気装置の種類、設置数量 ※ ルーフingシート製造所の仕様による () ※ 図示による () [表3.5.2] * 仕上塗料の種類 () ※ 図示による () 使用量 ※ ルーフingシート製造所の仕様による () ※ 図示による ()</p> <p>* SI-M1及びSI-M2の場合の防湿用フィルム(設置 ※ 図示による () * S-C1の場合の保護モルタルの塗厚 ※ 図示による () * 接着工法の場合で下地がプレキャストコンクリートの場合の目地処理 ※ 図示による () * S-F1又はSI-F1の場合のプレキャストコンクリート下地の入隅部の増張り ※ 図示による () * 一般部のルーフィングシート張付(機械式固定法)で建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※ 図示による () * 屋内保護塗着工法の場合の保護層の施工[立上り部の保護モルタル塗厚] () ※ 図示による ()</p>																					
	6節 塗膜防水																						
	3.6.3 種別及び工程																						
	7節 シーリング																						
防改修工事	3.1.4 改修工法の種類	<p>* 改修工法の種類 ※ 図示による () シーリング充填工法 () シーリング再充填工法 () [表3.1.2] ・ 拡張シーリング再充填工法 () ・ プリッジ工法 ()</p> <p>* シーリング材の種類 () ※ 図示による () ※ [表3.7.1]による () * シーリング材表面の仕上げ () 仕上げなし () * 目地寸法 () ※ 図示による () * シーリング材の試験 ※ 簡易接着性試験 () ・ 引張接着性試験 () ※ 図示による ()</p>																					
	3.7.2 材料																						
	3.7.3 目地寸法																						
	3.7.8 シーリング材の試験																						
防改修工事	8節 材料	<p>* 材種等 ※ 図示による () * 表面処理鋼板の場合 表面及び裏面の塗膜の種類 ※ 図示による () 耐酸被覆鋼板 () ・ 使用する () ・ 使用しない () * とい受金物、足金物の材種、形状及び取付け間隔 () ※ 図示による ※ 表3.8.2により溶融亜鉛めっきを行ったもの () 多雪地域 () ・ 適用する () ・ 適用しない ()</p> <p>* 既存とい、その他の撤去及び降雨等に対する養生方法 () ※ 図示による () * 鋼管製といの防露巻き () ※ 図示による ※ 表3.8.4による () * たてとい受金物の取付け () ※ 図示による () * ルーフドレンの取付工法 () ※ 図示による ※ 3.8.3(6)による ()</p>																					
	3.8.2 材料																						
	3.8.3 工法																						
	9節 アルミニウム製笠木																						
防改修工事	3.9.2 材料	<p>* 部材の種類 () ・ 押出250形 () ・ 押出300形 () ・ 押出350形 () ・ 板材折り曲げ形(・ オープン形式 () ・ シール形式() 板材折曲げ形の場合 本体幅 ※ 図示による () 板厚 () ※ 図示による ※ 2.0mm ()</p> <p>* 表面処理の種別 () ※ 図示による () [表5.2.2] * 既存笠木撤去及び新規笠木の目地補修の工法 ※ 図示による () * 板材折曲げ形笠木の取付け方法 ※ 図示による () * 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※ 図示による ()</p>																					
	3.9.3 工法																						
	1節 一般事項																						
	4.1.4 外壁改修工法の種類																						
防改修工事	4.1.4 外壁改修工法の種類	<table border="1"> <tr> <td>外壁仕上げ部位</td> <td>コンクリート打放し仕上げ</td> <td>モルタル塗り仕上げ</td> <td>タイル張り仕上げ</td> </tr> <tr> <td>ひび割れ部</td> <td>樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法 ※ 図示による</td> <td>樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法 ※ 図示による</td> <td>樹脂注入工法</td> </tr> <tr> <td>欠損部</td> <td>充填工法</td> <td>充填工法 ・ モルタル塗替え工法</td> <td>タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法</td> </tr> <tr> <td>浮き部</td> <td></td> <td>アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ホリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ホリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法</td> <td>アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ホリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ホリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法</td> </tr> <tr> <td>目地</td> <td></td> <td></td> <td>目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法</td> </tr> </table>	外壁仕上げ部位	コンクリート打放し仕上げ	モルタル塗り仕上げ	タイル張り仕上げ	ひび割れ部	樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法 ※ 図示による	樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法 ※ 図示による	樹脂注入工法	欠損部	充填工法	充填工法 ・ モルタル塗替え工法	タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法	浮き部		アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ホリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ホリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ホリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ホリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法	目地			目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法	
	外壁仕上げ部位		コンクリート打放し仕上げ	モルタル塗り仕上げ	タイル張り仕上げ																		
	ひび割れ部		樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法 ※ 図示による	樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法 ※ 図示による	樹脂注入工法																		
	欠損部		充填工法	充填工法 ・ モルタル塗替え工法	タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法																		
浮き部		アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ホリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ホリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ アンカーピンニング全面ホリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング全面ホリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法																				
目地			目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮目地改修工法																				
4.1.5 改修後の塗り仕上げの種類																							
防改修工事	4.1.5 改修後の塗り仕上げの種類	<p>* 改修後の新規仕上げの種類 ※ 図示による () ・ 薄付け仕上げ塗材塗り () ・ 厚付け仕上げ塗材塗り () ・ 複層仕上げ塗材塗り(外壁:吹付凸凹 内部:吹付凸凹) ・ 各種塗料塗り () ・ マスチック塗材塗り () ・ 外壁用塗膜防水材塗り () () ※ 可とう形改修用仕上げ塗材塗り ()</p>																					
防改修工事	4.1.5 改修後の塗り仕上げの種類	<p>株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士 第334761号 河村康弘 縮尺 A-3</p>	<p>安城こども園中規模及び保全改修主体工事 建築改修工事特記仕様書 3/10</p>																				
防改修工事	4.1.5 改修後の塗り仕上げの種類	<p>検 図 製 図 設 計</p>	<p>図面番号 A-3</p>																				

章	項目	特記事項	備考	
4	2節 コンクリート打放し仕上げ外壁の改修			
	3節 モルタル塗り仕上げ外壁の改修			
	4.2.4 材料	*リカット材充填工法に使用するシーリング材 ※ポリウレタン系シーリング材(・1成分形・2成分形)・()		
	(4.3.5 材料)	*シーリング材材料 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂 ・() ・図示による *充填工法材料 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル ・() ・図示による		
	4.2.5 樹脂注入工法	*種類 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法(注入間隔 ※200~300mm()、樹脂注入量: ()) *手動式エポキシ樹脂注入工法(注入間隔: ()、樹脂注入量: ()) *機械式エポキシ樹脂注入工法(注入間隔: ()、樹脂注入量: ())		
	(4.3.2 ひび割れ部改修	*ひび割れ部の注入状況の確認方法 ※コア抜き取り ()		
	4.4.2 共通事項	コアの抜き取り回数 ※1個/長さ500mmごと及びその端数 ()		
	4.3.6 樹脂注入工法)	抜き取り部分補修方法 ※図示による ()		
	4.4.6	*モルタル塗替え工法用材料 モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料() ・()		
	4.3.5 材料	既製目地材 ・使用する(形状) () ・使用しない		
	(4.4.5 材料)	*アンカーピン工法用材料 ポリマーセメントスラリー ※図示による () アンカーピン材質等 ※ステンレス鋼SUS304 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの ()		
	4.3.10 モルタル塗替え工法	*注入口付アンカーピン工法材料 注入口付アンカーピン材質等 ※SUS304 呼び径外径6mm ()		
	4.3.11 アンカーピン部分	*下地処理 仕上げ厚又は全塗厚25mmを超える場合の処置 ※図示による ()		
	4.4.9 エポキシ樹脂注入工法	*浮き部分に対するアンカーピン本数 ※16本/m ² (一般部分)、25本/m ² (指定部分)、5本/m(狭幅部) ()		

章	項目	特記事項	備考
5	5.1.5 建具見本の製作等	*建具見本の製作 ・有 ※無 *特殊な建具の仮組 ・実施する ※実施しない	
	5.1.6 取り付け調整等	*ブラインドボックス等の再使用 ・有 ・無 再使用するもの () ・図示による	
	5.1.7 その他	*防犯建物部品の使用 () ・使用しない ・使用する(使用箇所) ()	
	2節 アルミニウム製建具		
	5.2.2 性能及び構造	*耐風圧性、気密性、水密性、枠の見込み寸法 ・A種 ・B種 ・C種 [見込み寸法 mm] ・図示による () [表5.2.1] *防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 ・図示による () *断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 ・図示による ()	
	5.2.3 材料	*網戸 防虫網 材質 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316) ・図示による 線径、網目 ※線径0.25mm以上、網目16~18メッシュ(合成樹脂) () ・図示による	
	5.2.4 形状及び仕上げ	表面処理の種類 () ・図示による C種における常温乾燥形の塗装 () ・図示による [表5.2.2] 色 ※標準色 ・特注色 結露水の処理方法 () ・図示による ステンレス製くつずりを使用する場合の仕上げ ※HL ・図示による () *水きり板 ・図示による () ぜん板 ・図示による ()	
	5.2.5 工法		
	3節 樹脂製建具		
	5.3.2 性能及び構造	*耐風圧性、気密性、水密性 ・A種 ・B種 ・C種 ・図示による () 枠の見込み寸法 () ・図示による () [表5.3.1] *防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 ・図示による ・T-1 ・T-2 () *断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 ・図示による ・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8 () [表5.3.2] *外壁に面する建具の日射熱取得性の等級 ・図示による ()	
	5.3.3 材料	*網戸 防虫網 材質 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス製(SUS316) ・図示による 線径、網目 ※線径0.25mm以上、網目16~18メッシュ(合成樹脂) () ・図示による	
	5.3.4 形状及び仕上げ	*ガラス ※複層ガラス () ・図示による *ステンレス製くつずりを使用する場合の仕上げ ※HL ・図示による () *表面色 ※標準色 ・特注色 *水きり板 ・図示による () ぜん板 ・図示による ()	
	5.3.5 工法		
	4節 鋼製建具		
	5.4.2 性能及び構造	*簡易気密型ドアセットの気密性、水密性の等級 ※気密性A-3、水密性W-1 () 耐風圧性の等級 ・S-4 ・S-5 ・S-6 ・図示による [表5.2.1] 耐震ドアとする場合の面内変形追随性の等級 ・図示による () *防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 ・図示による () *断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 ・図示による () *点検口の類のくつずりの材料 ・図示による ()	
5.4.3 材料			
(5.4.6 標準型鋼製建具)	*鋼板類の厚さ ※表5.4.2による ・図示による () *くつずりの仕上げ ・HL(ステンレス鋼板の場合) ・図示による ()		
5.4.6 標準型鋼製建具	*形状及び寸法 ・図示による () [表5.4.5]		
5節 鋼製軽量建具			
5.5.2 性能及び構造	*簡易気密型ドアセット(気密性:A-3) ・適用する ・適用しない ・図示による () 耐震ドアとする場合の面内変形追随性の等級 ・図示による () *防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 ・図示による () *断熱ドア、断熱サッシとする場合の断熱性の等級 ・図示による ()		
(5.5.6 標準型鋼製軽量建具)	*鋼板類の種類 ※図示による () *ステンレス鋼板 ※SUS304 ※SUS430J1L ※SUS443J1 ・図示による () *召合せ、縦小口包み板等 ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金		
5.5.3 材料			
(5.5.6 標準型鋼製軽量建具)	*鋼板類の厚さ ※表5.5.1による ・図示による () *ステンレス製くつずりを使用する場合の仕上げ ・HL ・図示による () *形状及び寸法 ・図示による () [表5.4.5]		
5.5.4 形状及び仕上げ			
(5.5.6 標準型鋼製軽量建具)			
5.5.6 標準型鋼製軽量建具			
6節 ステンレス製建具			
5.6.3 材料	*ステンレス鋼板 ※SUS304 ※SUS430J1L ※SUS443J1 ・図示による ()		
5.6.4 形状及び仕上げ	*板ガラスをはめ込む溝の大きさ ※建具の製造所の仕様による () *表面仕上げ ※HL () ・図示による *ステンレス製くつずりを使用する場合の仕上げ ※HL ・図示による () *曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ ・図示による		
5.6.5 工法			
7節 木製建具			
5.7.2 材料	*種別 ※A種 ・B種 *フラッシュ戸の材料 表面材の種類 ・普通合板 ・天然木化粧合板 ・特殊加工化粧合板 ・MDF ・図示による () 表面材の品質等 ※5.7.2.(2)(イ)による ・図示による () MDFの裏面の状態による区分、曲げ強さによる区分、耐水性による区分及び難燃性による区分 ・図示による ()		
5.7.3 形状及び仕上げ	*かまち戸及び鏡板の材種 () ・図示による *ふすまの種類及びふすま紙の上張りの種類 () ・図示による *枠及びくつずりの材料 () ・図示による *表面板の厚さ ※表5.7.6による () ・図示による *見込み寸法 ※表5.7.7による () ・図示による		
5.7.4 工法	*フラッシュ戸 引き戸 召合せかまち ・いんろう付き () *ふすまの縁の仕上げ () ・図示による		
4.7.3 施工一般	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 安城こども園中規模及び保全改修主体工事 図面番号		
5.1.3 改修工法	一級建築士 第334761号 河村康弘 建築改修工事特記仕様書 4/10 縮尺 A-4		
5.1.4 防火戸	検 製 設 計		

章	項目	特記事項	備考	
5	8節 建具用金物			
	5.8.2 材質、形状及び寸法	*金物の種類及び見え掛り部の材質 ※表5.8.11による(表の特記の適用は図示による)・() *金属製建具用丁番の枚数及び大きさ ※表5.8.2による・()・図示による *樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ ※表5.8.3による・()・図示による *木製建具用丁番の枚数及び大きさ ※表5.8.4による・()・図示による *戸車及びレール ※表5.8.5による・()・図示による		
	5.8.3 取付け施工	*握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置 ○図示による・()		
	5.8.4 鍵	*マスターキー ○製作する・製作しない *鍵 ※3本1組とし、室名札を付ける・() ○鍵箱 ・要 ・不要		
	9節 自動ドア開閉装置			
	5.9.2 性能・機構	*戸の開閉方式・()・図示による *自動ドアの開閉装置の性能 *駆動装置の性能 ※表5.9.1による(引き戸用)・()・図示による *車椅子使用者用便房出入口の引き戸用駆動装置の性能 ※表5.9.2による・()・図示による *検出装置の性能 ※表5.9.3による(引き戸用)・()・図示による *引き戸用駆動装置及び引き戸用検出装置の防錆の適用 ・適用する ・適用しない ・図示による *引き戸用検出装置の種類・()・図示による [表5.9.4] *タッチスイッチの種類・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ *車椅子使用者用便房用操作スイッチ・大形(開・閉)押しボタンスイッチ ・非接触スイッチ *凍結防止措置・要 ・不要		
	10節 自閉式上吊り引戸装置			
	5.10.3 性能等	*自閉式上吊り引戸装置の性能 ※表5.10.1による・()・図示による		
	11節 重量シャッター			
	5.11.2 形式及び機構	*シャッター種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター ・図示による *耐風圧強度(外壁開口部に設ける重量シャッター)・()・図示による *開閉機能による種類 ※電動式(手動併用) ・手動式 ・図示による [表5.11.1] *安全装置 電動シャッターにおける不測の落下に備えた急降下制動装置又は急降下停止装置設置箇所 ・図示による・() 電動式シャッターにおける障害物感知装置設置箇所 ・図示による・() 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 ※(a)かつ(c) ・(b)かつ(c) ・図示による 設置箇所 ・図示による・()		
5.11.3 材料	*シャッターケース[管理用シャッター] ・設置する ・設置しない ・図示による *スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類・()・図示による 鋼板のめっき付着量 ※Z12またはF12を満足するもの・()			
12節 軽量シャッター				
5.12.2 形式及び機構	*開閉形式 ※手動式 ・電動式(手動併用) [表5.12.1] *耐風圧強度 ・図示による・() *安全装置 電動式シャッターにおける不測の落下に備えた急降下停止装置・設置する ・設置しない ・図示による 電動式シャッターにおける障害物感知装置設置箇所 ・図示による・()			
5.12.3 材料	*スラットの材質の種類 ・JIS G 3312 ・JIS G 3322 ・図示による・() スラットのめっき付着量 ※JIS G3312の場合はZ06又はF06を、JIS G3322の場合はAZ90を満足 ・図示による *スラットの形状 ・インターロック形 ・オーバーラッピング形 ・図示による・()			
5.12.4 形状及び仕上げ				
13節 オーバーヘッドドア				
5.13.2 形式及び機構	*セクション材料による区分 ※「スチールタイプ」 ・「アルミニウムタイプ」 ・「ファイバーグラスタイプ」 ・図示による *JIS A 4715による風圧力による強さの区分・()・図示による *開閉方式 ※ バランス式 ・チェーン式 ・電動式 ・図示による *収納形式 ・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・パーチカル形 ・図示による *電動式シャッターにおける障害物感知装置設置箇所 ・図示による・() *ガイドレールの材料 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板 ・図示による・()			
5.13.3 材料				
14節 ガラス				
5.14.2 材料	*フロント板ガラス 品種及び厚さによる種類 ・図示による・() 型板ガラス 厚さによる種類 ・図示による・() 網又は線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ○図示による・() 合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さ ・図示による・() 強化ガラス 特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類 ・図示による 形状による種類及び材料板ガラスの種類 ○図示による・() 厚さの呼びによる種類 ・図示による・() 特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類 ・図示による・() 熱線吸収板ガラス 材料板ガラスの種類、厚さによる種類 ・図示による・() 性能による種類 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・図示による・() 複層ガラス 材料板ガラスの種類、厚さの組合せ、複層ガラス厚さ ○図示による・() 断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 ・図示による 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・G ・S ・図示による 封入気体の種類 ・空気 ・アルゴン ・クリプトン ・ネオン ・図示による 熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類 ・図示による・() 厚さによる種類 ・6mm ・8mm ・10mm ・12mm ・図示による・() 日射熱遮蔽性による種類 ・1種 ・2種 ・3種 ・図示による・() 倍強度ガラス 材料板ガラスの種類 ・図示による・() 厚さの呼びによる種類 ・6mm ・8mm ・10mm ・12mm ・図示による・()			
5.14.3 ガラス溝の寸法、形状等	*ガラス留め材 ○シーリング材 ・ガasket(用途による区分)・()・図示による・() *板ガラスをはめ込む溝の大きさ ※ 建具の製造所の仕様による・()			
5.14.5 ガラスブロック積み	*材料 ガラスブロック 表面形状、呼び寸法及び厚さ ※ 図示による・() 壁用金属枠及び補強材 ※ 図示による・() 力骨の材質、寸法及び形状 ※ ステンレス鋼(SUS304) 製径5.5mmのはしご状複筋及び単筋・()・図示による シーリング材の種類 ・図示による・() 金属製化粧カバーの材質、寸法及び形状 ・図示による・() *工法 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ・図示による・() 目地幅 平積み ・()mm ※ 8mm以上15mm以下 ・図示による 曲面積み ・()mm ※ 外側15mm以下、内側6mm以上 ・図示による 伸縮調整目地位置 ・()m以下ごと ※ 6m以下ごと 伸縮調整目地部の横力骨の納まり ※ ガラスブロック製造所の仕様 ・図示による			

章	項目	特記事項	備考	
6	3節 既存壁の撤去及び下地補修			
	6.3.2 工法	*間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※モルタル塗り[4.3.10]・()・図示による *間伐材 樹種 ○杉(愛知県内産、長野県下伊那郡根羽村産、その他安城市交流自治体地域産)		
	6.5.1 一般事項	*超自動機械かんな、サンダー等による表面仕上げの場合・()・図示による		
	6.5.2 木材	*含水率 ※A種 ・B種 [表6.5.1] *製材 「JAS 1083(製材)」による製材 下地用製材 寸法、含水率及び保存処理 ※ 図示による 等級 ・図示による ※2級 造作用製材 等級、寸法、含水率及び保存処理 ※ 図示による 板材における等級 ※ 桧、額縁、敷居、鴨居、框の類の見掛り面は上小節、それ以外は小節以上 ・図示による 広葉樹製材 寸法及び保存処理 ※ 図示による 等級 ※1等 ・図示による 含水率 ※10%以下 ・図示による・()		
	(2)(ア)			
	(2)(イ)	「JAS 1083(製材)」以外の製材 寸法、材面の品質、含水率及び防虫処理 ※ 図示による 下地、造作及び仕上げに用いる製材 寸法、材面の品質、含水率及び防虫処理 ※ 図示による 造作材の材面の品質の基準 ※A種 ・B種 [表6.5.2] *造作用集成材等 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 造作用集成材 品名、樹種名、見付け材面、寸法 ※ 図示による 見付け材面の品質 ※1等 ・図示による・() 化粧ばり造作用集成材 品名、樹種名、化粧薄板の厚さ、見付け材面、寸法 ※ 図示による 見付け材面の品質 ※1等 ・図示による・()		
	(3)(ア)	3(ア)以外の造作用集成材等 造作用集成材 樹種名、寸法、見付け材面の品質 ※ 図示による 含水率 ※15%以下 ・図示による・() 化粧ばり造作用集成材 樹種名、寸法、化粧薄板の厚さ、見付け材面の品質 ※ 図示による 含水率 ※15%以下 ・図示による・()		
	(4)(ア)	*造作用単板積層材 「JAS 07011(単板積層材)」に規定する造作用単板積層材 品名、寸法、表面の品質及び防虫処理 ※ 図示による 造作用単板積層材 品名、寸法、表面の品質及び防虫処理 ※ 図示による 寸法、表面の品質及び防虫処理 ※ 図示による 含水率 ※14%以下 ・図示による・()		
	(4)(イ)	*直交集成板 品名、強度等級、種別、接着性能(使用環境)、樹種名及び寸法 ※ 図示による *合板等 下地用合板 品名、単板の樹種名、防虫処理 ※ 図示による 厚さ ※5.5mm ・図示による 接着の程度 ※1類 ・図示による 板面の品質 ※2等以上(広葉樹) ※C-D以上(針葉樹) ・図示による		
	(5)	構造用合板 品名、単板の樹種名、保存処理、防虫処理、強度等級 ※ 図示による 厚さ ※12mm ・図示による 接着の程度 ※1類以上(湿潤箇所を除く) ※ 特類(湿潤箇所) ・図示による 等級 ※2級以上・() 板面の品質 ※C-D以上・() 化粧ばり構造用合板 品名、厚さ、単板の樹種名、接着の程度、防虫処理 ※ 図示による 湿潤状態となる場所に使用する場合の接着の程度 ※ 特類 ・図示による 天然木化粧合板 厚さ、接着の程度、化粧板に使用する単板の樹種名、防虫処理 ※ 図示による 特殊加工化粧合板 品名、厚さ、接着の程度、表面性能、単板の樹種名、化粧加工の方法、防虫処理 ※ 図示による パーティクルボード 表裏面の状態による区分 ※ 図示による 曲げ強さによる区分、耐水性による区分、厚さ ※15mm、13タイプ、耐水性1(Mタイプ) ※15mm、13タイプ、耐水性2(Pタイプ)・()		
(6)	構造用パネル 品名、厚さ ※ 図示による メディアデンティファイバーボード(MDF) 裏面の状態による区分、曲げ強さによる区分、耐水性による区分、難燃性による区分、厚さ ※ 図示による			
6.5.3 接合具等	*造作材の化粧面の釘打ち ※ 隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し *諸金物の形状、寸法、材質 ※ 6.5.3(2)(ア)による・()・図示による			
6.5.5 防腐・防蟻・防虫処理等	*下地木材への防腐・防蟻処理 適用部材、処理の種類 ※ 図示による・() 工場における薬剤の加圧注入処理等の適用部材及び保存処理性能区分 ※ 図示による・() 薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 表面処理用木材保存剤による処理 ・行う ・行わない 薬剤の種類、適用部材 ※ 図示による・() 処理の方法 ※薬剤の製造所の仕様による・()・図示による 薬剤の接着剤への混入による防腐・防蟻処理 ・図示による ・行う() ・行わない 合板等の加圧注入による防腐・防蟻処理 ・図示による ・行う() ・行わない *防虫処理 ・図示による ・行う() ・行わない *不燃材料、準不燃材料又は難燃材料の使用 ※ 図示による・()			
6.5.6 RC造等の内部間仕切軸組及び床組	*間仕切軸組に用いる木材 ・杉 ・松 ・() *床組に用いる木材(土間スラブ類の土台、転ばし大引、転ばし根太) ・ひのき ・保存処理木材・() 床組に用いる木材(上記以外) ・杉 ・松 ・()			
6.5.7 窓、出入口その他	*窓、出入口その他に用いる木材 吊元枠、水掛りの下枠、敷居 ※ ひのき ・() ・図示による その他 ・杉 ・松 ・() ・図示による			
6.5.8 床板張り	*縁甲板、上がりがまちに用いる木材 ※ ひのき ・() ・図示による			
6.5.9 壁及び天井下地	*木材 ・杉 ・松 ・() ・図示による			
6節 軽量鉄骨天井下地				
6.6.2 材料	*野縁等の種類 屋内 ※19形 ・25形 ・図示による [表6.6.1] 屋外 ・19形 ※25形 ・図示による			
6.6.3 形式及び寸法	*屋外の野縁受、吊りボルト、インサートの間隔 ・()mm ・図示による *屋外の野縁間隔 ・()mm ・図示による			
6.6.4 工法	*既存埋込インサートの使用 ・使用する ・使用しない ・図示による・() *あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う ・行わない ・図示による *引張試験の箇所数及び確認強度 ※ 6.6.4(1)(ウ)による ・図示による・() *開口部等の補強方法 ※ 図示による・()			
		株式会社デザインボックス名古屋オフィス	安城こども園中規模及び保全改修主体工事	図面番号
		一級建築士 第334761号 河村康弘	建築改修工事特記仕様書 5/10	縮尺 A-5
		検 図	製 図	設 計

章	項目	特記事項	備考	章	項目	特記事項	備考
6	7節 軽量鉄骨壁下地 6.7.3 形式及び寸法	*天井のふとところが3mを超える場合の補強方法 ※ 図示による ・() *天井下地材の耐震性を考慮した補強方法 ※ 図示による ・() *耐風圧性を考慮した補強方法(屋外軒天井、ピロティ天井等) ※ 図示による ・()		改修工事	14節 壁紙張り 6.14.2 材料	*壁紙の種類 ※ 図示による ・() *防火性能 () ※ 図示による ・()	
	6.7.4 工法	*スタッドランナーの種類 ・50形 ・65形 ・90形 ・100形 ※ スタッドの高さに応じた種類 ・() *スタッド高さが5.0mを超える場合 ・() ※ 図示による *出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※ 6.7.4(5)による ・() ・ 図示による			6.14.3 施工	*モルタル面及びせつこうプラスター面の素地ごしらえ 種別 ・ A種 ※ B種 [表6.14.1] *コンクリート面の素地ごしらえ 種別 ・ A種 ※ B種 [表6.14.2] *せつこうボード面の素地ごしらえ及びけい酸カルシウム板面の素地ごしらえ 種別 ・ A種 ※ B種 [表6.14.3]	
	8節 ビニル床シート等張り 6.8.2 材料	(ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り) *ビニル床シート 種類の記号 ※ FS ・() () ※ 図示による 厚さ ※ 2.0mm ・() () ※ 図示による 色柄 ・() () ・ 図示による *ビニル床タイル 種類の記号 ※ K T ・() () ・ 図示による 寸法 ・() () ・ 図示による 厚さ ※ 2.0mm ・() () ・ 図示による 色柄 ・() () ・ 図示による			6 15節 モルタル塗り 6.15.3 材料	*モルタル () ※ 現場調査材料 ・ 既調査材料() ・ 図示による *既製目地材 ・ 使用する(形状:) ・ 使用しない ・ 図示による *壁面の場合で、仕上げ厚又は全塗り厚が6.15.4(3)の規定を満足しない場合 ・ 図示による	
	6.8.3 工法	*特殊機能床材 帯電防止床シート 種類、性能、厚さ等 ・ 図示による ・() 帯電防止床タイル 種類、性能、寸法、厚さ等 ・ 図示による ・() 視覚障害者用床タイル 種類、形状 ・ 図示による ・() 耐動荷重性床シート 種類、厚さ等 ・ 図示による ・() 防滑性床シート 種類、厚さ等 ・ 図示による ・() 防滑性床タイル 種類、寸法、厚さ等 ・ 図示による ・() *ビニル幅木 種類 () ※ 図示による ・() 厚さ ※ 1.5mm以上 ・ 図示による ・() 高さ ※ 60mm () ※ 図示による ・() *ゴム床タイル 色柄、種類、厚さ、寸法等 ・ 図示による ・() *ビニル床シート、ビニル床タイル用の接着剤種別[下地がセメント系及び木質系以外の場合] () ※ 図示による ・() *ゴム床タイル用の接着剤種別[下地がセメント系及び木質系以外の場合] ・ 図示による ・() *6.8.3(1)(ア)~(ウ)以外の下地の工法 () ※ 図示による ・() *接合部の処理 ※ 熱溶接工法 ・() ・ 図示による			6.15.5 下地処理 6.15.6 工法	*床の目地割り ※ 目地割2m程度、最大目地間隔3m程度 ・() ・ 図示による 種類 ※ 押し目地 ・() ・ 図示による	
	9節 カーベツト敷き 6.9.2 材料	*織じゅうたん 織り方、パイルの形状 ・ 図示による ・() 色柄 ・() ※ 模様のない無地 ・ 図示による パイル糸の種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 帯電性 ※ 人体帯電圧3kV以下 ・() *タフテツトカーベツト パイルの形状、パイル長 ・ 図示による ・() 帯電性 ※ 人体帯電圧3kV以下 ・() *タイルカーベツト 種類 ※ 第一種 ・ 第二種 ・ 図示による パイルの形状 ※ ループパイル ・() ・ 図示による 寸法 ※ 500mm角 ・() ・ 図示による 総厚さ ※ 6.5mm ・() ・ 図示による *下敷き材 ※ JIS L 3204(反毛フェルト)の第2種2号、呼び厚さ8mm ・() ・ 図示による *取付け用付属品 見切り材、押え金物の材質、種類、形状 ※ 図示による ・() *タフテツトカーベツトの工法 ・ グリツパー工法 ・ 全面接着工法 ・ 図示による *織じゅうたんの接合方法[グリツパー工法] ※ ヒートボツド工法 ・ 手縫い *タイルカーベツトの敷き方[全面接着工法] 平場 ※ 市松敷き ・() ・ 図示による 階段 ※ 模様流し ・() ・ 図示による	[表6.9.1]		6.16.3 セメントモルタルによる タイル張り	*伸縮目地の位置 ※ 縦横4m以内ごと(床タイル) ・() ・ 図示による *タイルの見本焼き ・ 有 ※ 無 (試験張り) ・ 有 ※ 無 *タイル () ※ 図示による 適用箇所 形状 寸法 耐凍害性 耐滑り性 標準色/特別色タイル張り工法 *役物 ・ 有 ・ 無 *張付けモルタル 既調査モルタル ・() ・ 図示による *下地モルタル塗りのコンクリート素地面の下地処理 ・ 目荒し工法 ・() ・ 図示による *壁タイル張りの工法 内装タイル ・ 密着張り ・ 改良圧着張り ユニットタイル(内装タイル以外) ・ マスク張り ・ モザイクタイル張り *タイル () ※ 図示による 適用箇所 形状 寸法 耐凍害性 耐滑り性 標準色/特別色タイル張り工法 *役物 ・ 有 ・ 無	
	6.9.4 工法	*タフテツトカーベツトの工法 ・ グリツパー工法 ・ 全面接着工法 ・ 図示による *織じゅうたんの接合方法[グリツパー工法] ※ ヒートボツド工法 ・ 手縫い *タイルカーベツトの敷き方[全面接着工法] 平場 ※ 市松敷き ・() ・ 図示による 階段 ※ 模様流し ・() ・ 図示による			6.16.4 有機系接着剤による タイル張り	*タイル () ※ 図示による 適用箇所 形状 寸法 耐凍害性 耐滑り性 標準色/特別色タイル張り工法 *役物 ・ 有 ・ 無	
	10節 合成樹脂塗床 6.10.3 工法	*弾性ウレタン樹脂系 仕上げの種類 ※ 平滑 ・ 防滑 ・ つや消し ・ 図示による [表6.10.4] *エポキシ樹脂系 工法 薄膜流しのべ ・ 厚膜流しのべ ・ 樹脂モルタル ・ 図示による 仕上げの種類 ・ 平滑 ・ 防滑			17節 セルフレベリング材塗り 6.17.3 調合及び塗厚	*セルフレベリング材塗厚 ・() ・ 図示による	
	11節 フローリング張り 6.11.2 材料 6.11.3 工法一般 6.11.4 釘留め工法	*種類 ・ 単層フローリング(・フローリングボツド1等 ・ フローリングブロック()等) ・ 複合フローリング ・ 図示による *工法 ・ 釘留め(根太張り)工法 ・ 釘留め(直張り)工法 () ※ 図示による *根太張り工法 フローリング ・ フローリングボツド(根太張用) ・ 複合フローリング(根太張用) フローリングボツドの樹種 ・() ・ 図示による 複合フローリングの種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 [表6.11.2] 複合フローリングの樹種 ・() ・ 図示による *直張り工法 フローリング ・ フローリングボツド(直張用) ・ 複合フローリング(直張用) 樹種 ・() ・ 図示による 複合フローリングの種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 [表6.11.4] 複合フローリングの樹種 ・() ・ 図示による *フローリング フローリングボツド(直張用) () ※ 複合フローリング(直張用) *フローリングボツドの樹種 ・(プナ) ・ 図示による *複合フローリングの種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 [表6.11.6] *複合フローリングの樹種 ・() ・ 図示による *フローリングブロックの樹種、厚さ、幅及び長さ ・ 図示による () (15mm) *フローリング裏面の不陸緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート ・() ・ 図示による *下地調整及び塗装 下地調整 ※ 6.11.7による () ※ 図示による ・() 塗装 () ※ 図示による ・()			7 2節 下地調整 7.2.1 施工一般 *RB種塗替えの場合の既存塗膜の撤去範囲 ※ 劣化部分 ・ 図示による 7.2.2 木部の下地調整 *木部の下地調整種別 ・ RA種 ※ RB種[不透明塗料塗り] ・ RC種 ・ 図示による [表7.2.1] 7.2.3 鉄鋼面の下地調整 *鉄鋼面の下地調整種別 DP塗り以外] ※ RA種 ※ RB種 ※ RC種 ・ 図示による [表7.2.2] 7.2.4 亜鉛めっき鋼面の下地調整 *亜鉛めっき鋼面の下地調整種別 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 ・ 図示による [表7.2.3]		
	6.11.5 接着工法	*フローリングボツド(直張用) () ※ 複合フローリング(直張用) *複合フローリングの種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 [表6.11.6] *複合フローリングの樹種 ・() ・ 図示による *フローリングブロックの樹種、厚さ、幅及び長さ ・ 図示による () (15mm) *フローリング裏面の不陸緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート ・() ・ 図示による *下地調整及び塗装 下地調整 ※ 6.11.7による () ※ 図示による ・() 塗装 () ※ 図示による ・()			7.2.5 モルタル面及びプラスター面の下地調整 *モルタル面及びプラスター面の下地調整種別 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 ・ 図示による [表7.2.4] ひび割れ部の補修 ・() ・ 図示による 7.2.6 コンクリート面、ALC面、押出成形セメント面の下地調整 *コンクリート面、ALC面、押出成形セメント面の下地調整種別[DP塗り以外] () ※ RA種 ※ RB種 ・ RC種 ・ 図示による [表7.2.5] ひび割れ部の補修 ・() ・ 図示による *コンクリート面[DP塗り]、押出成形セメント板面の下地調整種別 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 図示による [表7.2.6] ひび割れ部の補修 ・() ・ 図示による 7.2.7 セツこうボード面、その他ボツド面の下地調整 *セツこうボード面及びその他ボツド面の下地調整種別 ・ RA種 ※ RB種 ・ RC種 ・ 図示による [表7.2.7]		
	6.11.6 現場塗装仕上げ	*下地調整及び塗装 下地調整 ※ 6.11.7による () ※ 図示による ・() 塗装 () ※ 図示による ・()			7.3 3節 素地ごしらえ 7.3.1 木部の素地ごしらえ *木部の素地ごしらえ種別 不透明塗料塗りの場合 ※ A種 ・ B種 ・ 図示による [表7.3.1] 透明塗料塗りの場合 ・ A種 ※ B種 ・ 図示による 7.3.2 鉄鋼面の素地ごしらえ *鉄鋼面の素地ごしらえ種別 DP塗り以外 ※ A種 ・ B種 ※ C種 ・ 図示による [表7.3.2] DP塗り以外 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示による 7.3.3 亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえ *亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえ種別 ・ A種 ・ B種 ・ 図示による [表7.3.3]		
12節 畳敷き 6.12.2 材料	*畳の種類 ・ A種(畳表の記号:) ・ B種 ・ C種(畳床の記号:) ・ D種(畳床の記号:) [表6.12.1] *衝撃緩和型畳の畳表 ・ C1 ・ C2 ・ 図示による		7.3.4 亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえ *亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえ種別 ・ A種 ・ B種 ・ 図示による [表7.3.4]				
13節 セツこうボード等張り 6.13.2 材料	*ボード類の種類、厚さ等 ※ 図示による ボード表面の化粧張り仕上げ ※ 図示による *普通合板 品名、単板の樹種名 ※ 図示による ・() 厚さ ※ 5.5mm ・ 図示による ・() 板面の品質 [広葉樹の場合] ※ 2等以上 [針葉樹の場合] ※ C-D以上 ・ 図示による *天然木化粧合板 厚さ、化粧板に使用する単板の樹種名 ※ 図示による ・() *特殊加工化粧合板 品目、厚さ、接着の程度、単板の樹種名、化粧加工の方法 ※ 図示による ・() *防虫処理 ※ 図示による ・() *天井のボードの重ね張り(ロックウール吸音板を除く) ・ 図示による ・() *合板の張付け種別 ・ A種 ・ B種 [表6.13.3] *セツこうボードの目地工法の種類 ・ 継目処理工法 ・ 突付け工法 ・ 目透し工法 [表6.13.5] *セツこうボードのエツジの種類(突き付け工法及び目透し工法の場合) ・ ベベルエツジ ・ スクヱアエツジ ・ 図示による		7.3.5 モルタル面及びプラスター面の素地ごしらえ種別 ・ A種 ※ B種 ・ 図示による [表7.3.5] 7.3.6 コンクリート面、ALC面、押出成形セメント面の素地ごしらえ種別 ・ A種 ・ B種 ・ 図示による [表7.3.6] 7.3.7 セツこうボード面、その他ボツド面の素地ごしらえ種別 ・ A種 ※ B種 ・ 図示による [表7.3.7]				
6.13.3 工法	*天然木化粧合板 厚さ、化粧板に使用する単板の樹種名 ※ 図示による ・() *特殊加工化粧合板 品目、厚さ、接着の程度、単板の樹種名、化粧加工の方法 ※ 図示による ・() *防虫処理 ※ 図示による ・() *天井のボードの重ね張り(ロックウール吸音板を除く) ・ 図示による ・() *合板の張付け種別 ・ A種 ・ B種 [表6.13.3] *セツこうボードの目地工法の種類 ・ 継目処理工法 ・ 突付け工法 ・ 目透し工法 [表6.13.5] *セツこうボードのエツジの種類(突き付け工法及び目透し工法の場合) ・ ベベルエツジ ・ スクヱアエツジ ・ 図示による		4節 錆止め塗料塗り 7.4.2 塗料種別 *鉄鋼面錆止め塗料種別[EP-G塗りの場合] ・ A ₂ 種 ※ B ₂ 種 ・ 図示による [表7.4.1] *亜鉛めっき鋼面錆止め塗料種別[SOP塗りの場合] 鋼製建具等 ※ A ₂ 種 ・ B ₂ 種 ・ C ₂ 種 ・ 図示による [表7.4.2] その他 ・ A ₂ 種 ※ B ₂ 種 ・ C ₂ 種 ・ 図示による 7.4.3 錆止め塗料塗り *鉄鋼面錆止め塗料塗り [SOP、EP-G塗り、及び錆止め塗装のままの場合] 見え掛り部(新規) ※ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 図示による [表7.4.3] 見え隠れ部(新規) ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示による 塗替え ・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ 図示による *鉄鋼面錆止め塗料塗り[DP塗り(新規)の場合] ※ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 図示による [表7.4.4] *亜鉛めっき鋼面錆止め塗料塗り[SOP及びEP-G塗りの場合] 鋼製建具等 ※ A種 ・ B種 ・ C種 ・ 図示による [表7.4.5] その他 ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示による 塗替え ・ A種 ・ B種 ※ C種 ・ 図示による				
6.13.3 工法	*天然木化粧合板 厚さ、化粧板に使用する単板の樹種名 ※ 図示による ・() *特殊加工化粧合板 品目、厚さ、接着の程度、単板の樹種名、化粧加工の方法 ※ 図示による ・() *防虫処理 ※ 図示による ・() *天井のボードの重ね張り(ロックウール吸音板を除く) ・ 図示による ・() *合板の張付け種別 ・ A種 ・ B種 [表6.13.3] *セツこうボードの目地工法の種類 ・ 継目処理工法 ・ 突付け工法 ・ 目透し工法 [表6.13.5] *セツこうボードのエツジの種類(突き付け工法及び目透し工法の場合) ・ ベベルエツジ ・ スクヱアエツジ ・ 図示による		5節 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 7.5.2 木部SOP *種別 [新規] ・ 図示による 屋外 ※ A種 ・ B種 ・ C種 [表7.5.1] 屋内 ・ A種 ※ B種 ・ C種 [塗替え] ・ A種 ※ B種 ・ C種 ・ 図示による 7.5.3 鉄鋼面SOP *種別 [新規] ・ 図示による 屋外 ※ A種 ・ B種 ・ C種 [表7.5.2] 屋内 ・ A種 ※ B種 ・ C種				
6.13.3 工法	*天然木化粧合板 厚さ、化粧板に使用する単板の樹種名 ※ 図示による ・() *特殊加工化粧合板 品目、厚さ、接着の程度、単板の樹種名、化粧加工の方法 ※ 図示による ・() *防虫処理 ※ 図示による ・() *天井のボードの重ね張り(ロックウール吸音板を除く) ・ 図示による ・() *合板の張付け種別 ・ A種 ・ B種 [表6.13.3] *セツこうボードの目地工法の種類 ・ 継目処理工法 ・ 突付け工法 ・ 目透し工法 [表6.13.5] *セツこうボードのエツジの種類(突き付け工法及び目透し工法の場合) ・ ベベルエツジ ・ スクヱアエツジ ・ 図示による		株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士 第334761号 河村康弘 安城こども園中規模及び保全改修主体工事 建築改修工事特記仕様書 6/10 縮尺 A-6				

章	項目	特記事項	備考	
7	7.5.4 垂鉛めっき鋼面SOP	*種別 鋼製建具塗替え ※A種 ・B種 ・C種 ・図示による それ以外の塗替え及び新規塗り ・A種 ※B種 ・C種 ・図示による	[表7.5.3]	
	6節 クリヤラッカー塗り(CL)			
	7.6.2 クリヤラッカー塗り	*種別 ・A種 ※B種 ・図示による A種の場合、工程2の適用及び着色に用いる塗料の種類 ・溶剤形着色剤 ・油性染料着色剤 ・適用しない ・図示による	[表7.6.1]	
	7節 アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)			
	7.7.2 NAD	*種別 ・A種 ※B種 ・図示による	[表7.7.1]	
	8節 耐候性塗料塗り(DP)			
	7.8.2 鉄鋼面DP	*上塗り塗料の等級 ※1級 ・2級 ・3級	[表7.8.1]	
	7.8.3 垂鉛めっき鋼面DP	*上塗り塗料の等級 ※1級 ・2級 ・3級	[表7.8.2]	
	7.8.4 コンクリート面及び押出成形セメント板面DP	*種別 ・A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種 ・図示による	[表7.8.3]	
	9節 つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)			
装	7.9.2 コンクリート、押出成形セメント板、モルタル、せつこうプラスター、せつこうボード面等EP-G	*種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・図示による *塗替えのしきり止め ・図示による ・() ※[B種又はC種の場合]工程1の下塗りをしきり止めシーラー(塗料の製造所の指定するもの)とする	[表7.9.1]	
	7.9.3 木部EP-G	*種別 新規 ※A種 ・B種 ・C種 ・図示による 塗替え ・A種 ※B種 ・C種 ・図示による	[表7.9.2]	
	7.9.4 鉄鋼面EP-G	*種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・図示による	[表7.9.3]	
修	7.9.5 垂鉛めっき鋼面EP-G	*種別 ※A種 ・B種 ・C種 ・図示による	[表7.9.4]	
	10節 合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)			
工	7.10.2 合成樹脂エマルジョンペイント塗り	*種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・図示による *塗替えのしきり止め ・図示による ・() ※[B種又はC種の場合]工程1の下塗りをしきり止めシーラー(塗料の製造所の指定するもの)とする	[表7.10.1]	
	11節 ウレタン樹脂ワニス塗り(UO)			
事	7.11.2 ウレタン樹脂ワニス塗り	*種別 工程1の着色の適用 ・A種 ※B種 ・図示による 溶剤形着色剤 ・油性染料着色剤 ・適用しない ・図示による	[表7.11.1]	
	13節 木材保護塗料塗り(WP)			
7.13.2 木材保護塗料塗り	*種別 ・A種 ※B種 ・図示による	[表7.13.1]		
8	1節 共通事項			
	8.1.2 *本章適用上の注意			
	8.1.2 基本要品質	*耐震改修工事標準図が添付されている場合はこれを優先する。 *受注者は、レディーミクストコンクリートを用いる場合の工場選定は以下による。 (1) JISマーク表示認証製品を製造している工場(工業標準化法の一部を改正する法律(平成16年6月9日公布)に基づき国に登録された民間の第三者機関(登録認証機関)により製品にJISマーク表示する認証を受けた製品を製造している工場)で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者(コンクリート主任技士等)が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる、全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場(以下)適マークを取得した工場)という。)から選定し、JIS A 5308(レディーミクストコンクリート)に適合するものを用いなければならない。 (2) JISマーク表示認証製品を製造し、適マークを取得した工場が工事現場近くに見当たらない場合は、使用する工場について、設計図書に指定したコンクリートの品質が得られることを確かめたうえで、その資料により監督職員の確認を得なければならない。なお、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者(コンクリート主任技士等)が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場から選定しなければならない。		
	8.1.3 コンクリートの種類	*コンクリートの種類 ※I類 ・II類 ・大臣認定コンクリート() *コンクリートの種類 ・普通コンクリート ・軽量コンクリート	[表8.1.1]	
	8.1.4 コンクリートの品質	*設計基準強度(Fc) ・普通コンクリート()N/mm ² ・軽量コンクリート()N/mm ² ・図示による *コンクリートの荷卸し地点におけるスランブ ※表8.1.2による ・() ・図示による *合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ ・A種 ※B種 ・C種 ・図示による *コンクリートの仕上げの平たんさの種類 ・a種 ・b種 ・c種 ・図示による	[表8.1.4] [表8.1.5]	
	8.1.5 鉄骨製作工場	*鉄骨製作工場の加工能力等 ・() ・図示による		
	8.1.6 鉄骨製作工場における施工管理技術者	*施工管理技術者の配置 ※必要 ・不要		
	2節 材料			
	8.2.1 鉄筋	*鉄筋種類等 ※図示による ・()	[表8.2.1]	
	8.2.2 溶接金網	*鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径 ※図示による ・()		
修	8.2.4 あと施工アンカー	*あと施工アンカー ・金属系アンカー ・接着系アンカー ・図示による *金属系アンカーの仕様 引張耐力、せん断耐力 ・図示による ・() アンカー本体の径、埋込み長さ ・図示による ・() セット方式 ※本体打込み式改良型 ・() ・図示による *接着系アンカーの仕様 接合筋の種類、径、長さ ・図示による ・() 引張耐力、せん断耐力 ・図示による ・() アンカーの種類 ※カプセル方式回転・打撃式 ・() ・図示による アンカー筋の径、埋込み長さ ・図示による ・() アンカー筋の種類 ・() ・図示による アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・() ・図示による		
	8.2.5 コンクリートの材料及び調査	*あと施工アンカーの性能確認試験 ・行う ・行わない *セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント ・高炉セメント(A種) ・シリカセメント(A種) ・フライアッシュセメント(A種) ・エコセメント ・() ・図示による *高炉セメントB種の適用箇所 ・() フライアッシュセメントB種の適用箇所 ・() *骨材の種類 フロニックルスラグ骨材 ・使用 ※使用しない 鋼スラグ骨材 ・使用 ※使用しない 電気炉酸化スラグ骨材 ・使用 ※使用しない 再生骨材H(エコセメント使用) ・使用 ※使用しない *碎石、砕砂、フェロニックルスラグ骨材、鋼スラグ骨材、電気炉酸化スラグ骨材、再生骨材H、砂利、砂のアルカリシリカ反応性区分 ※A ・B *混和剤種類 ・図示による ・AE剤 ・AE減水剤 ・高性能AE減水剤 ・() *膨張材種類 ・図示による *膨張材種類 ・図示による *構造体強度補正值(S) ・図示による ※表8.2.4による *8.2.5(5)(イ)(f)①～③以外の混和材料 使用方法及び使用量 ※図示による ・() *モルタルの圧縮強度 ・() ・図示による フロー値 ・() ・図示による	[表8.2.3]	
	8.2.6 構造体用モルタルの調査	*せき板の材料 ※8.2.7(1)による ・() ・図示による 合板の厚さ ※12mm ・() ・図示による *ラス型枠については、下記の仕様により使用できるものとする。 1) 使用可能部位 独立基礎、地中梁(ただし、見えがかり部、ピット内部は合板型枠とする)。 2) 鉄筋の最小かぶり厚さ ラス型枠を使用した部分の鉄筋の最小かぶり厚さは、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)5.3.6表に示す数値+10mmとする。 3) コンクリートのスランブ及び打込み スランブは15cm又は18cmとする。パイプレーターを使用するときには、ラス型枠に直接当てないように注意する。 4) その他 各メーカーで仕様異なるため、それぞれの施工要領書等で確認する。		
	8.2.7 型枠の材料			
	耐	3節 鉄筋の加工及び組立		
		8.3.2 加工	*90°未満の折曲げの内法直径 ・() *種類 ※図示による ・重ね継手 ・ガス圧継手 ・機械式継手 ・溶接継手 *継手位置 ※図示による *耐力壁の鉄筋の重ね継手長さ ※40d(軽量コンクリートの場合50d)又は表8.3.2の重ね継手の長さのいずれか大きい値 ・図示による *先組み工法等で、柱及び梁の主筋のうち、隣り合う継手を同一箇所に入れる場合の継手の位置 ・図示による ・() *鉄筋の定着長さ ※表8.3.4による ・図示による ・() *定着長さを確保できない場合の折曲げ定着の方法 ※8.3.4(5)(イ)による ・図示による ・() 機械式定着工法の適用箇所及び種類 ・図示による ・() *帯筋組立の形、継手及び定着 ※図示による ・() *鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ ※表8.3.6による ・図示による ・()	
		8.3.4 継手及び定着		
		8.3.5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔		
		8.3.7 壁の配筋及び補強	*壁の配筋 ・() ・図示による *壁開口部の補強 ・() ・図示による *超音波探傷試験 ※行う ・行わない	
		8.3.8 ガス圧接		
4節 鉄筋の機械式・溶接継手				
8.4.2 機械式継手		*適用箇所、性能、種類、鉄筋相互のあき ※図示による ・() *施工完了後の試験 外観試験 試験項目、試験方法 ・() ・図示による 不合格となった場合の措置 ・() ・図示による 超音波測定試験 試験対象 ・() ・図示による 不合格となった場合の措置 ・() ・図示による		
8.4.3 溶接継手		*適用箇所、性能、工法、鉄筋相互のあき ※図示による ・() *施工完了後の試験 外観試験 試験項目、試験方法 ・() ・図示による 不合格となった場合の措置 ・() ・図示による 超音波測定試験 試験対象 ・() ・図示による 不合格となった場合の措置 ・() ・図示による		
改		7節 コンクリートの運搬・打込・締固		
	8.7.7 養生	*普通エコセメント使用時の湿潤養生の期間 ()日以上		
	8.7.8 型枠工事	*外部に面するコンクリートの打増し厚さ ()mm ・図示による *シアコネクタをセパレーターとして使用する場合 ・() ・図示による *普通エコセメント使用時の型枠の最小存置期間 ・()		
	9節 軽量コンクリート			
	8.9.1 一般事項	*軽量コンクリートの適用箇所 ※図示による ・()		
	8.9.2 種類及び品質	*軽量コンクリートの種類 ・1種 ・2種 気乾単位容積質量 ・()t/m ³ [表8.9.1] *スランブ ※21cm ・() ・図示による		
	10節 暑中コンクリート			
	8.10.2 材料及び調査	*構造体強度補正值(S) ※表8.10.1による ・図示による ・()		
	11節 無筋コンクリート			
	8.11.1 一般事項	*コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・図示による ・() *設計基準強度 ※18N/mm ² ・図示による ・() *スランブ ・15cm ・18cm ・() ・図示による		
工	12節 あと施工アンカー工事			
	8.12.4 穿孔	*埋込み配管等の探査の方法 ・()		
	8.12.7 施工確認試験	*アンカー施工後の確認試験 ※引張試験機による引張試験 ・() 1ロット ※1日に施工されたものの径及び仕様ごと ・() 試験の箇所数 ※1ロットに対して3本 ・() 確認強度 ・() ・図示による		
	13節 鉄骨工作			
	8.13.2 鉄骨の工作図	*高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 ※図示による ・()		
	8.13.8 ボルト孔	*母屋又は胴縁の取付けに使用する普通ボルト孔径 ※ねじの呼び径+1.0mm ・図示による ・()		
	8.13.10 仮組	*仮組の実施 ・行う ※行わない		
	14節 高力ボルト接合			
	8.14.2 摩擦面の性能・処理	*すべり試験 ※実施しない ・実施する(試験方法等) ・() ・図示による		
	8.14.7 締付け	*ナット回転法の場合で、「JIS高力ボルト長さ」>「ねじの呼びの5倍」の場合の回転量 ※図示による ・()		
15節 溶接接合				
8.15.3 技能資格者	*技量付加試験 ・行う ※行わない ・図示による			
8.15.4 溶接の準備	*開先の形状 ※図示による ・()			
8.15.7 溶接施工	*エンドタブを切断する箇所及び切断範囲 ※図示による ・() *断面の仕上げ ※グラインダー仕上げ[粗さ100μm Rz程度以下、ノッチ深さ1mm程度以下] ・図示による ・() *完全溶込み溶接 板厚が異なる場合における低応力高サイクル疲労を受ける部位 ※図示による ・() スカラップの形状 ※図示による ・()			

章	項目	特記事項	備考
8	8.2.8 鋼材	*スリーブの材種 ・鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・溶融亜鉛めっき鋼板 ・つば付き鋼板 ・図示による *種類、形状、寸法 ※図示による ・()	[表8.2.6]
	8.2.9 高力ボルト	*種類 ※トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト ・図示による ねじの呼び ※図示による ・()	
	8.2.10 溶接材料	*8.2.10(1)、(2)以外の溶接材料 ・() ・図示による	
	8.2.11 スタッド	*スタッドの種類 ・() ・図示による	
	8.2.12 柱底均しモルタル及びグROUT材	*柱底均しモルタル ※無収縮モルタル(8.2.12(1)による) ・() ・図示による	
	8.2.13 連続繊維シート及び含浸接着樹脂等	*材料、工法、引張強度、ヤング係数 ・図示による ・()	
	8.2.14 鋼材の材料試験等	*板厚方向に引張力を受ける鋼板の試験 ・行う ・行わない	
	8.2.15 基礎工事に用いる材料	*砂利地業に使用する砂利 ・再生クラッシュラン ・切込砂利 ・切込砕石 ・図示による *砂地業に使用する砂 ・山砂 ・川砂 ・砕砂 ・() ・図示による *捨コンクリート地業に使用するコンクリート ※表8.1.1のコンクリート ・図示による ・() *杭の材料 ※図示による ・() *杭に継手を設ける場合の継手の箇所数、材料、工法等 ※図示による ・()	
	3節 鉄筋の加工及び組立		
	8.3.2 加工		
8.3.4 継手及び定着			
耐	8.3.5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔		
	8.3.7 壁の配筋及び補強		
	8.3.8 ガス圧接		
	4節 鉄筋の機械式・溶接継手		
	8.4.2 機械式継手		
	8.4.3 溶接継手		
	7節 コンクリートの運搬・打込・締固		
	8.7.7 養生		
	8.7.8 型枠工事		
	9節 軽量コンクリート		
8.9.1 一般事項			
8.9.2 種類及び品質			
10節 暑中コンクリート			
8.10.2 材料及び調査			
11節 無筋コンクリート			
8.11.1 一般事項			
12節 あと施工アンカー工事			
8.12.4 穿孔			
8.12.7 施工確認試験			
13節 鉄骨工作			
8.13.2 鉄骨の工作図			
8.13.8 ボルト孔			
8.13.10 仮組			
14節 高力ボルト接合			
8.14.2 摩擦面の性能・処理			
8.14.7 締付け			
15節 溶接接合			
8.15.3 技能資格者			
8.15.4 溶接の準備			
8.15.7 溶接施工			
株式会社デザインボックス名古屋オフィス		安城こども園中規模及び保全改修主体工事	図面番号
一級建築士 第334761号 河村康弘		建築改修工事特記仕様書 7/10	縮尺 A-7
検	製	設	

章	項目	特記事項	備考	
8	8.15.12 溶接部の試験	*「鉄骨造の継手又は仕口の構造方法を定める件」第二号に関する試験方法等 ・ 図示による ・ () *「鉄骨精度検査基準」の付表3「溶接」に関する試験方法等 ・ 図示による ・ () *完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※ 行う ・ 行わない		
	17節 鉄骨の錆止め塗装			
	8.17.2 塗装の範囲	*耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ※ 図示による ・ () 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ※ 8.17.2(1)(ア)～(オ)以外の範囲 ・ 図示による ・ ()		
	8.17.4 塗料の種類	*SRC造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内面 ・ 図示による ※ 表7.4.1のA ₀ 種 ・ () *耐火被覆材が接着する面 ・ () ・ 図示による		
	18節 耐火被覆			
	8.18.2 耐火被覆の種類等	*耐火被覆の種類 ※ 図示による ・ () ・耐火材吹付け ・耐火板張り ・耐火材巻付け ・ラス張りモルタル塗り ・耐火塗料 ・ () *材料及び工法等 ※ 図示による ・ ()		
	8.18.3 耐火被覆の性能、品質等	*耐火被覆の耐火性能 ※ 図示による ・ ()		
	20節 溶融亜鉛めっき工法			
	8.20.5 溶融亜鉛めっき高力ボルト接合	*摩擦面の処理方法等 ・ プラスト処理 ・ リン酸塩処理 ・ () ・ 図示による		
	21節 現場打ちRC壁の増設工事			
	8.21.2 既存部分の撤去等	*既存仕上の撤去範囲 ※ 本工事に支障となる最小限の範囲 ・ 図示による ・ () *工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設 ・ 図示による ・ () *既存構造体の撤去範囲 ※ 図示による ・ () *はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 ※ 図示による ・ ()		
	8.21.3 既存部分の処理	*打継ぎ面となる範囲の既存構造体コンクリート面の目荒しの程度 ※ 図示による ・ ()		
	8.21.6 鉄筋の加工及び組立	*割裂補強筋の仕様 ※ 図示による ・ ()		
	8.21.8 コンクリートの打込み	*コンクリート打込み工法 ・ 流込み工法 ・ 圧入工法 ・ 図示による ・ ()		
	8.21.9 既設構造体との取合い	*既存構造体と増設壁との取合いの処理方法 ※ グラウト材の注入 ・ 図示による ・ () *増設壁工事後の仕上げ ※ 図示による ・ ()		
	8.21.10 仕上げ			
	22節 鉄骨フレースの設置工事			
8.22.2 既存部分の撤去等	*既存仕上の撤去範囲 ※ 本工事に支障となる最小限の範囲 ・ 図示による ・ () *工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設 ・ 図示による ・ () *既存構造体の撤去範囲 ※ 図示による ・ () *はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 ※ 図示による ・ () *目荒しの程度 ※ 図示による ・ () *割裂補強筋の仕様 ※ 図示による ・ () *フレース設置工事後の仕上げ ※ 図示による ・ ()			
8.22.3 既存部分の処理	*目荒しの程度 ※ 図示による ・ ()			
8.22.7 既存構造体との取合い	*割裂補強筋の仕様 ※ 図示による ・ ()			
8.22.9 仕上げ	*フレース設置工事後の仕上げ ※ 図示による ・ ()			
23節 柱補強工事				
8.23.2 既存部分の撤去等	*既存仕上の撤去範囲 ※ 本工事に支障となる最小限の範囲 ・ 図示による ・ () *工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設 ・ 図示による ・ () *既存構造体の撤去範囲 ※ 図示による ・ () *はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 ※ 図示による ・ () *目荒しの程度 ※ 図示による ・ ()			
8.23.3 既存部分の処理	*目荒しの程度 ※ 図示による ・ ()			
8.23.5 溶接金網巻工法及び溶接閉鎖フープ巻工法	*コンクリート及び構造体用モルタルの打ち込み ・ 流込み工法 ・ 圧入工法 ・ 図示による			
8.23.6 鋼板巻・帯巻巻付工法	*鋼板等の加工 柱頭及び柱脚に隙間を設ける場合 ※ 図示による ・ ()			
8.23.7 仕上げ	*補強工事後の仕上げ ※ 図示による ・ ()			
24節 連続繊維補強工事				
8.24.4 既存部分の撤去等	*既存仕上の撤去範囲 ※ 本工事に支障となる最小限の範囲 ・ 図示による ・ () *工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設 ・ 図示による ・ () *既存構造体の撤去範囲 ※ 図示による ・ () *はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 ※ 図示による ・ ()			
8.24.6 施工	*下地処理 ひび割れ部の改修工法種類 ・ 4.1.4による樹脂注入工法 ・ 図示による ・ () 面取りの大きさ(柱及び梁の隅角部) ※ 図示による ・ () *引張強度試験 ・ 行う(試験数量:) ・ 行わない *付着強度試験 ・ 行う(試験数量:) ・ 行わない *補強工事後の仕上げ ※ 図示による ・ ()			
8.24.7 仕上げ				
25節 耐震スリット新設工事				
8.25.2 施工	*スリット幅及び深さ ※ 図示による ・ () *既存仕上の撤去範囲 ※ 本工事に支障となる最小限の範囲 ・ 図示による ・ () *工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設 ・ 図示による ・ () *充填材の挿入及び周囲補修等 耐火材の使用箇所及び仕様 ※ 図示による ・ () 遮音材の使用箇所及び仕様 ※ 図示による ・ () *既存部分の撤去部の補修 ※ 撤去材と同一材で補修 ・ 監督職員との協議による ・ ()			
26節 免震改修工事				
8.26.5 既存部分の撤去等	*既存部分がRC又はSRCの場合の既存仕上の撤去範囲 ※ 本工事に支障となる最小限の範囲 ・ 図示による *工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設 ・ 図示による ・ () *既存構造体の撤去範囲 ※ 図示による ・ () *はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 ※ 図示による ・ () *既存杭の撤去範囲及び撤去方法 ※ 図示による ・ ()			
8.26.6 既存部分の処理	*打継ぎ面となる範囲の既存構造体コンクリート面の目荒しの程度 ※ 図示による ・ () *既存杭の杭頭部等の処理 ※ 図示による ・ ()			
8.26.7 支承材・減衰材	*支承材又は減衰材の材質、諸元 ※ 図示による ・ () *性能確認試験の項目及び数量 ・ () ・ 図示による *製品検査における項目、内容、判定基準、検査頻度等 ・ 図示による ・ () *防錆処置 ・ () ・ 図示による			
8.26.10 支承材又は減衰材の設置	*支承材又は減衰材の設置位置の寸法許容差 ・ () ・ 図示による *割裂補強筋の適用 ・ 適用する ・ 適用しない *コンクリート打込み工法 ・ 流込み工法 ・ 圧入工法 ・ 図示による			
8.26.13 仕上げ	*支承材又は減衰材設置後の仕上げ ・ 図示による ・ ()			
8.26.14 耐火被覆	*支承材への耐火被覆の適用 ・ 適用しない ・ 適用する(仕様:) ・ 図示による			
8.26.15 免震EXP-J	*免震部分周囲のエキスパンションジョイントの仕様、工法等 ※ 図示による ・ ()			
8.26.16 検査	*検査の項目及び数量 ・ () ・ 図示による			
8.26.17 維持管理要領	*記載する項目 ※ 8.26.17(2)による ・ () *地震計、下げ振り、けがき板、別置き試験体等の設置及び仕様 ※ 図示による ・ ()			

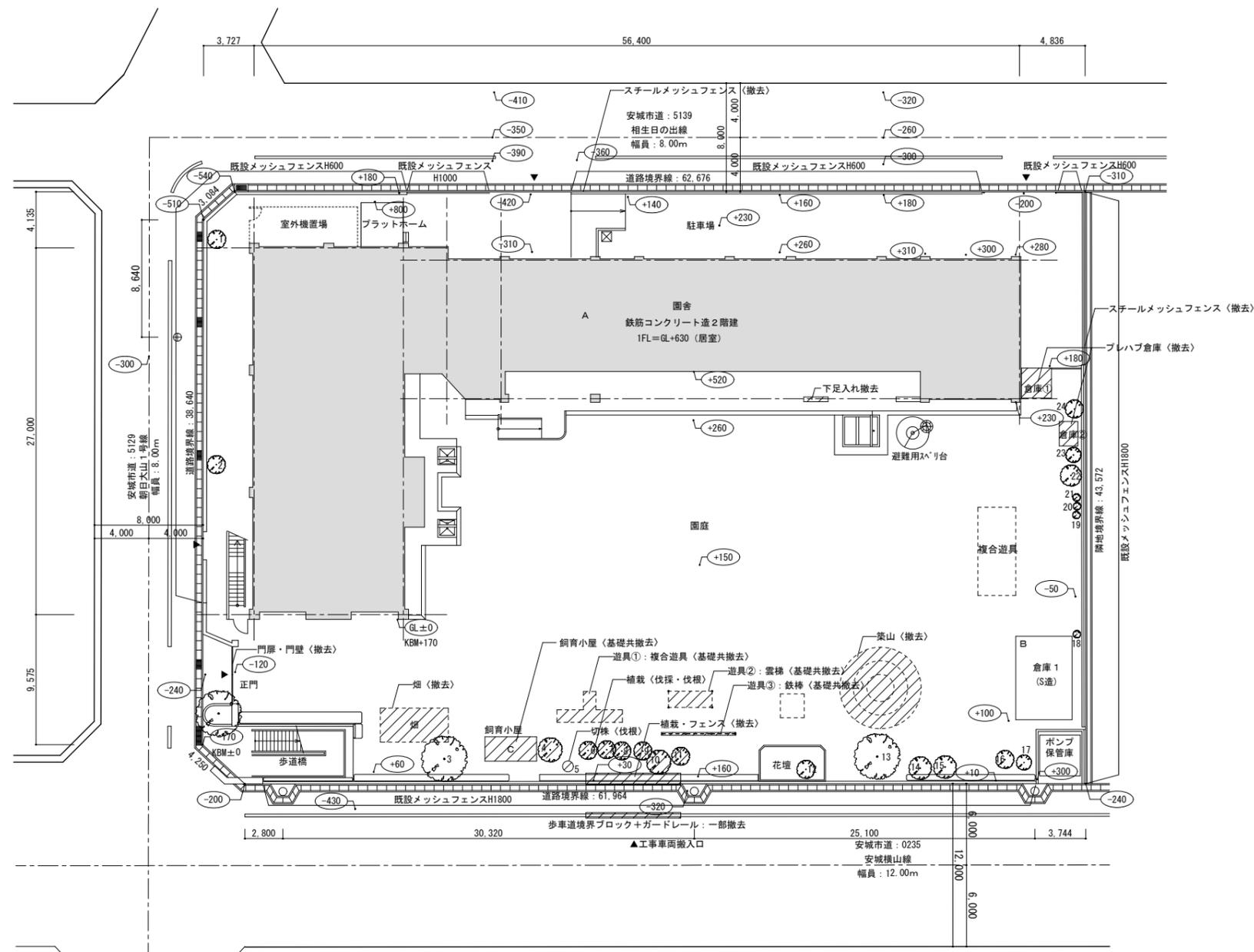
章	項目	特記事項	備考		
8	27節 制振改修工事				
	8.27.2 既存部分の撤去等	*既存鉄筋コンクリート及び既存鉄筋鉄骨コンクリートの撤去等 既存仕上の撤去範囲 ※ 本工事に支障となる最小限の範囲 ・ 図示による ・ () 工事に支障となる設備機器、配管等の撤去、移設 ・ 図示による ・ () 既存構造体の撤去範囲 ※ 図示による ・ () はつりだした鉄筋及び鉄骨の処置 ※ 図示による ・ () *既存鉄骨の撤去範囲及び撤去方法 ※ 図示による ・ () *既存鉄骨の処置 ※ 図示による ・ ()			
	8.27.3 既存部分の処理	*打継ぎ面となる範囲の既存構造体コンクリート面の目荒しの程度 ※ 図示による ・ ()			
	8.27.4 減衰材	*減衰材の材質、諸元 ※ 図示による ・ () *性能確認試験の項目及び数量 ・ () ・ 図示による			
	8.27.6 減衰材の設置	*製品検査における項目、内容、判定基準、検査頻度等 ・ 図示による ・ () *防錆処置 ・ () ・ 図示による 設置位置の寸法許容差 ・ 図示による ・ () *割裂補強筋の適用 ・ 適用する(仕様 ※ 図示による) ・ 適用しない *コンクリート打込み工法 ・ 流込み工法 ・ 圧入工法 ・ 図示による			
	8.27.8 仕上げ	*減衰材設置後の仕上げ ・ 図示による ・ ()			
	8.27.9 検査	*検査の項目及び数量 ・ 図示による ・ ()			
	28節 土工事及び地業工事				
	8.28.2 既存杭の撤去等	*既存杭の撤去範囲及び撤去方法 ※ 図示による ・ () *既存杭の杭頭部等の処理 ※ 図示による ・ () *既存杭の補強 ※ 図示による ・ () *既存杭の健全性を確認する試験 ・ 行う ・ 行わない			
	8.28.3 土工事	*埋戻し及び盛土の材料、工法 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 図示による [表8.28.1] *処分にあたっては「リサイクルガイドライン」に基づき、適正に処理する。 *建設発生土の有無 ・ 有 ・ 無 *建設発生土の処理 ・ 構外搬出(関係法令に従い適切に処理) (搬出先名称(所在地):) (片道運搬距離(km):) (片道運搬時間(時間):) (搬出先条件(土質試験、その他建設発生土の発生抑制や適正処分に必要な情報):)			
	8.28.4 地業工事	*建設発生土を構外へ搬出する場合は、搬出先等の承諾を得たうえで、搬出先及び処分状況(高さ、勾配等)がわかる写真並びに運搬を証明する書類等を監督職員に提出する。 *試験杭の位置 ※ 図示による 本数 ※ 図示による ・ () 本 寸法 ・ () m *試験杭の施工方法 ※ 図示による ・ () *杭の載荷試験 ・ 鉛直載荷試験 ・ 水平載荷試験 試験杭の位置、本数、積載荷重 ※ 図示による ・ () 8.28.4(2)(イ)以外の報告書の記載事項 ・ () *地盤の載荷試験 ・ 平板載荷試験 ・ 行わない 試験位置 ※ 図示による 載荷荷重 ※ 図示による ・ () 8.28.4(2)(イ)以外の報告書の記載事項 ・ () *杭地業の工法 ※ 図示による ・ () *支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ、水平方向の位置ずれの精度 ※ 図示による ・ () *杭の寸法 ※ 図示による ・ () *技能資格者の技量及び溶接部の確認 ・ () ・ 図示による *杭頭処理 ※ 図示による ・ () ・ 無し *本杭の施工方法 ※ 図示による ・ () *記録する施工状況等 ・ () ・ 図示による *砂利及び砂地業 範囲 ※ 図示による 厚さ ※ 60mm ・ () mm ・ 図示による *捨コンクリート 範囲 ※ 図示による 厚さ ※ 50mm ・ () mm ・ 図示による			
	9	1節 石綿含有建材の除去工事	*大気汚染防止法に基づき、適正に対応すること		
	9.1.1 一般事項	*石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ※ 図示による ・ () *石綿粉じん濃度測定 ・ 行う ○行わない 測定時期 測定場所 測定箇所数 備考 処理作業前 ① 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 注1)注4) ② セキュリティゾーン入口 1点 空気の流れを確認注1) 処理作業中 ③ 集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合) 1点 集じん・排気装置の性能確認注1) ④ 施工区画周辺又は敷地境界 4方向各1点 注1) 処理作業後 ⑤ 処理作業室(隔離された区域)内 2点 注2) 隔離シート撤去前 注1) 速報値で10f/L以上検出された場合は、直ちに作業を中止し、その原因を確認すること。 注2) 各施工箇所ごとの室面積が10㎡以下の場合は1点、50㎡までは2点、300㎡以下までは3点とする。 300㎡を超えるものは、300㎡ごとに1測定点を追加する。 注3) 粉じん測定は、粉じん飛散抑制剤を散布した翌日とし、速報値で10f/L以下であることを確認した後、シートの撤去を行うこと。 注4) 処理作業前の測定については、監督員との協議による。 *石綿則第6条による隔離措置と「同等以上の効果を有する措置」により除去等作業を行う場合、上表のうち、①及び④を実施する。 *粉じん濃度測定結果報告書の提出部数 ※ 2部 ・ () 部 *石綿作業主任者は、法令に基づき、労働者の指揮、作業方法の指導等、必要な措置を行うこと。 特に、主たる工事が石綿対策工事の場合は、自社所属の石綿作業主任者を選任すること。 *監督職員等の保護具、保護衣等は、受注者が無償で準備すること。			
	環境配慮改修工事	9.1.2 除去工事共通事項	株式会社デザインボックス名古屋オフィス	安城こども園中規模及び保全改修主体工事	図面番号
			一級建築士 第334761号 河村康弘	建築改修工事特記仕様書 8/10	縮尺 A-8
			検 製 設		

章	項目	特記事項	備考																	
9	9.1.3 石綿含有吹付け材の除去	*除去工法 ※ 図示による () *除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固化 ・ 図示による *除去した石綿含有吹付け材等の処分方法 ・ 9.1.3(3)(イ)(a)による ・ 9.1.3(3)(イ)(b)による																		
	9.1.4 石綿含有保温材等の除去	*除去工法 ※ 図示による () *除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固化 ・ 図示による *除去した石綿含有保温材等の処分方法 ・ 9.1.3(3)(イ)(a)による ・ 9.1.3(3)(イ)(b)による																		
	9.1.5 石綿含有成形板等の除去	*養生シート () *除去した石綿含有成形板(石綿含有せつこうボードを除く)の処分 ・ 使用しない ・ 埋立処分 ・ 中間処分 ・ 図示による																		
	9.1.6 石綿含有仕上塗材の除去	*除去方法 ※ 図示による () *除去した石綿含有成形板の処分 ・ 埋立処分 ・ 中間処分 ・ 図示による *汚泥としての処理の必要有無 ・ 無 ()																		
	2節 外断熱改修工事																			
	9.2.2 材料	*断熱材の種類及び厚さ ※ 図示による () *外装材の種類及び防火性能 ※ 図示による ()																		
	9.2.3 既存外壁の処置	*仕上材の撤去 ※ 図示による () *下地面の清掃 ※ 図示による ()																		
	9.2.4 工法	*断熱材設置部分の下地に欠損部がある場合の改修工法の種類 ※ 図示による () (4.1.4) *建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 () *不陸等の下地調整 ※ 図示による () *断熱材の施工 ※ 図示による () *外装材の施工 ※ 図示による () *通気層の有無、厚さ ※ 図示による () *外装材の外壁への取り付け ※ 図示による ()																		
	3節 断熱・防露改修工事																			
	9.3.2 断熱材打込み工法	*断熱材の種類及び厚さ ※ 図示による ()																		
9.3.3 断熱材現場発泡工法	*断熱材の種類 ・ 図示による () ・ A種1 ・ A種1H *吹付け厚さ ()mm ・ 図示による ()																			
9.3.4 断熱材後張り工法	*断熱材の種類及び厚さ ※ 図示による () 断熱材に石膏ボード等を張り付けたパネルを使用する場合 ※ 図示による () *工法 後張りした断熱材に直接ボードの張付けを行う場合の断熱材への張付け工法 ※ 図示による () 断熱材に石膏ボード等を張り付けたパネルを使用する場合 ※ 図示による ()																			
4節 屋上緑化改修工事																				
9.4.2 材料	*芝及び地被類の種類等 ※ 図示による () *見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※ 図示による ()																			
9.4.3 工法	*建築基準法に基づく風圧力に対応した工法 ※ 図示による () *かん水装置の設置及び種類 ※ 図示による () *既存保護層等の撤去工法 ※ 図示による ()																			
9.4.4 新植芝及び地被類の枯補償	*枯補償の期間 ※ 引渡しの日から1年 ()																			
5節 透水性アスファルト舗装改修工事																				
9.5.2 既存舗装の撤去及び再利用	*既存舗装の撤去 ・ 行わない ・ 行う ※ 図示による () *既存舗装の再利用 ・ 行わない ・ 行う ※ 図示による ()																			
9.5.3 路床	*凍上抑制層の適用及び厚さ ※ 図示による () *透水性舗装に用いるフィルター層厚さ ※ 図示による () *路床安定処理の適用及び方法 ※ 図示による () *盛土材料の種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ※ 図示による () [表8.28.1] *凍上抑制層の材料 ※ 図示による () *砂の粒度試験 ・ 行わない ・ 行う *路床安定処理用添加材料 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライッシュセメントB種 ・ 図示による ・ 生石灰特号 ・ 生石灰1号 ・ 消石灰特号 ・ 消石灰1号 [表9.5.2] *添加材料による路床安定処理 CBR ※ 図示による ()																			
9.5.4 路盤	*路床土のCBR試験 ・ 行わない ・ 行う *路床締め度試験 ・ 行わない ・ 行う *現場CBR試験 ・ 行わない ・ 行う *路盤の厚さ ※ 図示による () *路盤材料 種別 ・ 図示による () [表9.5.3] *舗装の構成 ※ 図示による () *舗装の平坦性 ※ 著しい不陸がないもの ()																			
9.5.9 試験	*開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない																			
その他	特定建設資材の再資源化等 *建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年法律第104号)以下「建設リサイクル法」という。)に基づき、特定建設資材の分別解体等及び再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 なお、本工事に於ける特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、別表1又は2、及び3の積算条件を設定しているが、工事請負契約書の「解体工事に要する費用」等に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されたものであるため、発注者が積算上条件明示した別表の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。ただし、現場条件の変更等、受注者の責によるものではない事項については、この限りでない。また、受注者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法第18条第1項に基づく報告として、監督職員に「再資源化等報告書」を提出すること。「再資源化等報告書」は、https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kensetsu-kikaku/kenchiku-kijyun.html[建築工事事務の手引-関連様式]から入手可能。(注)別表4については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお受注者の提示する施設と異なる場合においても、設計変更の対象としない。																			
事項	*別表1 建築物に係る解体工事 工程ごとの作業内容及び解体方法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>作業内容</th> <th>分別・解体等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 建築設備、内装材等</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>・ 屋根ふき材</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>・ 外装材、上部構造部材</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>※ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>・ 基礎、基礎ぐい</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>※ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>・ その他 ()</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table>	工程	作業内容	分別・解体等の方法	・ 建築設備、内装材等	・ 有 ・ 無	※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用	・ 屋根ふき材	・ 有 ・ 無	※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用	・ 外装材、上部構造部材	・ 有 ・ 無	※ 手作業と機械作業の併用	・ 基礎、基礎ぐい	・ 有 ・ 無	※ 手作業と機械作業の併用	・ その他 ()	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用	
工程	作業内容	分別・解体等の方法																		
・ 建築設備、内装材等	・ 有 ・ 無	※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用																		
・ 屋根ふき材	・ 有 ・ 無	※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用																		
・ 外装材、上部構造部材	・ 有 ・ 無	※ 手作業と機械作業の併用																		
・ 基礎、基礎ぐい	・ 有 ・ 無	※ 手作業と機械作業の併用																		
・ その他 ()	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用																		

章	項目	特記事項	備考																					
その他	事項	*別表2 建築物に係る新築工事等(新築・増築・修繕・模様替) 工程ごとの作業内容及び解体方法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>作業内容</th> <th>分別・解体等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 造等</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>・ 基礎、基礎ぐい</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>※ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>・ 上部構造部分、外装</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>※ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>・ 屋根</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>・ 建築設備、内装等</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>・ その他 ()</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table>	工程	作業内容	分別・解体等の方法	・ 造等	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用	・ 基礎、基礎ぐい	・ 有 ・ 無	※ 手作業と機械作業の併用	・ 上部構造部分、外装	・ 有 ・ 無	※ 手作業と機械作業の併用	・ 屋根	・ 有 ・ 無	※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用	・ 建築設備、内装等	・ 有 ・ 無	※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用	・ その他 ()	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用	
		工程	作業内容	分別・解体等の方法																				
		・ 造等	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用																				
		・ 基礎、基礎ぐい	・ 有 ・ 無	※ 手作業と機械作業の併用																				
		・ 上部構造部分、外装	・ 有 ・ 無	※ 手作業と機械作業の併用																				
		・ 屋根	・ 有 ・ 無	※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用																				
		・ 建築設備、内装等	・ 有 ・ 無	※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用																				
		・ その他 ()	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用																				
		*別表3 建築物以外のものである解体工事又は新築工事等(外構・工作物等) 工程ごとの作業内容及び解体方法 <table border="1"> <thead> <tr> <th>工程</th> <th>作業内容</th> <th>分別・解体等の方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 仮設</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>・ 土工</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>・ 基礎</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>※ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>・ 本体工事</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>・ 本体付属品</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> <tr> <td>・ その他 (さく、照明器具)</td> <td>・ 有 ・ 無</td> <td>※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用</td> </tr> </tbody> </table>	工程	作業内容	分別・解体等の方法	・ 仮設	・ 有 ・ 無	※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用	・ 土工	・ 有 ・ 無	※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用	・ 基礎	・ 有 ・ 無	※ 手作業と機械作業の併用	・ 本体工事	・ 有 ・ 無	※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用	・ 本体付属品	・ 有 ・ 無	※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用	・ その他 (さく、照明器具)	・ 有 ・ 無	※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用	
		工程	作業内容	分別・解体等の方法																				
・ 仮設	・ 有 ・ 無	※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用																						
・ 土工	・ 有 ・ 無	※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用																						
・ 基礎	・ 有 ・ 無	※ 手作業と機械作業の併用																						
・ 本体工事	・ 有 ・ 無	※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用																						
・ 本体付属品	・ 有 ・ 無	※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用																						
・ その他 (さく、照明器具)	・ 有 ・ 無	※ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用																						
*別表4 再資源化等をする施設の名称及び所在地 <table border="1"> <thead> <tr> <th>廃棄物の種類</th> <th>施設の名称</th> <th>所在地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ コンクリート</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄及びコンクリートから成る建設資材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ アスファルト・コンクリート</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 木材 ・ 発生土</td> <td>・ リサイクルプラント</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	廃棄物の種類	施設の名称	所在地	・ コンクリート			・ 鉄及びコンクリートから成る建設資材			・ アスファルト・コンクリート			・ 木材 ・ 発生土	・ リサイクルプラント										
廃棄物の種類	施設の名称	所在地																						
・ コンクリート																								
・ 鉄及びコンクリートから成る建設資材																								
・ アスファルト・コンクリート																								
・ 木材 ・ 発生土	・ リサイクルプラント																							
化学物質を発生する建築材料等の使用制限の原則	本工事に使用する資材は、次の建築材料等の適正な選択による対策を講ずること。 1) ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレン(以下「ホルムアルデヒド等」という。)を発生する建築材料等の使用制限の原則 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対策をとる建築材料等</th> <th>使用制限の原則</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他木質建材</td> <td>ホルムアルデヒド等を発生しないか、発生が極めて少ないJAS又はJISの規格品とする。</td> </tr> <tr> <td>② 家具、書架、実験台、その他の什器等</td> <td>①⑤⑦に掲げる建築材料等を使用している場合には、ホルムアルデヒド等を発生しないか、発生が極めて少ないものとする。</td> </tr> <tr> <td>③ ユリア樹脂板</td> <td>ホルムアルデヒド等を発生しないか、発生が極めて少ないものとする。</td> </tr> <tr> <td>④ 壁紙</td> <td>ホルムアルデヒド等を発生しないか、発生が極めて少ないJAS又はJISの規格品とする。</td> </tr> <tr> <td>⑤ 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑥ 保温材、緩衝材、断熱材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦ 塗料</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑧ 仕上塗材</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対策をとる建築材料等	使用制限の原則	① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他木質建材	ホルムアルデヒド等を発生しないか、発生が極めて少ないJAS又はJISの規格品とする。	② 家具、書架、実験台、その他の什器等	①⑤⑦に掲げる建築材料等を使用している場合には、ホルムアルデヒド等を発生しないか、発生が極めて少ないものとする。	③ ユリア樹脂板	ホルムアルデヒド等を発生しないか、発生が極めて少ないものとする。	④ 壁紙	ホルムアルデヒド等を発生しないか、発生が極めて少ないJAS又はJISの規格品とする。	⑤ 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤		⑥ 保温材、緩衝材、断熱材		⑦ 塗料		⑧ 仕上塗材						
対策をとる建築材料等	使用制限の原則																							
① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他木質建材	ホルムアルデヒド等を発生しないか、発生が極めて少ないJAS又はJISの規格品とする。																							
② 家具、書架、実験台、その他の什器等	①⑤⑦に掲げる建築材料等を使用している場合には、ホルムアルデヒド等を発生しないか、発生が極めて少ないものとする。																							
③ ユリア樹脂板	ホルムアルデヒド等を発生しないか、発生が極めて少ないものとする。																							
④ 壁紙	ホルムアルデヒド等を発生しないか、発生が極めて少ないJAS又はJISの規格品とする。																							
⑤ 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤																								
⑥ 保温材、緩衝材、断熱材																								
⑦ 塗料																								
⑧ 仕上塗材																								
2) トルエン、キシレン及びエチルベンゼン(以下「トルエン等」という。)を含有する塗料及び接着剤の使用制限の原則 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対策をとる建築材料等</th> <th>使用制限の原則</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤</td> <td>トルエン等の含有量が少ないJAS又はJISの規格品とする。</td> </tr> <tr> <td>② 塗料</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対策をとる建築材料等	使用制限の原則	① 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤	トルエン等の含有量が少ないJAS又はJISの規格品とする。	② 塗料																			
対策をとる建築材料等	使用制限の原則																							
① 壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート及び幅木等の施工時に使用する接着剤	トルエン等の含有量が少ないJAS又はJISの規格品とする。																							
② 塗料																								
3) クロルピリホス、ダイアジノン及びフェノフカルブ(以下「クロルピリホス等」という。)を含有する防霉・防蟻剤の使用制限 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対策をとる建築材料等</th> <th>使用制限</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木材保存(木材の防霉・防蟻処理)剤</td> <td>クロルピリホス等を含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧防霉・防蟻処理等は工場で行い、十分乾燥した後に現場へ搬入する。</td> </tr> </tbody> </table>	対策をとる建築材料等	使用制限	木材保存(木材の防霉・防蟻処理)剤	クロルピリホス等を含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧防霉・防蟻処理等は工場で行い、十分乾燥した後に現場へ搬入する。																				
対策をとる建築材料等	使用制限																							
木材保存(木材の防霉・防蟻処理)剤	クロルピリホス等を含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧防霉・防蟻処理等は工場で行い、十分乾燥した後に現場へ搬入する。																							
4) 可塑剤を使用している建築材料等の使用制限の原則 <table border="1"> <thead> <tr> <th>対策をとる建築材料等</th> <th>使用制限の原則</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 壁紙用接着剤</td> <td>フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているJAS又はJISの規格品とする。</td> </tr> <tr> <td>② 木工用接着剤</td> <td>フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。</td> </tr> </tbody> </table>	対策をとる建築材料等	使用制限の原則	① 壁紙用接着剤	フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているJAS又はJISの規格品とする。	② 木工用接着剤	フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。																		
対策をとる建築材料等	使用制限の原則																							
① 壁紙用接着剤	フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているJAS又はJISの規格品とする。																							
② 木工用接着剤	フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。																							
工事で使用する資材・機材	本工事に使用する資材・機材は、令和7年版国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の各標準仕様書、本特記仕様書、並びに図面で指定された品質、性能を有するものほか、以下のものとする。 1) (一社)公共建築協会の「建築材料・設備器材等品質性能評価事業」により評価を受けた建築材料・設備器材等(以下「評価名簿登録品」という)。ただし、評価書の「納入地区及びアフターサービス地区」に当該工場所が含まれる場合に限る。 2) (一財)ベターリビングが認定した優良住宅部品(BL部品)。ただし、現場においてBLマーク表示が確認できるものに限る。 3) その他、各標準仕様書の仕様規定及び試験方法に適合することが証明書等で確認でき、監督職員に承諾を得られたもの。(定期的なメンテナンスが必要になる機材については、メンテナンス(アフターサービス)の体制についても監督職員に承諾を得られること。) なお「評価名簿登録品」は、(一社)公共建築協会の「建築材料・設備器材等品質性能評価事業」の評価書の写しを提出することにより、その評価を受けたこと及びメンテナンスの体制があることについて証明することができる。																							
	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士 第334761号 河村康弘 検 製 設 図 図 計	安城こども園中規模及び保全改修主体工事 建築改修工事特記仕様書 9/10 縮尺	図面番号 A-9																					

■建物概要・	
工事名称・	安城こども園中規模及び保全改修等工事
建築場所・	愛知県安城市相生町18番7号 (地名地番: 愛知県安城市相生町231、232、233、233-1の一部、234の一部)
防火地域・	準防火地域
用途地域・	商業地域
主要用途・	認定こども園
構造・	鉄筋コンクリート造
階数・	地上 2階建て
基準建ぺい率/容積率	80 % / 400 %
計画建ぺい率/容積率	30.81 % / 56.74 %
敷地面積・	2771.29 m ²
建築面積・	853.96 m ²
延床面積・	1572.39 m ²
備考・	

■工事概要・	
I) 保全改修工事	
1. 屋根改修工事	
2. 外壁改修工事	
3. 外部建具改修工事	
II) 中規模改修工事	
1. 保育室改修工事	
2. トイレ改修工事	
3. 2階廊下改修工事	
4. 階段室、下足室改修工事	
5. テラス改修工事	
III) 周辺整備改修工事	
1. 正門改修工事	
2. 倉庫新築工事(飼育小屋撤去、プレハブ倉庫撤去)	
3. 遊具設置工事	
4. 工事用乗入口設置に伴う撤去・復旧工事(道路構造物・遊具・植栽)	

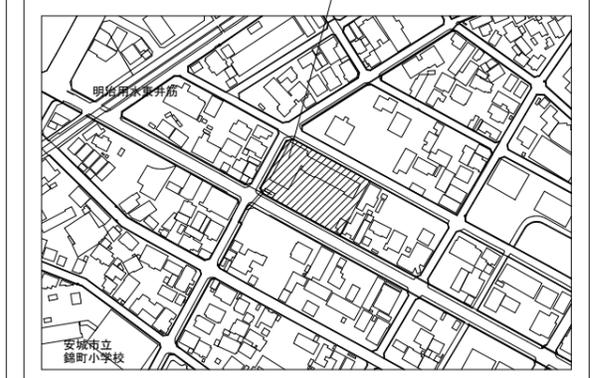


配置図(改修前) 1/200

凡例	
	現況地盤 (GL=0)
	街路灯
	L型側溝
	U字型側溝 W=600
	利用者出入口
	撤去範囲

樹木 (○印撤去)	⑦	H=2000 100φ	14	H=3500 200φ	22	H=2000 100φ	
1	H=3000 150φ	⑧	H=2500 100φ	15	H=3500 200φ	23	H=4000 250φ
2	H=3000 150φ	⑨	H=2500 100φ	16	H=3500 200φ	24	H=3500 200φ
3	H=6000 400φ	⑩	H=2500 100φ	17	H=3500 200φ	25	H=2500 200φ
④	H=1400 100φ	⑪	H=3500 150φ	18	H=3000 100φ		
⑤	H=600 250φ	12	H=2500 100φ	20	H=2000 100φ		
⑥	H=2000 100φ	13	H=3500 250φ	21	H=2000 100φ		

付近見取図 S=1/2500 計画地: 安城市相生町18番7号



工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)
図面名	配置図(改修前)・付近見取図・工事概要・建物概要		図面番号 A-11
縮尺	1/200・1/2500	設計	
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県(いー3)第13966号	一級建築士334761 河村康弘

外部仕上表・・・																
□・・・アスベスト含有建材を示す（以降各図共通）※机上調査結果も含む																
部位・	改修前			改修後			部位・	改修前			改修後					
屋根 (勾配屋根)	硬質木片セメント板 t=20 + アスファルトルーフィング + 平形彩色スレート材 平棟包役物：同材			水洗いの上、弱溶剤系屋根用塗料（新設）			勾配屋根 東面Y0~Y2	ケイ酸カルシウム板 t=6 + VP			下地調整（R種）の上 EP塗替					
	破風板・鼻隠し・けらば水切り：カラー銅板			水洗いの上、弱溶剤系金属屋根用塗料（新設）				C + リシン吹付 目地切			水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上材（新設）					
屋根 (陸屋根)	ウレタン塗膜複合防水			（既設のまま）			西面Y1~Y3	C + リシン吹付 目地切			下地処理（下地ひび割れ等の補修）、水洗い・清掃、下地調整 水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上材（新設）					
外壁	北西・東面・西面 南面X4~X11 南面X0~X4一部 柱型・梁型			C + 吹付タイルRE (劣化部補修) モルタル金コテ + 吹付タイルRE (劣化部補修)			軒裏	X3~X10			ベニア板枠コンクリート打ち出し + リシン吹付			下地処理（下地ひび割れ等の補修）、水洗い・清掃、下地調整 水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上材（新設）		
	南面X0~X4一部			モザイクタイル貼 50×50（一部デザインパターン） (劣化部補修)			昇降口1	磁器質タイル貼 150×150			（既設のまま）			■外部・内部改修 共通事項 アルミ製建具：(建具周囲)シーリング<撤去>(新設) (MS-2) 鋼製建具：(建具周囲)シーリング<撤去>(新設) (MS-2)、下地調整 (R種)の上DP塗替 外部に面する鉄部：全て 下地調整 (R種)の上 DP塗替 外部に面する金属・躯体取り合い部：全て シーリング<撤去>(新設) (MS-2) 化粧目地部：シーリング<新設> (PU-2) 巾木部：シーリング<撤去>(新設) (PU-2) 防水・塗装改修面は全て水洗い(15MPa程度)のこと。 高圧洗浄は30MPa程度とする。(劣化部除去) 特記なき限りDP塗装は1級(フッ素)とする。 ※特記なき限り、防水型複層塗材、可とう型改修塗材及び シリコントップコートは耐候型1種(セラミックシリコン)とする。 既設塗膜の剥がれ箇所は、模様合わせの上、塗替えとする。 外部の塗装改修は0.7mm塗替を基本とする。 ※ 特記なき設備配管及び盤は下地処理 (R種)の上DP塗替えとする。 既設設備配管合計：142,000mm		
	巾木			モルタル金コテ t=20 (劣化部補修)			昇降口2 スロープ	磁器質タイル貼 150×150			（既設のまま）					
屋外階段			踏面・蹴上 防水モルタル金コテ 目地切			プラットホーム	モルタル金コテ 目地切			（既設のまま）						
屋外階段	段鼻			SUSノンスリップ (アンカー)			スロープ	モルタルほき目仕上げ			（既設のまま）					
	手摺壁			C + VP (カラー) (劣化部補修) C + 吹付タイルRE (劣化部補修)			テラス	モルタル金コテ コテ目地切 段鼻：ノンスリップタイル貼 (残置) ゴムマット t=15 (撤去) 人造石 研出し t=120			下地調整の上、防滑性ビニル床シート (新設) 階段部：下地調整の上、階段用防滑性ビニル床シート (新設) モルタル補修 t=20の上、防滑性ビニル床シート (新設)					
庇	昇降口1			天端：防水モルタル 下地シート防水 (歩行用) + 歩行用コンクリート 軒裏：ケイ酸カルシウム板 t=6 + VP 見付：C + 吹付タイル 化粧目地切 (劣化部補修)			軒樋	硬質塩ビ製 W=150 (撤去) SUS製吊金物@600 (撤去)			硬質塩ビ製 W=150 (新設) SUS製吊金物@600 (新設)			■周辺整備 ・門扉 (正門)：鋼製両開き大型門扉 W=4200 H=1160 (撤去) アルミ製大型引き扉門扉 H=1400 (新設) ・飼育小屋 (撤去) ・物置 2ヶ所 (撤去) ・畑 (移設) ・プレハブ物置 (新設)		
	プラットホーム 倉庫			天端：防水モルタル金コテ 目地切 軒裏：C + リシン吹付 一部 ケイ酸カルシウム板 t=6+VP 見付：防水モルタル金コテ 目地切 (劣化部補修)			堅樋	硬質塩ビパイプ Φ100 + VP (カラー) (GL以上撤去)			VP100φ カラー塩ビ製 (GL以上新設) 掴み金物：SUS製@1000以下 下り止め共 ドレン管接続部復旧共					
	テラス			軒裏：C + リシン吹付 (劣化部補修) 見付：C + VP (カラー) (劣化部補修)			ガラリー (1階)	ガラリー (残置)			アルミ複合パネル t=3 (新設) 金属・コンクリート用接着材の上 コンクリートビス取付 (4ヶ所) 4周シーリングMS-2 (新設)					
	テラス			軒裏：C + リシン吹付 (劣化部補修) 見付：C + VP (カラー) (劣化部補修)			ガラリー (2階)	ガラリー (残置)								

内部仕上表・・・ □・・・アスベスト含有建材を示す（以降各図共通）※机上調査結果も含む

階	室名・	改修	床下地	床	FL	巾木	壁下地	壁	天井	天井高さ	備考		
共通	階段室2 SS3新築	改修前	C	踏面 モルタル金コテ (残置) + 長尺塩ビシート (撤去) 踏込 人造石研出し (残置) 段鼻：ノンスリップ (異輪製) (撤去)	-	人造石 研出し H=100 (残置)	C	▷	モルタル金コテ + 吹付タイル (劣化部補修)	LGS	化粧石膏ボード t=9	-	階段手摺：(内側) 集成材 32φ + CL (撤去) カーテン (取外し)、カーテンレール (残置)
		改修後	C	踏面・蹴上：下地調整の上 階段用防滑性ビニル床シート t=2 張 (新設) 段鼻：下地調整の上 階段用防滑性ビニル床シート 段鼻専用材 (新設)	-	既設巾木クリーニング	C	▷	下地調整 (R種)の上 複層塗材 Si (新設)	LGS	下地調整 (R種)の上 EP塗替	-	階段手摺：(両側) 半硬質樹脂 (木目) 34φ 2段 (新設) カーテン (再取付)
1階	保育室3 H10廃舎改修	改修前	C	モルタル金コテ (残置) + フローリングブロック t=15+OSW (残置、一部撤去)	±0	木製 H=100 + SOP (残置、一部撤去)	C C LGS	▷	モルタル金コテ + AEP (劣化部補修) 木下地 T1ベニア t=5.5 + 壁紙貼 (木下地共撤去) 石膏ボード t=9.5+12.5 + 掲示用壁紙貼 (壁紙撤去)	LGS	化粧石膏ボード t=9.5 (一部取外し)	2400	カーテンボックス・額縁 木部：OP塗装、掃除具入れ (撤去) 園児ロッカー (撤去)、TV台 (撤去)、ホワイトボード (撤去) カーテン (取外し)、カーテンレール (残置)、ガラリー (残置)
		改修後	C	サンダー掛け (一部) 無垢フローリングブロック (無塗装品) t=15 (新設) + 水性ポリウレタン樹脂塗装 3回塗り (最終2液)	±0	下地調整 (R種)の上 SOP塗替 木製 H=100 + SOP (新設)	C C LGS C	▷	下地調整 (R種)の上 複層塗材 Si (新設) 木下地 石膏ボード t=9.5 + 掲示用壁紙 + 木枠 (木下地共新設) 壁紙 (新設) ガラリー撤去部分：木下地 石膏ボード t=12.5+12.5 + 複層塗材 Si	LGS	下地調整 (R種)の上 EP塗替 化粧石膏ボード t=9.5 (一部再取付)	2400	カーテンボックス (レール取付部以外)、額縁 木部：下地調整の上 SOP 塗装 掃除具入れ (新設)、園児ロッカー (新設)、ホワイトボード (新設) カーテン (再取付)
保育室4 H09増改築	保育室5 H09増改築	改修前	C	モルタル金コテ (残置) + フローリングブロック t=15+OSW (残置、一部撤去)	±0	木製 H=100 + SOP (残置、一部撤去)	C	▷	モルタル金コテ + AEP (劣化部補修) 掲示板：T1ベニア t=5.5 + 掲示用壁紙貼 (木下地・枠共撤去)	LGS	化粧石膏ボード t=9.5 (一部取外し)	2400	カーテンボックス・額縁 木部：OP塗装、掃除具入れ (撤去) 園児ロッカー (撤去)、黒板 (撤去)、カーテン (取外し)、カーテンレール (残置) ガラリー (残置)
		改修後	C	サンダー掛け (一部) 無垢フローリングブロック (無塗装品) t=15 (新設) + 水性ポリウレタン樹脂塗装 3回塗り (最終2液)	±0	下地調整 (R種)の上 SOP塗替 木製 H=100 + SOP (新設)	C	▷	下地調整 (R種)の上 複層塗材 Si (新設) 掲示板：木下地 石膏ボード t=9.5 + 掲示用壁紙貼 (木下地共新設) ガラリー撤去部分：木下地 石膏ボード t=12.5+12.5 + 複層塗材 Si	LGS	下地調整 (R種)の上 EP塗替 化粧石膏ボード t=9.5 (一部再取付)	2400	カーテンボックス (レール取付部以外)、額縁 木部：下地調整の上 SOP 塗装 掃除具入れ (新設)、園児ロッカー (新設)、ホワイトボード (新設) カーテン (再取付)
トイレ2 H09増改築	トイレ3 SS3新築 H10廃舎改修	改修前	C	モルタル金コテ t=30 (撤去) + 磁器モザイクタイル貼 50×50 (撤去)	-30	壁同材 (残置)	C	▷	陶器質100角タイル貼 (劣化部補修)	LGS C	ケイ酸カルシウム板 t=6 + VP (下地共撤去) 吹付タイルE	2390	SUS音櫃 (撤去)、SUS3方枠 (撤去)、SUS手洗い (撤去)、床点検口 (撤去)、天井点検口 (撤去) 掃除具入れ (撤去)、トイレブース (撤去)、ビニールカーテン (レール共撤去) ライニング (新設)、ライニング面台：人造石研出し (撤去)
		改修後	C	モルタル金コテ t=60 (新設) + 防汚・防滑性ビニルシート t=2 (新設)	±0	ビニル巾木 H=100 (新設)	C	▷	メラミン化粧合板 t=3 張 (接着張工法) (新設)	LGS C	化粧石膏ボード t=9.5 (下地共新設) 下地調整 (R種)の上 複層塗材 E	2360	SUS音櫃 (新設)、SUS3方枠 (新設)、SUS手洗い (新設)、床点検口 (新設)、天井点検口 (新設) トイレブース (新設)、ビニールカーテン (レール共新設) ライニング (新設)、ライニング面台：ポストフォーム製 (新設)、掃除具フック (新設)
トイレ3 SS3新築 H10廃舎改修	トイレ3 SS3新築 H10廃舎改修	改修前	C	モルタル金コテ t=30 (撤去) + 磁器モザイクタイル貼 25×25 (下地共撤去) 人造石研出し (撤去) + ビニルマット t=15 (撤去) 床見切：人造石研出し (撤去)	-30	壁裏同材 (残置) 人造石研出し H=100 (撤去)	C	▷	陶器質100角タイル貼 (劣化部補修)	LGS	ケイ酸カルシウム板 t=6 + VP (下地共撤去)	2450	人造石研出し製手洗い (撤去)、床点検口 (撤去)、天井点検口 (撤去)、掃除具入れ (撤去) トイレブース (撤去)、ビニールカーテン (レール共撤去) SUS3方枠 (撤去)
		改修後	C	モルタル金コテ t=60 (新設) + 防汚・防滑性ビニルシート t=2 (新設) 床見切：SUS製見切り材 (新設)	±0	ビニル巾木 H=100 (新設)	C	▷	メラミン化粧合板 t=3 張 (接着張工法) (新設)	LGS	化粧石膏ボード t=9.5 (下地共新設)	2420	SUS手洗い (新設)、床点検口 (新設)、天井点検口 (新設)、吊戸棚 (新設) トイレブース (新設)、ビニールカーテン (レール共新設)、掃除具フック (新設) ライニング (新設)、ライニング面台：ポストフォーム製 (新設)

【特記事項】	・ 弱溶剤系屋根用塗料 エスケー化研：ヤネフレッシュSi 同等品とする。	・ 照明器具、空調機器取替部分の天井材の施工内容は図示による。	・ 倉庫2の確認申請、完了検査の手続き及び費用は本工事に含む。
・ 特記なき限り複層塗材Siはローラー仕上とする。	・ 水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上材 エスケー化研：ノキフレッシュセラ 同等品とする。	・ 取替部分の天井材厚さは、既設部分と同じとする。	
・ 防汚・防滑性ビニル床シート 東リ：NSトワレNM 同等品とする。	・ 飛散防止フィルム リンテック：WINCO S1501UM 飛散防止対策 (透明) 同等品とする。	・ 掲示板用クロス サンゲツ：サンフォームベシック (準不燃) 同等品とする。	
・ 防滑性ビニル床シート タキロン：プラスケアPV 同等品とする。(テラス階段部 (段鼻・蹴込共) は専用部材を用いること)	・ 壁の (劣化部補修) は劣化調査報告書をもとに、ひび割れ・浮き補修を示す。	・ カーテンボックス (レール取付部以外)、額縁・見切縁 木部は、下地調整 (R種)の上 SOP塗替とする。	
・ 階段用防滑性ビニル床シート タキロン：タキステップ7F及びGK 同等品とする。	・ トイレ壁タイル (劣化部補修) について、ひび割れ部は (撤去)の上、モルタル塗り t=10とする。	・ 「フローリングサンダー掛け」の仕様は「#30 #50 #80 3回掛け」とすること。	
・ メラミン化粧合板 アイカ：セラル 同等品とする。	・ モルタル壁 (劣化部補修) について、上記「共通事項」を参照の上、補修すること。	・ ピクチャーレール (新設) はランナーフック (1辺あたり20個) 共新設とする。	
・ WPは大豆塗料 水性VATONプラス 同等品とする。	・ 既存タイル下地の場合、メラミン化粧合板は接着張工法とする。	・ フローリングブロック/フローリングボード (新設) 部分は1階：モルタル補修 t=30、2階：木下地 45角 共新設とする。	
・ H10増改修 ヲガワ：(生地本体) シャワーカーテン PK9554~9559 (上部) メッシュA/Mサイズ PK9041~9045 1.5倍セダ 同等品とする。	・ 特記なき限り、化粧石膏ボードはトババーン模様とする。	・ フローリングブロック/フローリングボードについて、割れ、欠損等劣化部分は部分張り替えを行うこと。(参考数量床面積3%程度)	
・ カーテンレール TOSO：アルミニウム合金押出材 固定吊棒セット 同等品とする。	・ トイレブース用カーテンは全て<撤去>(新設)とする。	対象箇所：各保育室、2階廊下	
	ランナーは合成樹脂製 (20個) とし、各カーテン両端にマグネットキャッチを設けること。	・ 天井塗替え部において、既存劣化部分は、<撤去>(新設)とする。	

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)																				
凡例	C	コンクリート下地	LGS	軽量鉄骨	OP	油性調合ペイント塗	CP	クリアラッカー塗	【耐火認定等】	・ 石膏ボード t=12.5	不燃 NM-8619	【共通一般事項】	工事名	安城こども園規模及び保全改修主体工事		図面番号	A-13			
	M	モルタル下地	SW	小樺	SOP	合成樹脂調合ペイント塗	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗		・ 石膏ボード t=9.5	準不燃 OM-9828		・ 内装仕上げ、建具及び天井裏使用材料は全てF☆☆☆☆とする。また、使用材料は無石綿とする。	図名	外部仕上表・内部仕上表1 (改修前・改修後)		縮尺	-	設計	
	W	木製床下地、木製下地	SUS	ステンレス	EP	つや合成樹脂エマルジョンペイント塗	EP-G	つや合成樹脂エマルジョンペイント塗		・ 化粧石膏ボード t=9.5	準不燃 OM-0524		・ アスベスト撤去作業時は撤去範囲を区画し、床・壁養生を行うこと。	日付	2025. 12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス		一級建築士事務所	愛知県 (11-3) 第13966号	河村弘広
	LC	軽量コンクリート	t	板厚	VP	塩化ビニル樹脂塗料塗	WP	木製保護塗料塗		・ 強化石膏ボード t=15	不燃 NM-8615		・ 特記なき限り床見切りはSUS製とする。							
	CB	コンクリートブロック	UC		UC	水性*100樹脂塗料3回塗 (最終2液)	EP-T	合成樹脂エマルジョン模様塗料塗		・ ケイ酸カルシウム板	不燃 NM-8578		・ 床下及び天井点検口の位置については、監督員と協議すること。							
S	鋼製床下地、軽量鉄骨下地	DP		DP	耐水性塗料塗	FE	フタル酸樹脂エマル	・ 合成樹脂エマルジョンペイント	不燃 NM-8585											

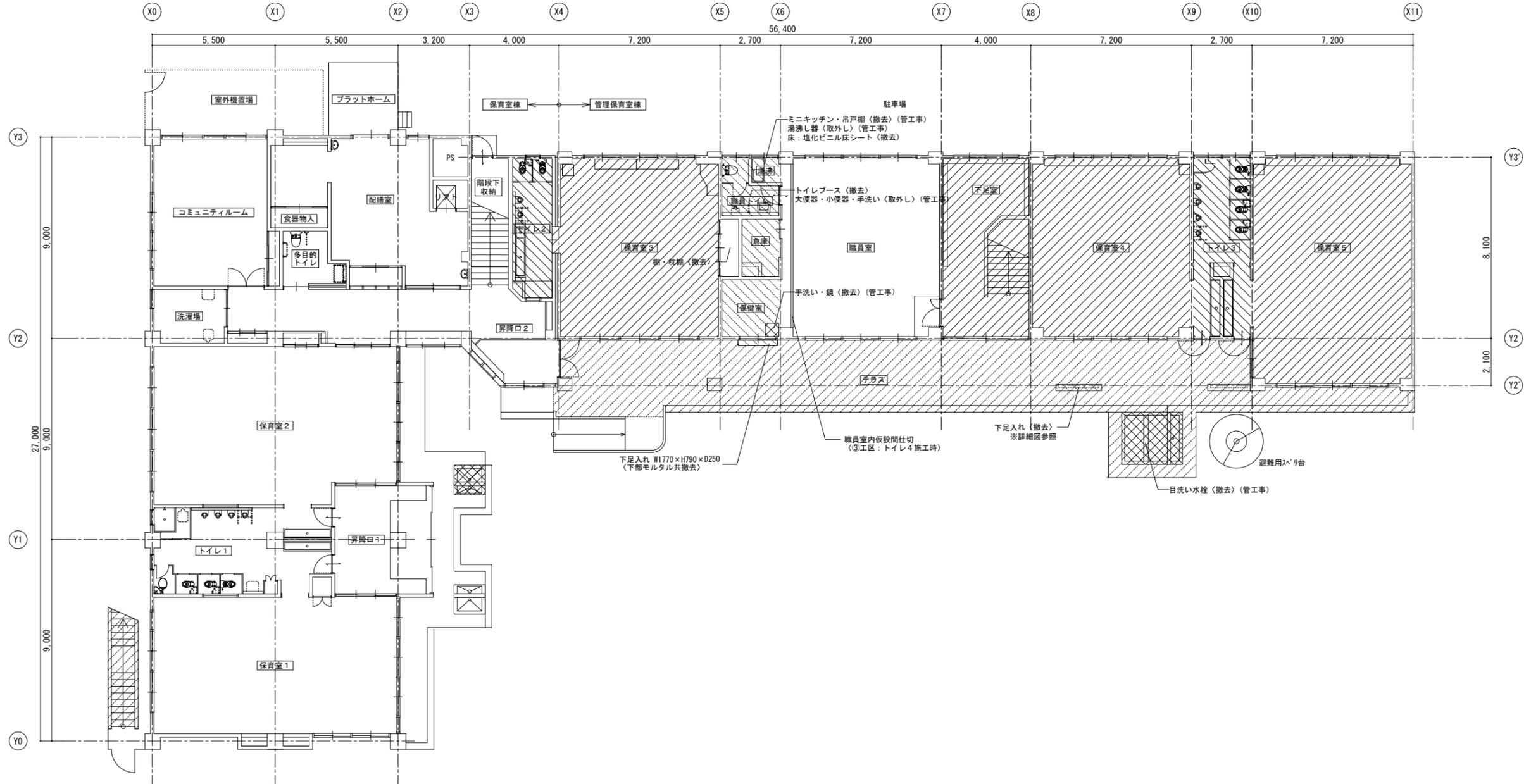
内部仕上表・・・														
・・・アスベスト含有建材を示す(以降各図共通) ※机上調査結果も含む														
階	室名・	改修	床下地	床	FL	巾木	壁下地	腰壁	壁	天井下地	天井	天井高さ	備考	
1階	下足室 553新築	改修前	C	モルタル金コテ(残置) + 防汚性ビニル床シート(撤去) ゴムマット t=15(枠共撤去)	-100	人造石研出し H=100(残置)	C	▷	モルタル金コテ + EP(劣化部補修)	LGS	パーライト吹付 t=10(撤去)	2170	下足入れ(撤去)、カーテン(取外し)・カーテンレール(残置)、額縁(残置) 掃除具入れ(撤去)	
		改修後	C	下地調整の上 防汚性ビニル床シート t=5 張(新設) ゴムマット撤去部: モルタル補修 t=20の上 防汚性ビニル床シート t=5 張(新設)	-100	既設巾木クリーニング	C	▷	下地調整(RB種)の上 複層塗材 Si(新設)	LGS	下地調整(RB種)の上 EP塗替	2170	額縁 木部:SOP塗装、下足入れ(新設)、掃除具入れ(新設) カーテン・カーテンレール(再取付)	
	倉庫・保健室	改修前								LGS	保健室: 化粧石膏ボード t=9(下地共撤去) 倉庫: 石膏ボード t=9 + EP(下地共撤去)	2400		
		改修後								LGS	化粧石膏ボード t=9(下地共新設)	2400		
	職員トイレ・湯沸 トイレ1・洗濯場・配膳室	改修前			湯沸: 塩化ビニル床シート(撤去)					LGS	職員トイレ・湯沸: 石鹸ケイ酸カルシウム板 t=6 + EP(下地共撤去) その他: ケイ酸カルシウム板 t=6 + VP(下地共撤去)	2400		
		改修後			湯沸: 塩化ビニル床シート(新設)					LGS	ケイ酸カルシウム板 t=6 + VP(下地共新設)	2400		
	コミュニティールーム 昇降口1・2・保育室1・2	改修前								LGS	化粧石膏ボード t=9.5 + AEP(一部取外し)	2400		
		改修後								LGS	化粧石膏ボード t=9.5(一部再取付)	2400		
	2階	保育室6 H10園舎改修	改修前	W	フローリングボード t=15 + OSW(残置)	±0	木製 H=100 + SOP (残置・一部撤去)	C LGS C	▷	モルタル金コテ + AEP(劣化部補修) 石膏ボード t=9.5 + t=12.5 + AEP(残置) 掲示板: T1ベニア t=5.5 + 掲示用壁紙貼(木下地枠共撤去)	LGS	化粧石膏ボード t=9.5(一部取外し)	2400	カーテンボックス・額縁 木部: OP塗装、掃除具入れ(撤去)、園児ロッカー(撤去) ホワイトボード(撤去)、ビクチャーレール(撤去)、SUS手摺(撤去) カーテン(取外し)、カーテンレール(残置)、ガラリ(残置)
			改修後	W	サンダー掛け (一部)フローリングボード(無塗装品) t=15(新設) + 水性ポリウレタン樹脂塗装3回塗り(最終2液)	±0	下地調整(RB種)の上 SOP塗替 木製 H=100 + SOP(新設)	C LGS C	▷	AEP部: 下地調整(RB種)の上 複層塗材 Si(新設) 掲示板: 木下地 石膏ボード t=9.5 + 掲示用壁紙貼(新設) ガラリ撤去部分: 木下地 石膏ボード t=12.5 + 12.5 + 複層塗材 Si	LGS	下地調整(RB種)の上 EP塗替 化粧石膏ボード t=9.5(一部再取付)	2400	カーテンボックス(レール取付部以外)・額縁 木部: 下地調整の上 SOP塗装、掃除具入れ(新設) 園児ロッカー(新設)、ホワイトボード(新設)、ビクチャーレール(新設) カーテン(再取付)
保育室7 553新築		改修前	W	フローリングボード t=15 + OSW(残置・一部撤去)	±0	木製 H=100 + OP (残置・一部撤去)	C	▷	モルタル金コテ + AEP(劣化部補修) 掲示板: T1ベニア t=5.5 + 掲示用壁紙貼(木下地枠共撤去)	LGS	化粧石膏ボード t=9 + AEP(一部取外し)	2400	カーテンボックス・額縁 木部: OP塗装、掃除具入れ(撤去)、園児ロッカー(撤去) 黒板(撤去) ビクチャーレール(撤去)、スチール手摺(撤去) カーテン(取外し)・カーテンレール(残置)、ガラリ(残置)	
		改修後	W	サンダー掛け (一部)フローリングボード(無塗装品) t=15(新設) + 水性ポリウレタン樹脂塗装3回塗り(最終2液)	±0	下地調整(RB種)の上 SOP塗替 木製 H=100 + SOP(新設)	C	▷	下地調整(RB種)の上 複層塗材 Si(新設) 掲示板: 木下地 石膏ボード t=9.5 + 掲示用壁紙貼(新設) ガラリ撤去部分: 木下地 石膏ボード t=12.5 + 12.5 + 複層塗材 Si	LGS	下地調整(RB種)の上 EP塗替 化粧石膏ボード t=9(一部再取付)	2400	カーテンボックス(レール取付部以外)・額縁 木部: 下地調整の上 SOP塗装、掃除具入れ(新設) 園児ロッカー(新設)、ホワイトボード(新設)、ビクチャーレール(新設) カーテン(再取付)	
保育室8 553新築		改修前	W	フローリングボード t=15 + OSW(残置・一部撤去)	±0	木製 H=100 + OP (残置・一部撤去)	C	▷	モルタル金コテ + AEP(劣化部補修) 掲示板: T1ベニア t=5.5 + 掲示用壁紙貼(木下地枠共撤去)	LGS	化粧石膏ボード t=9 + AEP(一部取外し)	2400	カーテンボックス・額縁 木部: OP塗装、掃除具入れ(撤去)、園児ロッカー(撤去) 黒板(撤去) ビクチャーレール(撤去)、スチール手摺(撤去) カーテン(取外し)・カーテンレール(残置)、ガラリ(残置)	
		改修後	W	サンダー掛け (一部)フローリングボード(無塗装品) t=15(新設) + 水性ポリウレタン樹脂塗装3回塗り(最終2液)	±0	下地調整(RB種)の上 SOP塗替 木製 H=100 + SOP(新設)	C	▷	下地調整(RB種)の上 複層塗材 Si(新設) 掲示板: 木下地 石膏ボード t=9.5 + 掲示用壁紙貼(新設) ガラリ撤去部分: 木下地 石膏ボード t=12.5 + 12.5 + 複層塗材 Si	LGS	下地調整(RB種)の上 EP塗替 化粧石膏ボード t=9(一部再取付)	2400	カーテンボックス(レール取付部以外)・額縁 木部: 下地調整の上 SOP塗装、掃除具入れ(新設) 園児ロッカー(新設)、ホワイトボード(新設)、ビクチャーレール(新設) カーテン(再取付)	
保育室9 553新築		改修前	W	フローリングボード t=15 + OSW(残置・一部撤去)	±0	木製 H=100 + OP (残置・一部撤去)	C	▷	モルタル金コテ + AEP(劣化部補修) 掲示板: T1ベニア t=5.5 + 掲示用壁紙貼(木下地枠共撤去)	LGS	化粧石膏ボード t=9 + AEP(一部取外し)	2400	カーテンボックス・額縁 木部: OP塗装、掃除具入れ(撤去)、園児ロッカー(撤去) 黒板(撤去) ビクチャーレール(撤去)、スチール手摺(撤去) カーテン(取外し)・カーテンレール(残置)、ガラリ(残置)	
		改修後	W	サンダー掛け (一部)フローリングボード(無塗装品) t=15(新設) + 水性ポリウレタン樹脂塗装3回塗り(最終2液)	±0	下地調整(RB種)の上 SOP塗替 木製 H=100 + SOP(新設)	C	▷	下地調整(RB種)の上 複層塗材 Si(新設) 掲示板: 木下地 石膏ボード t=9.5 + 掲示用壁紙貼(新設) ガラリ撤去部分: 木下地 石膏ボード t=12.5 + 12.5 + 複層塗材 Si	LGS	下地調整(RB種)の上 EP塗替 化粧石膏ボード t=9(一部再取付)	2400	カーテンボックス(レール取付部以外)・額縁 木部: 下地調整の上 SOP塗装、掃除具入れ(新設) 園児ロッカー(新設)、ホワイトボード(新設)、ビクチャーレール(新設) カーテン(再取付)	
トイレ4 553新築 H10・26使用改修		改修前	C	モルタル金コテ t=30(撤去) + 磁器モザイクタイル貼 25×25(下地共撤去) 人造石研出し(撤去) + ビニルマット t=15(撤去) 床見切: 人造石研出し(撤去)	-30	腰壁同材(残置) 人造石研出し H=100(撤去)	C	▷	陶器質タイル貼 100×100(劣化部補修)	LGS	モルタル金コテ + EP(劣化部補修)	ケイ酸カルシウム板 t=6 + VP(下地共撤去)	2430	人造石研出し製手洗い(撤去)、天井点検口(撤去)、掃除具入れ(撤去) トイレブース(撤去)、ビニルカーテン(撤去)
		改修後	C	モルタル金コテ t=60(新設) + 防汚・防汚性ビニルシート t=2(新設) 床見切: SUS製見切り材(新設)	±0	ビニル巾木 H=100(新設)	C	▷	メラミン化粧合板 t=3(接着強工法)(新設)	LGS	モルタル補修(t=10)の上 メラミン化粧合板 t=3 張(接着強工法)(新設)	化粧石膏ボード t=9.5(下地共新設)	2400	SUS手洗い(新設)、天井点検口(新設)、吊戸棚(新設) トイレブース(新設)、ビニルカーテン(新設)、掃除具フック(新設)
トイレ5 553新築 H10・26使用改修		改修前	C	モルタル金コテ t=30(撤去) + 磁器モザイクタイル貼 25×25(下地共撤去) 人造石研出し(撤去) + ビニルマット t=15(撤去) 床見切: 人造石研出し(撤去)	-30	腰壁同材(残置) 人造石研出し H=100(撤去)	C	▷	陶器質タイル貼 100×100(劣化部補修)	LGS	モルタル金コテ + EP(劣化部補修)	ケイ酸カルシウム板 t=6 + VP(下地共撤去)	2430	人造石研出し製手洗い(撤去)、天井点検口(撤去)、掃除具入れ(撤去) トイレブース(撤去)、ビニルカーテン(撤去)
		改修後	C	モルタル金コテ t=60(新設) + 防汚・防汚性ビニルシート t=2(新設) 床見切: SUS製見切り材(新設)	±0	ビニル巾木 H=100(新設)	C	▷	メラミン化粧合板 t=3(接着強工法)(新設)	LGS	モルタル補修(t=10)の上 メラミン化粧合板 t=3 張(接着強工法)(新設)	化粧石膏ボード t=9.5(下地共新設)	2400	SUS手洗い(新設)、天井点検口(新設)、吊戸棚(新設) トイレブース(新設)、ビニルカーテン(新設)、掃除具フック(新設)
廊下 553新築 H10園舎改修		改修前	W	フローリング t=15 + OSW(残置)	±0	木製 H=100 + SOP(残置)	C LGS	▷	モルタル金コテ + AEP(劣化部補修) 一部LGSの上 石膏ボード t=9.5 + t=12.5 + 吹付タイル(残置)	LGS	化粧石膏ボード t=9.5(一部取外し)	2400	SUS手摺(撤去)、スチール手摺(撤去)	
		改修後	W	サンダー掛け + 水性ポリウレタン樹脂塗装3回塗り(最終2液)	±0	SOP塗装塗替	C LGS	▷	下地調整(RB種)の上 複層塗材 Si(新設)	LGS	下地調整(RB種)の上 EP塗替 化粧石膏ボード t=9(一部再取付)	2400		
トイレ6・パントリー		改修前								LGS	ケイ酸カルシウム板 t=6 + VP(下地共撤去)	2400		
物入1・2 ホール・ステージ		改修前								LGS	化粧石膏ボード t=9.5 + AEP(一部取外し)	2400		
		改修後								LGS	化粧石膏ボード t=9.5(一部再取付)	2400		

採取場所	建材名称	定性分析結果 含有の有無	採取場所	建材名称	定性分析結果 含有の有無
外壁 (管理保育室棟)	吹付リシン 下地層(1978年)	無	外壁 (保育室棟)	吹付タイル 下地層(1998年)	有(Ohr)
外壁 (管理保育室棟)	吹付リシン 仕上層(1978年)	無	外壁 (保育室棟)	吹付タイル 仕上層(1998年)	無
外壁 (管理保育室棟)	吹付タイルRE 仕上層(1991年)	有(Tre)	階段2裏	パーライト吹付 仕上層(1978年)	無
屋根 (保育室棟)	スレート葺(1998年)	有(Ohr)	トイレ壁(上壁)	仕上げ塗材(モルタル下地)	無

実測箇所	実測値	付着強度	合否	実測箇所	実測値	付着強度	合否
東面 壁 (管理保育室棟)	3.25	2.03	○	北面 柱 (管理保育室棟)	6.01	3.75	○
東面 柱 (管理保育室棟)	3.13	1.95	○	東面 壁 (保育室棟)	5.03	3.14	○
南面 壁 (管理保育室棟)	1.43	0.89	○	東面 柱 (保育室棟)	4.17	2.60	○
南面 柱 (管理保育室棟)	1.74	1.08	○	西面 壁 (保育室棟)	4.58	2.86	○
北面 壁 (管理保育室棟)	1.10	0.68	×	西面 柱 (保育室棟)	3.37	2.10	○

凡例	【耐火認定等】										工事名	図面番号																				
	C	M	W	LC	CB	S	OP	SOP	EP-G	WP			EP-T	FE																		
	コンクリート下地	モルタル下地	木製床下地、木製下地	軽量コンクリート	コンクリートブロック	鋼製床下地、軽量鉄骨下地	油性調合ペイント塗	合成樹脂系非水分散形塗料塗	合成樹脂エマルジョンペイント塗	木製保護塗料塗	合成樹脂エマルジョン模様塗料塗	フタル酸樹脂エナメル	石膏ボード t=12.5	石膏ボード t=9.5	化粧石膏ボード t=9.5	強化石膏ボード t=15	ケイ酸カルシウム板	合成樹脂エマルジョンペイント	不燃 NM-8619	準不燃 QM-9828	準不燃 QM-0524	不燃 NM-8615	不燃 NM-8618	不燃 NM-8578	不燃 NM-8585	【共通一般事項】 ・内装仕上げ、建具及び天井裏使用材料は全て☆☆☆とする。また、使用材料は無石棉とする。 ・アスベスト撤去作業時は撤去範囲を区画し、床・壁養生を行うこと。 ・特記なき限り床見切りはSUS製とする。 ・床下及び天井点検口の位置については、監督員と協議すること。	安城子ども園中規模及び保全改修主体工事	A-14				
																												内部仕上表2(改修前・改修後)	設計	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県(一)3 第13966号	一級建築士334761 河村康弘

縮尺はA1版に通尺(A3版→50%縮小)

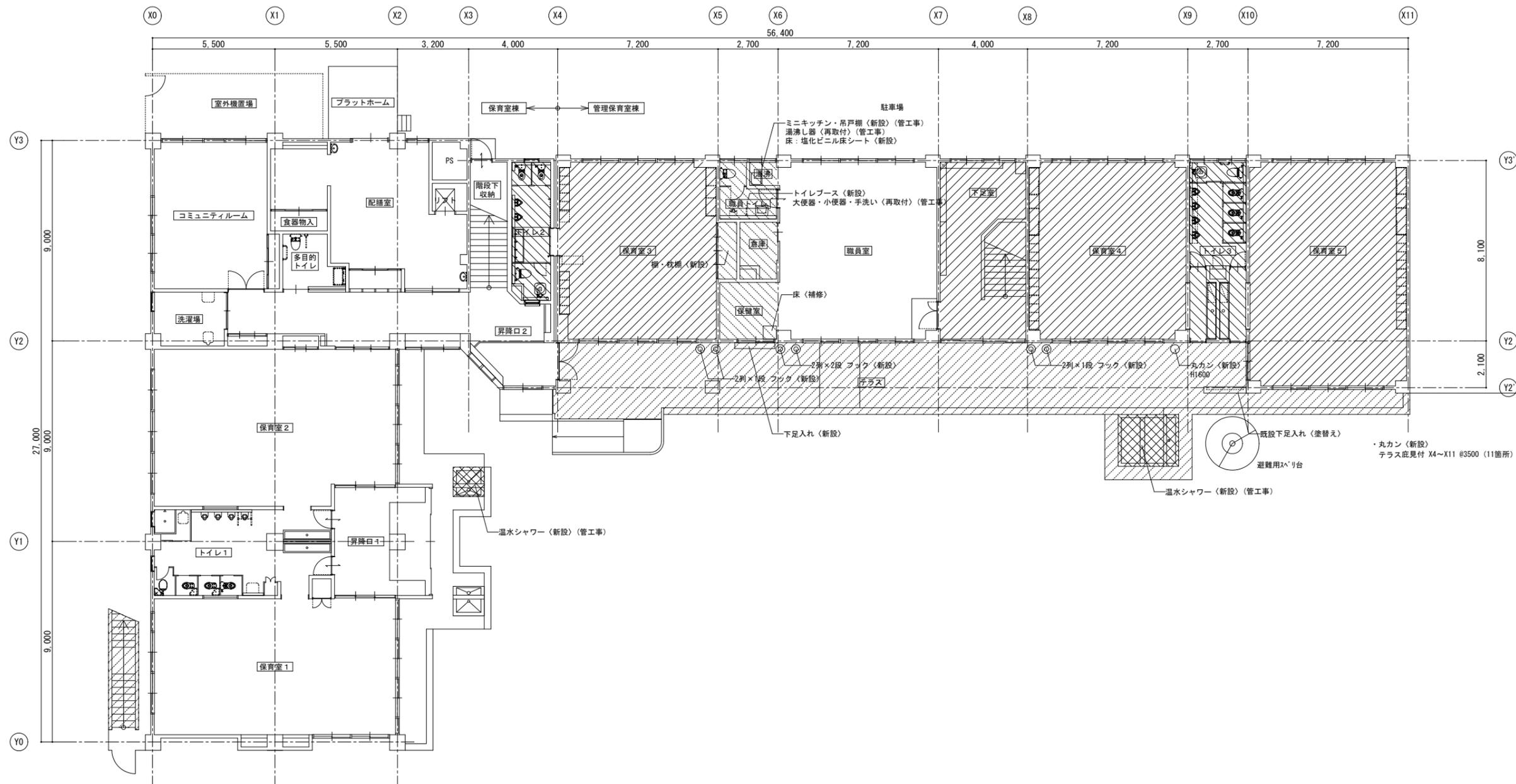


1階平面図 (改修前) S=1/100

凡例		内部改修【床・壁・天井・家具・扇風機】を示す	【外部建具 (管理保育室棟)】更新 (カバー工法)
		トイレ改修【床・壁・天井・トイレブース・設備】を示す	【外部建具 (保育室棟)】金物の交換・オペレーターの交換
		部分改修【床】を示す	【内部建具】2階保育室・2階廊下物入
		部分改修【天井】を示す	【外壁改修】すべて対象
		設備改修を示す	【屋根改修】勾配屋根のみ対象
		撤去部分を示す	

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号	A-15
図面名	1階平面図 (改修前)	縮尺	1/100	設計
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (いー3) 第13966号	一級建築士334761 河村康弘	

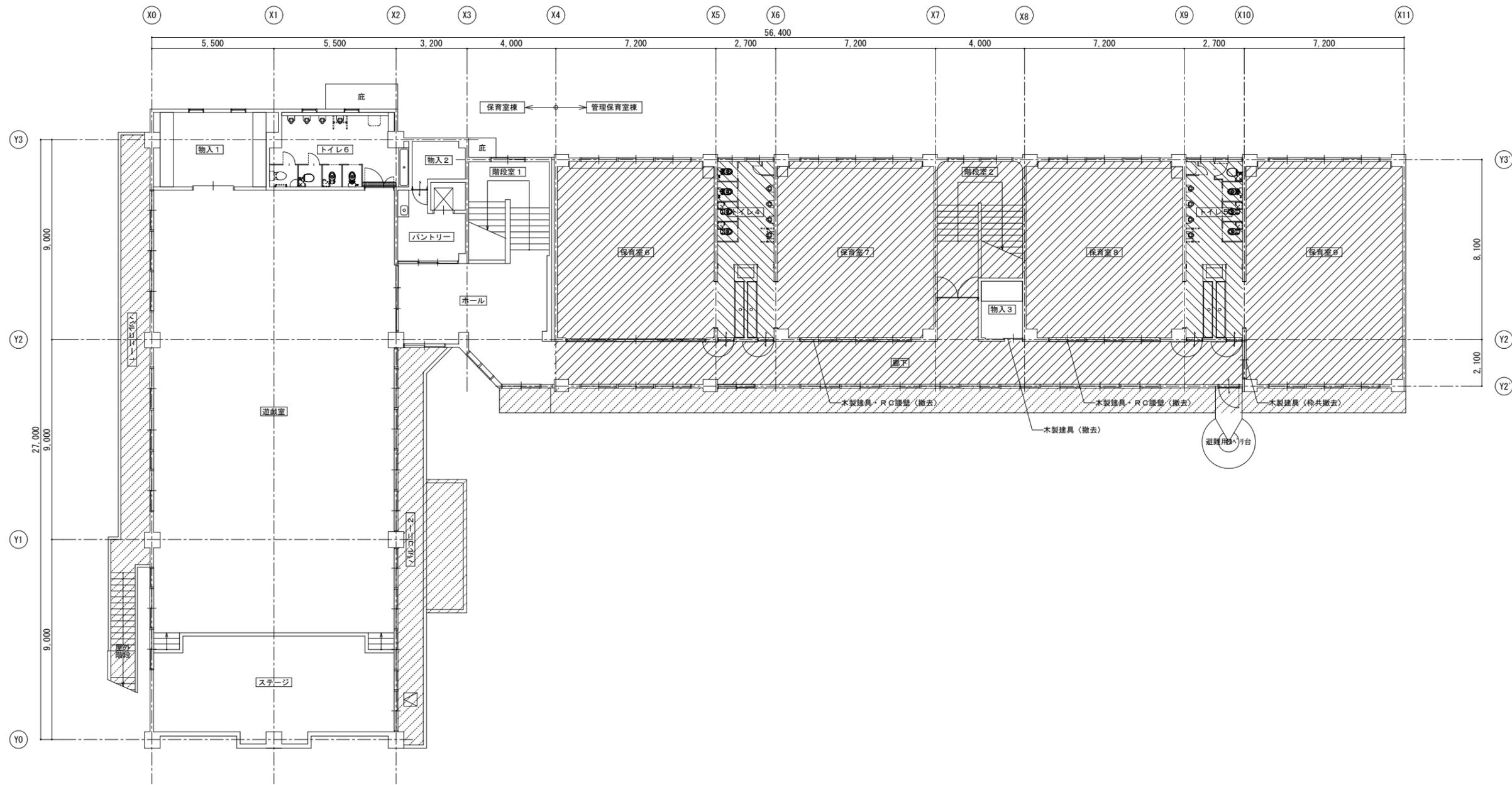


1階平面図 (改修後) S=1/100

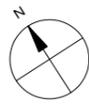
凡例		内部改修【床・壁・天井・家具・扇風機】を示す		物干し金物 (新設)	【外部建具 (管理保育室棟)】更新 (カバー工法)
		トイレ改修【床・壁・天井・トイレブース・設備】を示す		フック金物 (新設) (スガツネ工業/EN-R80 同等品)	【外部建具 (保育室棟)】金物の交換・オペレーターの交換
		部分改修【床】を示す		丸カン (新設)	【内部建具】2階保育室・2階廊下物入
		部分改修【天井】を示す			【外壁改修】すべて対象
		設備改修を示す			【屋根改修】勾配屋根のみ対象
		撤去部分を示す			※LED照明更新は建物全体・敷地全体を対象とする。

縮尺はA1版に適用 (A3版→50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号	A-16
図面名	1階平面図 (改修後)		縮尺	1/100
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (レ-3) 第13966号	設計	河村康弘



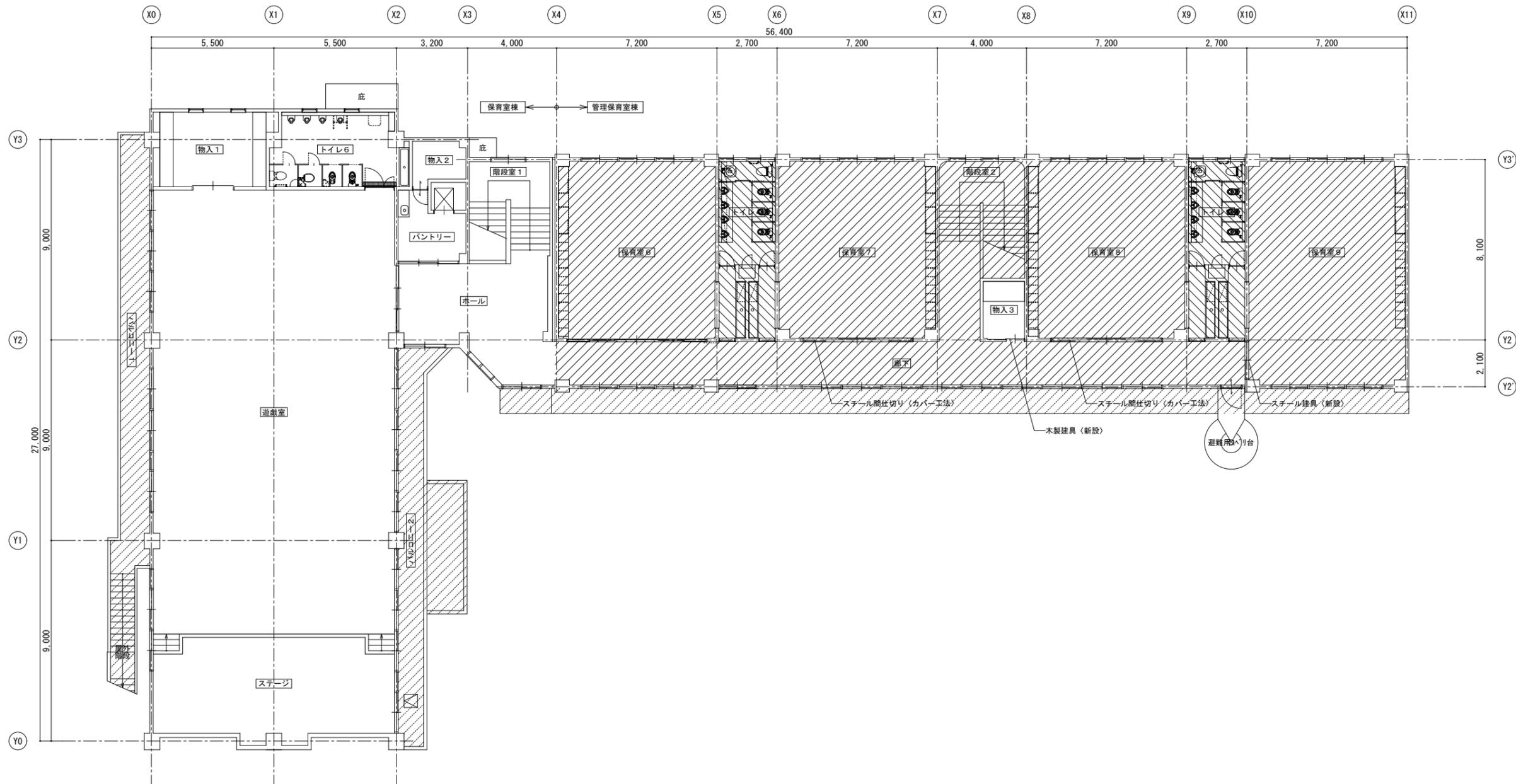
2階平面図 (改修前) S=1/100



凡例		内部改修【床・壁・天井・家具・扇風機】を示す	【外部建具 (管理保育室棟)】更新 (カバー工法)
		トイレ改修【床・壁・天井・トイレブース・設備】を示す	【外部建具 (保育室棟)】金物の交換・オペレーターの交換
		部分改修【床】を示す	【内部建具】2階保育室・2階廊下物入
		部分改修【天井】を示す	【外壁改修】すべて対象
		設備改修を示す	【屋根改修】勾配屋根のみ対象
		撤去部分を示す	※LED照明更新は建物全体・敷地全体を対象とする。

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号	A-17
図面名	2階平面図 (改修前)		縮尺	1/100
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (いー3) 第13966号	設計	河村康弘

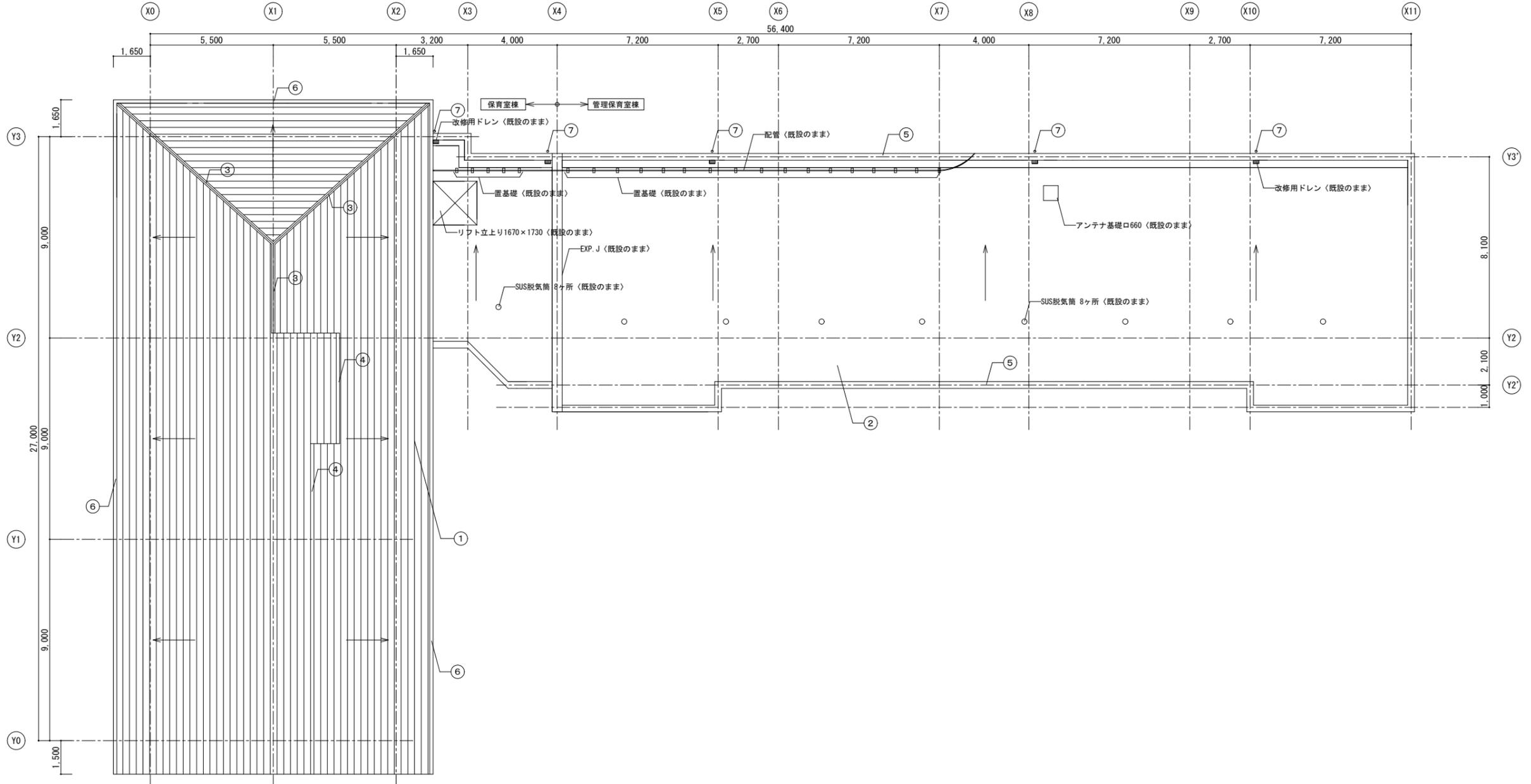


2階平面図 (改修後) S=1/100

凡		内部改修【床・壁・天井・家具・扇風機】を示す	【外部建具 (管理保育室棟)】更新 (カバー工法)
		トイレ改修【床・壁・天井・トイレブース・設備】を示す	【外部建具 (保育室棟)】金物の交換・オペレーターの交換
		部分改修【床】を示す	【内部建具】2階保育室・2階廊下物入
		部分改修【天井】を示す	【外壁改修】すべて対象
例		設備改修を示す	【屋根改修】勾配屋根のみ対象
		撤去部分を示す	※LED照明更新は建物全体・敷地全体を対象とする。

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号	A-18
図面名	2階平面図 (改修後)		縮尺	1/100
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (イ-3) 第13966号	設計	河村康弘

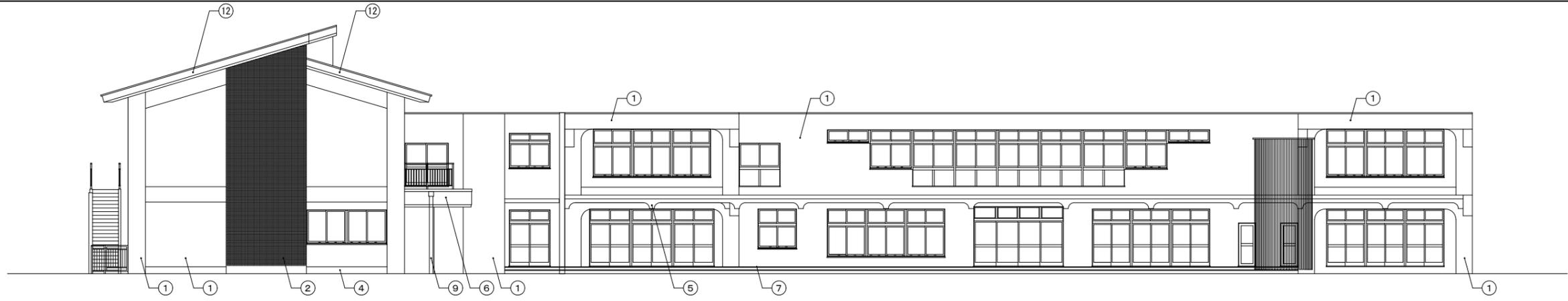


屋根伏図 (改修前・改修後) S=1/100

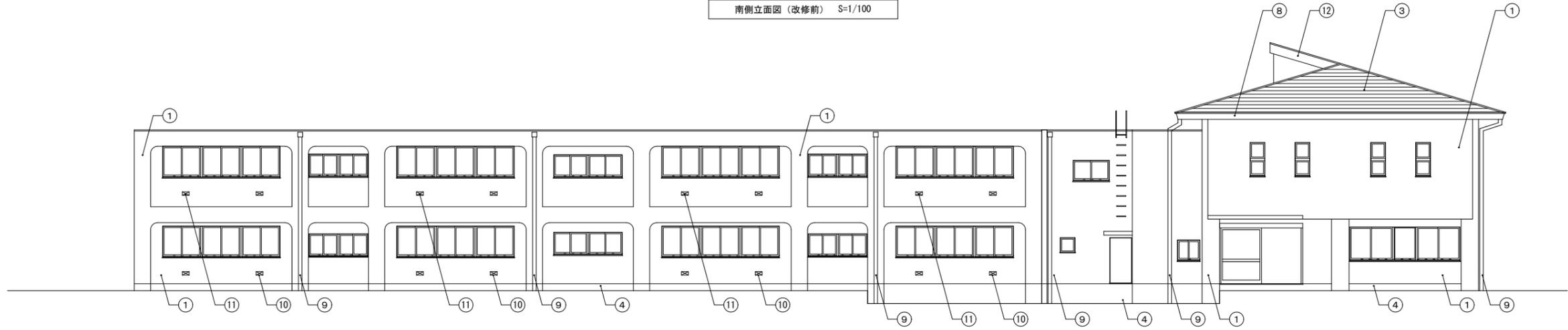
凡例	[改修前]		[改修後]	
	記号	内容	記号	内容
例	①	屋根: 硬質木片セメント板 t=20 + アスファルトルーフィング + 平形彩色スレート材	⑥	軒種: 硬質塩ビ製 W=150 (撤去) SUS製吊金物@600 (撤去)
	②	屋根: ウレタン塗膜複合防水	⑦	硬質塩ビ製 W=150 (新設) SUS製吊金物@600 (新設)
	③	平機包役物: 屋根同材	⑧	縦種: 硬質塩ビパイプ Φ100 + VP (カラー) (撤去)
	④	破風板・鼻隠し・けらば水切役物: カラー鋼板	⑨	VP Φ100 カラー塩ビ製 (新設) 摺り金物: SUS製@1000以下 下り止め共 (新設)
	⑤	笠木: アルミ製笠木	⑩	

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号	A-19
図面名	屋根伏図 (改修前・改修後)	縮尺	1/100	設計
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (いー3) 第13966号	一級建築士334761 河村康弘	

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)



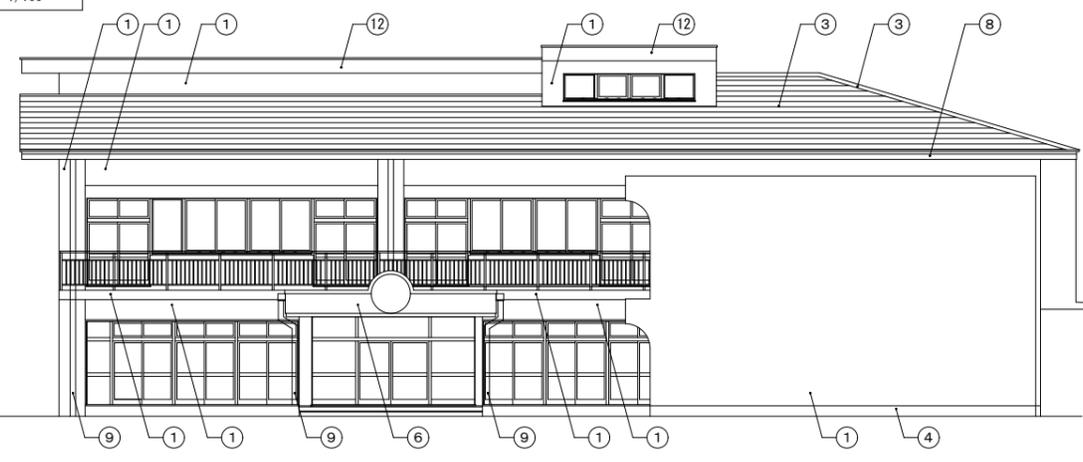
南側立面図 (改修前) S=1/100



北側立面図 (改修前) S=1/100



西側立面図 (改修前) S=1/100



東側立面図 (改修前) S=1/100

記号	[改修前]	[改修後]	記号	[改修前]	[改修後]
①	外壁：吹付タイルRE (劣化部補修)	シーリング各所打ち替え 水洗いの上 可とう型改修塗材E厚付け (シリコンアコート) (新設)	⑥	昇降口庇見付：C + 吹付タイル 化粧目地切 (劣化部補修)	水洗いの上 可とう型改修塗材E厚付け (シリコンアコート) (新設)
②	外壁：モザイクタイル貼 50×50 (一部デザインパターン) (劣化部補修)	水洗いの上 透明樹脂外壁防水 (新設)	⑦	テラス段鼻：ノンスリップタイル貼	下地調整の上 階段用防滑性ビニル床シート段鼻専用材 (新設)
③	屋根：硬質木片セメント板 t=20 + アスファルトルーフィング + 平形彩色スレート材 平棟包役物：屋根同材	水洗いの上 弱溶剤系屋根用塗料 (新設)	⑧	軒樋：硬質塩ビ製 W=150 (撤去) SUS製吊金物@600 (撤去)	硬質塩ビ製 W=150 (新設) SUS製吊金物@600 (新設)
④	巾木：モルタル金コテ t=20 (劣化部補修)	モルタル金コテ t=20 (水洗い、清掃)	⑨	堅礎：硬質塩ビパイプ Φ100 + VP (カラー) (撤去)	VP Φ100 カラー塩ビ製 (新設) 掘み金物：SUS製@1000以下 下り止め共 (新設)
⑤	テラス庇見付：C + VP (カラー) (劣化部補修)	水洗いの上 可とう型改修塗材E厚付け (シリコンアコート) (新設)	⑩	ガラー (1階) (残置)	アルミ複合パネル t=3 (新設) 金属・コンクリート用接着剤の上 コンクリートビス取付 (4ヶ所)
			⑪	ガラー (2階) (残置) 面台 (撤去)	アルミ複合パネル t=3 (新設) 金属・コンクリート用接着剤の上 コンクリートビス取付 (4ヶ所)
			⑫	破風板・鼻隠し・けらば水切り：カラー銅板	水洗いの上 弱溶剤系金属屋根用塗料 (新設)
			⑬		
			⑭		
			⑮		
			⑯		

■共通事項 (シーリング打替)
 ・打継目地：シーリング打替 (PU-2) ・建具周囲：シーリング打替 (MS-2)
 ・伸縮目地：シーリング打替 (PU-2) ・金物取合部：シーリング打替 (MS-2)

■特記事項
 1) 内部・外壁劣化部補修仕様は以下の通りとする。
 ・クラック補修 (0.2mm以上~1.0mm未満)：自動低圧エポキシ樹脂注入工法
 ・クラック補修 (1.0mm以上)：自動低圧エポキシ樹脂注入工法
 ・モルタル浮き補修：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
 ・タイル浮き補修 (外壁)：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
 ・欠損部補修：エポキシ樹脂モルタル充填 ハツリ鉄筋補修共
 ・塗装撤去箇所は模様合わせを行う

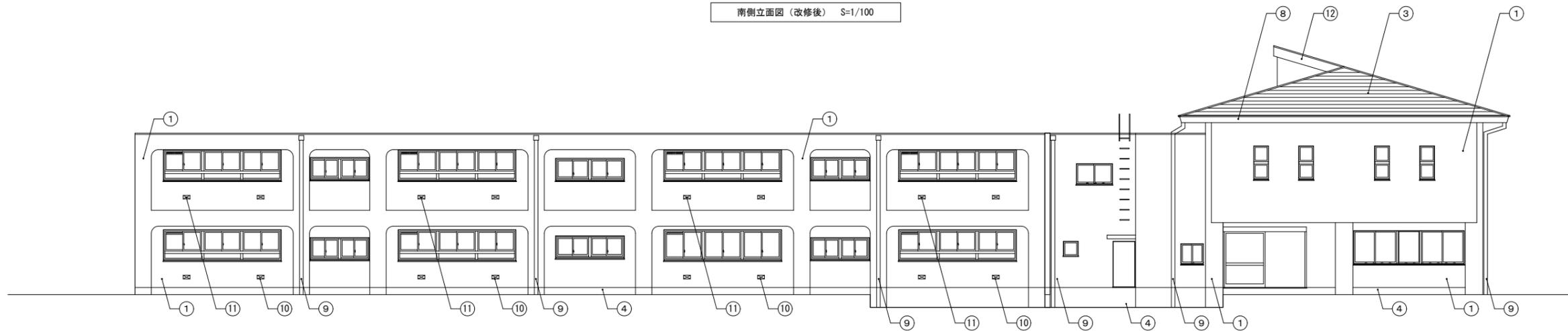
2) 特記なき設備配管及び壁は下地処理 (RB種)の上DP塗替えとする。

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号	A-20
図面名	立面図 (改修前)	縮尺	1/100	設計
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (いー3) 第13966号	一級建築士334761 河村康弘	



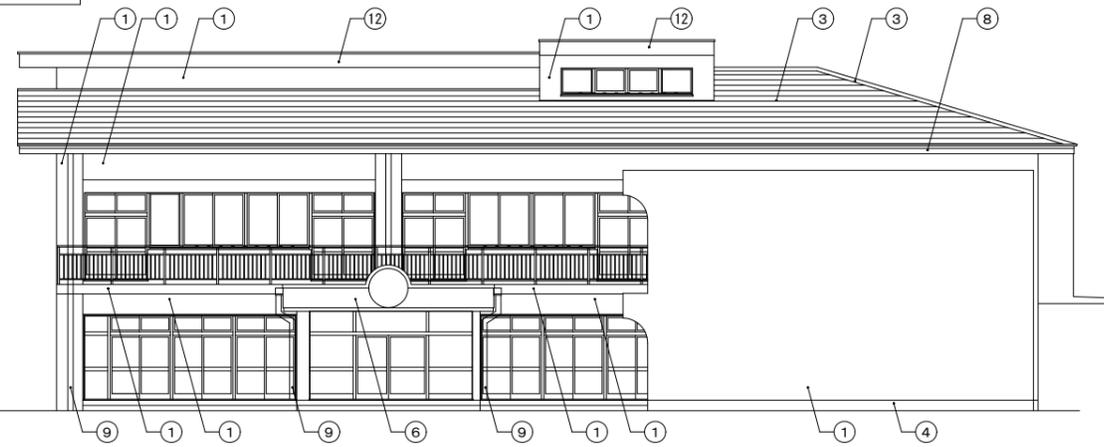
南側立面図 (改修後) S=1/100



北側立面図 (改修後) S=1/100



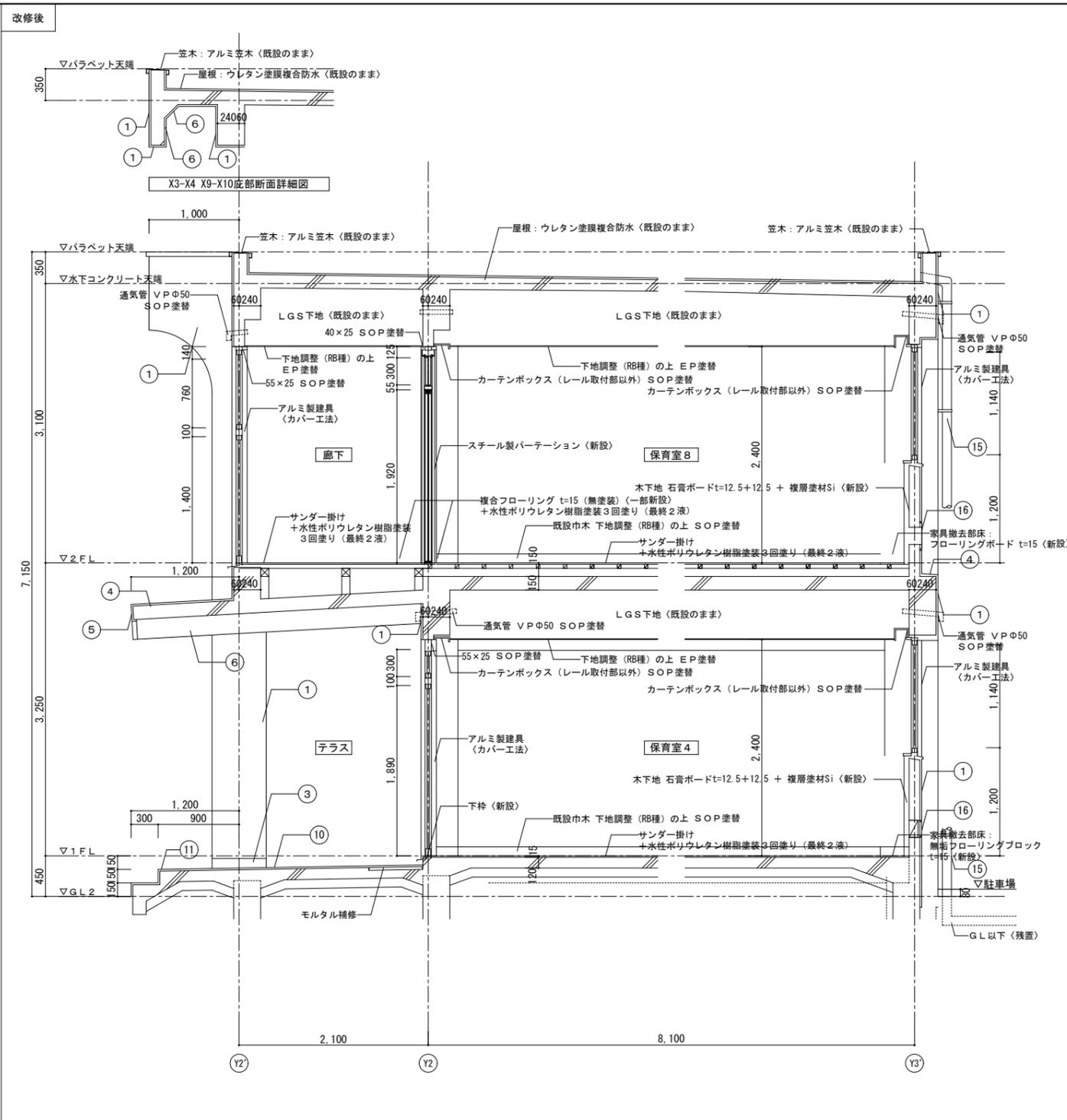
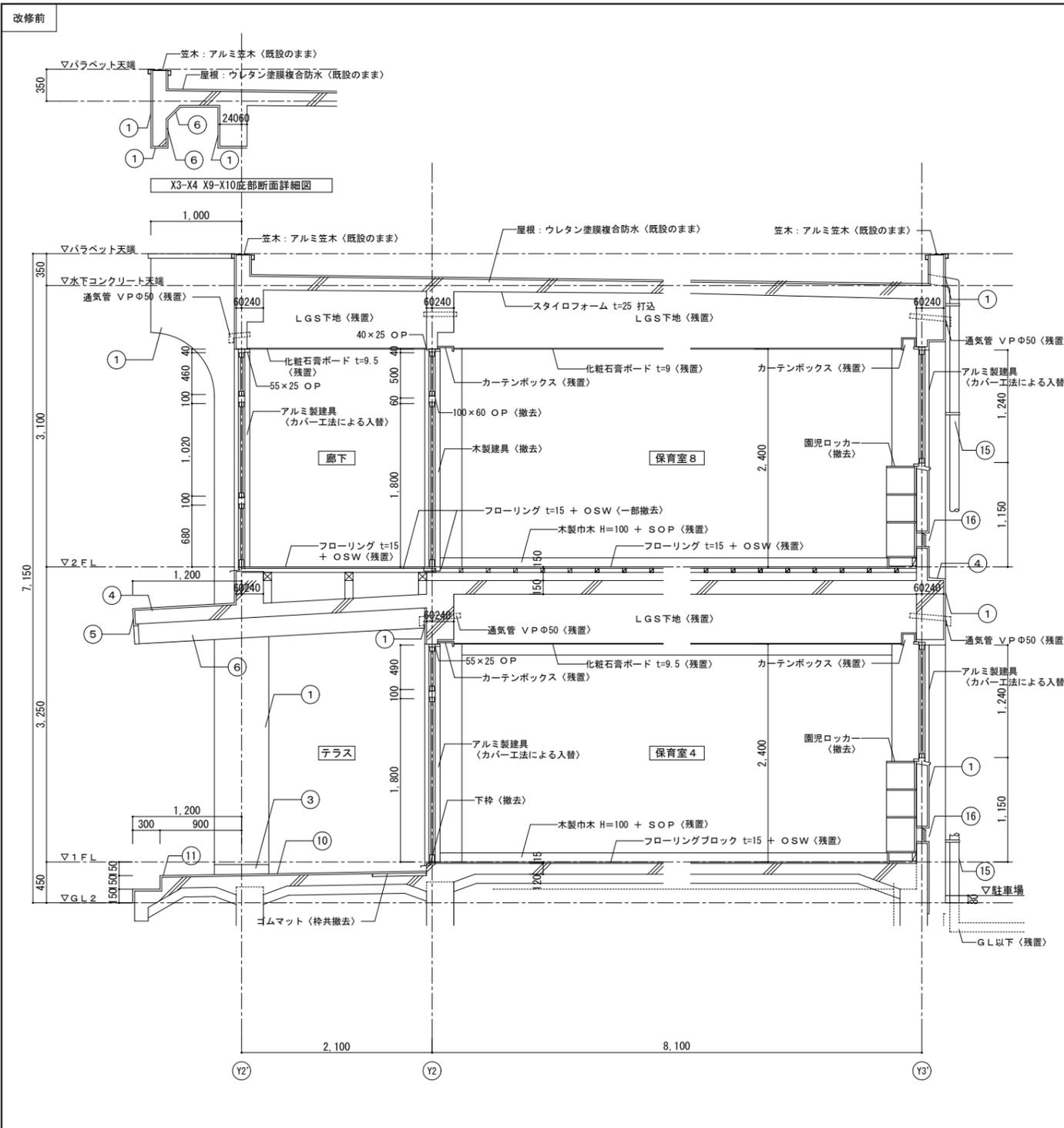
西側立面図 (改修後) S=1/100



東側立面図 (改修後) S=1/100

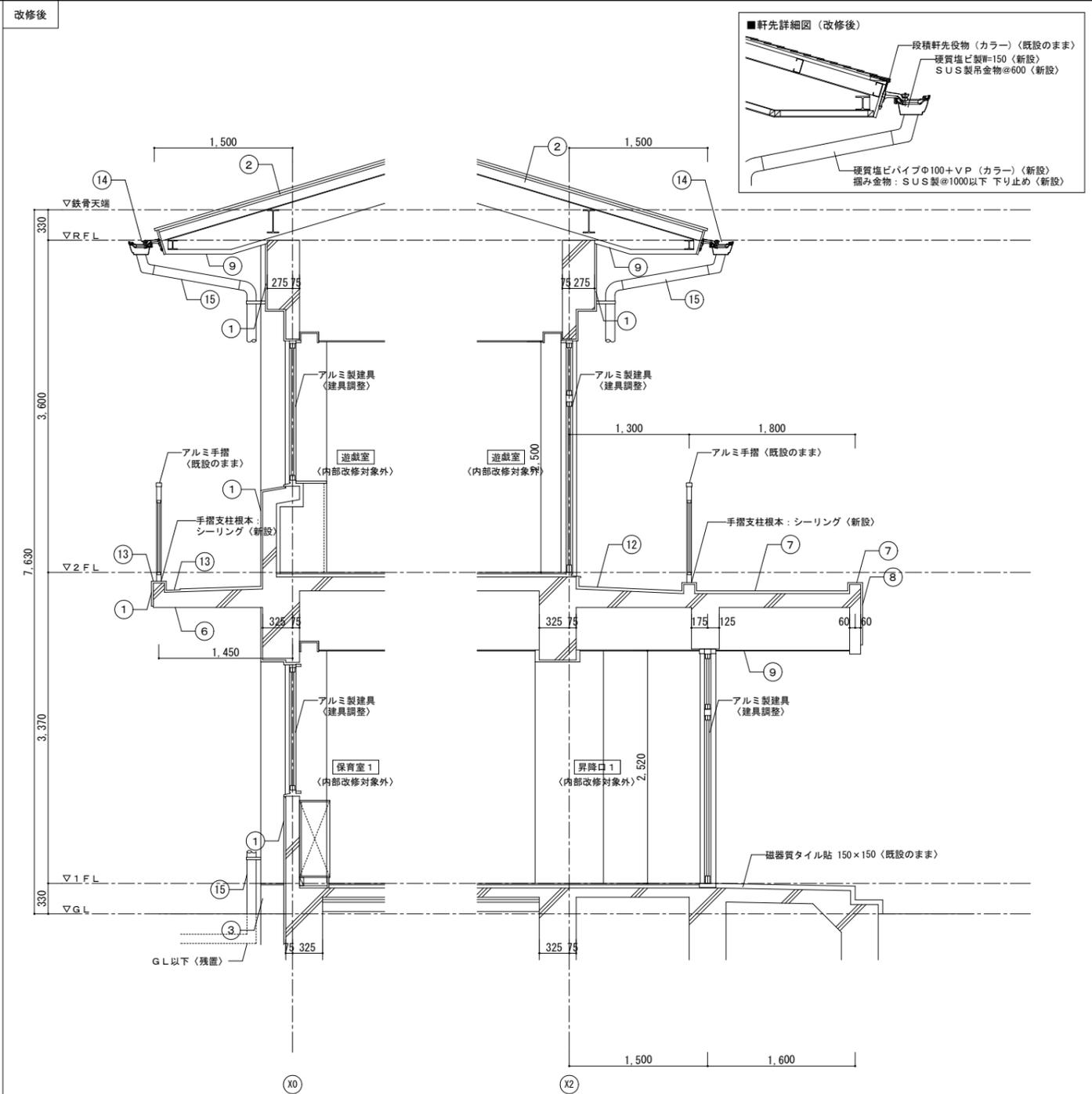
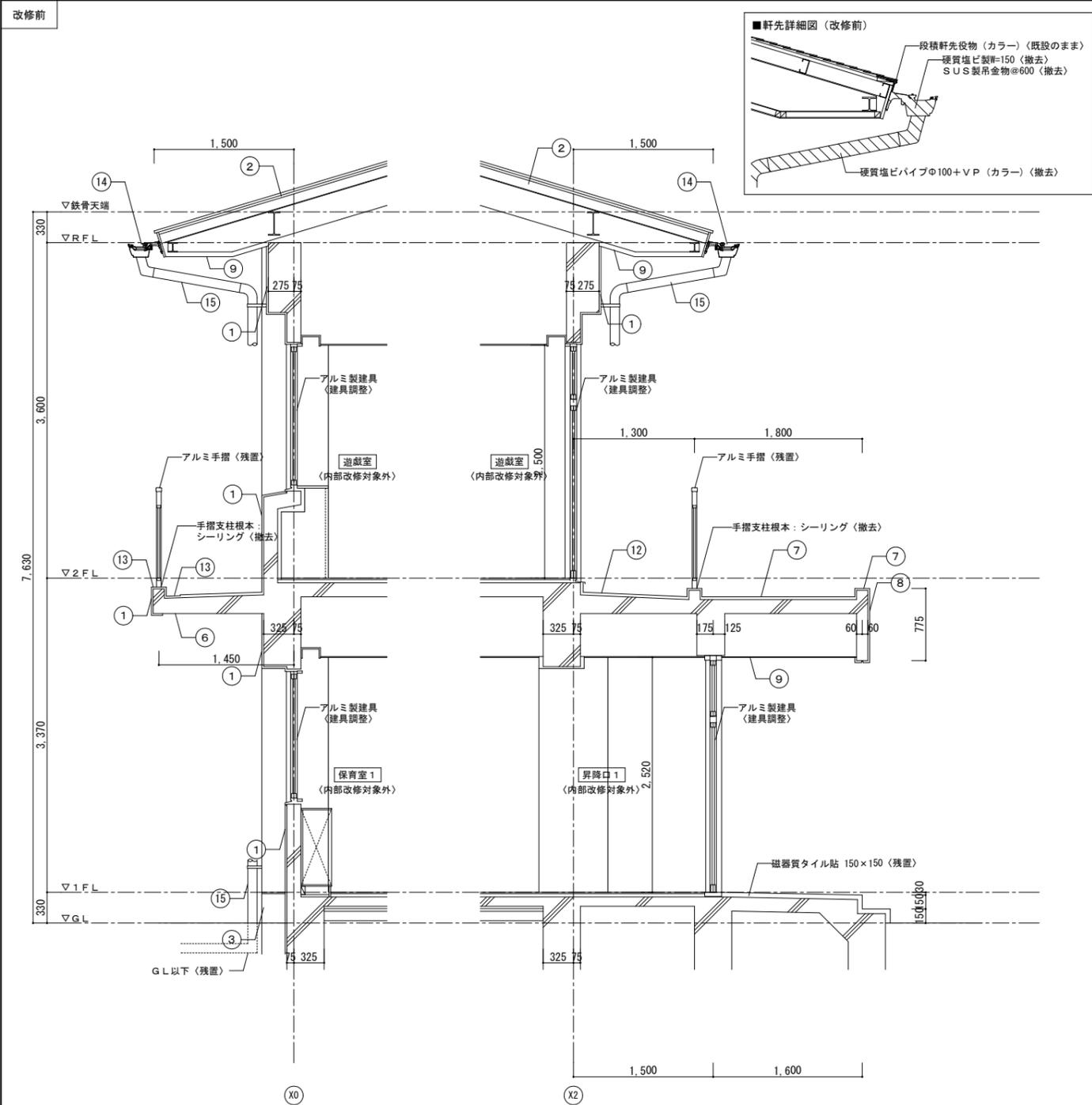
凡例	記号	[改修前]	[改修後]	記号	[改修前]	[改修後]	■共通事項 (シーリング打替) ・打継目地: シーリング打替 (PU-2) ・建具周囲: シーリング打替 (MS-2) ・伸縮目地: シーリング打替 (PU-2) ・金物取合部: シーリング打替 (MS-2) ■特記事項 1) 内部・外壁劣化部補修仕様は以下の通りとする。 ・クラック補修 (0.2mm以上~1.0mm未満): 自動低圧エポキシ樹脂注入工法 ・クラック補修 (1.0mm以上): 自動低圧エポキシ樹脂注入工法 ・モルタル浮き補修: アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・タイル浮き補修 (外壁): アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ・欠損部補修: エポキシ樹脂モルタル充填 ハツリ鉄筋補修共 ・塗装撤去箇所は模様合わせを行う 2) 特記なき設備配管及び壁は下地処理 (RB理) の上DP塗替えとする。 縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)
	①	外壁: 吹付タイルRE (劣化部補修)	シーリング各所打ち替え 水洗いの上 可とう型改修塗材E厚付け (シリコンアコト) (新設)	⑥	昇降口底見付: C + 吹付タイル 化粧目地切 (劣化部補修)	水洗いの上 可とう型改修塗材E厚付け (シリコンアコト) (新設)	
	②	外壁: モザイクタイル貼 50×50 (一部デザインパターン) (劣化部補修)	水洗いの上 透明樹脂外壁防水 (新設)	⑦	テラス段鼻: ノンスリップタイル貼	下地調整の上 階段用防滑性ビニル床シート段鼻専用材 (新設)	
	③	屋根: 硬質木片セメント板 t=20 + アスファルトルーフィング + 平形彩色スレート材 平横包役物: 屋根同材	水洗いの上 弱溶剤系屋根用塗料 (新設)	⑧	軒樋: 硬質塩ビ製 W=150 (撤去) SUS製吊金物φ600 (撤去)	硬質塩ビ製 W=150 (新設) SUS製吊金物φ600 (新設)	
	④	巾木: モルタル金コテ t=20 (劣化部補修)	モルタル金コテ t=20 (水洗い、清掃)	⑨	堅樋: 硬質塩ビパイプ φ100 + VP (カラー) (撤去)	VP φ100 カラー塩ビ製 (新設) 挿み金物: SUS製φ1000以下 下り止め共 (新設)	
	⑤	テラス庇見付: C + VP (カラー) (劣化部補修)	水洗いの上 可とう型改修塗材E厚付け (シリコンアコト) (新設)	⑩	ガラリ (1階) (残置)	アルミ複合パネル t=3 (新設) 金属・コンクリート用接着剤の上 コンクリートビス取付 (4ヶ所)	
				⑪	ガラリ (2階) (残置) 面台 (撤去)	アルミ複合パネル t=3 (新設) 金属・コンクリート用接着剤の上 コンクリートビス取付 (4ヶ所)	
				⑫	破風板・鼻隠し・けらば水切り: カラー鋼板	水洗いの上 弱溶剤系金属屋根用塗料 (新設)	
				⑬			
				⑭			
				⑮			
				⑯			

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事	図面番号	A-21
図面名	立面図 (改修後)	縮尺	1/100
日付	2025.12	設計	河村康弘
	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (いー3) 第13966号		一級建築士334761



凡例	[改修前]		[改修後]	
	記号	内容	記号	内容
例	①	外壁：吹付タイルRE	⑨	昇降口軒裏・バルコニー軒裏：ケイ酸カルシウム板 t=6 + VP
	②	屋根：硬質木片セメント板 t=20 + アスファルトルーフィング + 平形彩色スレート材 破風板・鼻隠し：屋根同質伐物	⑩	テラス床：防水モルタル 下地シート防水（歩行用）+ 歩行用コンクリート
	③	巾木：モルタル金コテ t=20（劣化部補修）	⑪	テラス段鼻：ノンスリップタイル貼
	④	テラス庇天端・梁型天端：防水モルタル金コテ 目地切	⑫	バルコニー床（東側）：均しモルタル金コテの上、下地シート防水（歩行用） + 押えコンクリート + 防水モルタル金コテ 目地切
	⑤	テラス庇見付：C + VP（カラー）	⑬	バルコニー床（西側）：防水モルタル金コテ 目地切
	⑥	テラス庇軒裏・西面軒裏：C + リシン吹付	⑭	軒裏：硬質塩ビ製（鋼板）W=150（撤去）SUS製吊金物@600（撤去）
	⑦	昇降口庇天端：均しモルタル金コテの上、下地シート防水（歩行用） + 押えコンクリート + 防水モルタル金コテ 目地切	⑮	壁柱：硬質塩ビパイプ Φ100 + VP（カラー）（撤去）
	⑧	昇降口庇見付：C + 吹付タイル 化粧目地切	⑯	ガラリ（残置）

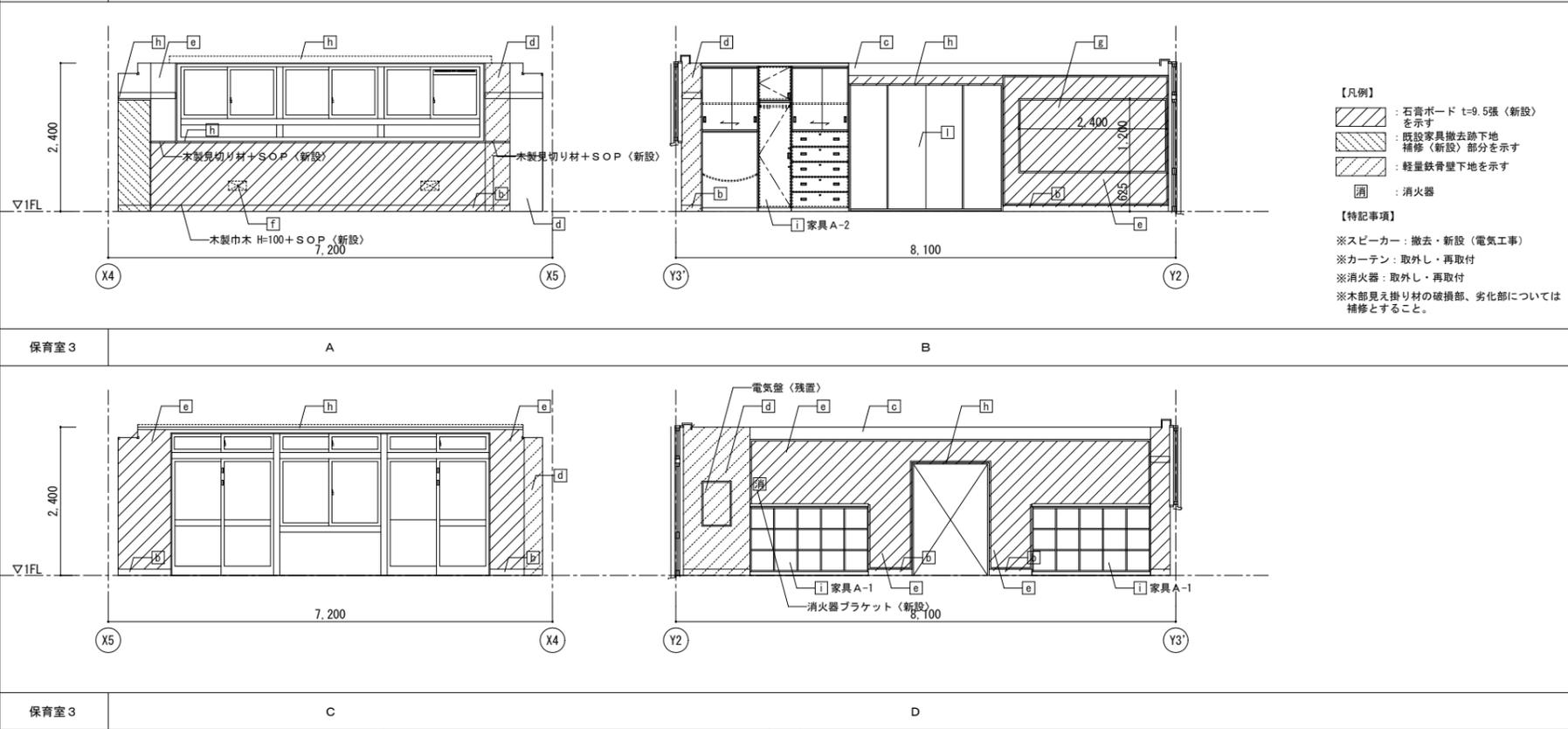
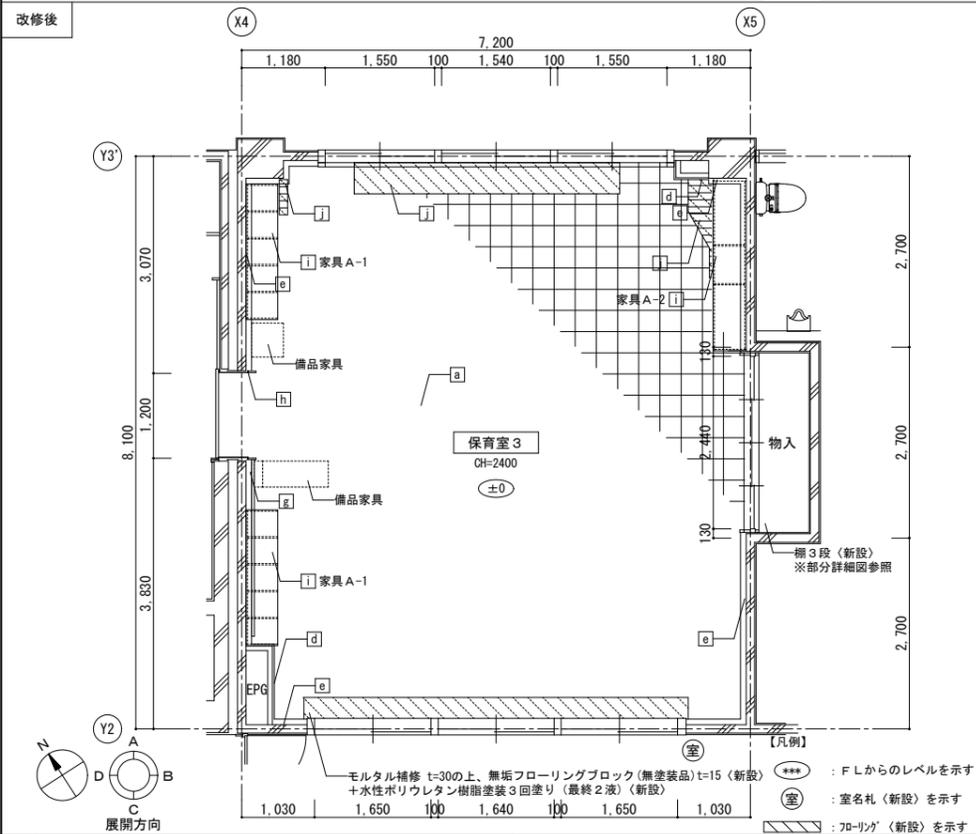
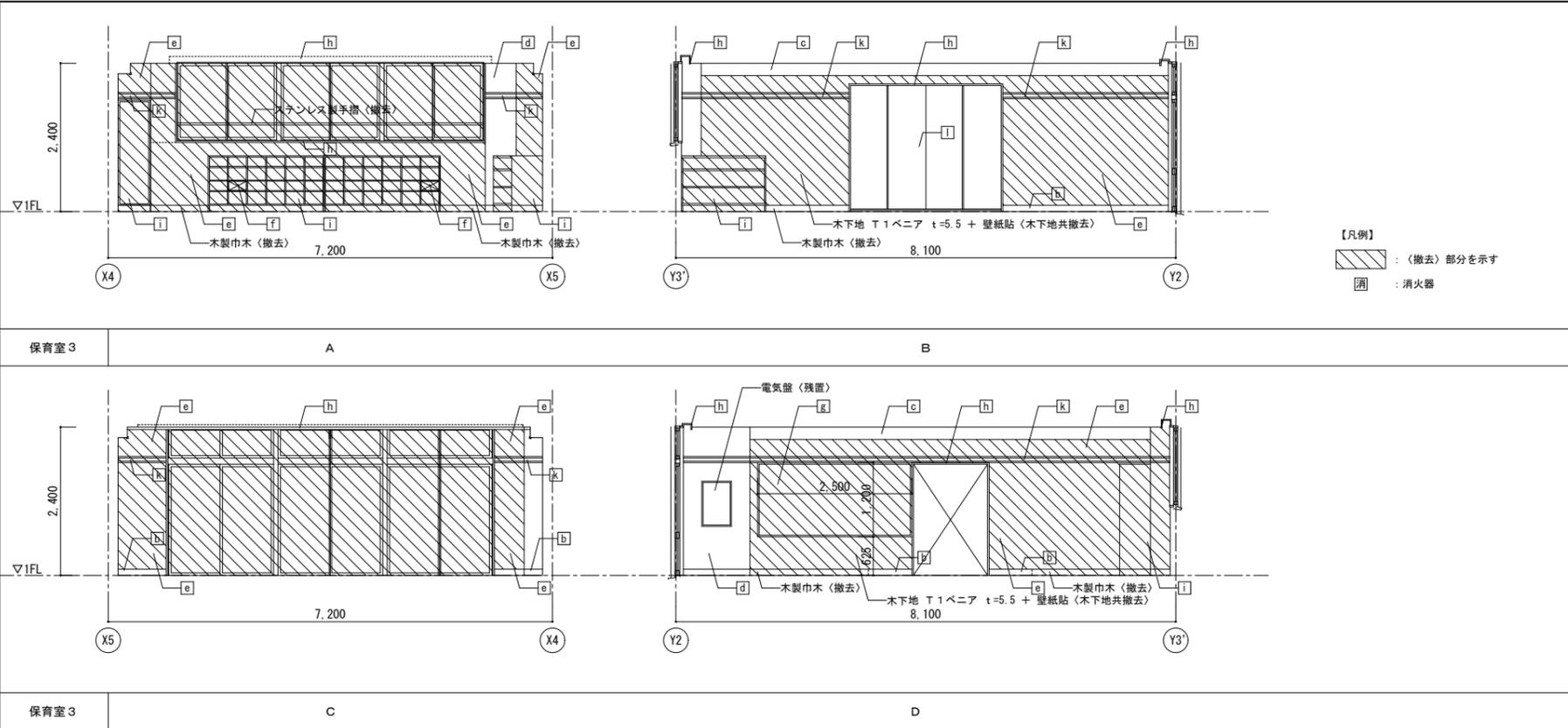
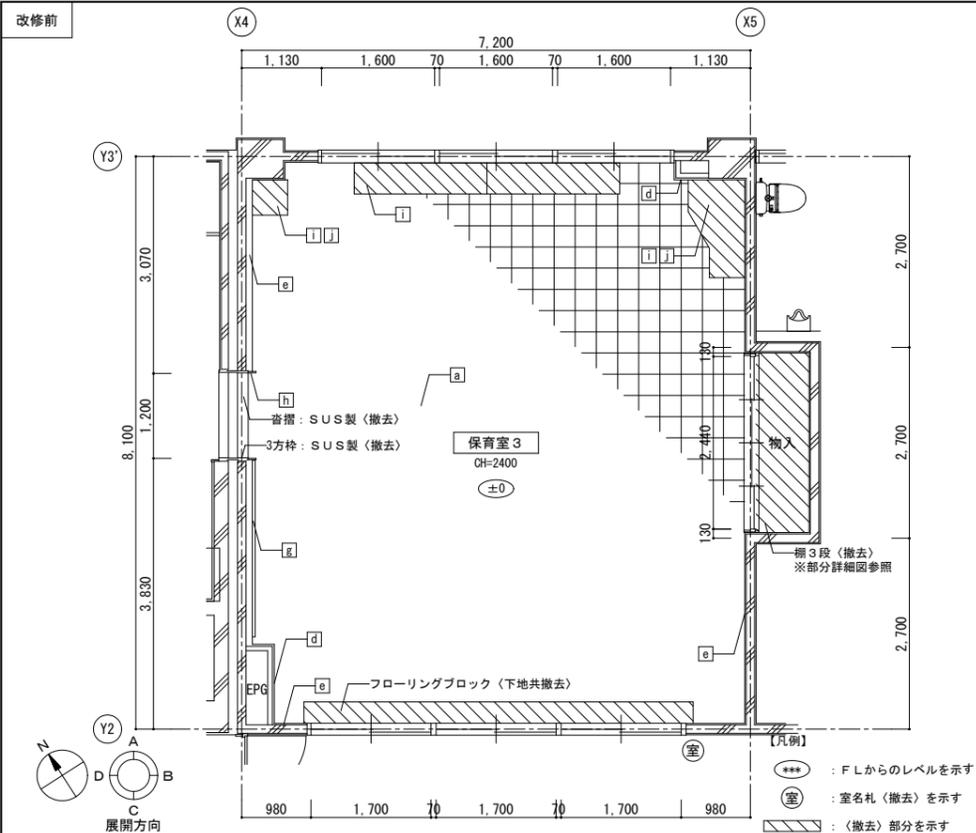
- 共通事項（シーリング打替）
- ・打替目地：シーリング打替（PU-2） ・建具周囲：シーリング打替（MS-2）
 - ・伸縮目地：シーリング打替（PU-2） ・金物取合部：シーリング打替（MS-2）
- 特記事項
- 1) 内部・外壁劣化部補修仕様は以下の通りとする。
 - ・クラック補修（0.2mm以上～1.0mm未満）：自動低圧エポキシ樹脂注入工法
 - ・クラック補修（1.0mm以上）：自動低圧エポキシ樹脂注入工法
 - ・モルタル浮き補修：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
 - ・タイル浮き補修（外壁）：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
 - ・欠損部補修：エポキシ樹脂モルタル充填 ハツリ鉄筋補修共
 - ・塗装撤去箇所は模様合わせを行う
 - 2) 特記なき設備配管及び壁は下地処理（RB種）の上DP塗替えとする。



凡例	[改修前]	[改修後]	記号	[改修前]	[改修後]	■共通事項 (シーリング打替)
①	外壁: 吹付タイルRE (劣化部補修)	シーリング各所打ち替え 水洗いの上 可とう型改修塗材E厚付け (シコトアップコート) (新設)	⑨	昇降口軒裏・バルコニー軒裏: ケイ酸カルシウム板 t=6 + VP	下地調整 (RB種) の上 EP塗替	・打替目地: シーリング打替 (PU-2) ・建具周囲: シーリング打替 (MS-2)
②	屋根: 硬質木片セメント板 t=20 + アスファルトルーフィング + 平形彩色スレート材 破風板・鼻隠し: 屋根同質役物	水洗いの上 弱溶剤系屋根用塗料 (新設)	⑩	テラス床: 防水モルタル 下地シート防水 (歩行用) + 歩行用コンクリート	下地調整、一部モルタル補修 防滑性ビニル床シート (階段用: 階段用防滑性ビニル床シート) (新設)	・伸縮目地: シーリング打替 (PU-2) ・金物取合部: シーリング打替 (MS-2)
③	巾木: モルタル金コテ t=20 (劣化部補修)	モルタル金コテ t=20 (水洗い、清掃)	⑪	テラス段鼻: ノンスリップタイル貼	下地調整、階段用防滑性ビニル床シート 段鼻専用材 (新設)	■特記事項
④	テラス庇先端・梁型先端: 防水モルタル金コテ 目地切	水洗い補修の上 エポキシ系ポリマーセメントモルタル塗布 ウレタン塗膜防水 (X-2) 指定色 (新設)	⑫	バルコニー床 (東側): 均しモルタル金コテの上、下地シート防水 (歩行用) + 押えコンクリート + 防水モルタル金コテ 目地切	水洗い補修の上 エポキシ系ポリマーセメントモルタル塗布 ウレタン塗膜防水 (X-2) 指定色 (新設)	1) 内部・外壁劣化部補修仕様は以下の通りとする。
⑤	テラス庇見付: C + VP (カラー) (劣化部補修)	水洗いの上 可とう型改修塗材E厚付け (シコトアップコート) (新設)	⑬	バルコニー床 (西側): 防水モルタル金コテ 目地切	Δ	・クラック補修 (0.2mm以上~1.0mm未満): 自動低圧エポキシ樹脂注入工法
⑥	テラス庇軒裏・西面軒裏: C + リシン吹付 (劣化部補修)	下地処理、水洗い・清掃、下地調整の上 水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上げ材 (新設)	⑭	軒樋: 硬質塩ビ製 (鋼板) W=150 (撤去) SUS製吊金物@600 (撤去)	硬質塩ビ製 (鋼板) W=150 (新設) SUS製吊金物@600 (新設)	・クラック補修 (1.0mm以上): 自動低圧エポキシ樹脂注入工法
⑦	昇降口庇先端: 均しモルタル金コテの上、下地シート防水 (歩行用) + 押えコンクリート + 防水モルタル金コテ 目地切	水洗い補修の上 エポキシ系ポリマーセメントモルタル塗布 ウレタン塗膜防水 (X-2) 指定色 (新設)	⑮	壁樋: 硬質塩ビパイプ φ100 + VP (カラー) (撤去)	VP φ100 カラー塩ビ製 (新設) 摺り金物: SUS製@1000以下 下り止め共 (新設)	・モルタル浮き補修: アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
⑧	昇降口庇見付: C + 吹付タイル 化粧目地切 (劣化部補修)	水洗いの上 可とう型改修塗材E厚付け (シコトアップコート) (新設)	⑯	ガラリ (残置)	アルミ複合パネル t=3 (新設) 金属・コンクリート用接着剤の上 コンクリートビス取付 (4ヶ所)	・タイル浮き補修 (外壁): アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
						・欠損部補修: エポキシ樹脂モルタル充填 ハブリ鉄筋補修共
						・塗装撤去箇所は模様合わせを行う
						2) 特記なき設備配管及び壁は下地処理 (RB種) の上DP塗替えとする。

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

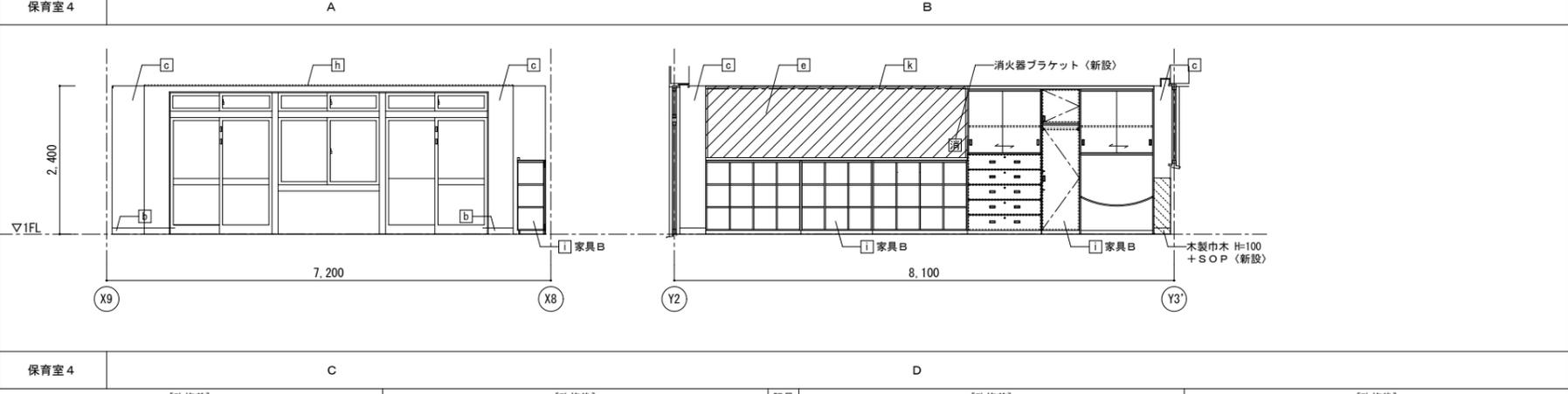
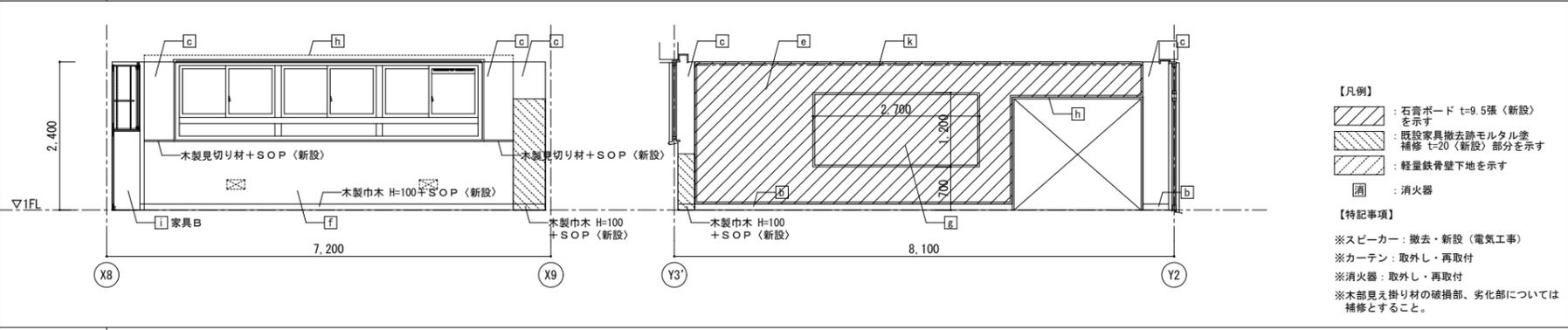
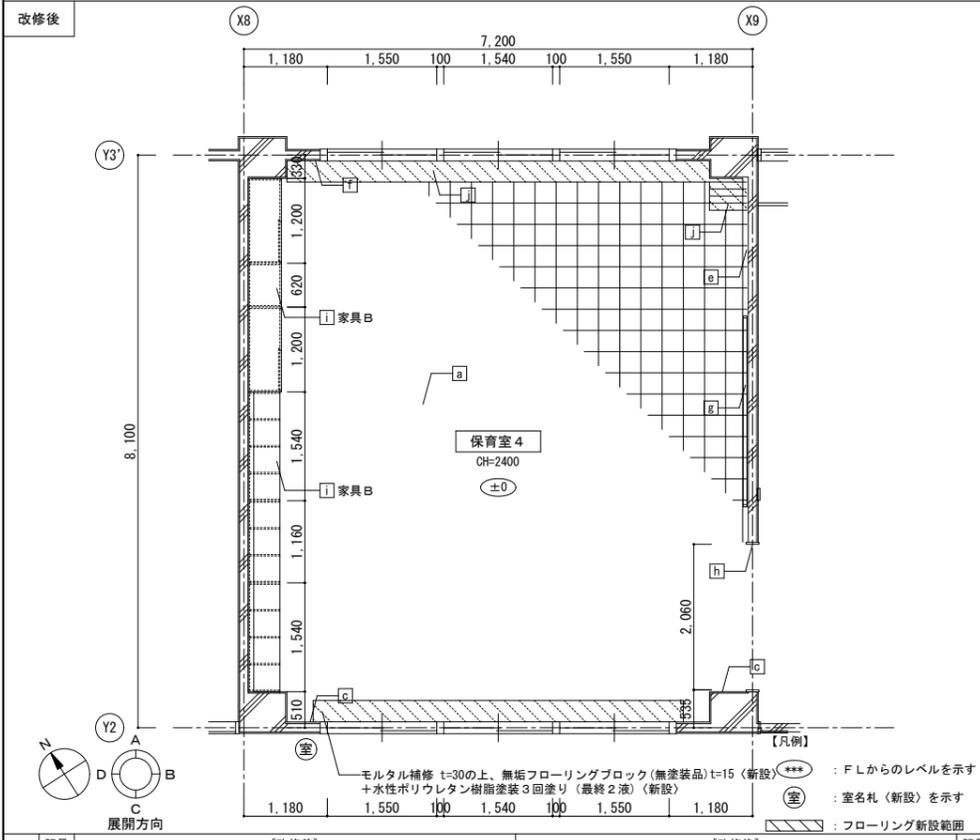
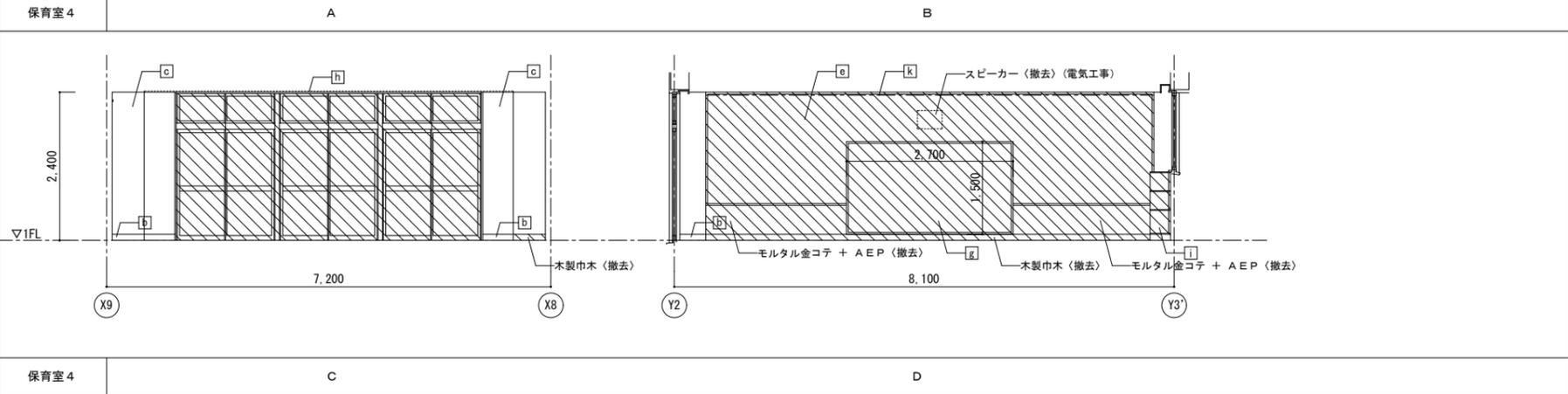
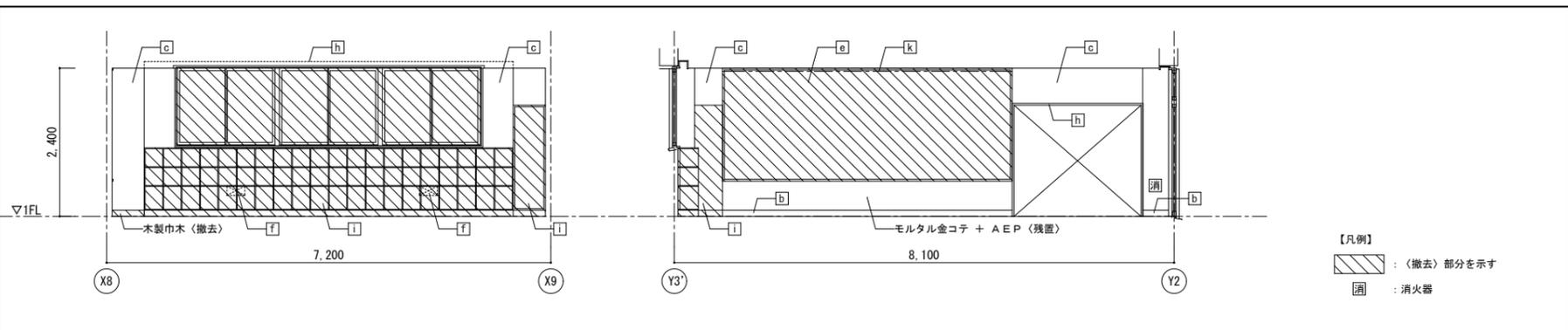
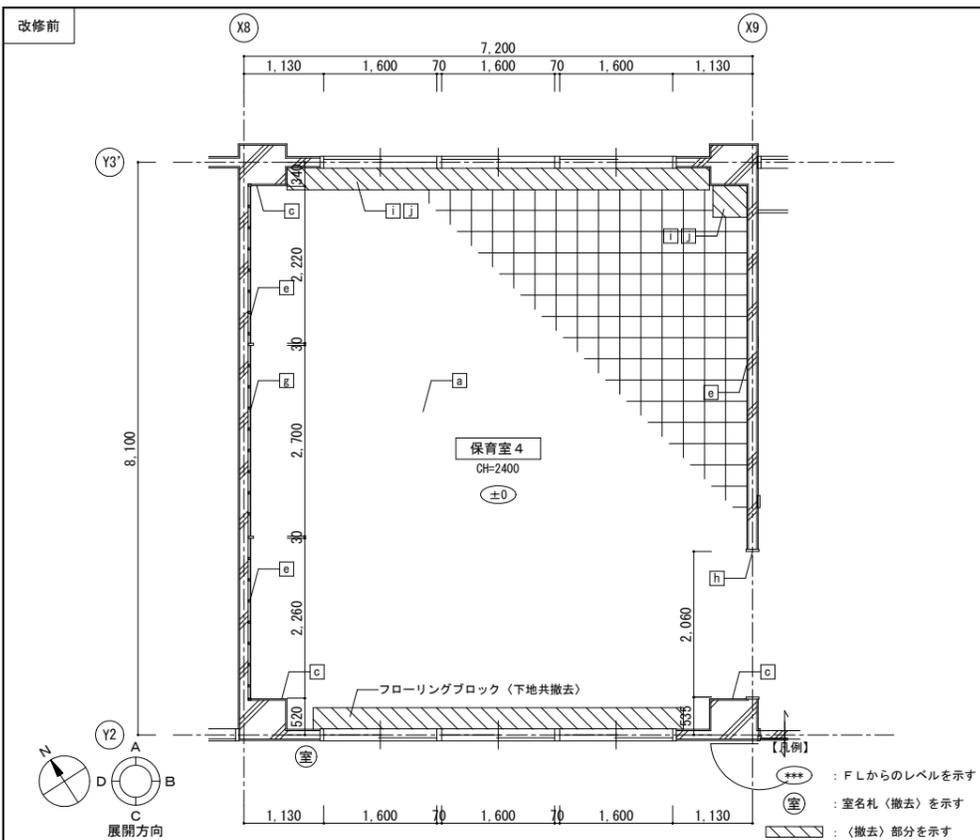
工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事			図面番号	A-23
図面名	断面詳細図2 (改修前・改修後)			縮尺	1/30
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス	一級建築士事務所 愛知県 (イー3) 第13966号	設計	河村康弘



凡例	[改修前]	[改修後]	記号	[改修前]	[改修後]	記号	[改修前]	[改修後]
[a]	床: モルタル金コテ + フローリングブロック t=15 + OSW (残置)	サンダー掛けの上 水性ポリウレタン樹脂塗装 3回塗り (最終2液) (新設)	[f]	ガラリ (残置) 壁: 木下地 T1ベニア t=5.5+壁紙貼 (木下地共撤去)	ガラリ撤去周囲: 木下地 石膏ボード t=12.5+12.5+複層塗材Si	[k]	長押: 木部 OP塗 (撤去)	-
[b]	巾木: 木製 H=100 + OP (残置)	下地調整 (RB種) の上 SOP塗替	[g]	ホワイトボード: 木製枠 (枠共撤去)	ホワイトボード: アルミ枠 (枠共新設)	[l]	引き戸: アルミ 4本引違いフラッシュ戸 (一時取外し)	(復旧)
[c]	梁型: シナ合板 t=6 + SOP (残置)	下地調整 (RB種) の上 SOP塗替	[h]	カーテンボックス・簾線・見切り縁: 木部 OP塗	下地調整の上 SOP塗替 (カーテンレール取付部以外)	[m]		
[d]	壁: LGS下地 石膏ボード t=9.5+12.5 + 壁紙 (壁紙撤去)	壁紙 (新設)	[i]	園児ロッカー・掃除具入れ・テレビ台: (撤去)	園児ロッカー・掃除具入れ・収納: (新設)	[n]		
[e]	壁: 木下地 T1ベニア t=5.5 + 壁紙貼 (木下地共撤去)	木下地 石膏ボード t=9.5 + 石膏用壁紙 (新設) 掃帚枠・木製+W.P. (新設)	[j]	園児ロッカー・掃除具入れ・テレビ台: (撤去)	床: 下地調整の上 無垢フローリングブロック (無塗装品) t=15 (新設) +水性ポリウレタン樹脂塗装 3回塗り (最終2液) (新設)	[o]		

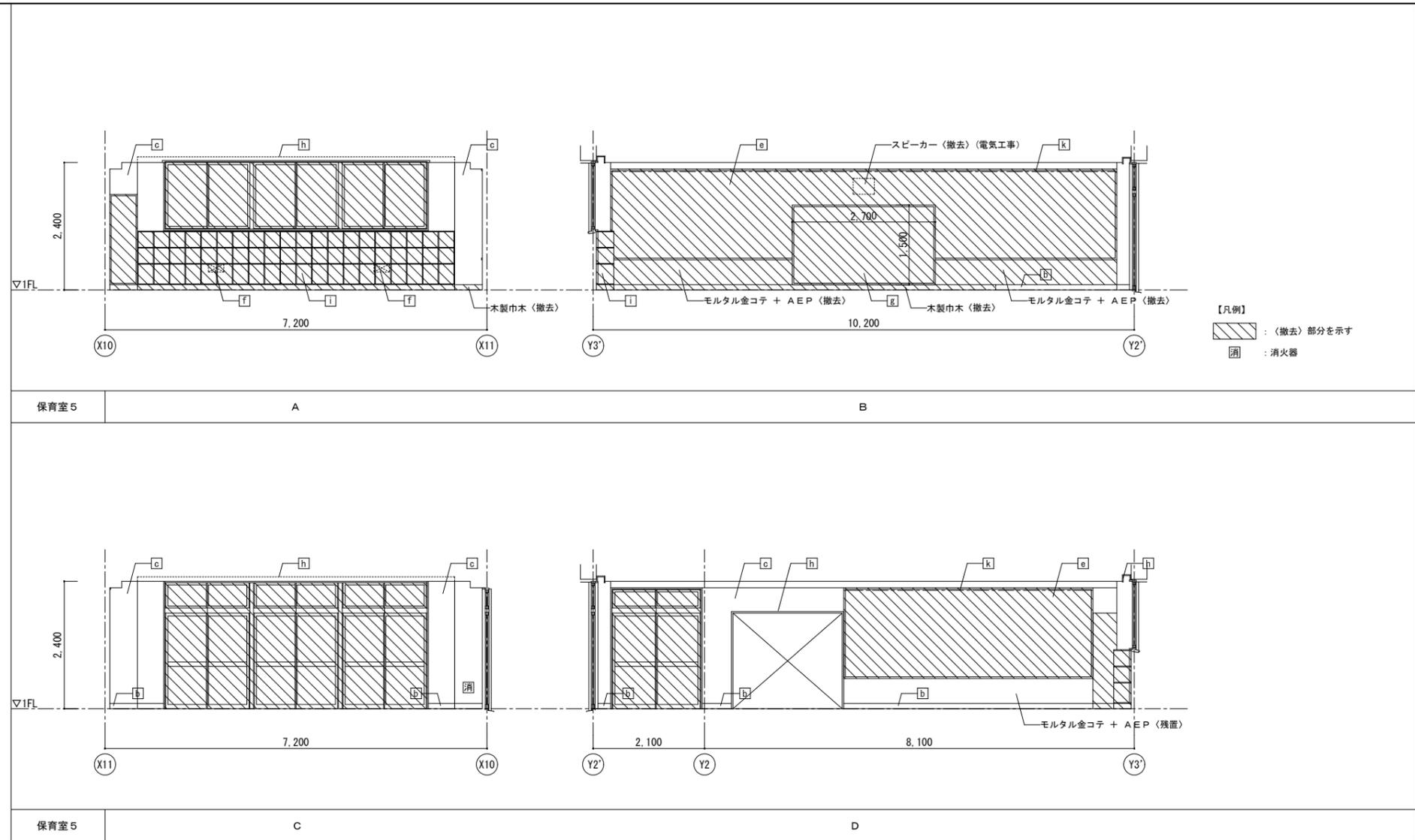
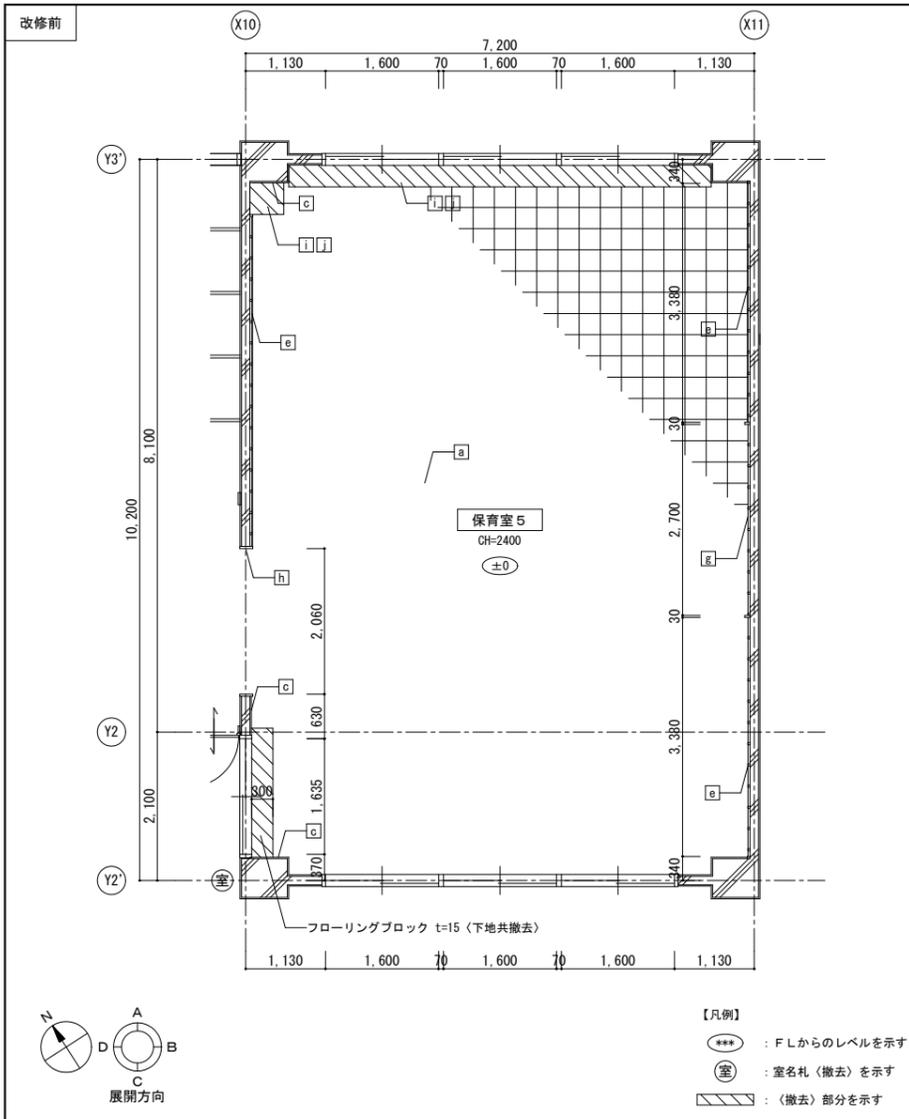
工務名		安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号		A-24	
図面名		保育室3 (改修前・改修後) 平面詳細図・展開図		縮尺		1/50	
日付		2025.12		株式会社デザインボックス名古屋オフィス		一級建築士334761	
				一級建築士事務所 愛知県 (いー3) 第13966号		河村康弘	

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)



凡例	[改修前]		[改修後]		[改修前]		[改修後]		
	記号	内容	記号	内容	記号	内容	記号	内容	
a	床: モルタル金コテ + フローリングブロック t=15 + OSW (残置)	f	サンダー掛けの上 水性ポリウレタン樹脂塗装3回塗り (最終2液) (新設)	f	ガラリ (残置)	k	ガラリ撤去周囲: 木下地 石膏ボード t=12.5+12.5 + 複層塗材Si	k	ビクチャーレール (撤去)
b	巾木: 木製 H=100 + OP (残置)	g	下地調整 (RB種) の上 SOP塗替	g	黒板: 木製枠 (枠共撤去)	l	ホワイトボード: アルミ枠 (枠共新設)	l	ビクチャーレール (壁付) (新設)
c	壁: モルタル金コテ + AEP (劣化部補修)	h	下地調整 (RB種) の上 複層塗材 Si (新設)	h	カーテンボックス・額縁・見切り縁: 木部 OP塗	m	下地調整の上 SOP塗替 (カーテンレール取付部以外)	m	
d	壁: LGS下地 石膏ボード t=9.5+12.5 + AEP (劣化部補修)	i	下地調整 (RB種) の上 複層塗材 Si (新設)	i	園児ロッカー・掃除具入れ: (撤去)	n	園児ロッカー・掃除具入れ: (新設)	n	
e	天井: T1ベニア t=5.5 + 両面用壁紙貼 (木下地共撤去) 枠: 木製 + OP (撤去)	j	下地調整 (RB種) の上 複層塗材 Si (新設)	j	園児ロッカー・掃除具入れ: (撤去)	o	床: 下地調整の上 無垢フローリングブロック (無塗装品) t=15 (新設) + 水性ポリウレタン樹脂塗装3回塗り (最終2液) (新設)	o	

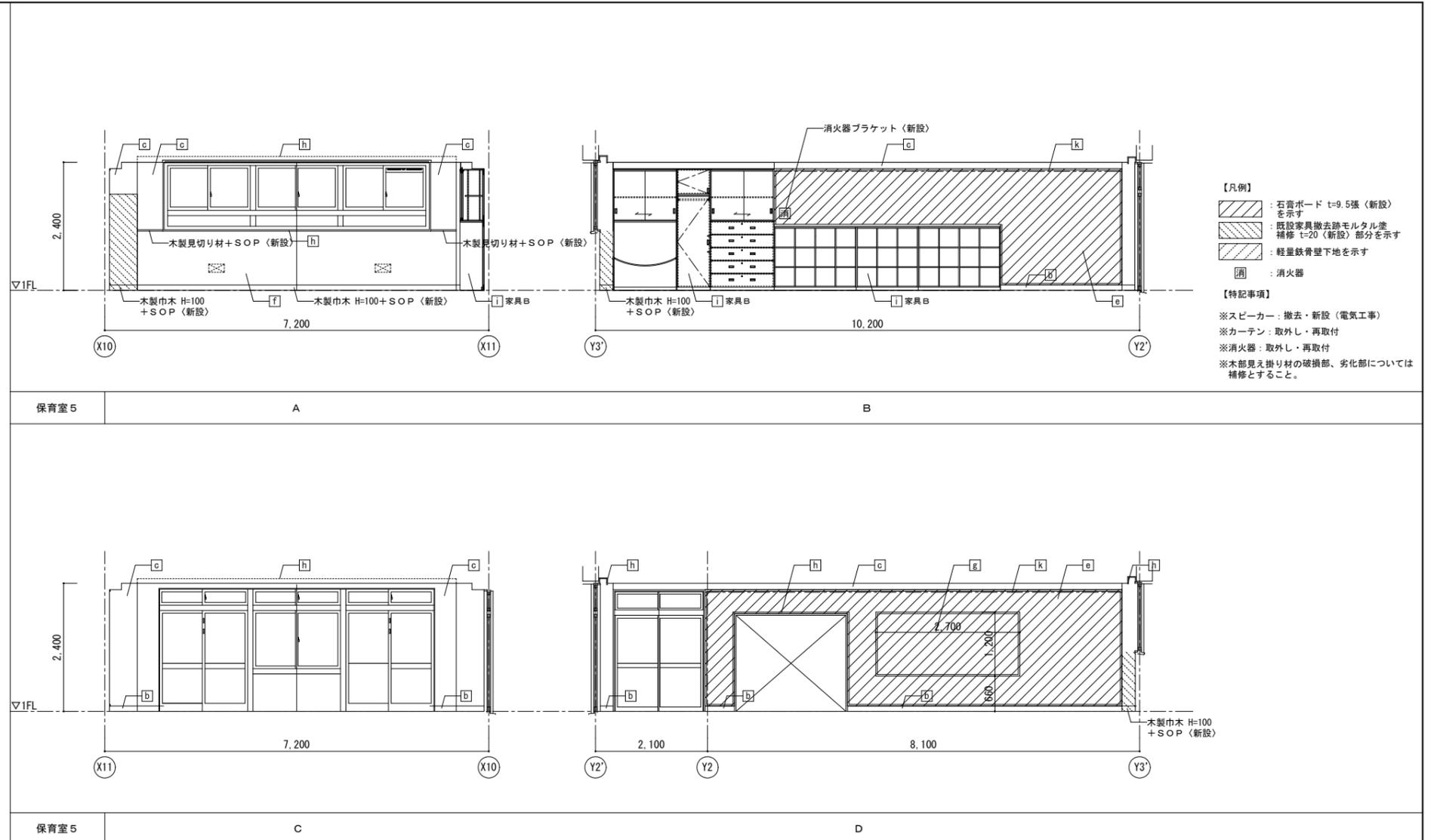
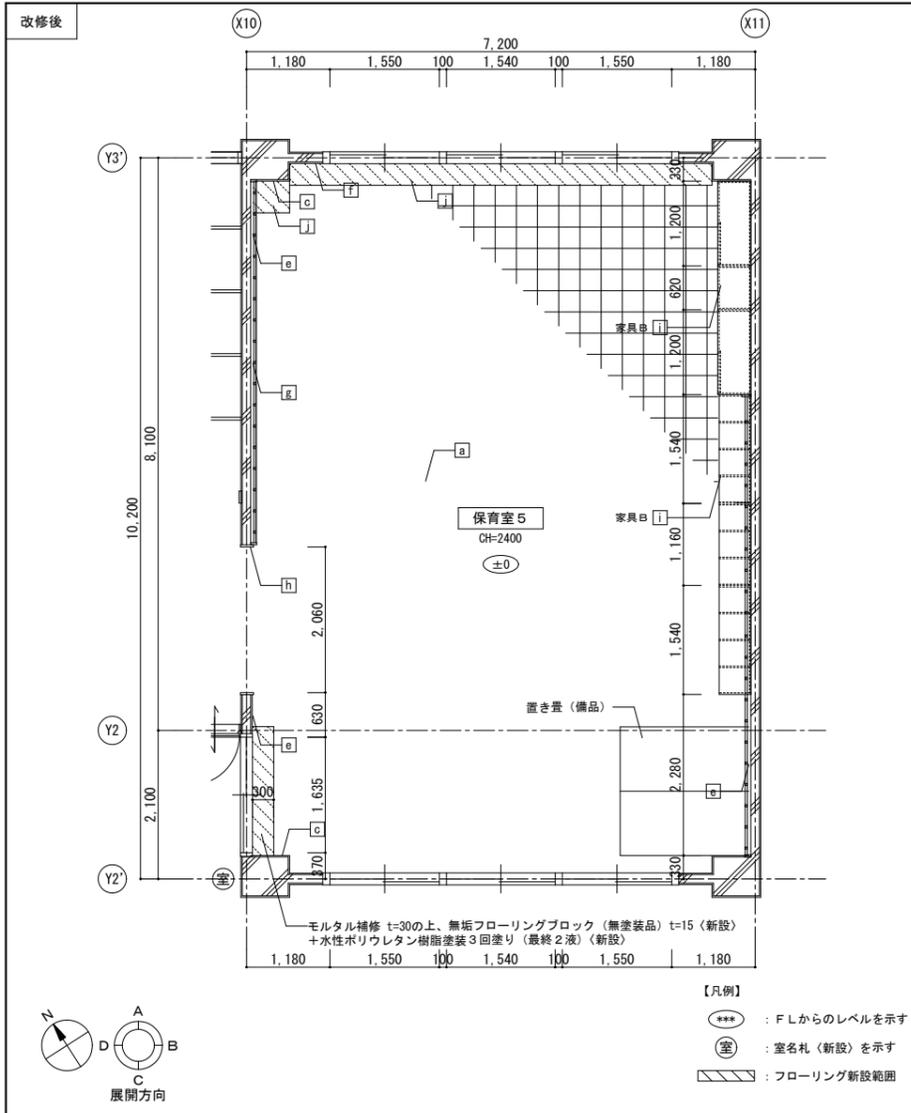
工務名		安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号		A-25	
図面名		保育室4 (改修前・改修後) 平面詳細図・展開図		縮尺		1/50	
日付		2025.12		設計		河村康弘	
設計者		株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (イ-3) 第13966号		一級建築士334761			



凡例	[改修前]		[改修後]		[改修前]		[改修後]	
	記号	内容	記号	内容	記号	内容	記号	内容
例	a	床: モルタル金コテ + フローリングブロック t=15 + OSW (残置)	f	サンダー掛けの上 水性ポリウレタン樹脂塗装3回塗り (最終2液) (新設)	f	ガラリ (残置)	k	ガラリ撤去周囲: 木下地 石膏ボード t=12.5+12.5 + 複層塗材Si
	b	巾木: 木製 H=100 + OP (残置)	g	下地調整 (RB種) の上 SOP塗替	g	黒板: 木製枠 (枠共撤去)	l	ホワイトボード: アルミ枠 (枠共新設)
	c	壁: モルタル金コテ + AEP (劣化部補修)	h	下地調整 (RB種) の上 複層塗材 Si (新設)	h	カーテンボックス・額縁・見切り縁: 木部 OP塗	m	下地調整の上 SOP塗替 (カーテンレール取付部以外)
	d	壁: LGS下地 石膏ボード t=9.5+12.5 + AEP (劣化部補修)	i	下地調整 (RB種) の上 複層塗材 Si (新設)	i	園児ロッカー・掃除具入れ: (撤去)	n	園児ロッカー・掃除具入れ: (新設)
	e	天井: T1ベニア t=5.5 + 網糸用壁紙貼 (木下地共撤去) 枠: 木製 + OP (撤去)	j	天井: 石膏ボード t=9.5 + 網糸用壁紙貼 (木下地共撤去) 枠: 木製 + WP (新設)	j	園児ロッカー・掃除具入れ: (撤去)	o	床: 下地調整の上 複層フローリングブロック (複層塗品) t=15 (新設) + 水性ポリウレタン樹脂塗装3回塗り (最終2液) (新設)

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

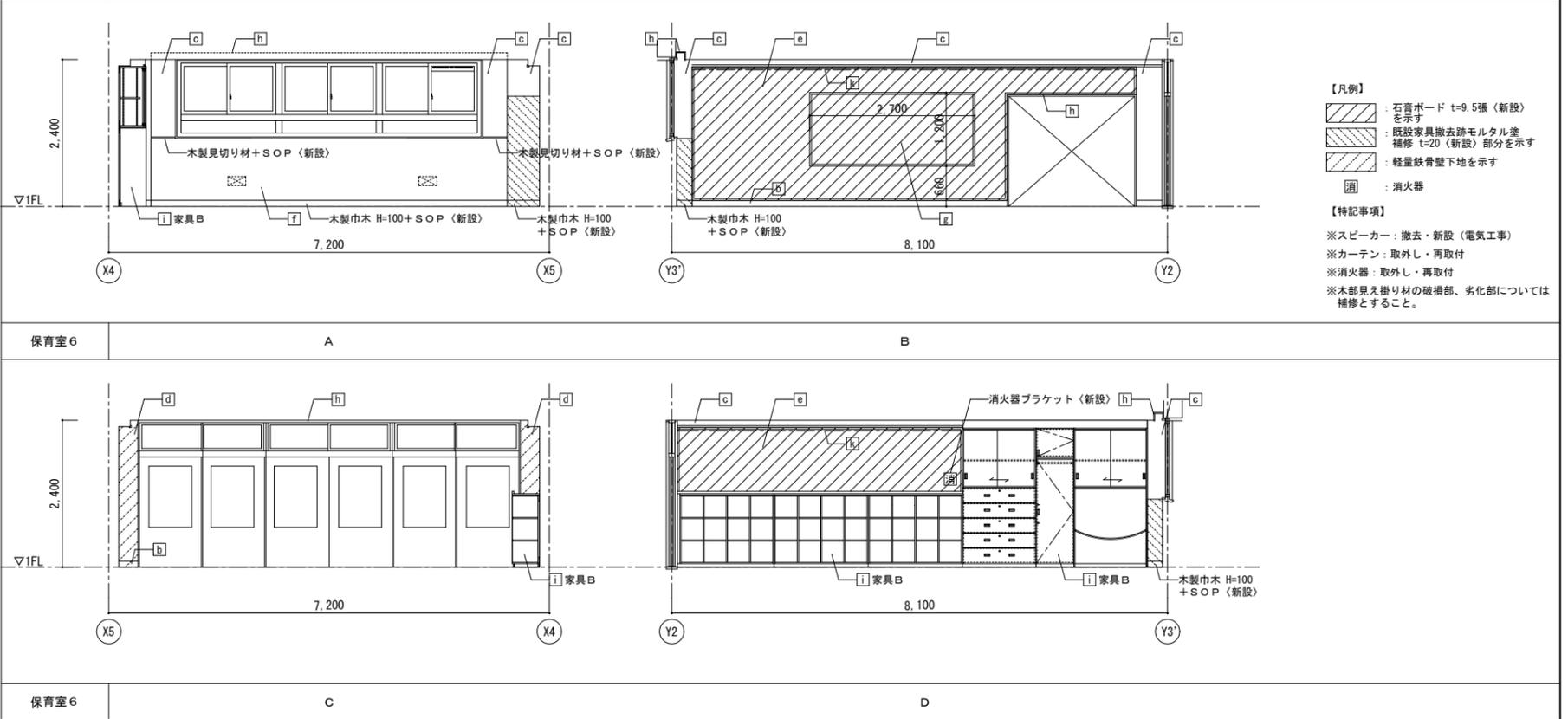
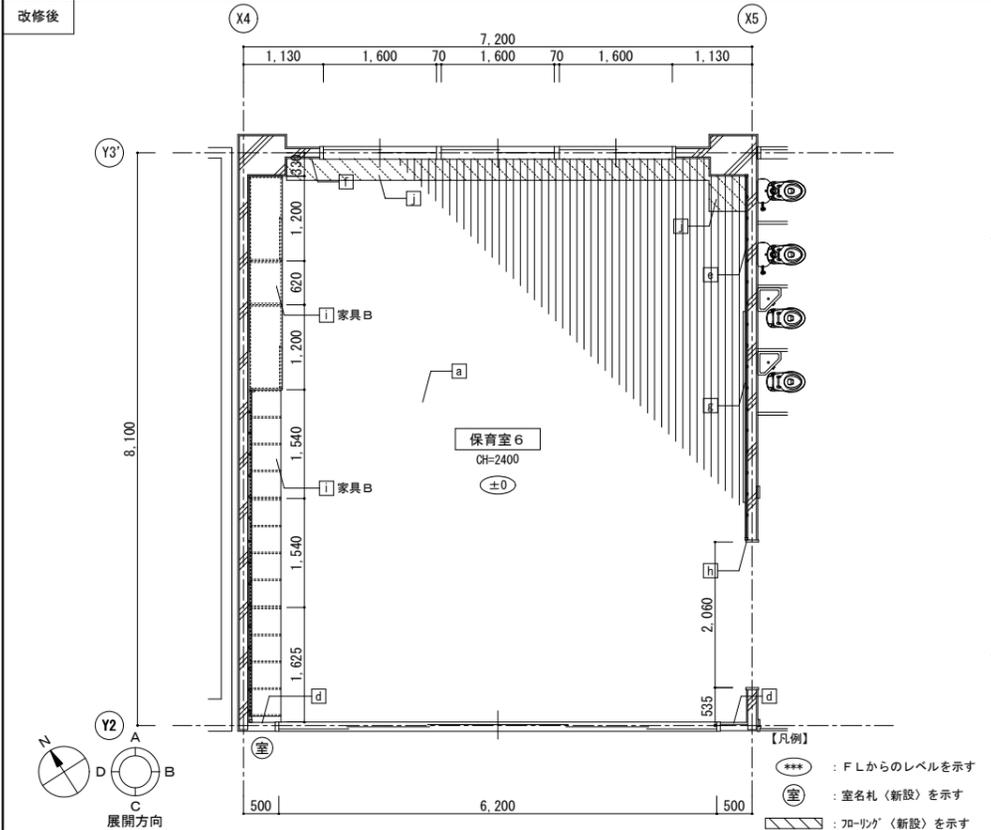
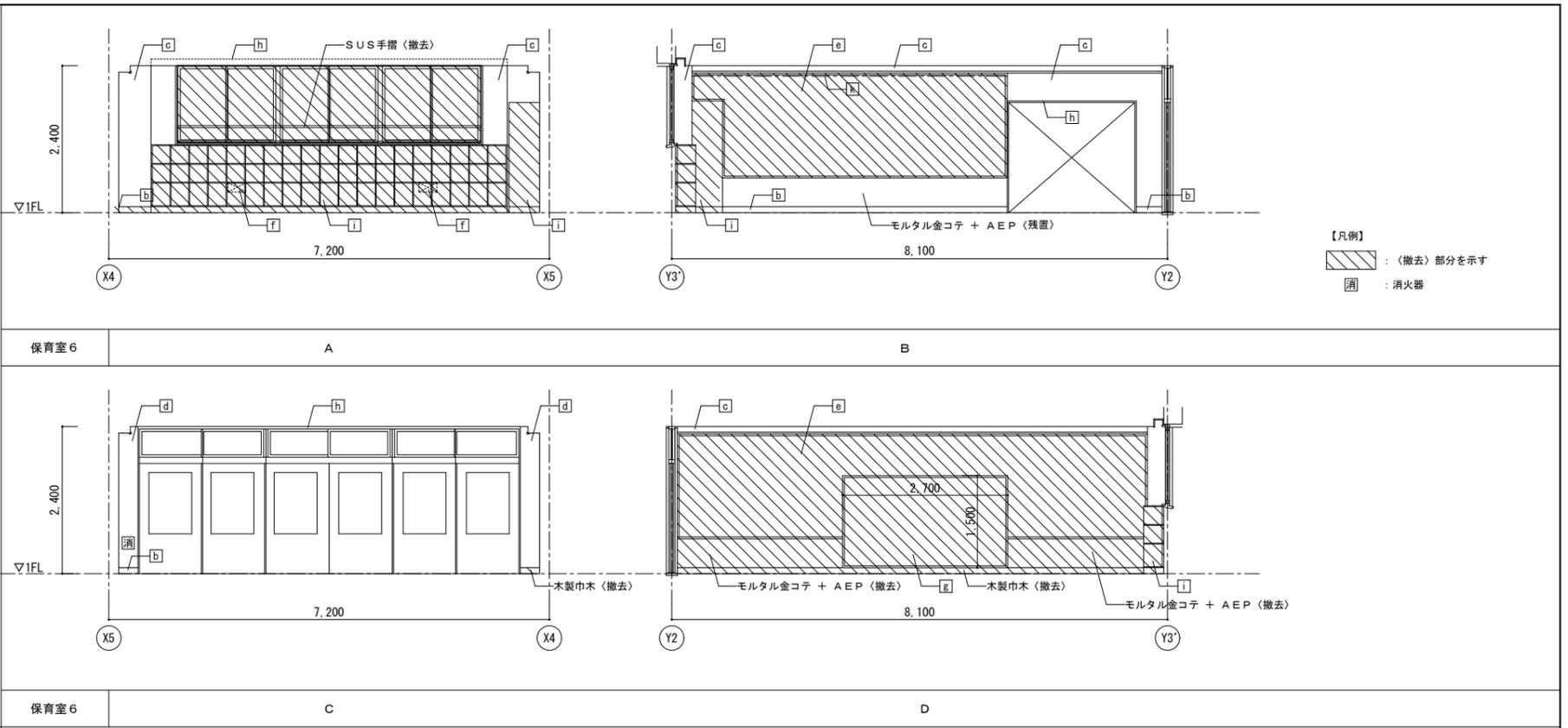
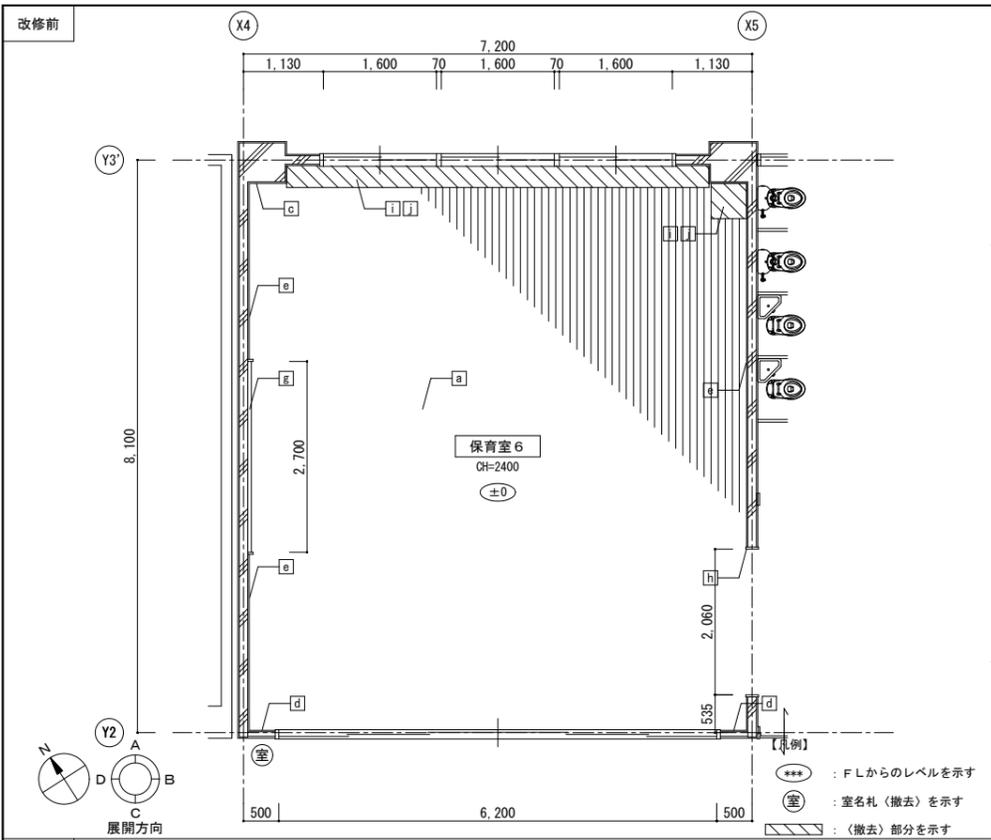
工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号	A-26
図面名	保育室 5 (改修前) 平面詳細図・展開図	縮尺	1/50	設計
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス	一級建築士334761	河村康弘
		一級建築士事務所 愛知県 (イ-3) 第13966号		



記号	[改修前]	[改修後]	記号	[改修前]	[改修後]	記号	[改修前]	[改修後]
凡例	a 床: モルタル金コテ + フローリングブロック t=15 + OSW (残置)	サンダー掛けの上 水性ポリウレタン樹脂塗装3回塗り (最終2液) (新設)	f ガラリ (撤去)	北側壁: 木下地 石膏ボード t=12.5+12.5 + 複層塗材Si	k ピクチャーレール (撤去)	ピクチャーレール (壁付) (新設)		
	b 巾木: 木製 H=100 + OP (残置)	下地調整 (RB種) の上 SOP塗替	g 黒板: 木製枠 (枠共撤去)	ホワイトボード: アルミ枠 (枠共新設)	l			
	c 壁: モルタル金コテ + AEP (劣化部補修)	下地調整 (RB種) の上 複層塗材 Si (新設)	h カーテンボックス・顔縁・見切り縁: 木部 OP塗	下地調整の上 SOP塗替	m			
例	d 壁: LGS下地 石膏ボード t=9.5+12.5 + AEP (劣化部補修)	下地調整 (RB種) の上 複層塗材 Si (新設)	i 園児ロッカー・掃除具入れ: (撤去)	園児ロッカー・掃除具入れ: (新設)	n			
	e 襖扉: T1ペニア t=5.5 + 両用壁紙貼 (木下地共撤去) 枠: 木製 +OP (撤去)	襖扉: 石膏ボード t=9.5 + 両用壁紙貼 (木下地共新設) 枠: 木製 +WP (新設)	j 園児ロッカー・掃除具入れ: (撤去)	床: 下地調整の上 無垢フローリングブロック (無塗装品) t=15 (新設) +水性ポリウレタン樹脂塗装3回塗り (最終2液) (新設)	o			

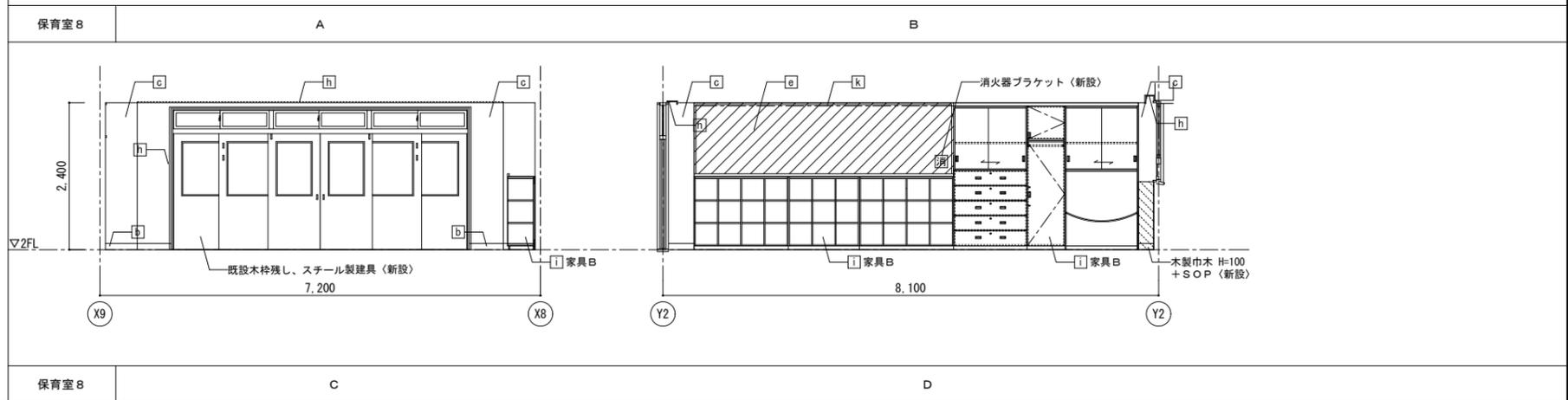
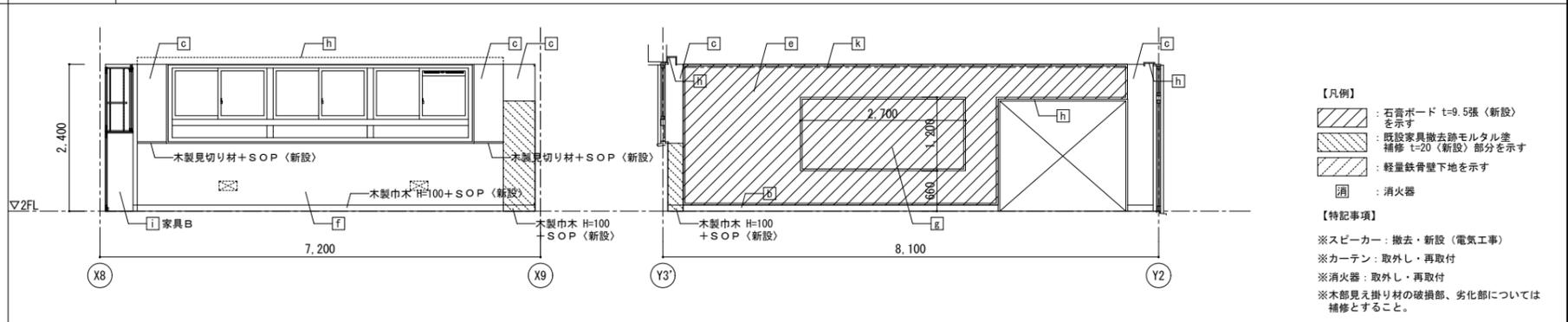
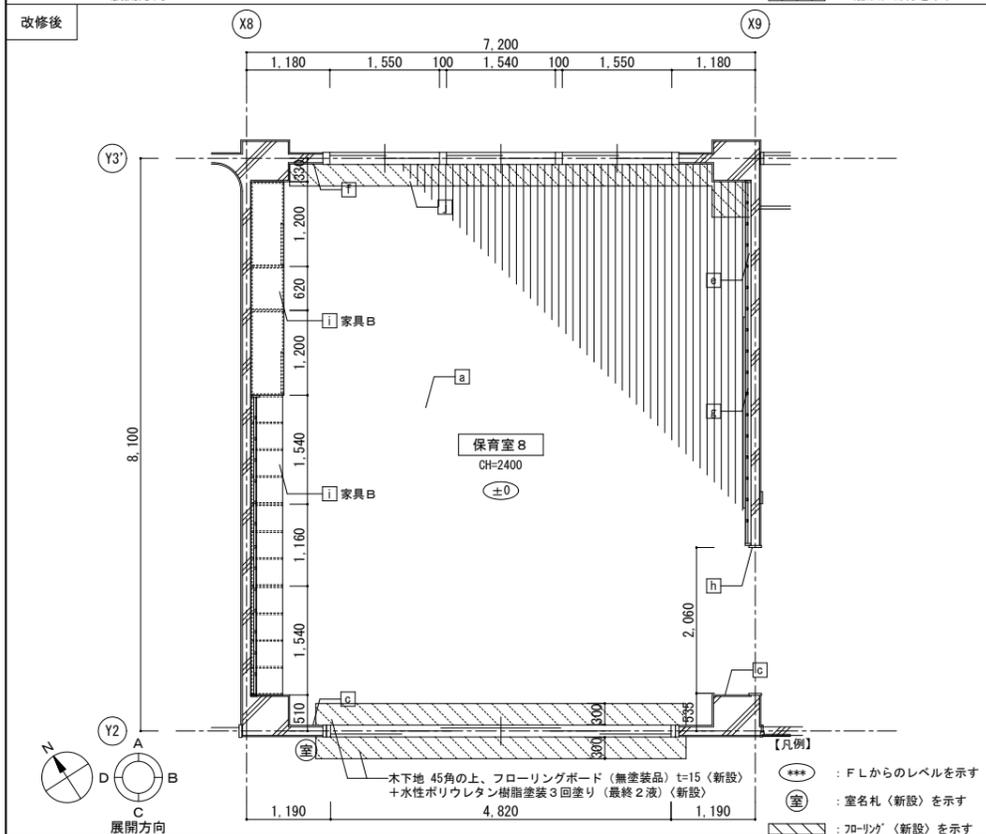
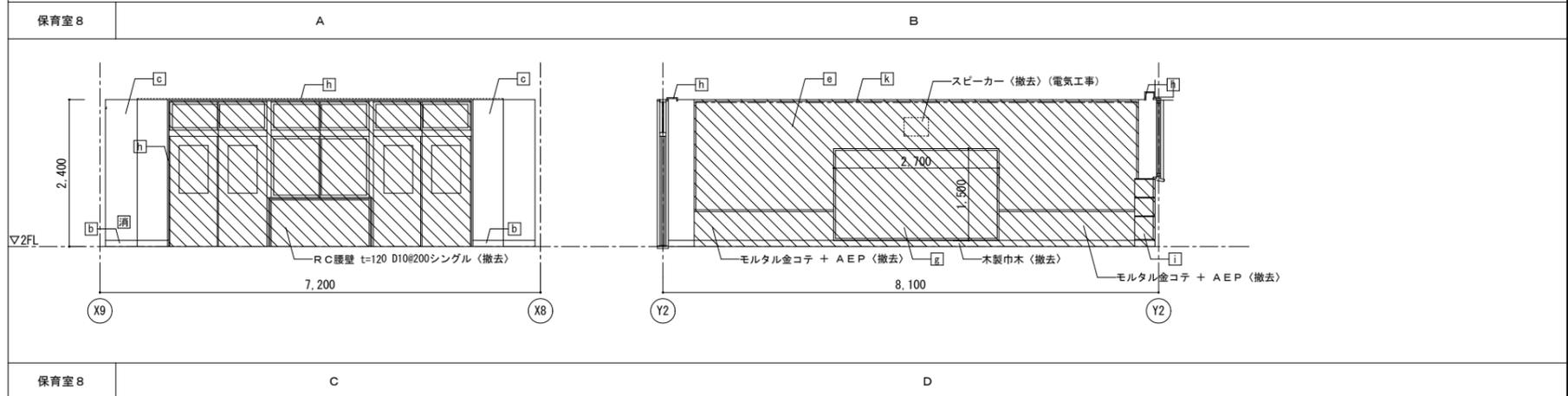
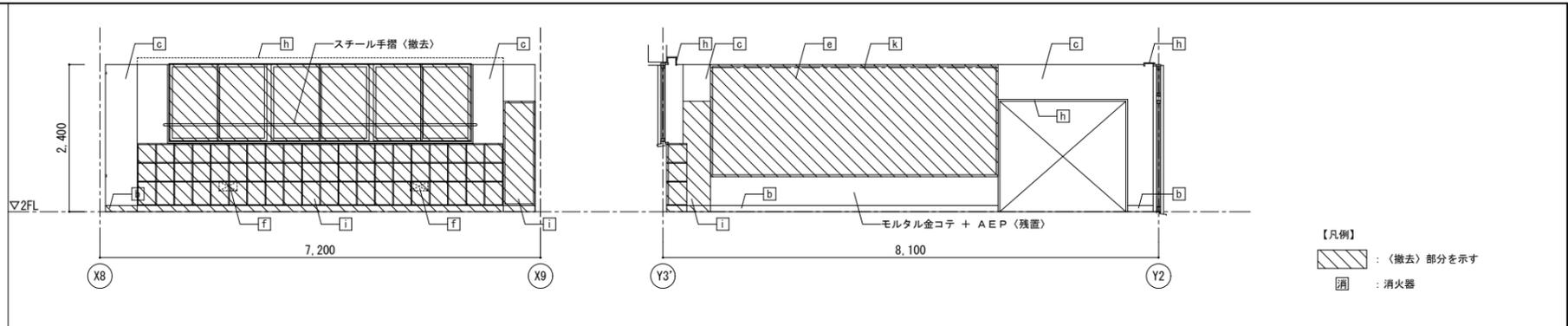
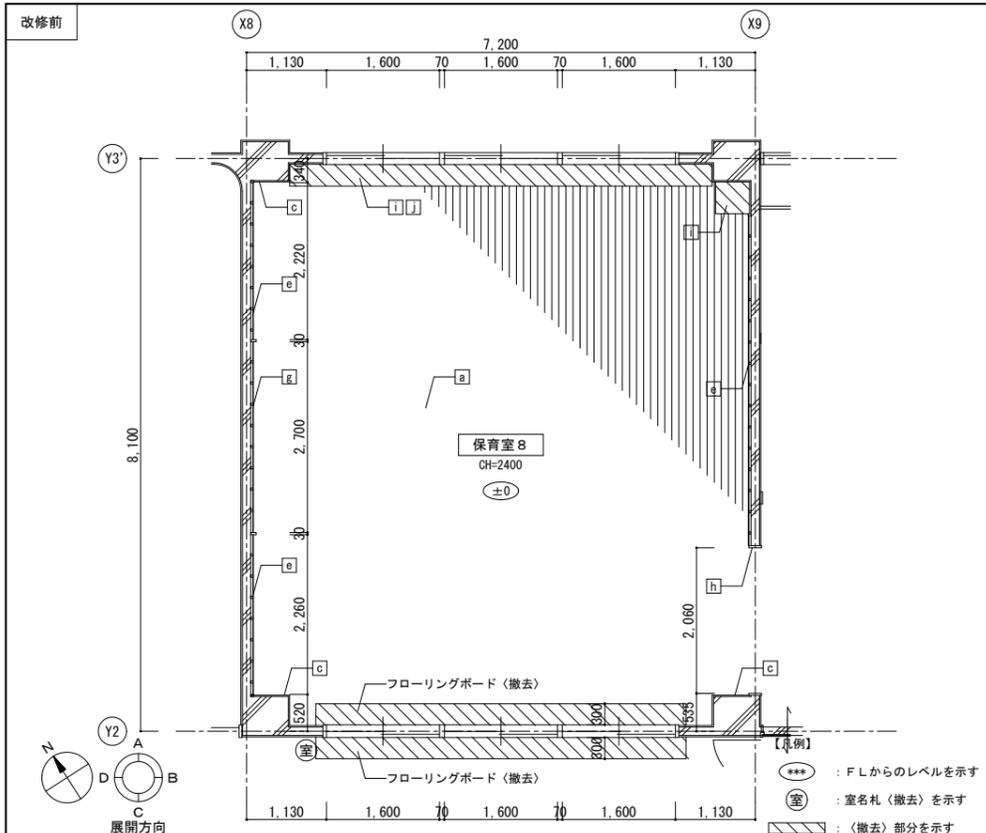
縮尺はA1版に適用 (A3版→50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号	A-27
図面名	保育室 5 (改修後) 平面詳細図・展開図	縮尺	1/50	設計
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (いー3) 第13966号	一級建築士334761	河村康弘

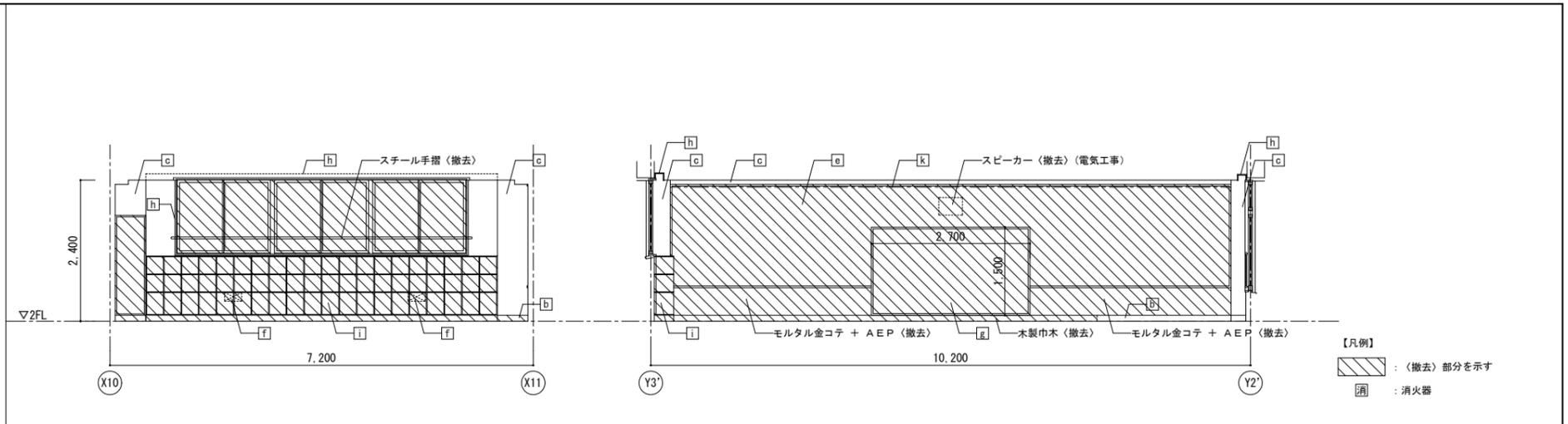
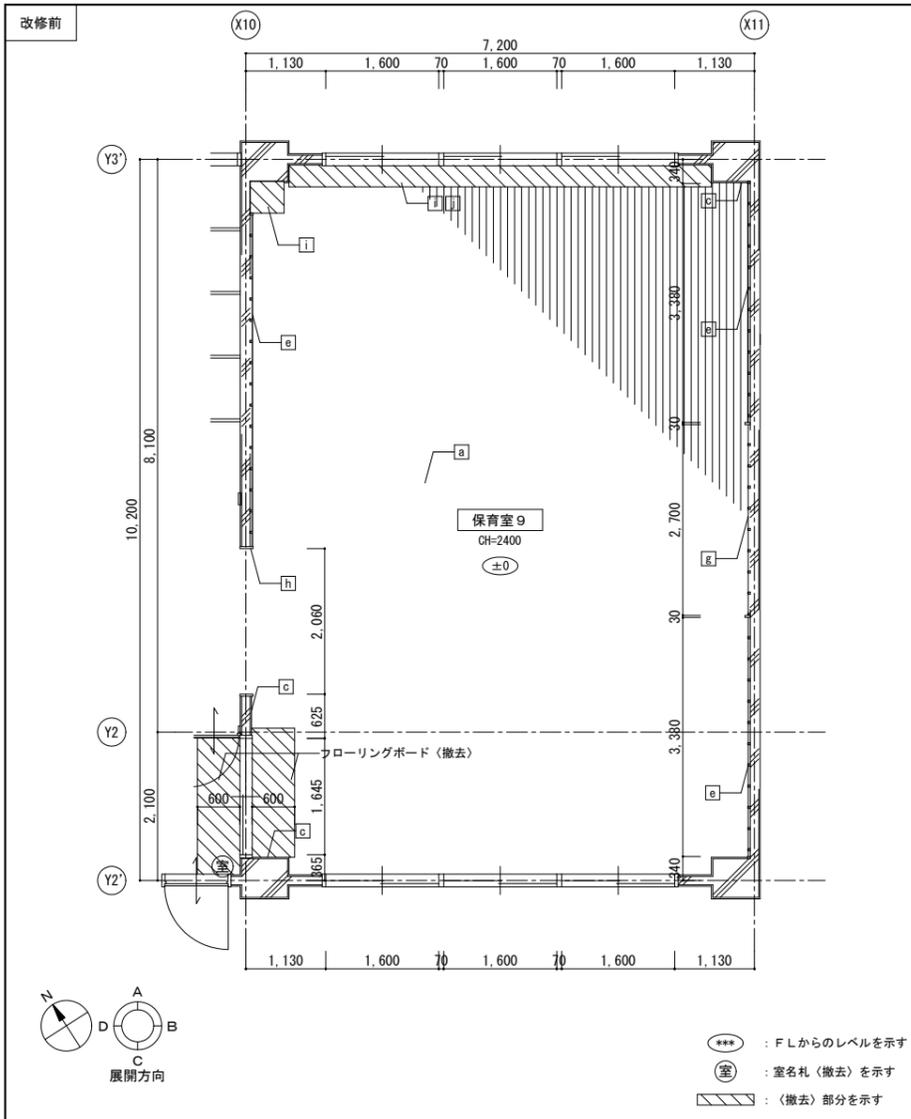


凡例	[改修前]		[改修後]		記号	[改修前]		[改修後]	
	記号	内容	記号	内容		記号	内容	記号	内容
a	床: モルタル金コテ + フローリング t=15 + OSW (残置)	サンダー掛けの上 水性ポリウレタン樹脂塗装 3回塗り (最終2液) (新設)	f	ガラリ (残置)	k	ビクチャーレール (撤去)	l	ビクチャーレール (壁付) (新設)	
b	巾木: 木製 H=100 + OP (残置)	下地調整 (RB種) の上 SOP塗替	g	黒板: 木製枠 (枠共撤去)	m				
c	壁: モルタル金コテ + AEP (劣化部補修)	下地調整 (RB種) の上 複層塗材 Si (新設)	h	カーテンボックス・額縁・見切り縁: 木部 OP塗	n	園児ロッカー・掃除具入れ: (撤去)			
d	壁: LGS下地 石膏ボード t=9.5+12.5 + AEP (残置)	下地調整 (RB種) の上 複層塗材 Si (新設)	i	園児ロッカー・掃除具入れ: (撤去)	o	床: 下地調整の上 複合フローリングボード (無塗膜品) t=15 (新設) +水性ポリウレタン樹脂塗装 3回塗り (最終2液) (新設)			
e	提示板 T1ペニア t=5.5 + 提示用壁紙貼 (木下地共撤去) 枠: 木製 + OP (撤去)	提示板: 石膏ボード t=9.5 + 提示用壁紙貼 (木下地共撤去) 枠: 木製 + WP (新設)	j	園児ロッカー・掃除具入れ: (撤去)					

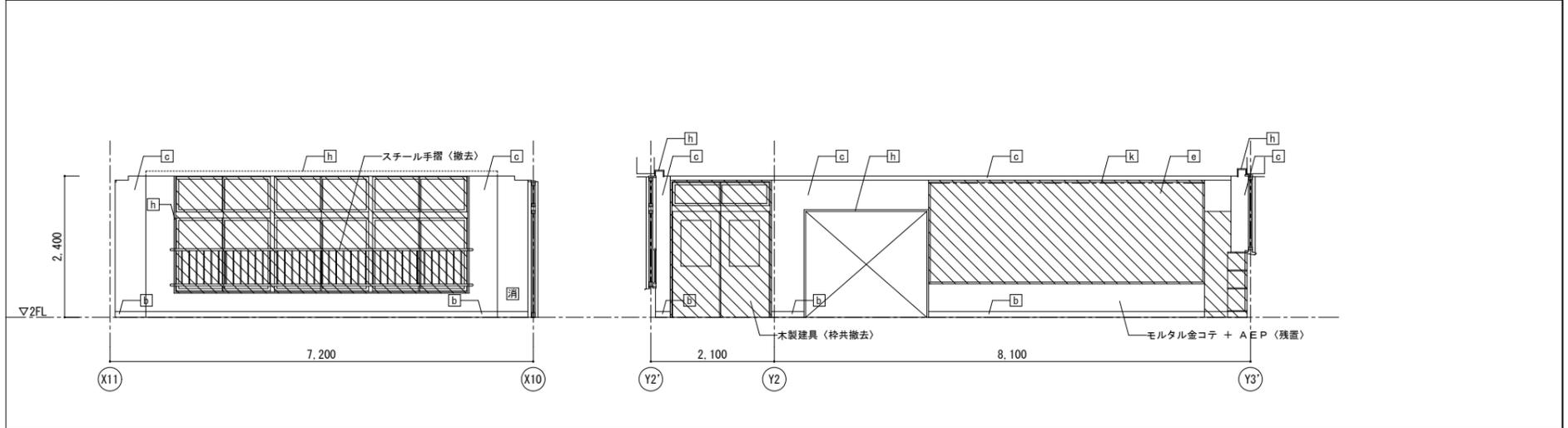
工務名		安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号		A-28	
図面名		保育室6 (改修前・改修後) 平面詳細図・展開図		縮尺		1/50	
日付		2025.12		設計		河村康弘	
B付		株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (い-3) 第13966号		一級建築士334761			



凡例	[改修前]		[改修後]		記号	[改修前]		[改修後]	
	記号	内容	記号	内容		記号	内容	記号	内容
a	床：モルタル金コテ + フローリングボード t=15 + OSW (残置)	サンダー掛けの上 水性ポリウレタン樹脂塗装 3 回塗り (最終 2 液) (新設)	f	ガラリ (残置)	k	ビクチャーレール (撤去)			
b	巾木：木製 H=100 + OP (残置)	下地調整 (RB種) の上 SOP 塗替	g	黒板：木製枠 (枠共撤去)	l	ビクチャーレール (壁付) (新設)			
c	壁：モルタル金コテ + AEP (劣化部補修)	下地調整 (RB種) の上 複層塗材 Si (新設)	h	カーテンボックス・額縁・見切り縁：木部 OP 塗	m				
d	壁：LGS下地 石膏ボード t=9.5+12.5 + AEP (劣化部補修)	下地調整 (RB種) の上 複層塗材 Si (新設)	i	園児ロッカー・掃除具入れ：(撤去)	n				
e	提示板：T1ペニア t=5.5 + 提示用壁紙貼 (木下地共撤去) 枠：木製 + OP (撤去)	提示板：石膏ボード t=9.5 + 提示用壁紙貼 (木下地共新設) 枠：木製 + WP (新設)	j	園児ロッカー・掃除具入れ：(撤去)	o				



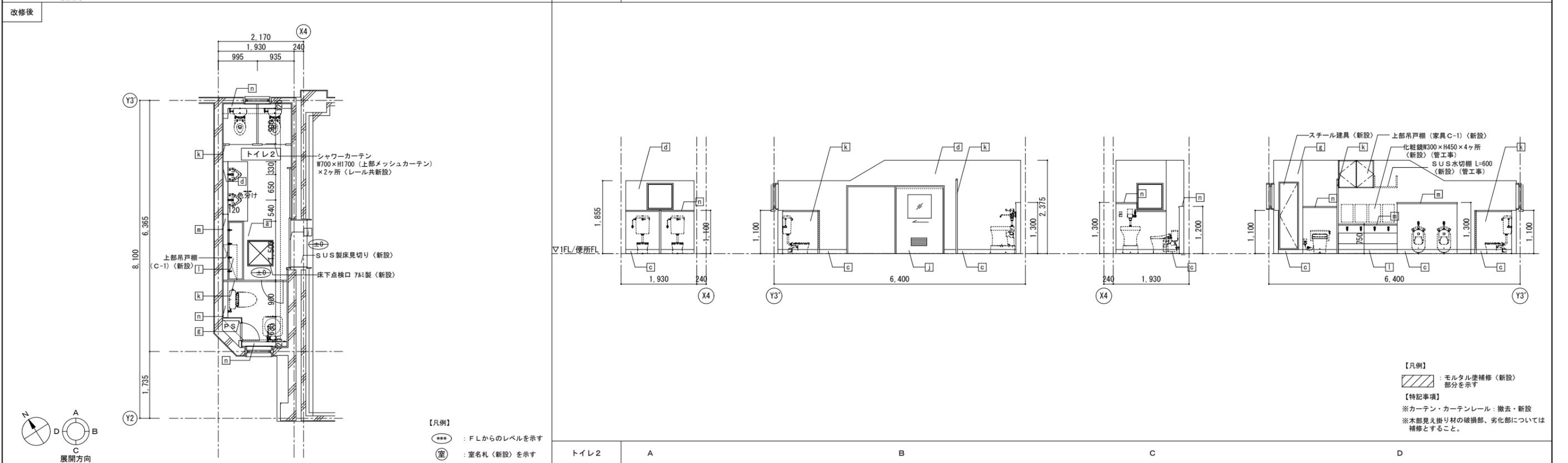
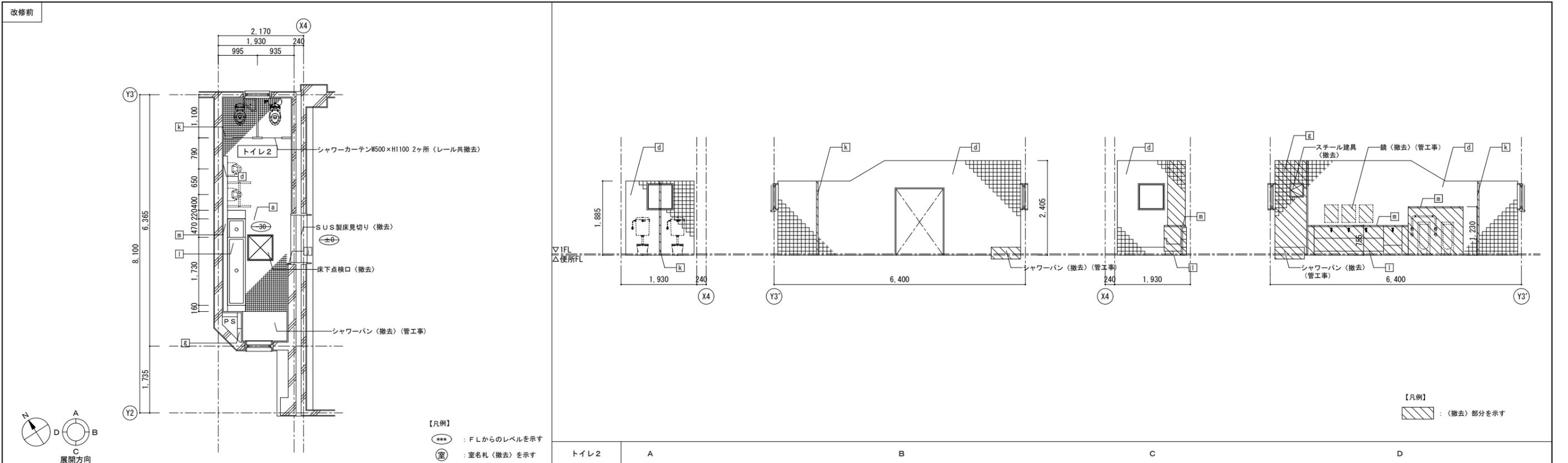
保育室9 A B



保育室9 C D

凡例	記号	[改修前]	[改修後]	記号	[改修前]	[改修後]	記号	[改修前]	[改修後]
例	a	床: モルタル金コテ + フローリングボード t=15 + OSW (残置)	サンダー掛けの上 水性ポリウレタン樹脂塗装3回塗り (最終2液) (新設)	f	ガラリ (残置)	ガラリ撤去周囲: 木下地 石膏ボード t=12.5+12.5 + 複層塗材Si	k	ビクチャーレール (撤去)	ビクチャーレール (壁付) (新設)
	b	巾木: 木製 H=100 + OP (残置)	下地調整 (RB種) の上 SOP塗替	g	黒板: 木製枠 (枠共撤去)	ホワイトボード: アルミ枠 (枠共新設)	l		
	c	壁: モルタル金コテ + AEP (劣化部補修)	下地調整 (RB種) の上 複層塗材 Si (新設)	h	カーテンボックス・額縁・見切り縁: 木部 OP塗	下地調整の上 SOP塗替 (カーテンレール取付部以外)	m		
	d	壁: LGS下地 石膏ボード t=9.5+12.5 + AEP (劣化部補修)	下地調整 (RB種) の上 複層塗材 Si (新設)	i	園児ロッカー・掃除具入れ: (撤去)	園児ロッカー・掃除具入れ: (新設)	n		
	e	掲示板: T1ペニア t=5.5 + 掲示用壁紙貼 (木下地共撤去) 枠: 木製 + OP (撤去)	掲示板: 石膏ボード t=9.5 + 掲示用壁紙貼 (木下地共新設) 枠: 木製 + WP (新設)	j	園児ロッカー・掃除具入れ: (撤去)	床: 木下地 45角の上 複合フローリングボード (無塗膜品) t=15 (新設) + 水性ポリウレタン樹脂塗装3回塗り (最終2液) (新設)	o		

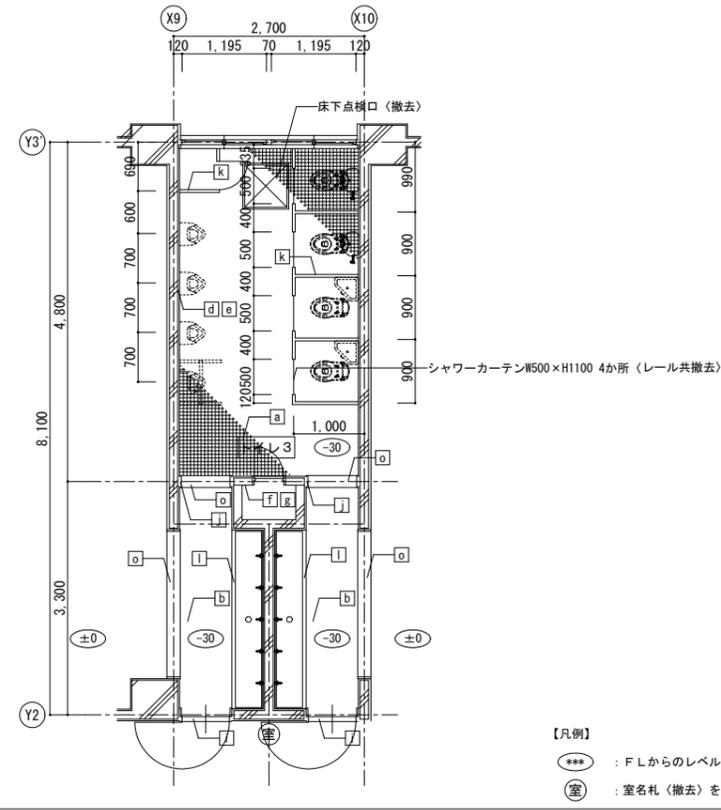
工事名 安城こども園中規模及び保全改修主体工事 図番 A-31		縮尺 1/50 設計	
日付 2025.12 株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (イ-3) 第13966号		一級建築士334761 河村康弘	



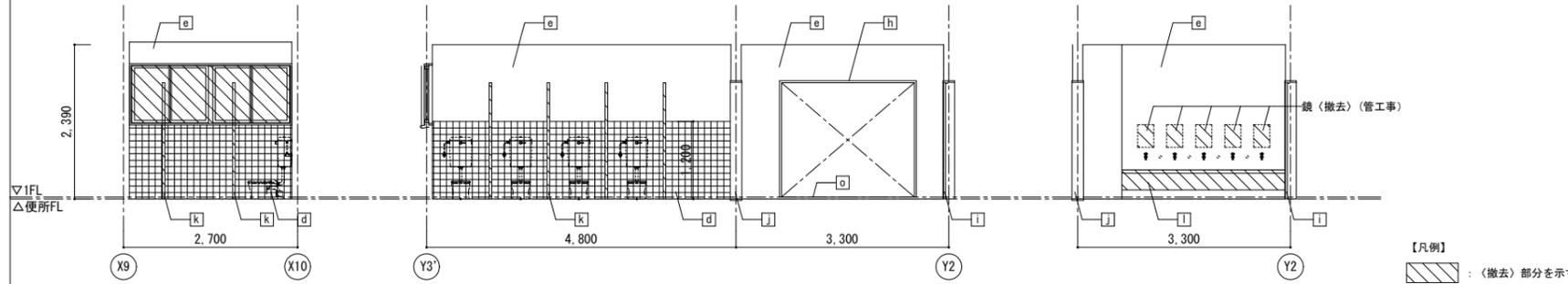
凡例	[改修前]		[改修後]		[改修前]		[改修後]	
	記号	内容	記号	内容	記号	内容	記号	内容
a	床: モルタル金コテ t=30 (撤去) + 磁器モザイクタイル貼 50×50 (撤去)	モルタル金コテ t=60 (新設) + 防汚・防滑性ビニルシート t=2 (新設)	f	壁: CB+モルタル金コテ+AEP (CB共撤去)	l	LGS65下地+耐水合板 t=12+メラミン化粧合板 t=3 (新設)	k	トイレブース (撤去)
b	床: 人造石研出し (撤去) + ビニルマット t=15 (撤去)	モルタル金コテ t=45 (新設) + 防汚・防滑性ビニルシート t=2 (新設)	g	壁: CB+モルタル金コテ+陶器質100角タイル貼 (CB共撤去)	m	LGS65下地+耐水合板 t=12+メラミン化粧合板 t=3 (新設)	l	SUS製流し台 (撤去)
c	巾木: 磁器質100角タイル貼 H=100 (残置)	ビニル巾木 H=100 (新設)	h	額縁・見切縁 木部: OP塗装	n	下地調整の上 SOP塗装	o	ライニング壁面: 陶器質100角タイル貼 (撤去)
d	壁: 陶器質100角タイル貼 (劣化部補修)	メラミン化粧合板 t=3 張 (接着張工法) (新設)	i	アルミ製建具 (厚のみ撤去)	p	ライニング壁面: ポスドフォーム t=20 (新設)	q	ライニング壁面: 人造石研出し (撤去)
e	壁: モルタル金コテ + AEP (劣化部補修)	モルタル塗補修 (t=10)の上 メラミン化粧合板 t=3 張 (接着張工法) (新設)	j	3方枠: SUS製 (撤去)	r	アルミ製建具 (厚のみ新設)	o	ライニング壁面: ポスドフォーム t=20 (新設)
							o	床見切り材: 人造石研出し (撤去)
								SUS製床見切り (新設)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図番	A-33
図名	トイレ2 (改修前・改修後) 平面詳細図・展開図		縮尺	1/50
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (L-3) 第13966号	設計	一級建築士334761 河村廣弘

改修前

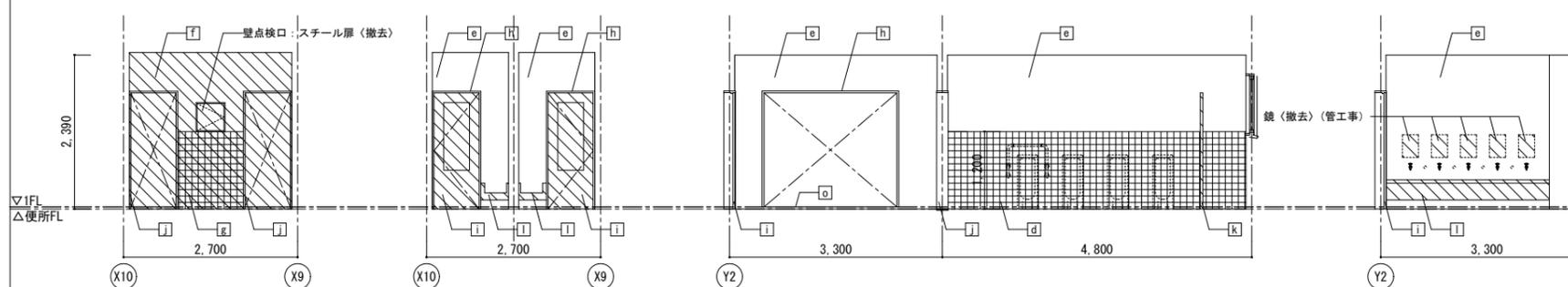


【凡例】
 *** : F.Lからのレベルを示す
 (室) : 室名札(撤去)を示す



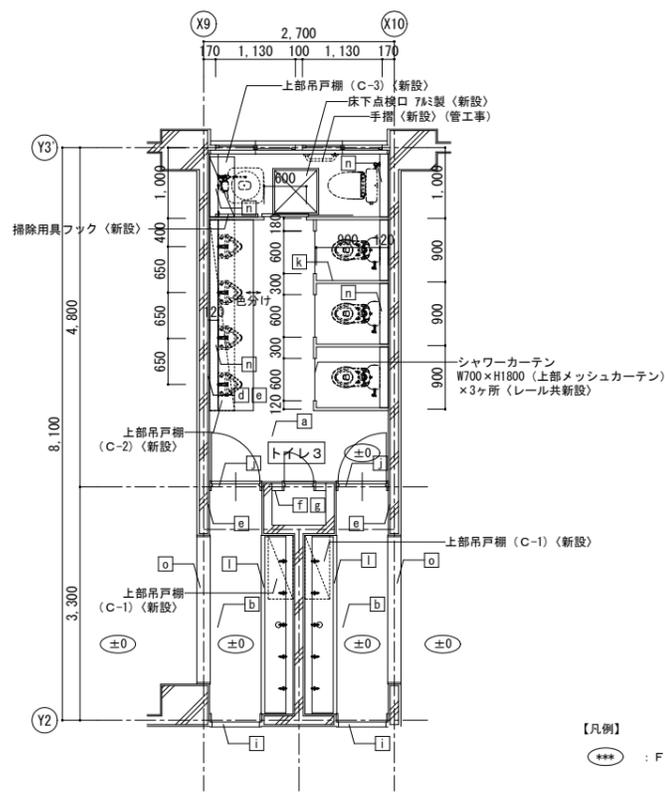
【凡例】
 (斜線) : (撤去)部分を示す

トイレ3 A B-1 B-2

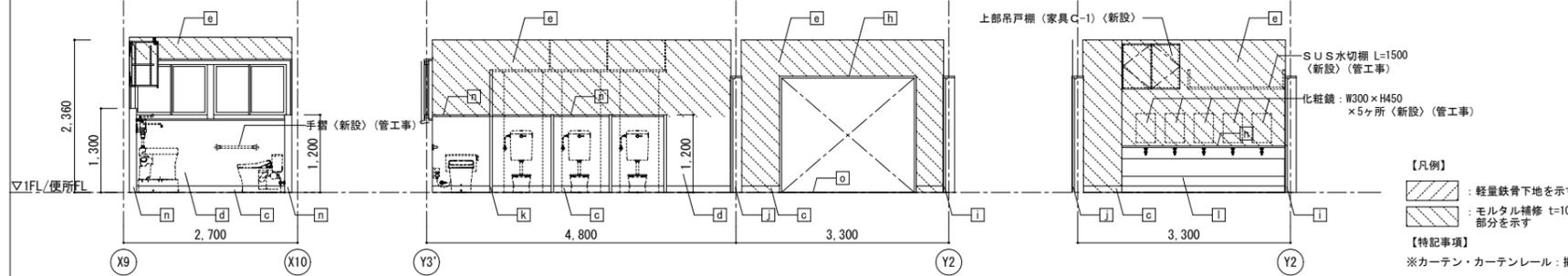


トイレ3 C-1 C-2 D-1 D-2

改修後



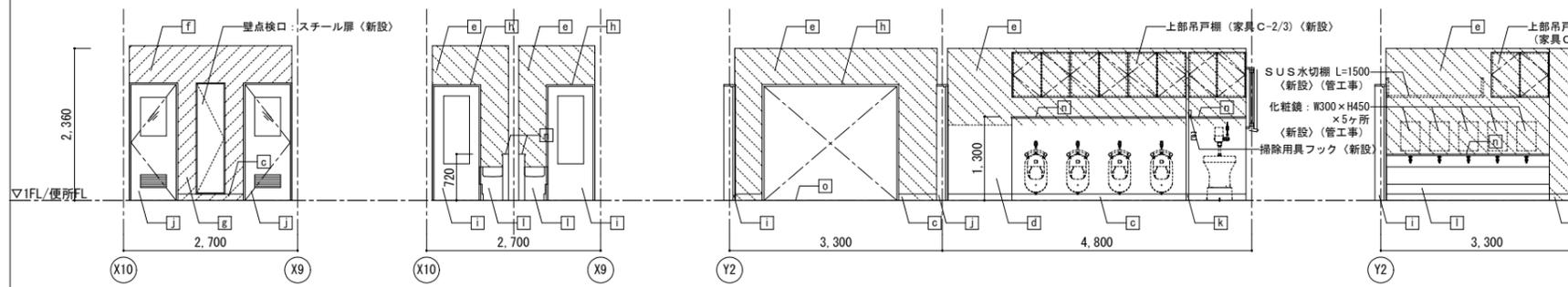
【凡例】
 *** : F.Lからのレベルを示す



【凡例】
 (斜線) : 軽量鉄骨下地を示す
 (斜線) : モルタル補修 t=10(新設)部分を示す

【特記事項】
 ※カーテン・カーテンレール: 撤去・新設
 ※木部見え掛り材の破損部、劣化部については補修とすること。

トイレ3 A B-1 B-2

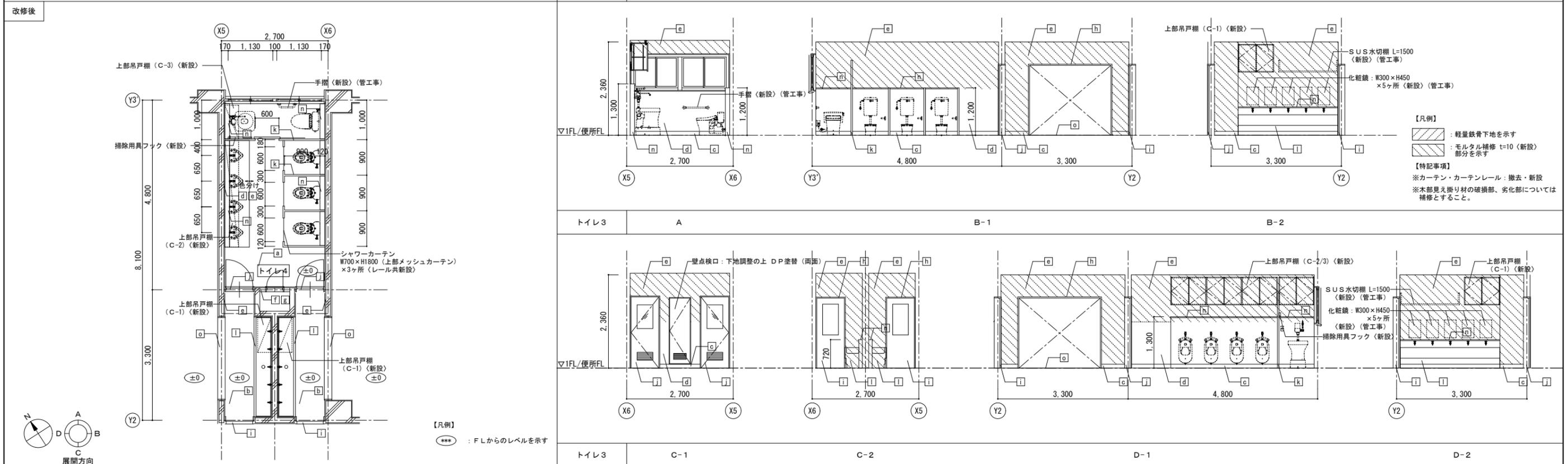
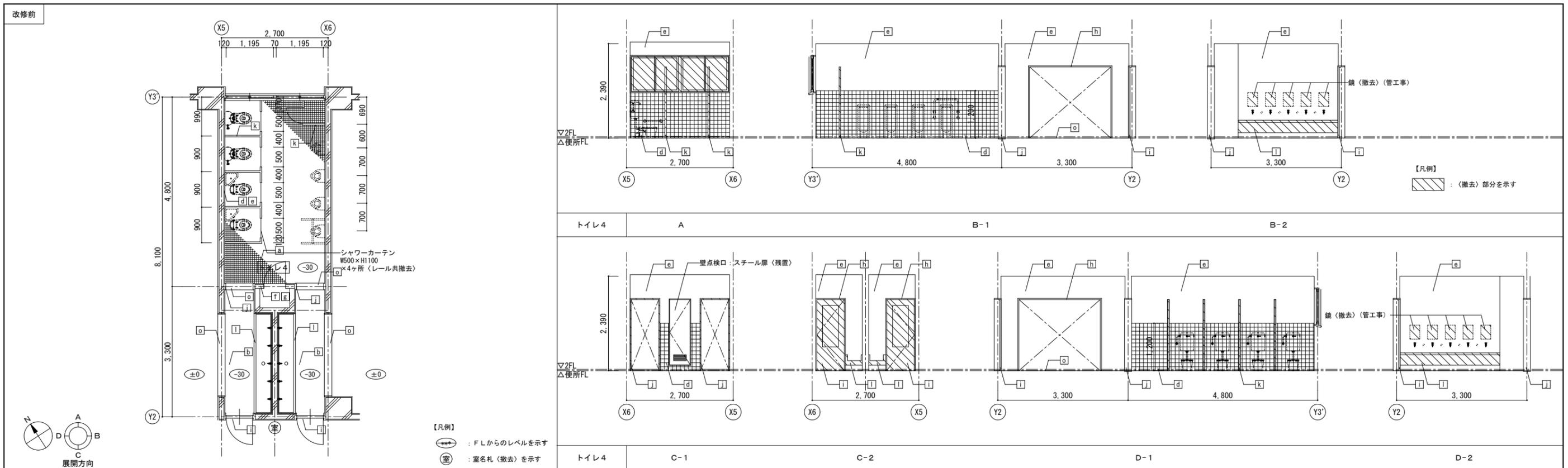


トイレ3 C-1 C-2 D-1 D-2

凡例	[改修前]		[改修後]		記号	[改修前]		[改修後]	
	記号	内容	記号	内容		記号	内容	記号	内容
例	a	床: モルタル金コテ t=30(撤去) + 磁器モザイクタイル貼 25×25(撤去)	f	壁: CB+モルタル金コテ+AEP(CB共撤去)	k	トイレブース(撤去)	o	床見切り材: 人造石研出し(撤去)	
	b	床: 人造石研出し(撤去) + ビニルマット t=15(撤去)	g	壁: CB+モルタル金コテ+陶器質100角タイル貼(CB共撤去)	l	人造石研出し流し台(撤去)		SUS製流し台(新設)	
	c	巾木: 磁器質100角タイル貼 H=100(残置)	h	額縁・見切縁 木部: OP塗装	m	ライニング壁面: 陶器質100角タイル貼(撤去)	n	ライニング壁面: LGS下地 耐水合板 t=12 + メラミン化粧合板 t=3(新設)	
	d	壁: 陶器質100角タイル貼(劣化部補修)	i	アルミ製建具(扉のみ撤去)		ライニング壁面: LGS下地 耐水合板 t=12 + メラミン化粧合板 t=3(新設)	o	ライニング壁面: LGS下地 耐水合板 t=12 + メラミン化粧合板 t=3(新設)	
	e	壁: モルタル金コテ + AEP(劣化部補修)	j	SUS枠・木枠(撤去)		ライニング壁面: ホストフォーム t=20(新設)		ライニング壁面: ホストフォーム t=20(新設)	

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号	A-34
図面名	トイレ3(改修前・改修後)平面詳細図・展開図		縮尺	1/50
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県(一-3)第13966号	設計	一級建築士334761 河村康弘

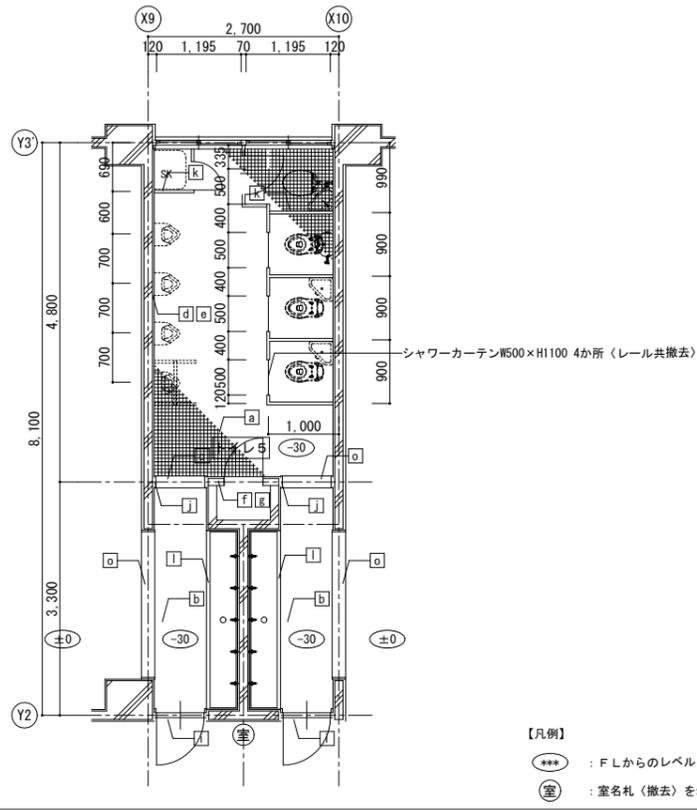


凡例	[改修前]		[改修後]		[改修前]		[改修後]	
	記号	内容	記号	内容	記号	内容	記号	内容
a	床: モルタル金コテ t=30 (撤去) + 磁器モザイクタイル貼 25×25 (撤去)	モルタル金コテ t=60 (新設) + 防汚・防滑性ビニルシート t=2 (新設)	f	壁: CB+モルタル金コテ+AEP (CB共撤去)	k	トイレブース (撤去)	k	トイレブース (新設)
b	床: 人造石研出し (撤去) + ビニルマット t=15 (撤去)	モルタル金コテ t=45 (新設) + 防汚・防滑性ビニルシート t=2 (新設)	g	壁: CB+モルタル金コテ+陶器質100角タイル貼 (CB共撤去)	l	人造石研出し流し台 (撤去)	l	SUS製流し台 (新設)
c	巾木: 磁器質100角タイル貼 H=100 (残置)	ビニル巾木 H=100 (新設)	h	額縁・見切縁 木部: OP塗装	m	ライニング壁面: LGS下地 耐水合板 t=12 +メラミン化粧合板 t=3 (新設)	m	ライニング壁面: LGS下地 耐水合板 t=12 +メラミン化粧合板 t=3 (新設)
d	壁: 陶器質100角タイル貼 (劣化部補修)	メラミン化粧合板 t=3 張 (接着強工法) (新設)	i	木製建具 (原のみ新設)	n	ライニング壁面: LGS下地 耐水合板 t=12 +メラミン化粧合板 t=3 (新設)	n	ライニング壁面: LGS下地 耐水合板 t=12 +メラミン化粧合板 t=3 (新設)
e	壁: モルタル金コテ + AEP (劣化部補修)	モルタル塗修 (t=10)の上 メラミン化粧合板 t=3 張 (接着強工法) (新設)	j	SUS枠・木枠 (撤去)	o	床見切り材: 人造石研出し (撤去)	o	SUS製床見切り (新設)

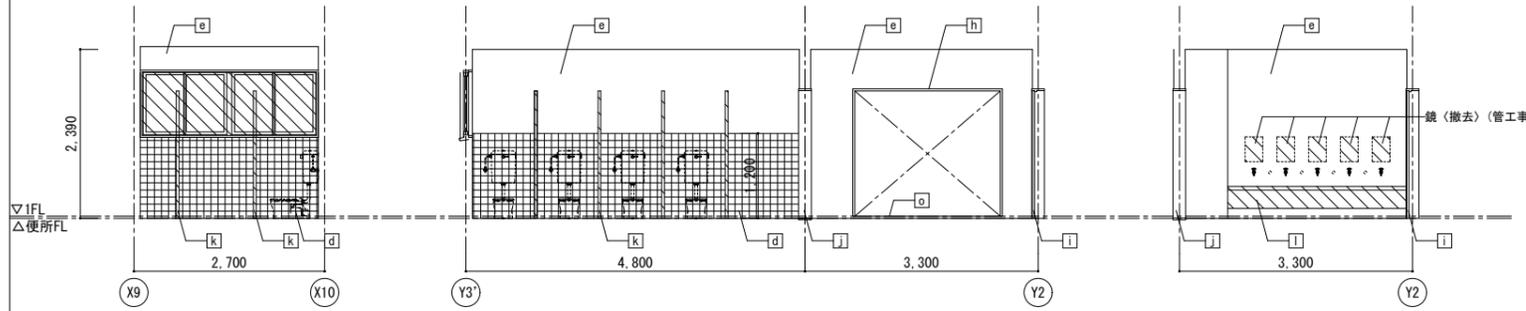
縮尺はA1版に適合 (A3版—50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号	A-35
図面名	トイレ4 (改修前・改修後) 平面詳細図・展開図	縮尺	1/50	設計
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス	一級建築士334761	河村康弘
		一級建築士事務所 愛知県 (I-3) 第13966号		

改修前

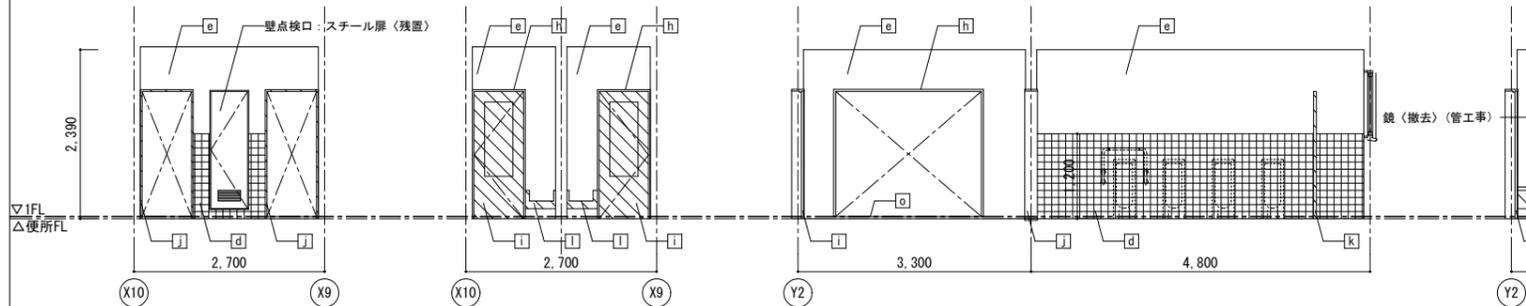


【凡例】
 *** : F.Lからのレベルを示す
 (室) : 室名札(撤去)を示す



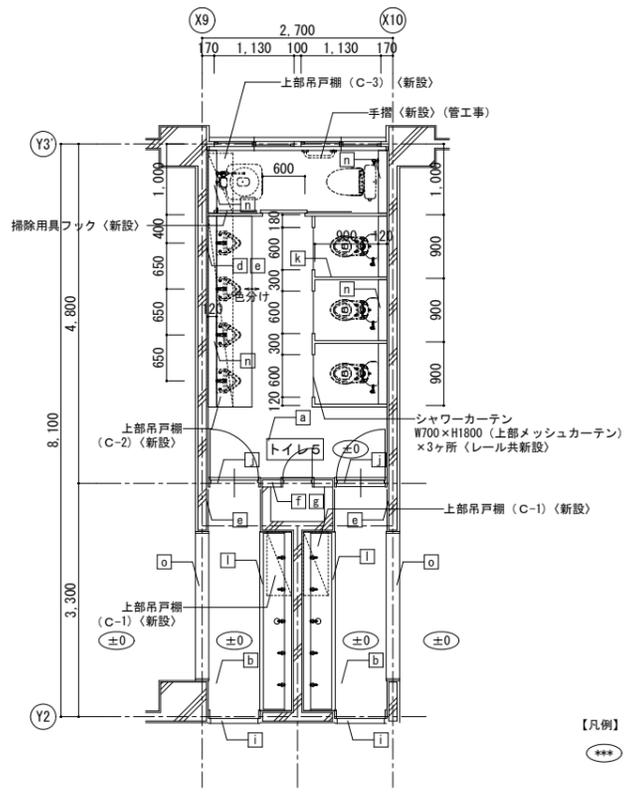
【凡例】
 (斜線) : (撤去)部分を示す

トイレ5 A B-1 B-2

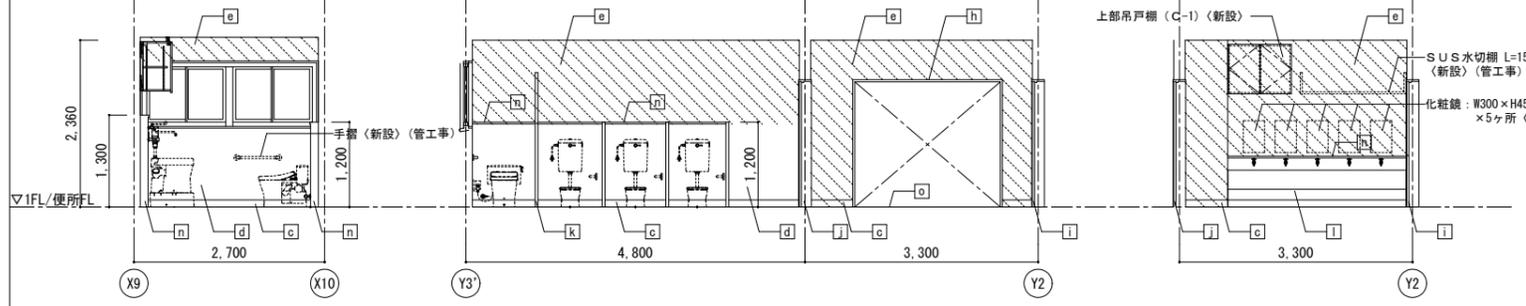


トイレ5 C-1 C-2 D-1 D-2

改修後

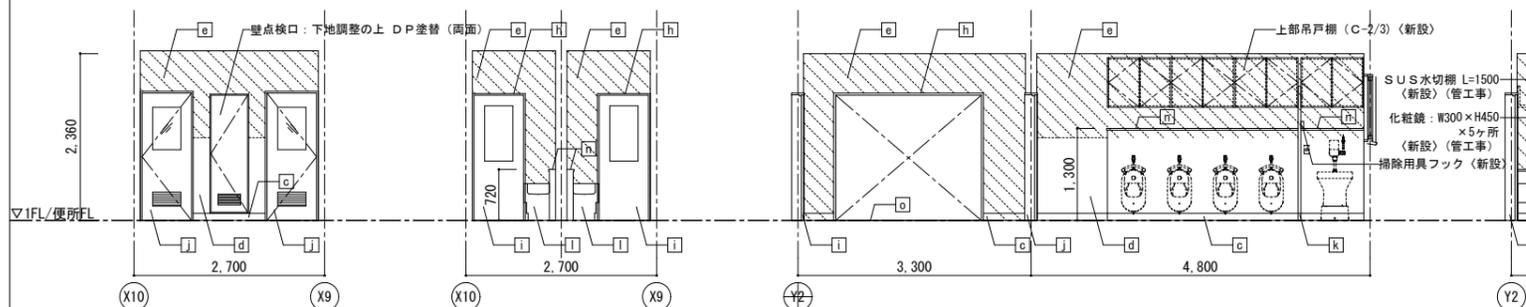


【凡例】
 *** : F.Lからのレベルを示す



【凡例】
 (斜線) : 軽量鉄骨下地を示す
 (斜線) : モルタル補修 t=10 (新設)部分を示す
 【特記事項】
 ※カーテン・カーテンレール: 撤去・新設
 ※木部見え掛り材の破損部、劣化部については補修とすること。

トイレ5 A B-1 B-2

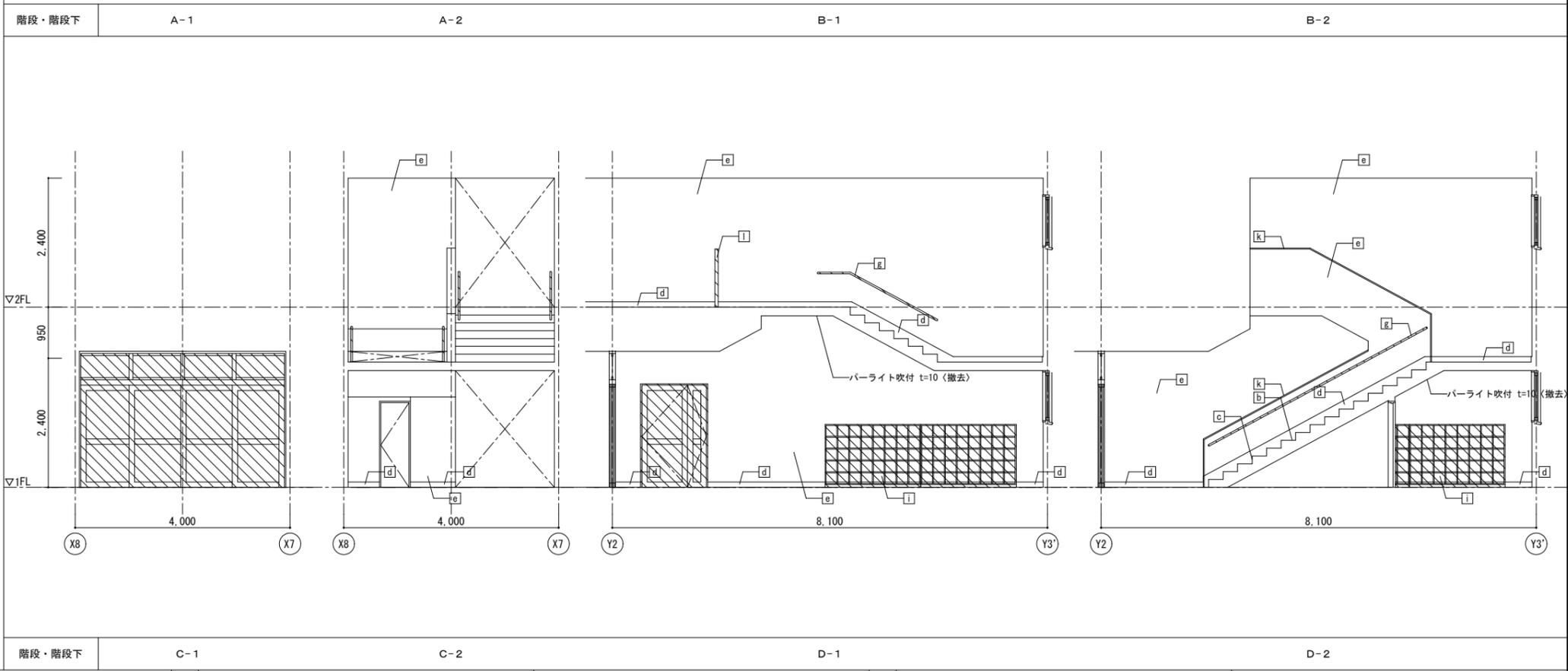
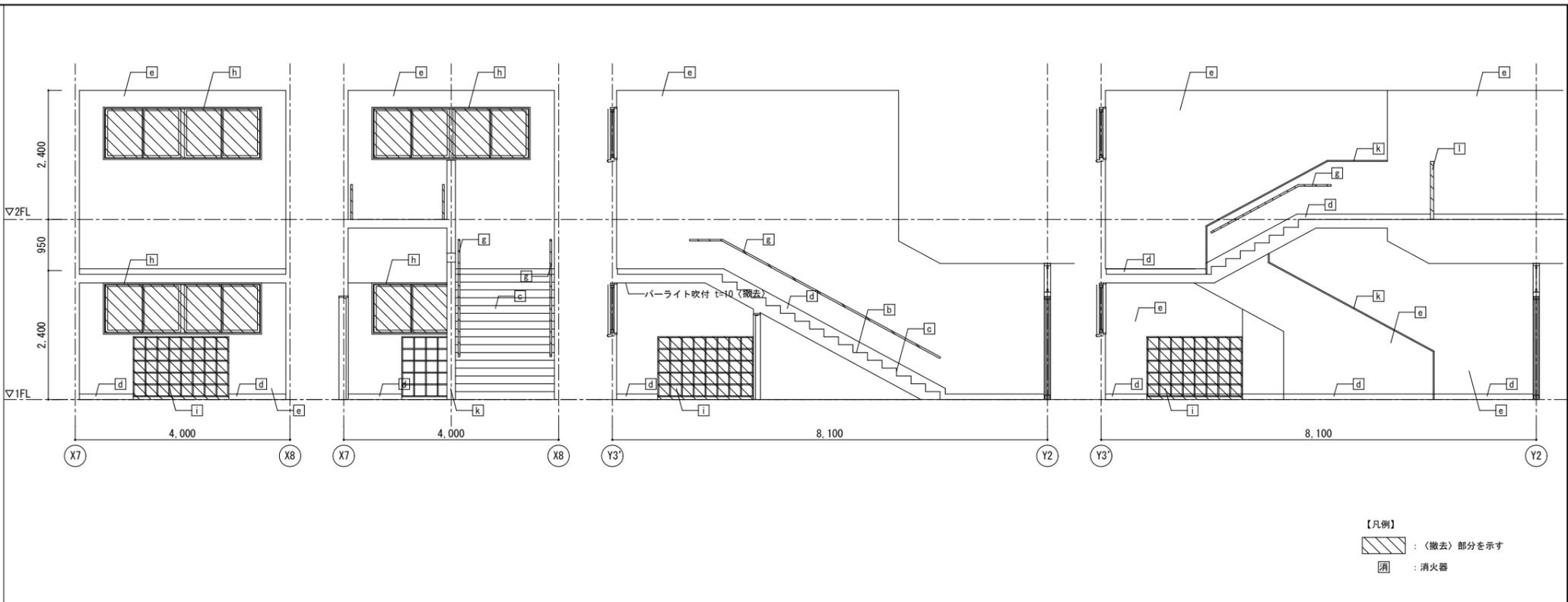
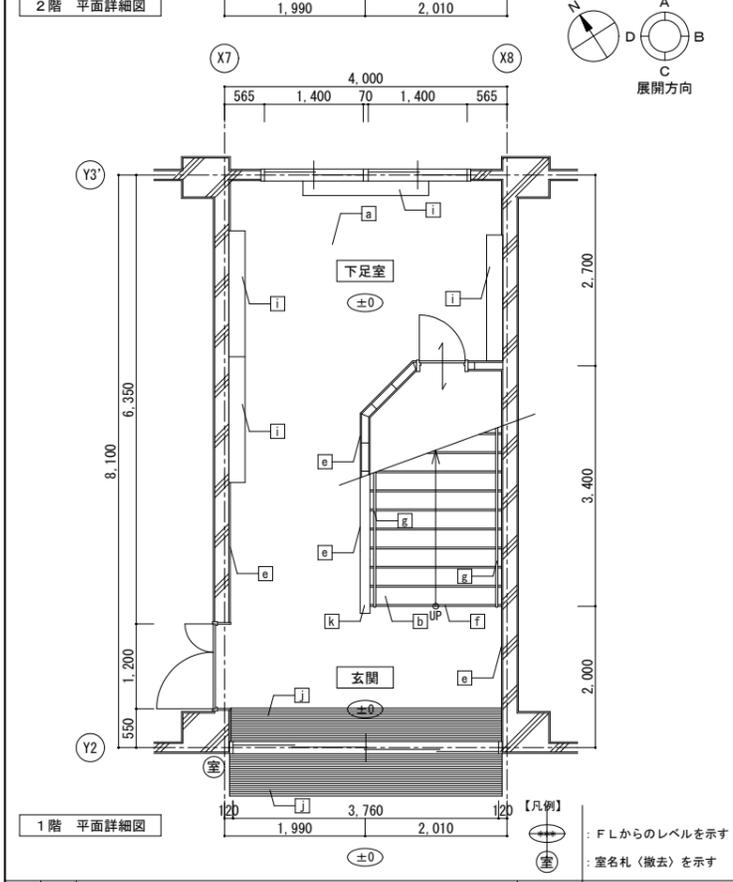
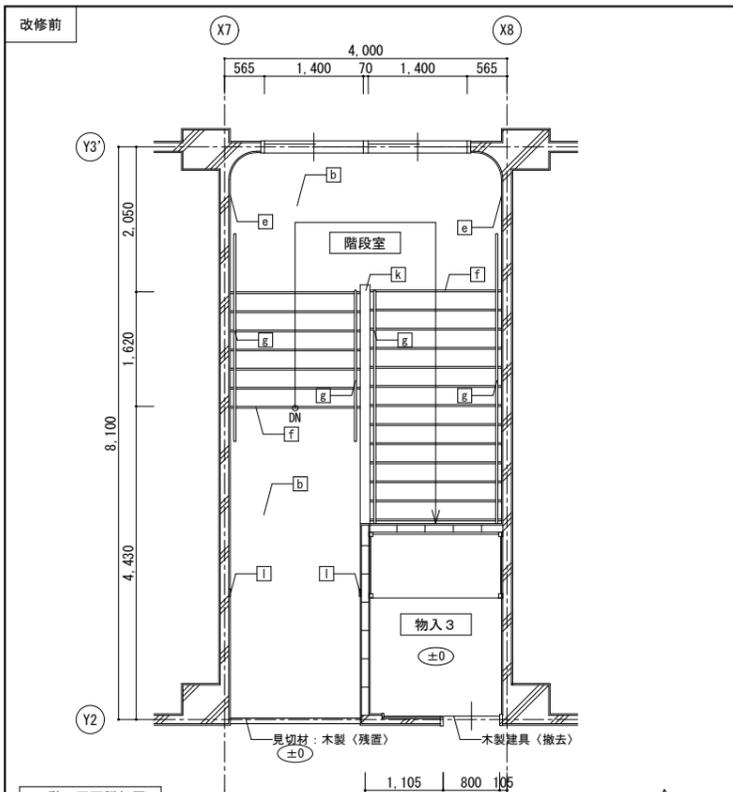


トイレ5 C-1 C-2 D-1 D-2

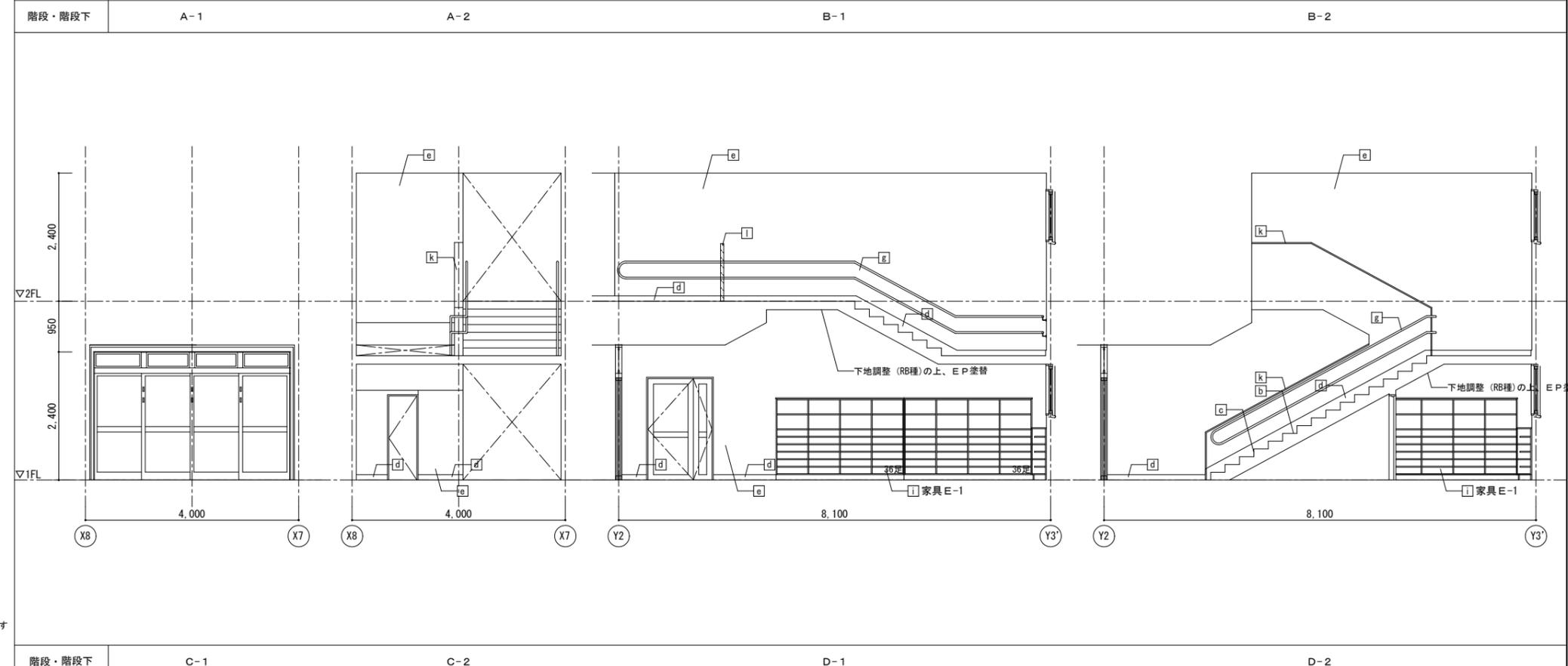
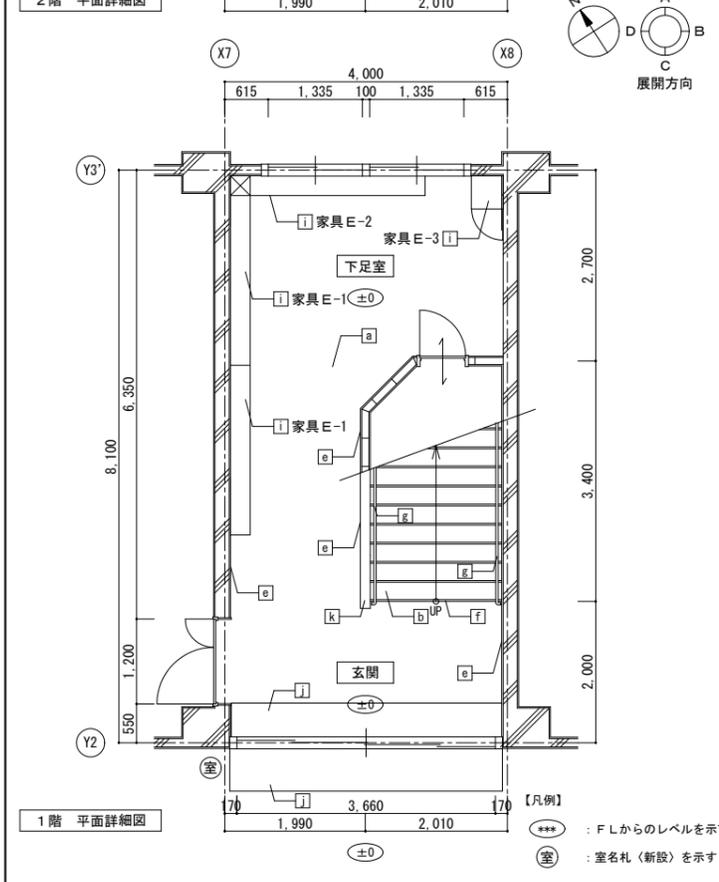
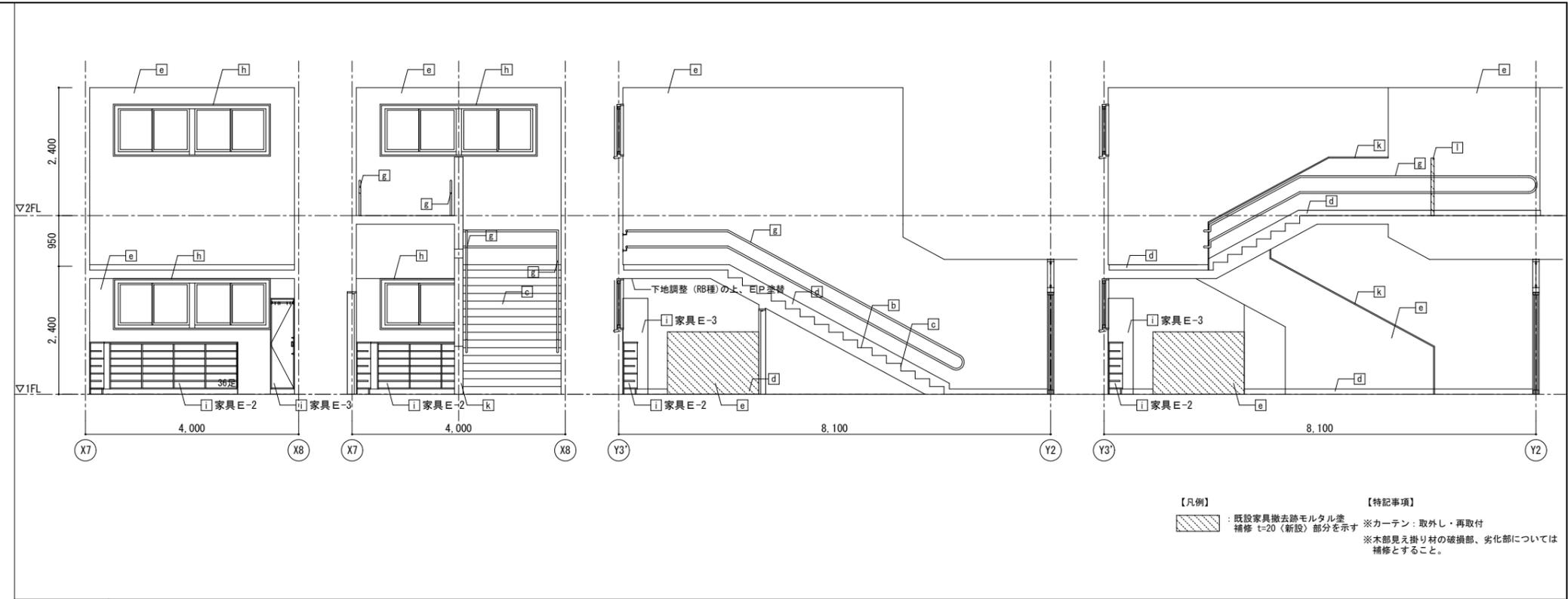
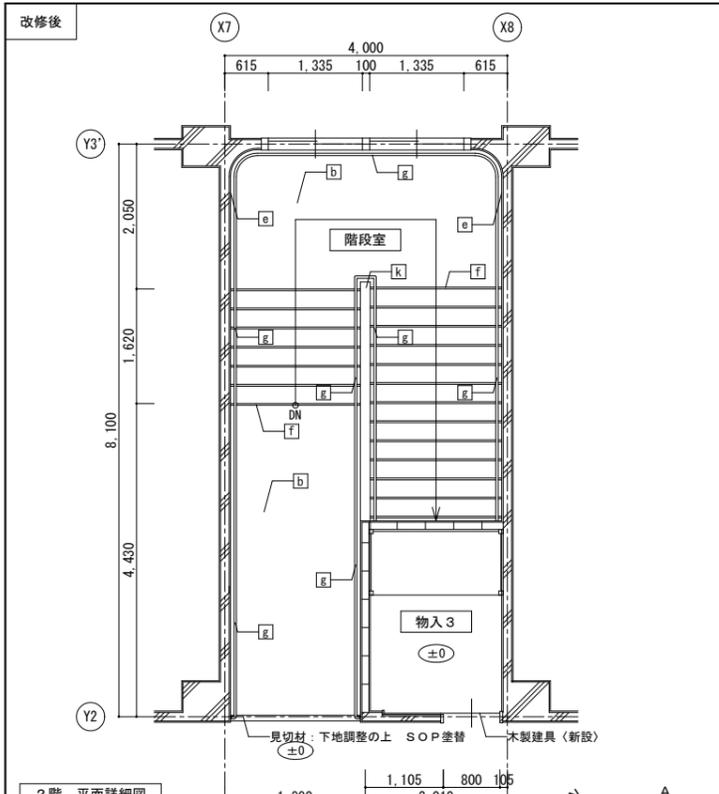
凡例	[改修前]		[改修後]		記号	[改修前]		[改修後]	
	記号	内容	記号	内容		記号	内容	記号	内容
a	床: モルタル金コテ t=30 (撤去) + 磁器モザイクタイル貼 25×25 (撤去)	モルタル金コテ t=60 (新設) + 防汚・防滑性ビニルシート t=2 (新設)	f	壁: CB+モルタル金コテ+AEP (CB共撤去)	k	トイレベース (撤去)	トイレーズ (新設)		
b	床: 人造石研出し (撤去) + ビニルマット t=15 (撤去)	モルタル金コテ t=45 (新設) + 防汚・防滑性ビニルシート t=2 (新設)	g	壁: CB+モルタル金コテ+陶器質100角タイル貼 (CB共撤去)	l	人造石研出し流し台 (撤去)	SUS製流し台 (新設)		
c	巾木: 磁器質100角タイル貼 H=100 (残置)	ビニル巾木 H=100 (新設)	h	縦線・見切縁 木部: OP塗装	m	ライニング壁面: 陶器質100角タイル貼 (撤去)	ライニング壁面: LGS下地 耐水合板 t=12 + メラミン化粧合板 t=3 (新設)		
d	壁: 陶器質100角タイル貼 (劣化部補修)	メラミン化粧合板 t=3 張 (接着張工法) (新設)	i	木製建具 (扉のみ撤去)	n	ライニング壁面: 人造石研出し (撤去)	ライニング壁面: LGS下地 耐水合板 t=12 + メラミン化粧合板 t=3 (新設)		
e	壁: モルタル金コテ + AEP (劣化部補修)	モルタル塗修 (t=10)の上 メラミン化粧合板 t=3 張 (接着張工法) (新設)	j	SUS枠・木枠 (撤去)	o	床見切り材: 人造石研出し (撤去)	ライニング壁面: ホストフォーム t=20 (新設)		

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保安改修主体工事			図面番号	A-36
図面名	トイレ5 (改修前・改修後) 平面詳細図・展開図			縮尺	1/50
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス	一級建築士334761	設計	河村康弘
		一級建築士事務所 愛知県 (U-3) 第13966号			



凡例	[改修前]		[改修後]		[改修前]		[改修後]	
	記号	内容	記号	内容	記号	内容	記号	内容
a	床: モルタル金コテ (残置) + 防滑性ビニル床シート (撤去)	f	段鼻: 真鍮製 (撤去)	k	段鼻: 下地調整の上 階段用防滑性ビニル床シート段鼻専用材 (新設)	l	竝木: 人造石研出し (既設のまま)	
b	踏面: モルタル金コテ (残置) + 長尺塩ビシート (撤去)	g	階段手摺: (両側) 集成材 32φ + CL (撤去)	m	階段手摺: (両側) 半硬質樹脂 (木目) 34φ 2段 (新設)	n	建具枠: 鋼製 (撤去)	
c	蹴込: 人造石研出し (残置)	h	額縁: 本部 OP 塗	o	下地調整の上 SOP 塗装		撤去跡モルタル塗補修の上 複層塗材 Si (新設)	
d	巾木: 人造石研出し H=100	i	下足収納・掃除具入れ (撤去)		下地調整の上 SOP 塗装			
e	壁: モルタル金コテ + 吹付タイル (劣化部補修)	j	ゴムマット (枠共撤去)		モルタル補修 t=20の上 防滑性ビニル床シート t=5 張 (新設)			



【凡例】

既設家具撤去跡モルタル塗補修 t=20 (新設) 部分を示す

【特記事項】

※カーテン：取外し・再取付

※木部見え掛り材の破損部、劣化部については補修とすること。

記号	[改修前]	[改修後]	記号	[改修前]	[改修後]	記号	[改修前]	[改修後]
a	床：モルタル金コテ (残置) + 防滑性ビニル床シート (撤去)	下地調整の上、防滑性ビニル床シート (新設)	f	段鼻：真鍮製 (撤去)	段鼻：下地調整の上 階段用防滑性ビニル床シート段鼻専用材 (新設)	k	笠木：人造石研出し (既設のまま)	既設笠木クリーニング
b	踏面：モルタル金コテ (残置) + 長尺塩ビシート (撤去)	下地調整の上 階段用防滑性ビニル床シート t=2 張 (新設)	g	階段手摺：(両側) 集成材 32φ + CL (撤去)	階段手摺：(両側) 半硬質樹脂 (木目) 34φ 2段 (新設)	l	建具枠：鋼製 (撤去)	撤去跡モルタル塗補修の上 複層塗材 Si (新設)
c	蹴込：人造石研出し (残置)	下地調整の上 階段用防滑性ビニル床シート t=2 張 (新設)	h	額縁：木部 OP 塗	下地調整の上 SOP 塗装	m		
d	巾木：人造石研出し H=100	既設巾木クリーニング	i	下足収納・掃除具入れ (撤去)	下足収納 (新設)	n		
e	壁：モルタル金コテ + 吹付タイル (劣化部補修)	下地調整 (RB種) の上 複層塗材 Si (新設)	j	ゴムマット (枠共撤去)	モルタル補修 t=20の上 防滑性ビニル床シート t=5 張 (新設)	o		

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

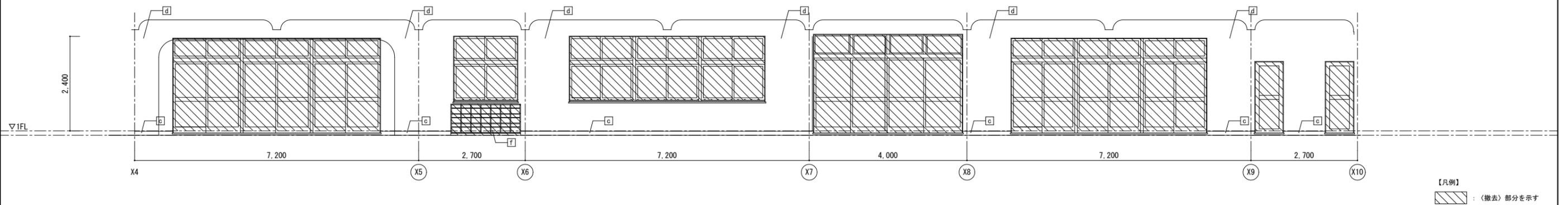
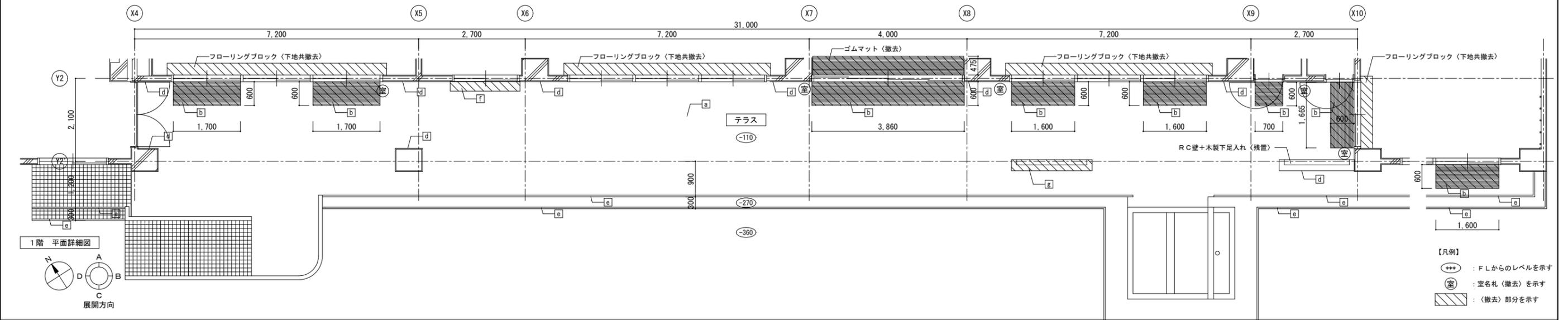
工事名 安城こども園中規模及び保全改修主体工事 原簿番号 A-38

図面名 階段室 (改修後) 平面詳細図・展開図 縮尺 1/50 設計

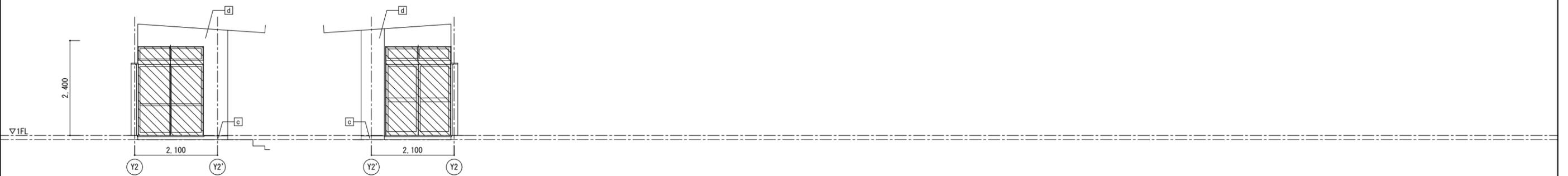
日付 2025.12 株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士 334761 河村康弘

一級建築士事務所 愛知県 (いー3) 第13966号

改修前



テラス A

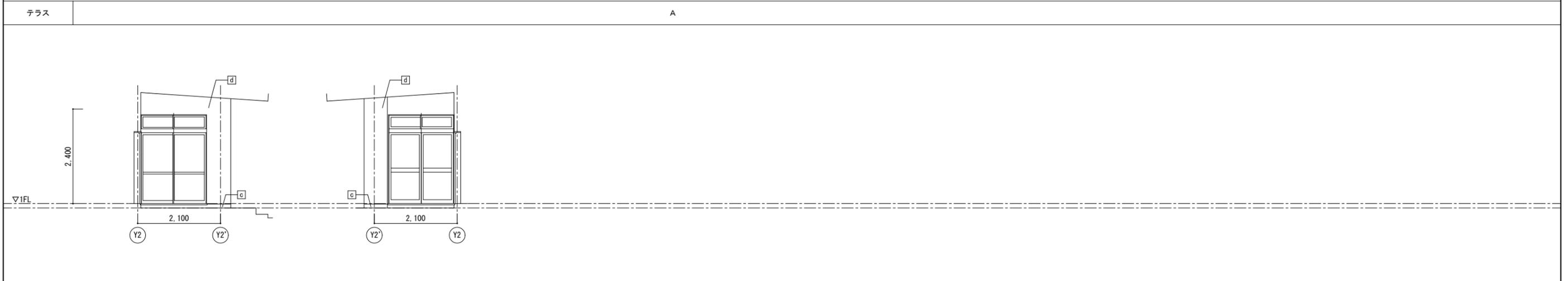
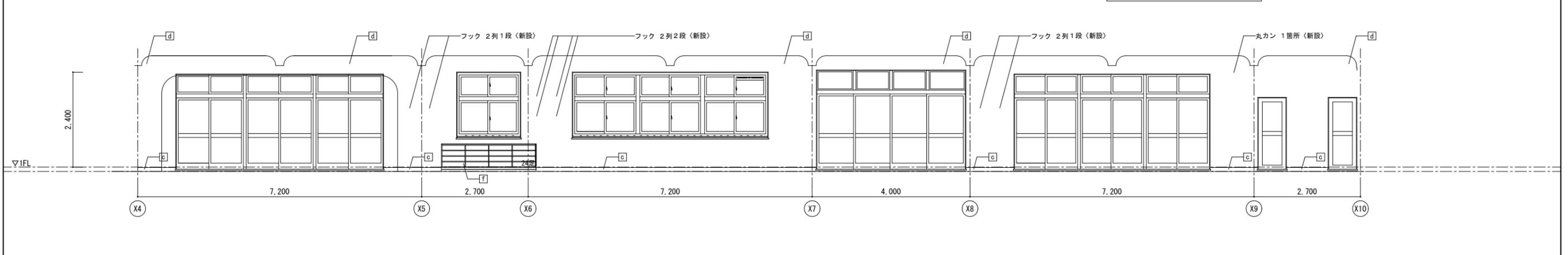
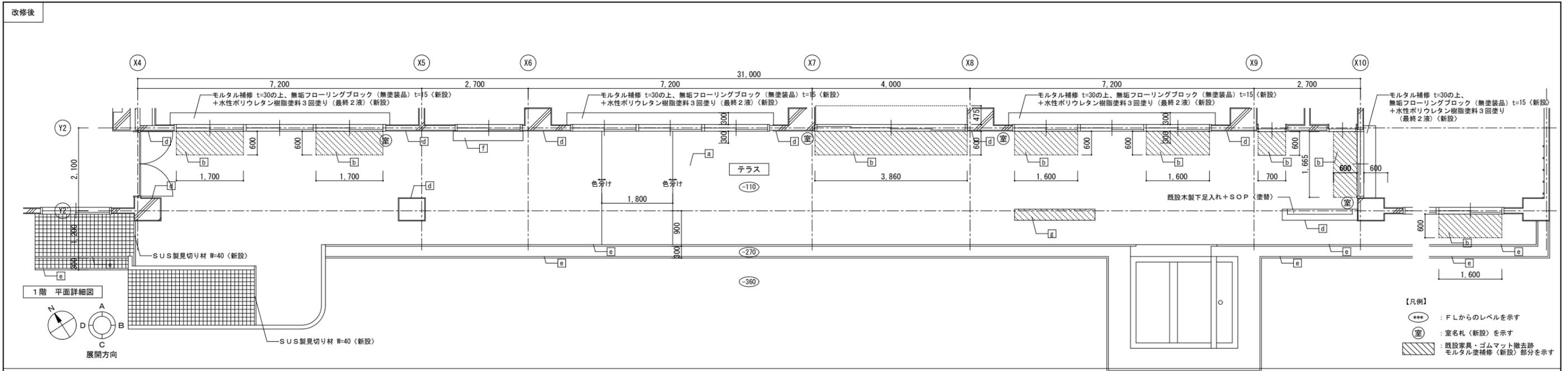


テラス B D

凡例	[改修前]		[改修後]		[改修前]		[改修後]	
	記号	内容	記号	内容	記号	内容	記号	内容
a	床: モルタル金コテ コテ目地切	下地調整の上、防滑性ビニル床シート(新設)	f	木製下足入れW1770×H790×D250(下部モルタル共撤去)	k	下足入れ(新設)		
b	床: モルタル金コテ + ゴムマット敷 t=15(枠共撤去)	モルタル補修 t=20の上、防滑性ビニル床シート(新設)	g	下足入れ(RC壁共撤去)	l	モルタル補修 t=10の上、防滑性ビニル床シート(新設)		
c	巾木: モルタル金コテ t=20(劣化部補修)	モルタル金コテ t=20(水洗い、清掃)	h		m			
d	壁: モルタル金コテ + 吹付タイルRE(劣化部補修)	水洗いの上、可とう型改修塗材E厚付け(シリコントップコート)(新設)	i		n			
e	段鼻: ノンスリップタイル貼(残置)	下地調整の上、階段用防滑性ビニル床シート段鼻専用材(新設)	j		o			

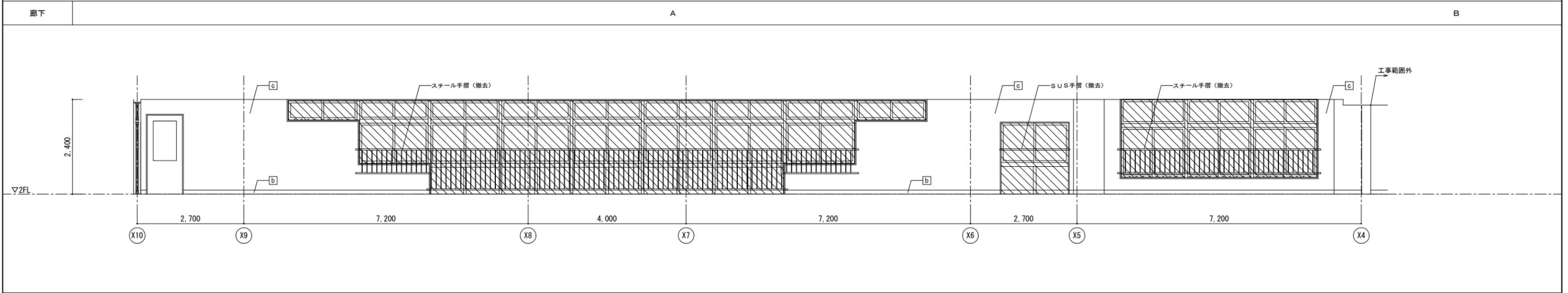
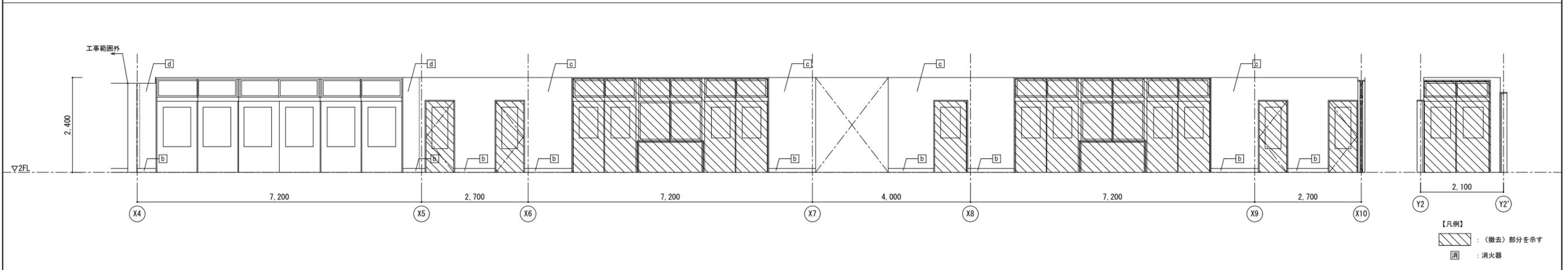
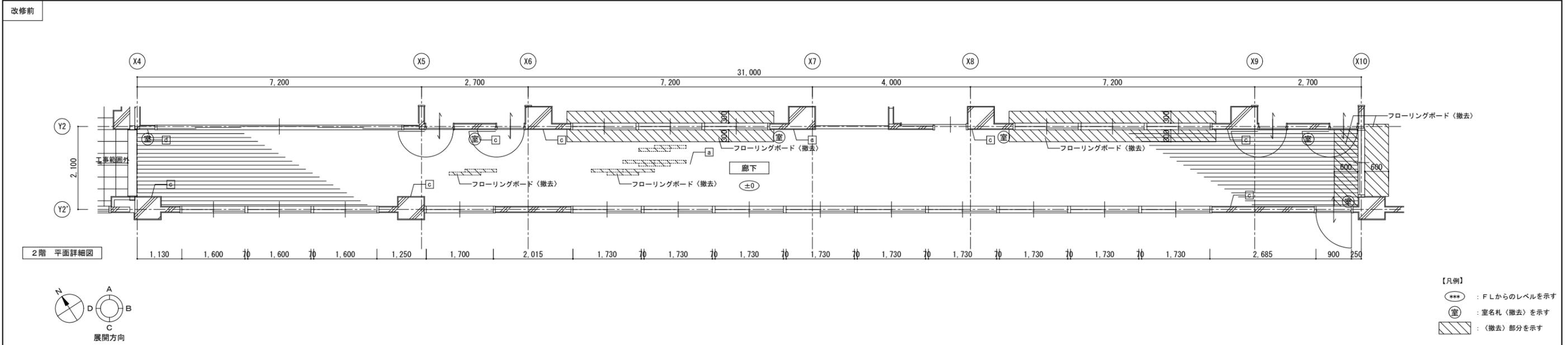
縮尺はA1版に適合(A3版→50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事	図面番号	A-39
図面名	テラス(改修前)平面詳細図・展開図	縮尺	1/50
日付	2025.12	設計	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県(イ-3)第13966号 河村康弘



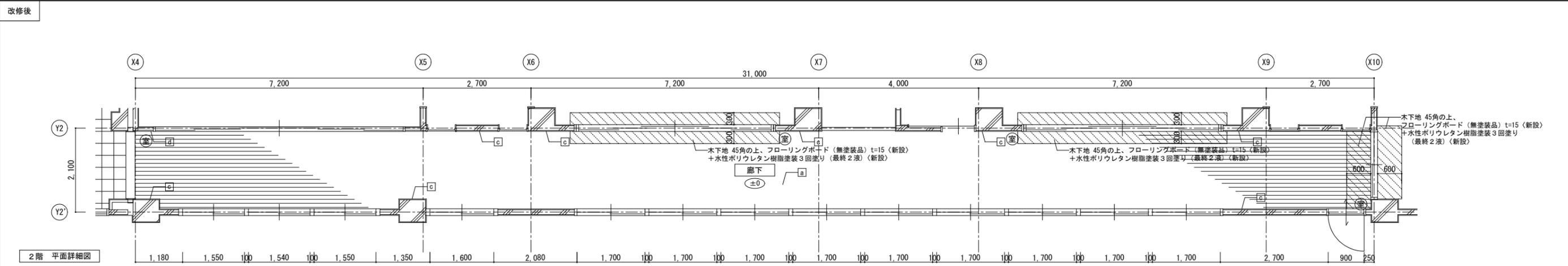
凡例	[改修前]		[改修後]		[改修前]		[改修後]	
	記号		記号		記号		記号	
a	床: モルタル金コテ コテ目地切		f	木製下足入れW1770×H790×D250 (下部モルタル共撤去)	k			
b	床: モルタル金コテ + ゴムマット敷 t=15 (枠共撤去)		g	下足入れ (RC壁共撤去)	l			
c	巾木: モルタル金コテ t=20 (劣化部補修)		h		m			
d	壁: モルタル金コテ + 吹付タイルRE (劣化部補修)		i		n			
e	段鼻: ノンスリップタイル貼 (残置)		j		o			
								縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号	A-40
図面名	テラス (改修後) 平面詳細図・展開図		縮尺	1/50
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (い-3) 第13966号	設計	河村 康弘

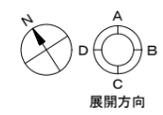


凡例	廊下		廊下		廊下	
	[改修前]	[改修後]	[改修前]	[改修後]	[改修前]	[改修後]
a	床: 木下地 + フローリングボード t=15 + OSW (残置)	サンダー掛けの上 水性ポリウレタン樹脂塗装3回塗り (最終2液) (新設)	f		k	
b	巾木: 木製 H=100 + OP (残置)	下地調整 (RB種) の上 SOP塗替	g		l	
c	壁: モルタル金コテ + AEP (劣化部補修)	下地調整 (RB種) の上 複層塗材 Si (新設)	h		m	
d	壁: LGS下地 石膏ボード t=9.5+12.5 + 吹付タイル (残置)	下地調整 (RB種) の上 複層塗材 Si (新設)	i		n	
e			j		o	

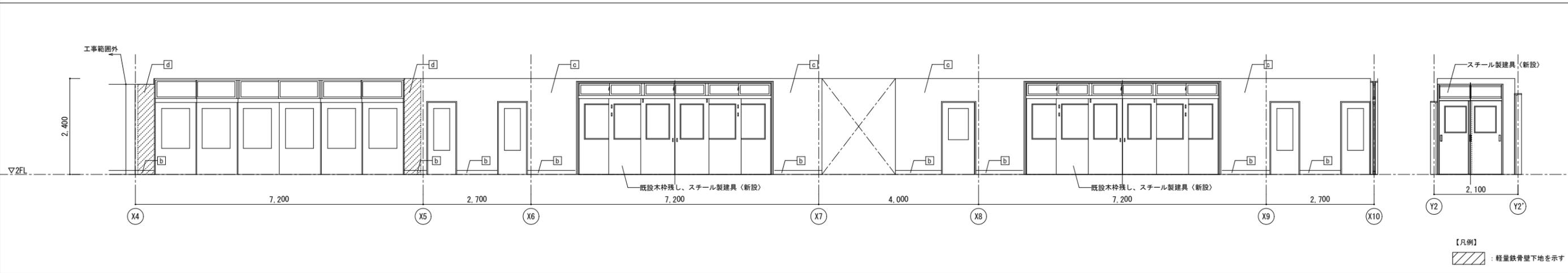
縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)		図番 A-41	
工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事	縮尺	1/50
図面名	2階廊下 (改修前) 平面詳細図・展開図	設計	
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス	一級建築士334761 河村康弘
		一級建築士事務所 愛知県 (いー3) 第13966号	



2階 平面詳細図



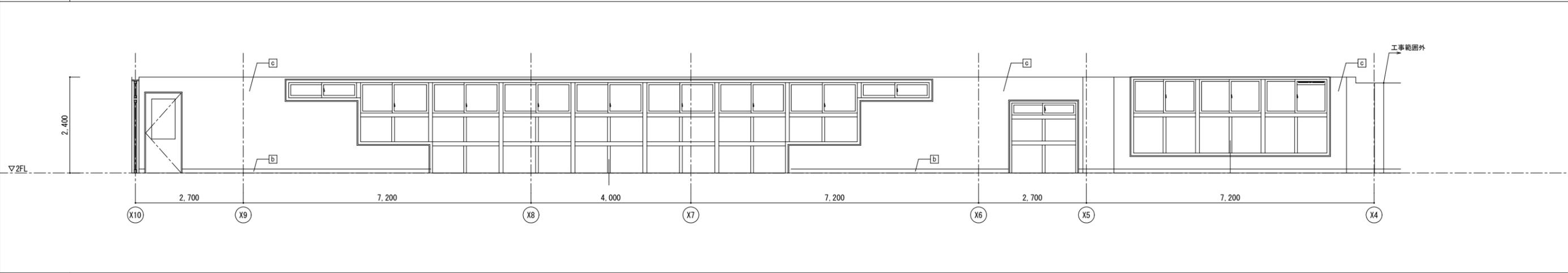
- 【凡例】
- *** : F Lからのレベルを示す
 - 室 : 室名札（新設）を示す
 - 斜線 : 70-リノ（新設）を示す



廊下

A

B



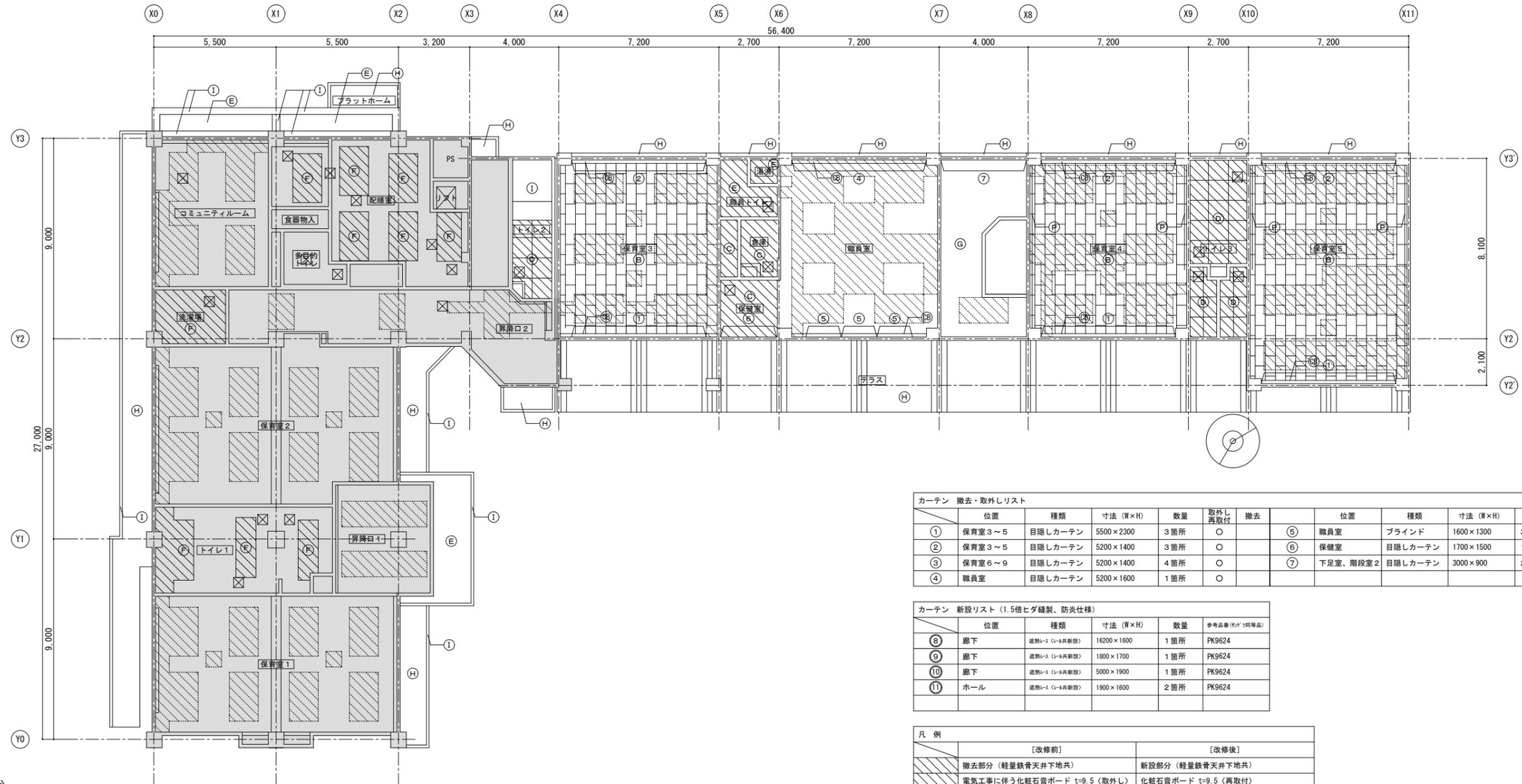
廊下

C

凡例	[改修前]		[改修後]		[改修前]		[改修後]	
	記号	内容	記号	内容	記号	内容	記号	内容
a	床: 木下地 + フローリング t=15 + OSW (残置)	f	サンダー掛けの上 水性ポリウレタン樹脂塗装3回塗り (最終2液) (新設)	k				
b	巾木: 木製 H=100 + OP (残置)	g	下地調整 (RB種) の上 SOP塗替	l				
c	壁: モルタル金コテ + AEP (劣化部補修)	h	下地調整 (RB種) の上 複層塗材 Si (新設)	m				
d	壁: LGS下地 石膏ボード t=9.5+12.5 + 吹付タイル (残置)	i	下地調整 (RB種) の上 複層塗材 Si (新設)	n				
e		j		o				

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号	A-42
図案名	2階廊下 (改修後) 平面詳細図・展開図	縮尺	1/50	設計
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス	一級建築士334761	河村康弘
		一級建築士事務所 愛知県 (I-3) 第13966号		



1階天井伏図 (改修前・改修後) S=1/100

位置	種類	寸法 (W×H)	数量	取外し再取付	撤去	位置	種類	寸法 (W×H)	数量	取外し再取付	撤去
① 保育室3~5	目隠しカーテン	5500×2300	3箇所	○		⑤ 職員室	ブラインド	1600×1300	3箇所	○	
② 保育室3~5	目隠しカーテン	5200×1400	3箇所	○		⑥ 保健室	目隠しカーテン	1700×1500	1箇所	○	
③ 保育室6~9	目隠しカーテン	5200×1400	4箇所	○		⑦ 下足室、階段室2	目隠しカーテン	3000×900	2箇所	○	
④ 職員室	目隠しカーテン	5200×1600	1箇所	○							

位置	種類	寸法 (W×H)	数量	参考品番(ヤマガタ等品)
⑧ 廊下	遮熱レース (1~8共新設)	16200×1600	1箇所	PK9624
⑨ 廊下	遮熱レース (1~8共新設)	1800×1700	1箇所	PK9624
⑩ 廊下	遮熱レース (1~8共新設)	5000×1900	1箇所	PK9624
⑪ ホール	遮熱レース (1~8共新設)	1900×1600	2箇所	PK9624

	[改修前]	[改修後]
撤去部分 (軽量鉄骨天井地下共)		新設部分 (軽量鉄骨天井地下共)
電気工事に伴う化粧石膏ボード t=9.5 (取外し)		化粧石膏ボード t=9.5 (再取付)
建築改修工事範囲外		

凡例	[改修前]		[改修後]		記号	[改修前]		[改修後]		
	記号	内容	記号	内容		記号	内容	記号	内容	
	(A)	化粧石膏ボード t=9		下地調整 (RB種) の上 EP塗替	(G)	パーライト吹付 t=10 (撤去)		下地調整 (RB種) の上 EP塗替	(C)	カーテンボックス・カーテンレール (残置)
	(B)	化粧石膏ボード t=9.5/化粧石膏ボード t=9 + AEP		下地調整 (RB種) の上 EP塗替	(H)	C + リシン吹付 目地切 (劣化部補修)		下地処理 (下地ひび割れ等の補修)、水洗い・清掃、下地調整	(P)	ビクチャーレール (撤去)
	(C)	化粧石膏ボード t=9.5 (新設)		化粧石膏ボード t=9.5 (新設)	(I)	C + 吹付タイルR E (劣化部補修)		水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上材 (新設)	(X)	天井点検口 450×450 (撤去)
	(D)	ケイ酸カルシウム板 t=6 + VP (撤去)		化粧石膏ボード t=9.5 (新設)		C + 吹付タイル 化粧目地切 (劣化部補修)		水洗いの上 可とう型改修塗材E厚付け (シコトアコート) (新設)	(Y)	天井点検口 450×450 (残置)
	(E)	ケイ酸カルシウム板 t=6 + VP		下地調整 (RB種) の上 EP塗替						
	(F)	ケイ酸カルシウム板 t=6 + VP (撤去)		ケイ酸カルシウム板 t=6 + VP (新設)						

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

工事名: 安城こども園中規模及び保全改修主体工事

図面名: 1階天井伏図 (改修前・改修後)

縮尺: 1/100

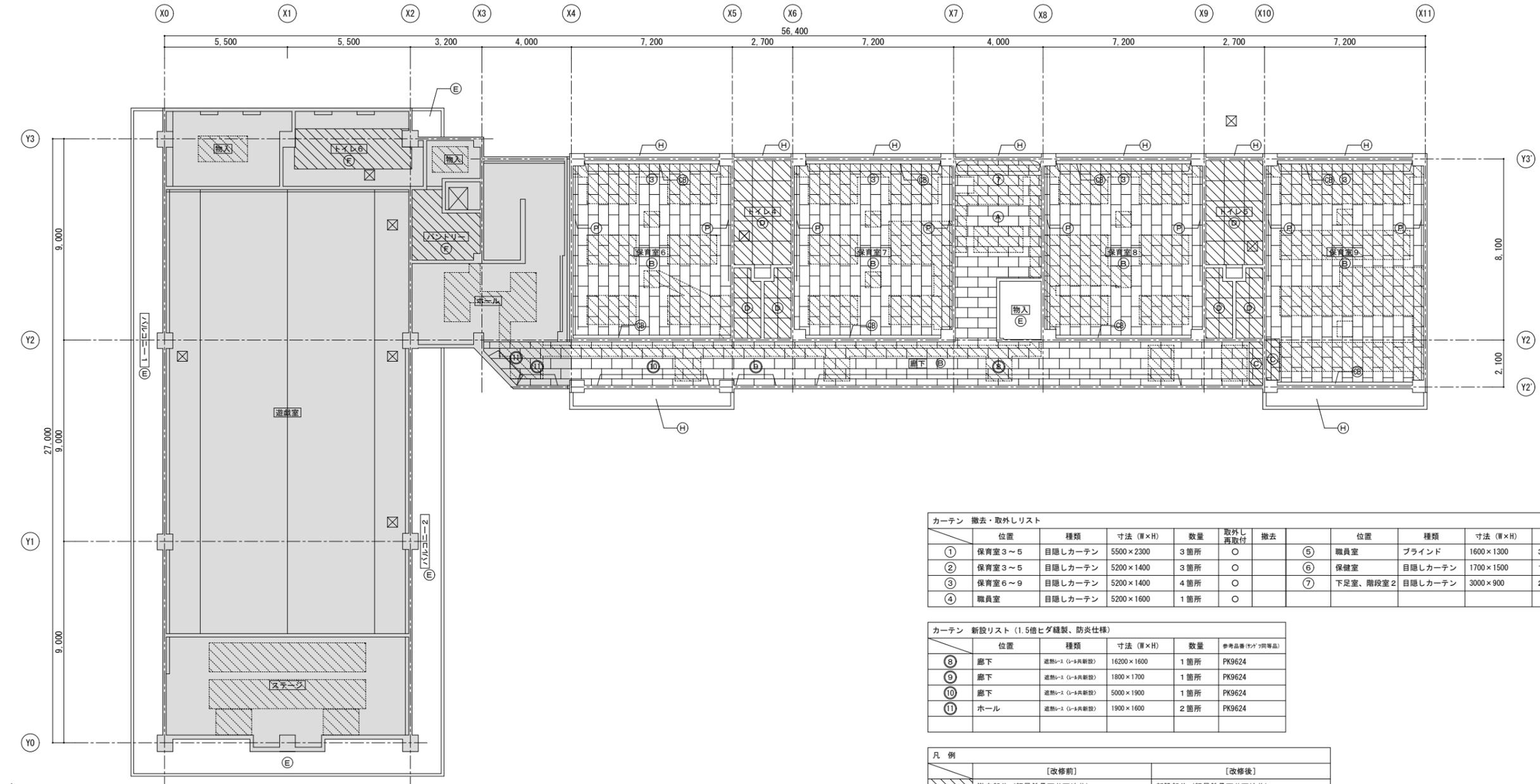
設計: 河村康弘

日付: 2025.12

株式会社デザインボックス名古屋オフィス
一級建築士事務所 愛知県 (U-3) 第13966号

一級建築士334761
河村康弘

図面番号: A-43



2階天井伏図 (改修前・改修後) S=1/100

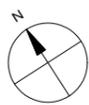
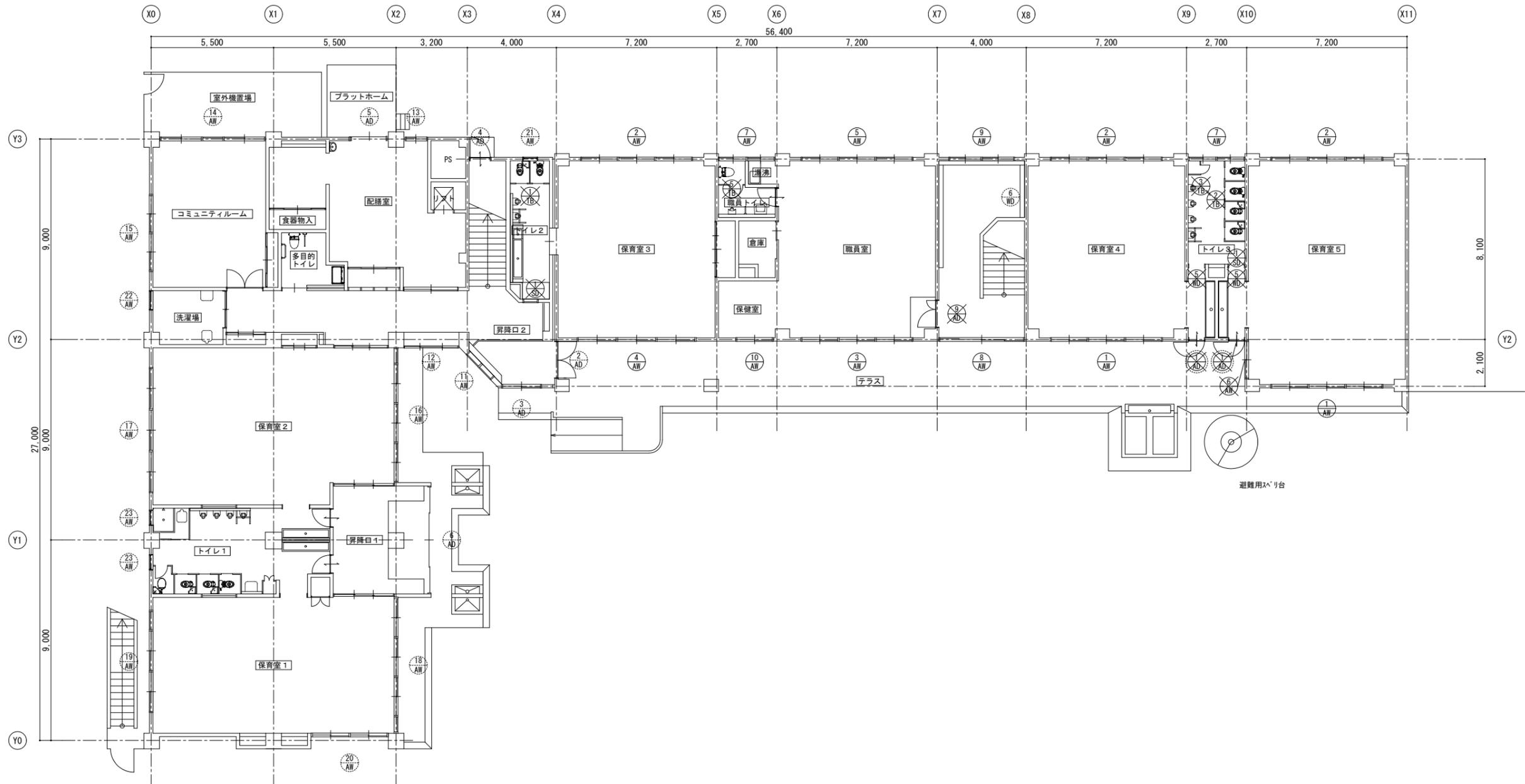
位置	種類	寸法 (W×H)	数量	取外し再取付	撤去	位置	種類	寸法 (W×H)	数量	取外し再取付	撤去
① 保管室3~5	目隠しカーテン	5500×2300	3箇所	○		⑤ 職員室	ブラインド	1600×1300	3箇所	○	
② 保管室3~5	目隠しカーテン	5200×1400	3箇所	○		⑥ 保健室	目隠しカーテン	1700×1500	1箇所	○	
③ 保管室6~9	目隠しカーテン	5200×1400	4箇所	○		⑦ 下足室、階段室2	目隠しカーテン	3000×900	2箇所	○	
④ 職員室	目隠しカーテン	5200×1600	1箇所	○							

位置	種類	寸法 (W×H)	数量	参考品番 (7ヶ所同等品)
⑧ 廊下	遮熱レース (1~4共新設)	16200×1600	1箇所	PK9624
⑨ 廊下	遮熱レース (1~4共新設)	1800×1700	1箇所	PK9624
⑩ 廊下	遮熱レース (1~4共新設)	5000×1900	1箇所	PK9624
⑪ ホール	遮熱レース (1~4共新設)	1900×1600	2箇所	PK9624

	[改修前]	[改修後]
撤去部分 (軽量鉄骨天井下地共)	斜線	新設部分 (軽量鉄骨天井下地共)
電気工事に伴う化粧石膏ボード t=9.5 (取外し)	斜線	化粧石膏ボード t=9.5 (再取付)
建築改修工事範囲外	点線	

凡例	[改修前]		[改修後]		[改修前]		[改修後]	
	記号	内容	記号	内容	記号	内容	記号	内容
	(A)	化粧石膏ボード t=9		下地調整 (RB種) の上 EP塗替	(G)	パーライト吹付 t=10 (撤去)		下地調整 (RB種) の上 EP塗替
	(B)	化粧石膏ボード t=9.5/化粧石膏ボード t=9 + AEP		下地調整 (RB種) の上 EP塗替	(H)	C + リシン吹付 目地切 (劣化部補修)		下地処理 (下地ひび割れ等の補修)、水洗い・清掃、下地調整
	(C)	化粧石膏ボード t=9.5 (撤去)		化粧石膏ボード t=9.5 (新設)	(I)	C + 吹付タイルRE (劣化部補修)	(P)	水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上材 (新設)
	(D)	ケイ酸カルシウム板 t=6 + VP (撤去)		化粧石膏ボード t=9.5 (新設)		C + 吹付タイル 化粧目地切 (劣化部補修)	(Q)	水洗いの上 可とう型改修塗材E厚付け (シリコン7コート) (新設)
	(E)	ケイ酸カルシウム板 t=6 + VP		下地調整 (RB種) の上 EP塗替			(R)	天井点検口 450×450 (撤去)
	(F)	ケイ酸カルシウム板 t=6 + VP (撤去)		ケイ酸カルシウム板 t=6 + VP (新設)			(S)	天井点検口 450×450 (残置)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		原簿番号	A-44
図面名	2階天井伏図 (改修前・改修後)		縮尺	1/100
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス	一級建築士334761	河村康弘
		一級建築士事務所 愛知県 (いー3) 第13966号		

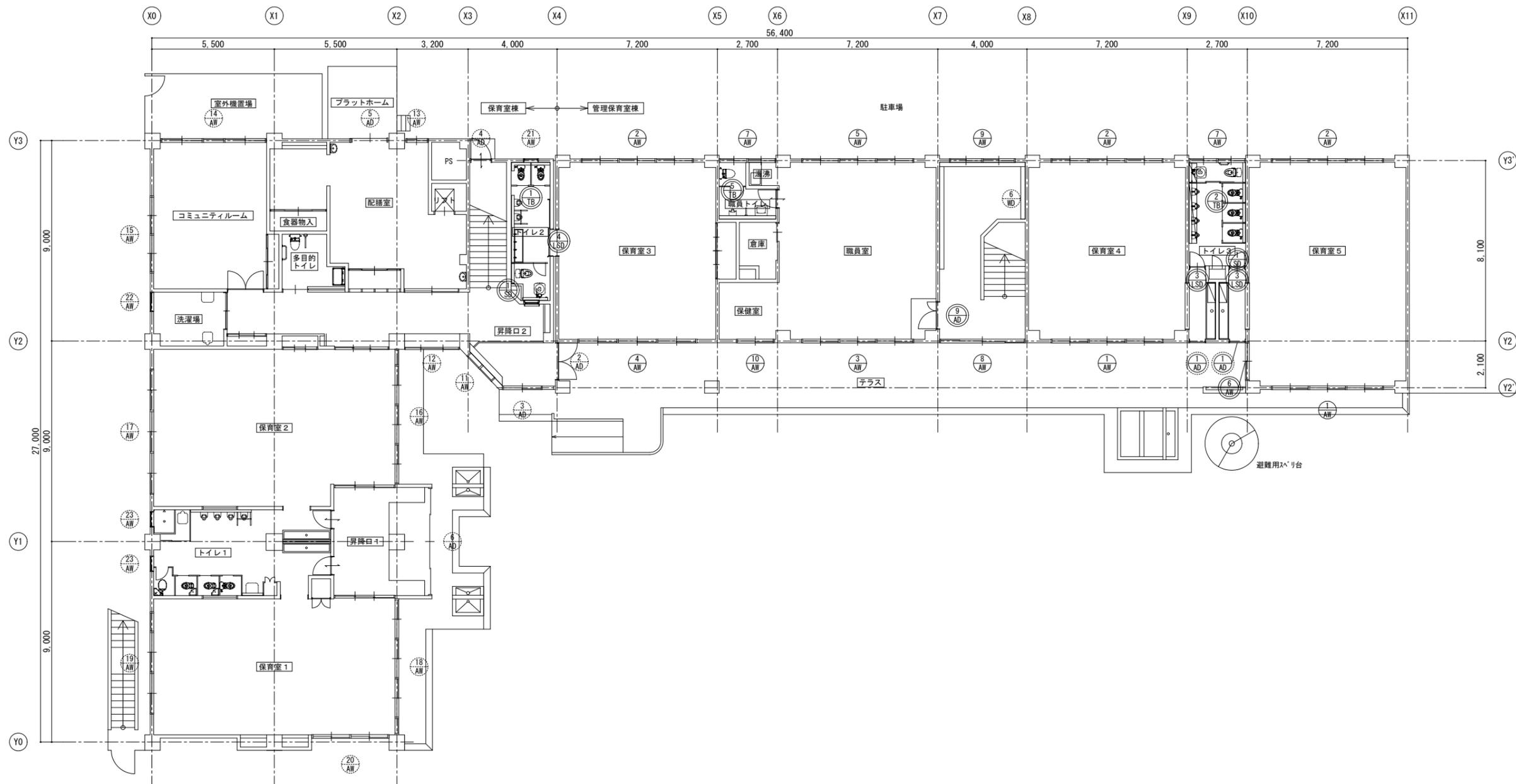


1階建具符号図 (改修前) S=1/100

- 凡例
- ⊙... 改修する建具を示す (カバー工法)
 - ⊗... 撤去する建具を示す
 - ⊕... 新設する建具を示す
 - ⊙... 建具調整 (金物更新・塗替) の建具を示す
 - ⊗... 扉のみ入替する建具を示す (改修前) (改修後)

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号	A-45
図面名	1階建具符号図 (改修前)	縮尺	1/100	設計
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (イ-3) 第13966号	一級建築士334761 河村康弘	

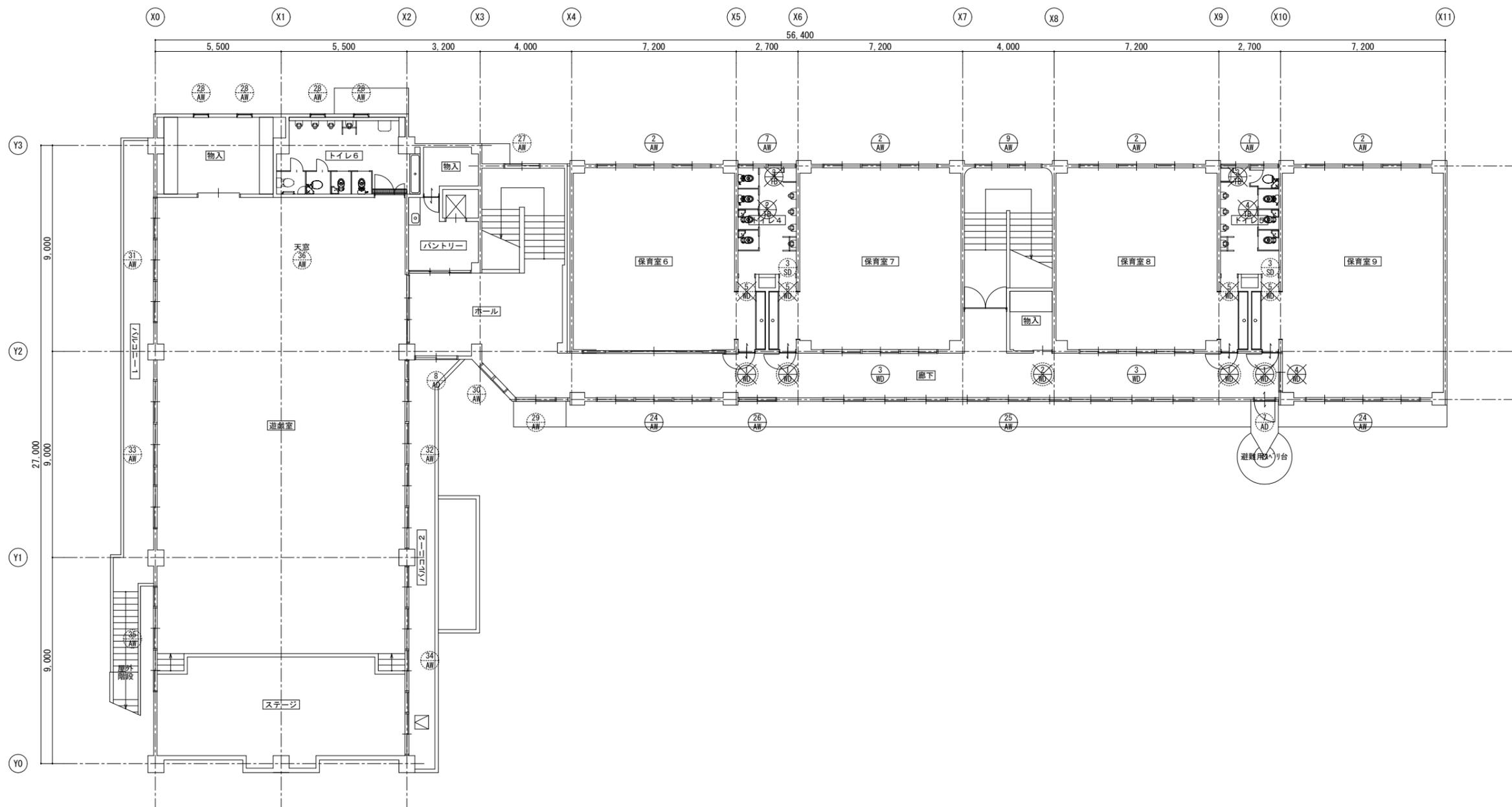


1階建具符号図 (改修後) S=1/100

- 凡例
- ⊙ (改修) ... 改修する建具を示す (カバー工法)
 - ⊙ (撤去) ... (撤去) する建具を示す
 - ⊙ (新設) ... (新設) する建具を示す
 - ⊙ (調整) ... 建具調整 (金物更新・塗替) の建具を示す
 - ⊙ (扉替) ... 扉のみ入替する建具を示す (改修前) (改修後)

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図案番号	A-46
図案名	1階建具符号図 (改修後)		縮尺	1/100
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (い-3) 第13966号	設計	河村康弘



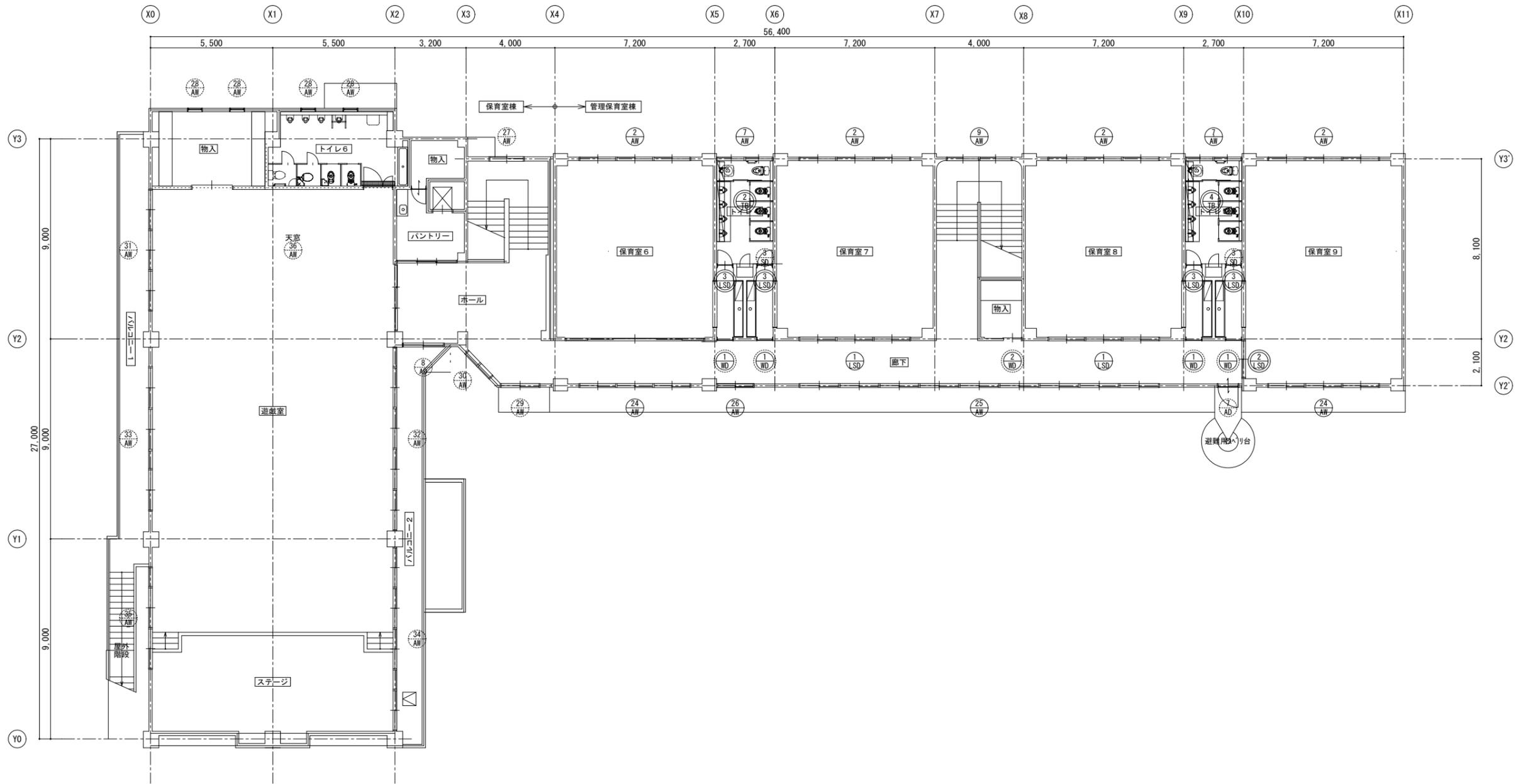
2階建具符号図 (改修前) S=1/100

凡例

- ⊙... 改修する建具を示す (カバー工法)
- ⊗... (撤去) する建具を示す
- ⊕... (新設) する建具を示す
- ⊙... 建具調整 (金物更新・塗替) の建具を示す
- ⊗... 厚のみ入替する建具を示す (改修前) (改修後)

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

	工事名 安城こども園中規模及び保全改修主体工事 図面番号 A-47		
	図面名 2階建具符号図 (改修前) 縮尺 1/100		設計
	日付 2025.12 株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (い-3) 第13966号		一級建築士334761 河村康弘



2階建具符号図 (改修後) S=1/100

- 凡例
- 改修する建具を示す (カバー工法)
 - ⊗ 撤去する建具を示す
 - (新設) する建具を示す
 - 建具調整 (金物更新・塗替) の建具を示す
 - ⊗ (改修前) ●●● (改修後) 扉のみ入替する建具を示す

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

	工事名 安城こども園中規模及び保安改修主体工事	図面番号 A-48	
	図面名 2階建具符号図 (改修後)	縮尺 1/100	設計 河村康弘
日付 2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス <small>一級建築士事務所 愛知県 (イ-3) 第13966号</small>	一級建築士334761 河村康弘	

符号・名称	① AM 引違い戸3連+欄間引違い窓		② AM 引違い窓3連		
	改修前	改修後	改修前	改修後	
室名	保育室4、保育室5	保育室4、保育室5	保育室3、保育室4、保育室5、保育室6、保育室7、保育室8、保育室9	保育室3、保育室4、保育室5、保育室6、保育室7、保育室8、保育室9	
数量	2	2	7	7	
仕上見込	アルミ	アルマイト	アルミ	アルマイト	
ガラス	FL3 腰部分: PW6.8	T4+A6+T4、挿出腰部分: TF4+A6+T4、腰壁部分: アルミパネル断熱ボード t=18	FL3	T4+A6+T4 FIX部: TF4+A6+T4	
改修内容	(カバー工法による入替、下枠撤去)	(カバー工法による入替、下枠新設) クレセント、網戸(合成樹脂製)※挿出し部分除く、引違戸錠(扉部分)、付属金物一式 フラットレール	(カバー工法による入替)	(カバー工法による入替) クレセント(FL+1500以下)、網戸(合成樹脂製)、換気框(各部屋1箇所)、付属金物一式	
符号・名称	③ AM 引違い窓+欄間引違い窓		④ AM 引違い窓3連		
改修前	改修後	改修前	改修後		
室名	職員室	職員室	保育室3	保育室3	
数量	1	1	1	1	
仕上見込	アルミ	アルマイト	アルミ	アルマイト	
ガラス	FL3	T4+A6+T4	FL3 腰部分: T4	T4+A6+T4、挿出腰部分: TF4+A6+T4、腰壁部分: アルミパネル断熱ボード t=18	
改修内容	(カバー工法による入替)	(カバー工法による入替) クレセント、網戸(合成樹脂製)、付属金物一式	(カバー工法による入替、下枠撤去)	(カバー工法による入替、下枠新設) クレセント、網戸(合成樹脂製)※挿出し部分除く、引違戸錠(扉部分)、付属金物一式 フラットレール	
符号・名称	⑤ AM 引違い窓3連		⑥ AM 引違い戸+欄間引違い窓		
改修前	改修後	改修前	改修後		
室名	職員室	職員室	保育室5	保育室5	
数量	1	1	1	1	
仕上見込	アルミ	アルマイト	アルミ	アルマイト	
ガラス	FL3	T4+A6+T4	FL3 腰部分: PW6.8	T4+A6+T4、腰部分: TF4+A6+T4	
改修内容	(カバー工法による入替)	(カバー工法による入替) クレセント(FL+1500以下)、網戸(合成樹脂製)、換気框、付属金物一式	(撤去)	(新設) クレセント、引違戸錠(扉部分) 付属金物一式、フラットレール	
符号・名称	⑦ AM 引違い窓2連		⑧ AM 引違い窓2連		
改修前	改修後	改修前	改修後		
室名	トイレ3~5、職員トイレ/湯沸	トイレ3~5、職員トイレ/湯沸	トイレ3~5、職員トイレ/湯沸	トイレ3~5、職員トイレ/湯沸	
数量	4	4	4	4	
仕上見込	アルミ	アルマイト	アルミ	アルマイト	
ガラス	F3	TF4+A6+T4	F3	TF4+A6+T4	
改修内容	(カバー工法による入替)	(カバー工法による入替) クレセント、網戸(合成樹脂製) アルミ膳板、アルミ網線、付属金物一式	(カバー工法による入替)	(カバー工法による入替)	
特記事項	1. 建築金物、ガラスは原則として見本提出の上、係員の承諾を得ること。 2. アルミパネル及びガラス部にはすべてシーリングを施すこと。 3. 建築金物は原則としてステンレス製とする。 4. 外部建具廻りはシーリング(MS-2)を充填のこと、下部は2回充填とする。 5. すべての建具において建具調整を行うこと。 6. 外れ止め(新設)は二重外れ止めとする。		7. ガラスビート(撤去)ガラスシーリング(新設)のとき、ガラス(残置)で施工すること。 8. 工事着手前に建具検査を行い、その調査結果を元に監督員と協議し、改修すること。 9. 部は網戸(新設)部分を示す。 部は飛散防止フィルム(新設)部分を示す。 10. 特記なき限り網線は下地調整の上UCとする。 11. クレセント取付位置は、FL+1500を基準とし、各々について監督員と協議すること。 12. カバー工法によりサッシ巾が小さくなる場合は窓部分で調整するものとし、扉部分の幅は確保すること。窓部分の寸法はサッシ巾の均等割とする。		
	凡例	F 型板ガラス FL 透明ガラス FW 網入り型板ガラス PW 網入り磨きガラス TF 強化型板ガラス T 強化透明ガラス		A 空気層 ① クレセント錠 ② シリンダー錠 ③ サムターン錠 ④ 空錠 内/外 内側/外側	
工事名	安城こども園中規模及び保安改修主体工事			図面番号	A-49
図面名	建具表1(改修前・改修後)			縮尺	1/50
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 泉知根(いー3) 第13966号		設計	河村康弘

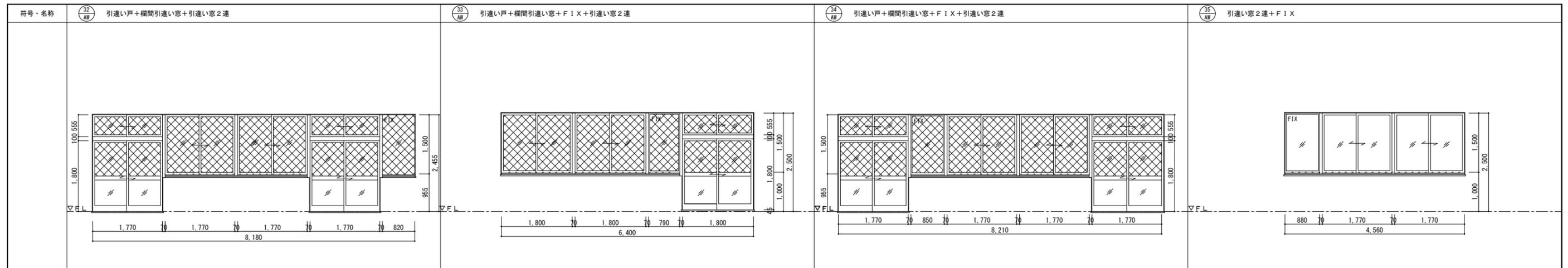
符号・名称	8 AW 3枚引違い戸+片袖FIX+欄間FIX		9 AW 引違い窓2連		10 AW 引違い窓+欄間引違い窓			
	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後		
室名	下足室	下足室	下足室、階段室	下足室、階段室	保健室	保健室		
数量	1	1	2	2	1	1		
仕上	アルミ	アルマイト	アルミ	アルマイト	アルミ	アルマイト		
見込	100	100	70	70	70	70		
ガラス	FL3 腰部分: PW6.8	T4+A6+T4、腰部分: TF4+A6+T4	FL3	T4+A6+T4	FL3	TF4+A6+T4、ランマ部分: T4+A6+T4		
改修内容	〈カバー工法による入替、下枠撤去〉	〈カバー工法による入替、下枠新設〉 引違い戸錠(扉部分)、付属金物一式 フラットレール	〈カバー工法による入替〉	〈カバー工法による入替〉 クレセント、網戸(合成樹脂製)、付属金物一式	〈カバー工法による入替〉	〈カバー工法による入替〉 クレセント、網戸(合成樹脂製)、付属金物一式		
符号・名称	11 AW FIX2連		12 AW 3枚引違い窓		13 AW 引違い窓			
改修前	改修後		改修前		改修後			
室名	昇降口2	昇降口2	配膳室	コミュニティルーム	コミュニティルーム	コミュニティルーム		
数量	1	1	1	1	1	1		
仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ		
見込	70	100	70	70	70	70		
ガラス	FL3	FL3	F4	F4	F4	F4		
改修内容	飛散防止フィルム貼(新設)	〈建具調整〉 戸車取替、クレセント取替、外れ止め取替、飛散防止フィルム貼(新設)	〈建具調整〉 戸車取替、クレセント取替、外れ止め取替、飛散防止フィルム貼(新設)	〈建具調整〉 戸車取替、クレセント取替、外れ止め取替、飛散防止フィルム貼(新設)	〈建具調整〉 戸車取替、クレセント取替、外れ止め取替、飛散防止フィルム貼(新設)	〈建具調整〉 戸車取替、クレセント取替、外れ止め取替、飛散防止フィルム貼(新設)		
符号・名称	16 AW 引違い戸3連+欄間引違い窓+FIX		17 AW 引違い窓3連		18 AW 引違い戸3連+欄間引違い窓+FIX			
改修前	改修後		改修前		改修後			
室名	保育室2	保育室2	保育室2	保育室1	保育室1	保育室1		
数量	1	1	1	1	1	1		
仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ		
見込	100	100	70	100	100	70		
ガラス	FL3 腰部分: T4	FL3	FL3	FL3 腰部分: T4	FW6.8	FW6.8		
改修内容	〈建具調整〉 戸車取替、クレセント取替、ハンドル型クレセント取替、外れ止め取替 飛散防止フィルム貼(新設)	〈建具調整〉 戸車取替、クレセント取替、外れ止め取替 飛散防止フィルム貼(新設)	〈建具調整〉 戸車取替、クレセント取替、外れ止め取替 飛散防止フィルム貼(新設)	〈建具調整〉 戸車取替、クレセント取替、ハンドル型クレセント取替、外れ止め取替 飛散防止フィルム貼(新設)	〈建具調整〉 戸車取替、クレセント取替、外れ止め取替 飛散防止フィルム貼(新設)	〈建具調整〉 戸車取替、クレセント取替、外れ止め取替 飛散防止フィルム貼(新設)		
特記事項	1. 建築金物、ガラスは原則として見本提出の上、係員の承諾を得ること。 2. アルミパネル及びガラス部にはすべてシーリングを施すこと。 3. 建築金物は原則としてステンレス製とする。 4. 外部建具廻りはシーリング(MS-2)を充填のこと、下部は2回充填とする。 5. すべての建具において建具調整を行うこと。 6. 外れ止め(新設)は二重外れ止めとする。		7. ガラスビード(撤去)ガラスシーリング(新設)のとき、ガラス(残置)をみること。 8. 工事着手前に建具検査を行い、その調査結果を元に監督員と協議し、改修すること。 9. 部は網戸(新設)部分を示す。部は飛散防止フィルム(新設)部分を示す。 10. 特記なき限り幅縁は下地調整の上UCとする。 11. クレセント取付位置は、FL+1500を基準とし、各々について監督員と協議すること。 12. カバー工法によりサッシ巾が小さくなる場合は窓部分で調整するものとし、扉部分の幅は確保すること。窓部分の寸法はサッシ巾の均等割とする。		凡例 F 型板ガラス FL 透明ガラス FW 網入り型板ガラス PW 網入り磨きガラス TF 強化型板ガラス T 強化透明ガラス A 空気層 ① クレセント錠 ② シリンダー錠 ③ サムターン錠 ④ 空錠 内/外 内側/外側		工事名 安城こども園中規模及び保全改修主体工事 図面番号 A-50 日付 2025.12 建具表2(改修前・改修後) 株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県(いー3)第13966号 河村康弘	

符号・名称	20 AW 引違い窓2連	21 AW すべり出し窓	22 AW すべり出し窓2段	23 AW すべり出し窓2段	24 AW 引違い窓+欄間引違い窓	改修前	改修後
	※既存建具メーカー：不二サッシ	※既存建具メーカー：不二サッシ	※既存建具メーカー：不二サッシ	※既存建具メーカー：不二サッシ			
室名	保育室1	トイレ2	洗濯場	トイレ1	保育室9、廊下		保育室9、廊下
数量	1	1	1	1	2		2
仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ		アルミ
見込	70	70	70	70	70		70
ガラス	FL3	F3	F4	F4			T4+A6+T4
改修内容	《建具調整》 戸車取替、クレセント取替、外れ止め取替 飛散防止フィルム貼(新設)	《建具調整》 ハンドル取替、飛散防止フィルム貼(新設)	《建具調整》 ハンドル取替、飛散防止フィルム貼(新設)	《建具調整》 ハンドル取替、飛散防止フィルム貼(新設)	《カバー工法による入替》		T4+A6+T4 FIX部分：T4+A6+T4 《カバー工法による入替》 クレセント、網戸(合成樹脂製)、換気框、飛散防止フィルム(新設)、付属金物一式

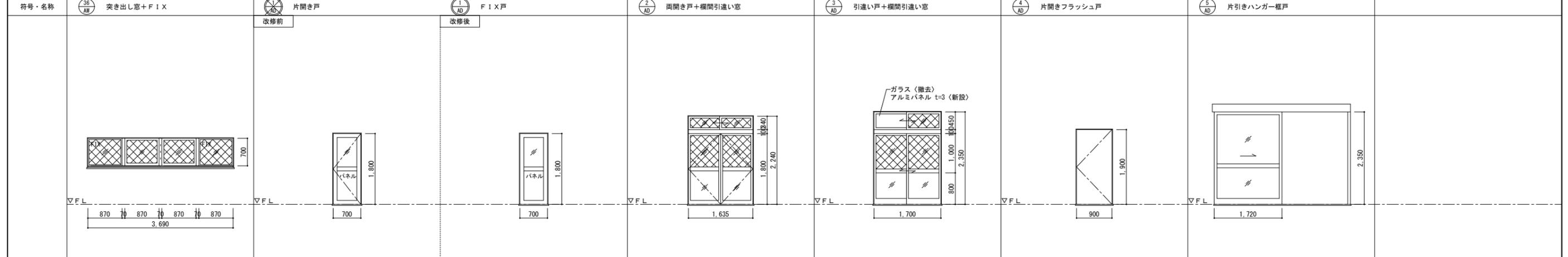
符号・名称	25 AW 引違い窓7連+欄間引違い窓9連	改修前	改修後
室名	廊下		廊下
数量	1		1
仕上	アルミ		アルミ
見込	70		70
ガラス	FL3 腰部分：PW6.8 《カバー工法による入替》		T4+A6+T4 FIX部分：T4+A6+T4 最下部：アルミパネル断熱ボード t=18 《カバー工法による入替》 クレセント、網戸(合成樹脂製)、飛散防止フィルム(新設)、付属金物一式
改修内容			

符号・名称	26 AW 引違い窓	27 AW 引違い窓	28 AW すべり出し窓2段	29 AW 引違い窓+欄間引違い窓	30 AW F1X2連+欄間引違い窓	31 AW 引違い戸+欄間引違い窓+引違い窓2連
室名	廊下	廊下	階段室1	2階ホール	2階ホール	遊戯室
数量	1	1	1	4	1	1
仕上	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ	アルミ
見込	70	70	70	70	70	100
ガラス	FL3 腰部分：アルミ化粧パネル t=3 《カバー工法による入替》		F4 《建具調整》	FL3 《建具調整》	FL3 《建具調整》	FL3 腰部分：T4 《建具調整》
改修内容		クレセント、網戸(合成樹脂製)、付属金物一式 飛散防止フィルム(新設)	戸車取替、クレセント取替、外れ止め取替 飛散防止フィルム貼(新設)	戸車取替、クレセント取替、外れ止め取替 飛散防止フィルム貼(新設)	戸車取替、クレセント取替、外れ止め取替 飛散防止フィルム貼(新設)	戸車取替、ハンドル型クレセント取替、クレセント取替、外れ止め取替 飛散防止フィルム貼(新設)

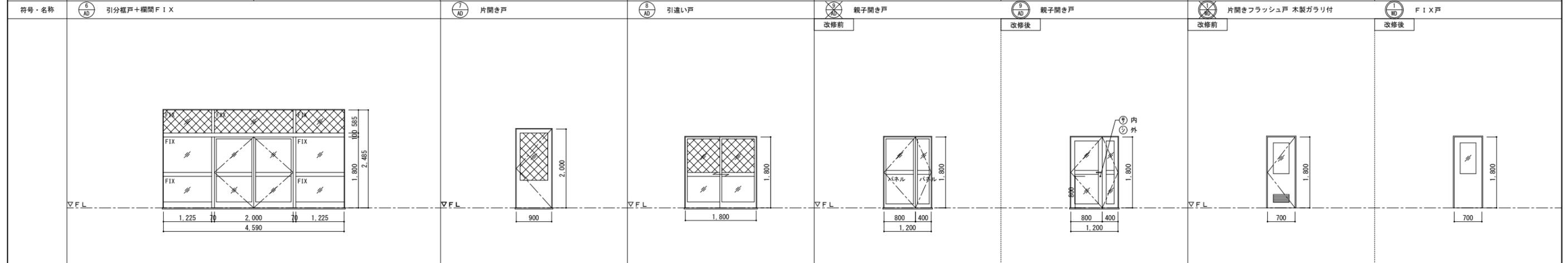
特記事項	1. 建築金物、ガラスは原則として見本提出の上、係員の承認を得ること。	7. ガラスビート(撤去)ガラスシーリング(新設)のとき、ガラス(残面)をみること。	凡例	F 型板ガラス	A 空気層	工事項	安城こども園中規模及び保全改修主体工事	原図番号	A-51
	2. アルミパネル及びガラス部にはすべてシーリングを施すこと。	8. 工事着手前に建具検査を行い、その調査結果を元に監督員と協議し、改修すること。		FL 透明ガラス	① クレセント錠				
	3. 建具金物は原則としてステンレス製とする。	9. 網戸(新設)部分を示す。飛散防止フィルム(新設)部分を示す。		FW 網入り型板ガラス	② シリンドー錠				
	4. 外部建具部はシーリング(MS-2)を充填のこと、下部は2回充填とする。	10. 特記なき限り網戸は下地調整の上UCとする。		PW 網入り磨きガラス	③ サムターン錠				
5. すべての建具において建具調整を行うこと。	11. クレセント取付位置は、FL+150を基準とし、各々について監督員と協議をすること。	TF 強化型ガラス	④ 空錠	日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス	一級建築士事務所 愛知県(イ-3)第13966号	一級建築士334761	河村康弘
6. 外れ止め(新設)は二重外れ止めとする。	12. カバー工法によりサッシ巾が小さくなる場合は窓部分で調整するものとし、腰部分の幅は確保すること。窓部分の寸法はサッシ巾の均等割とする。	T 強化透明ガラス	内/外 内側/外側	縮尺	1/50	設計			



室名	数量	遊戯室	1	遊戯室	1	遊戯室	1	遊戯室	1
仕上	見込	アルミ	70	アルミ	70	アルミ	70	アルミ	100
ガラス		FL3 腰部分: T4		FL3 腰部分: T4		FL3 腰部分: T4		FW6.8	
改修内容		(建具調整) 戸車取替、ハンドル型クレセント取替、クレセント取替、外れ止め取替 飛散防止フィルム貼(新設)		(建具調整) 戸車取替、ハンドル型クレセント取替、クレセント取替、外れ止め取替 飛散防止フィルム貼(新設)		(建具調整) 戸車取替、ハンドル型クレセント取替、クレセント取替、外れ止め取替 飛散防止フィルム貼(新設)		(建具調整) 戸車取替、クレセント取替、外れ止め取替 飛散防止フィルム貼(新設)	



室名	数量	遊戯室(天窗)	1	トイレ3	2	トイレ3	2	昇降口2	1	昇降口2	1	階段1下物入	1	配膳室	1
仕上	見込	アルミ	70	アルミ	70	アルミ	70	アルミ	100	アルミ	100	アルミ	100	アルミ	100
ガラス		T4		上部: F3		上部: TF4+A5+T4		T4 欄間部分: FL3		T4 欄間部分: FL3		-		FW6.8	
改修内容		(建具調整) オペレーター取替 飛散防止フィルム貼(新設)		(扉入替)		(扉入替) F1X扉として取付 扉下部: アルミパネル断熱ボード t=18		(建具調整) 戸車取替、クレセント取替、外れ止め取替 ドアクローザー取替、飛散防止フィルム貼(新設)		(建具調整) 戸車取替、クレセント取替、引違戸錠取替 外れ止め取替、飛散防止フィルム貼(新設)		(建具調整) ドアクローザー取替		(建具調整) 戸車取替、外れ止め取替 飛散防止フィルム貼(新設)	



室名	数量	昇降口1	1	廊下	1	2階ホール	1	職員室	1	職員室	1	トイレ4、トイレ5	4	トイレ4、トイレ5	4
仕上	見込	アルミ 100	100	アルミ	70	アルミ	100	アルミ	70	アルミ	70	耐水合板 + OP	36	メラミン化粧合板フラッシュ戸	36
ガラス		T4 欄間部分: FL3		FL3		FL3 腰部分: T4		FL3 腰部分: アルミパネル		T4		FL3		T F4	
改修内容		(建具調整) ドアクローザー取替 飛散防止フィルム貼(新設)		(建具調整) ドアクローザー取替 飛散防止フィルム貼(新設)		(建具調整) 戸車取替、ハンドル型クレセント取替、外れ止め取替 飛散防止フィルム貼(新設)		(撤去)		(新設) ドアクローザー、開き戸錠、レバーハンドル		(特残し扉入替)		(特残し扉入替) F1X扉として取付	

特記事項	1. 建築金物、ガラスは原則として見本提出の上、係員の承諾を得ること。	7. ガラスビート(撤去)ガラスシリング(新設)のとき、ガラス(残置)をみること。	凡例	F	型板ガラス	A	空気層	工務名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事			図面番号	A-52	
	2. アルミパネル及びガラス部にはすべてシーリングを施すこと。	8. 工事着手前に建具検査を行い、その調査結果を元に監督員と協議し、改修すること。		FL	透明ガラス	②	クレセント錠		図名	建具表4(改修前・改修後)		縮尺	1/50	設計
	3. 建具金物は原則としてステンレス製とする。	9. 部は網戸(新設)部分を示す。部は飛散防止フィルム(新設)部分を示す。		FW	網入り型板ガラス	③	シリンダー錠		日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス		一級建築士334761	
	4. 外部建具廻りはシーリング(MS-2)を充填のこと、下部は2回充填とする。	10. 特記なき限り縦線は下地調整の上UCとする。		PW	網入り磨きガラス	④	サムターン錠		株式会社デザインボックス名古屋オフィス		一級建築士事務所 愛知県(いー3)第13966号		河村康弘	
5. すべての建具において建具調整を行うこと。	11. クレセント取付位置は、FL+1500を基準とし、各々について監督員と協議すること。	TF	強化型板ガラス	⑤	空錠									
6. 外れ止め(新設)は二重外れ止めとする。	12. カバー工法によりサッシ巾が小さくなる場合は窓部分で調整するものとし、扉部分の幅は確保すること。窓部分の寸法はサッシ巾の均等割とする。	T	強化透明ガラス	⑥	空錠									

符号・名称	① 片引フラッシュ戸	② 片引フラッシュ戸	③ 引違い窓+両袖引違いフラッシュ戸+欄間引違い窓3連	④ スチール製パーテーション	⑤ 引違い戸+欄間引違い窓	⑥ スチール製ドア		
	改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後		
室名	保育室7、保育室8	保育室7、保育室8	保育室7、保育室8	保育室7、保育室8	保育室9	保育室9		
数量	1	1	2	2	1	1		
仕上	ラワンベニア+OP 片面:化粧プリント合板	メラミン化粧合板フラッシュ戸	ラワン合板 + OP	スチール粉体焼付塗装	ラワン合板 + OP	スチール粉体焼付塗装		
ガラス	F3	TF4	FL3	T4	FL3	T4		
改修内容	〈枠残し扉入替〉	〈枠残し扉入替〉	〈カバー工法による入替〉	〈カバー工法による入替〉 戸車、クレセント、引違い戸錠、据込引手、戸先ゴム、フランス落とし 額縁アングル、SUSレール、付属金物一式	〈撤去〉	〈新設〉 戸車、クレセント、引違い戸錠、据込引手、戸先ゴム		
符号・名称	⑦ SUS枠	⑧ 片開きフラッシュ戸	⑨ 開き戸	⑩ トイレブース	⑪ トイレブース	⑫ トイレブース		
改修前	改修前	改修後	改修前	改修前	改修後	改修後		
室名	トイレ3、トイレ4、トイレ5	トイレ3、トイレ4、トイレ5	下足室	トイレ2	トイレ2	トイレ2		
数量	6	6	1	1	1	1		
仕上	SUS	スチール粉体焼付塗装	SOP塗	スチール粉体焼付塗装	メラミン化粧合板フラッシュ t=40	メラミン化粧合板 (ペーパーコア) t=40		
ガラス	-	T4	-	T4	-	-		
改修内容	〈SUS枠・木枠撤去〉	〈扉新設〉 T番、レバーハンドル、シリンダー錠 (上部H=1500以上) ドアクロージャー、アルミガラリ (開口率35%)	〈建具調整〉 下地調整の上 SOP塗替	〈扉新設〉 戸車、引き戸錠 (上部H=1500以上) 引手、SUSレール、アルミガラリ (開口率5%)	〈全撤去〉	〈新設〉 グラビティヒンジ (中央吊)、表示錠 (非常時開放装置付)、戸当り、外掛錠 (大人用ブース 上部H=1500以上) ステンレス巾木、ステンレス頭ツナギ、アルミエッジ、(出隅扉アルエッジ、指はさみ防止仕様) シャワーカーテン: W700×H1700 (ブース上部メッシュカーテン) ×2 (レール共新設)		
符号・名称	⑬ トイレブース	⑭ トイレブース	⑮ 掃除具入れ	⑯ トイレブース	⑰ トイレブース	⑱ トイレブース		
改修前	改修前	改修後	改修前	改修前	改修後	改修後		
室名	トイレ3、トイレ4	トイレ3、トイレ4	トイレ3、トイレ4、トイレ5	トイレ5	トイレ5	トイレ5		
数量	2	2	3	1	1	1		
仕上	メラミン化粧合板フラッシュ t=40	メラミン化粧合板 (ペーパーコア) t=40	メラミン化粧合板フラッシュ t=40	メラミン化粧合板フラッシュ t=40	メラミン化粧合板 (ペーパーコア) t=40	メラミン化粧合板 (ペーパーコア) t=40		
ガラス	-	-	-	-	-	-		
改修内容	〈全撤去〉	〈新設〉 スライド扉機構、表示錠 (非常時開放装置付)、戸当り、外掛錠 (大人用ブース 上部H=1500以上) ステンレス巾木、ステンレス頭ツナギ、アルミエッジ、(出隅扉アルエッジ、指はさみ防止仕様) シャワーカーテン: W700×H1800 (ブース上部メッシュカーテン) ×3 (レール共新設)	〈全撤去〉	〈全撤去〉	〈新設〉 スライド扉機構、表示錠 (非常時開放装置付)、戸当り、外掛錠 (大人用ブース 上部H=1500以上) ステンレス巾木、ステンレス頭ツナギ、アルミエッジ、(出隅扉アルエッジ、指はさみ防止仕様) シャワーカーテン: W700×H1800 (ブース上部メッシュカーテン) ×3 (レール共新設)	〈新設〉 スライド扉機構、表示錠 (非常時開放装置付)、戸当り、外掛錠 (大人用ブース 上部H=1500以上) ステンレス巾木、ステンレス頭ツナギ、アルミエッジ、(出隅扉アルエッジ、指はさみ防止仕様) シャワーカーテン: W700×H1800 (ブース上部メッシュカーテン) ×3 (レール共新設)		
特記事項	1. 建築物、ガラスは原則として見本提出の上、係員の承諾を得ること。		7. ガラスビート (撤去) ガラスシーリング (新設) のとき、ガラス (残置) をみること。		F 型板ガラス		A 空気層	
	2. アルミパネル及びガラス部にはすべてシーリングを施すこと。		8. 工事着手前に建具検査を行い、その調査結果を元に監督員と協議し、改修すること。		FL 透明ガラス		① クレセント錠	
3. 建具金物は原則としてステンレス製とする。		9. ①部は網戸 (新設) 部分を示す。②部は飛散防止フィルム (新設) 部分を示す。		FW 網入り型板ガラス		② シリンダー錠		
4. 外部建具廻りはシーリング (MS-2) を充填のこと、下部は2回充填とする。		10. 特記なき限り額縁は下地調整の上UCとする。		PW 網入り磨きガラス		③ サムターン錠		
5. すべての建具において建具調整を行うこと。		11. クレセント取付位置は、FL+1500を基準とし、各々について監督員と協議すること。		TF 強化型板ガラス		④ 空錠		
6. 外れ止め (新設) は二重外れ止めとする。		12. カバー工法によりサッシ巾木が小さくなる場合は窓部分で調整するものとし、窓部分の幅は確保すること。窓部分の寸法はサッシ巾木の均等割とする。		T 強化透明ガラス		⑤ 内側/外側		
				凡例		工事名		
						安城こども園中規模及び保全改修主体工事		
						図面番号		
						建具表5 (改修前・改修後)		
						縮尺		
						1/50		
						設計		
						2025.12		
						株式会社デザインボックス名古屋オフィス		
						一級建築士事務所 栗田 晃 (いー3) 第13966号		
						河村 康弘		
						A-53		

符号・名称	トイレブース 改修前	トイレブース 改修後	片開き戸 改修前	片開き戸 改修後	片開き戸 改修後
室名	職員トイレ	職員トイレ	トイレ2、トイレ3	トイレ2、トイレ3	トイレ4、トイレ5
数量	1	1	2	2	2
仕上	メラミン化粧合板フラッシュ t=40	メラミン化粧合板 (ペーパーコア) t=40	スチール+OP	スチール+DP	スチール+DP
見込			70	70	70
ガラス	-	-	-	-	-
改修内容	〈撤去〉	〈新設〉 表示錠 (非常時開放装置付)、ステンレス巾木 ステンレス鎖ツナギ	〈撤去〉	〈新設〉 丁番、分電盤錠、ケースハンドル	〈建具調整〉 下地調整の上 DP塗替 (両面)

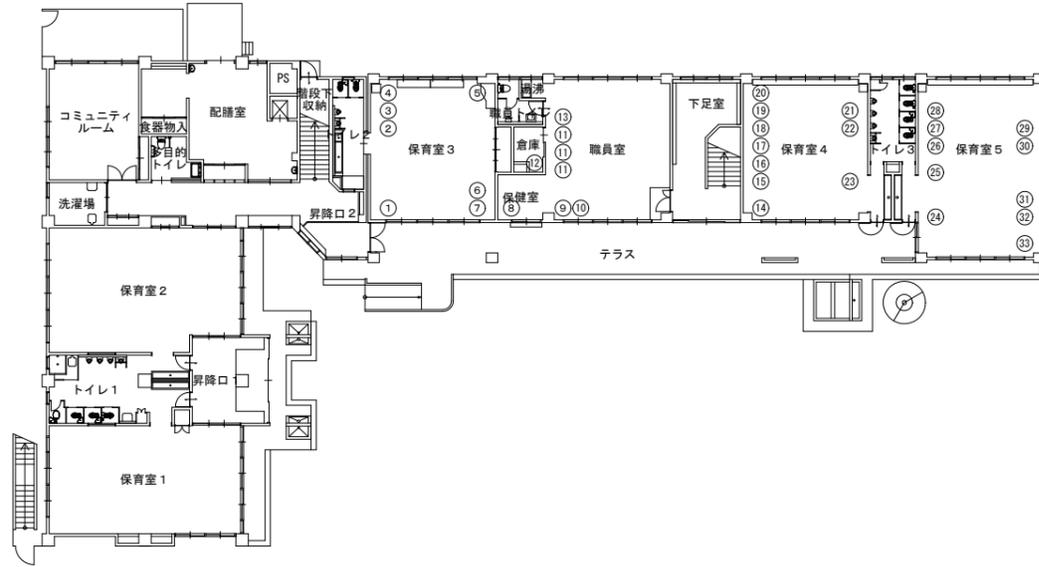
符号・名称					
室名	数量	仕上	見込	ガラス	改修内容

符号・名称					
室名	数量	仕上	見込	ガラス	改修内容

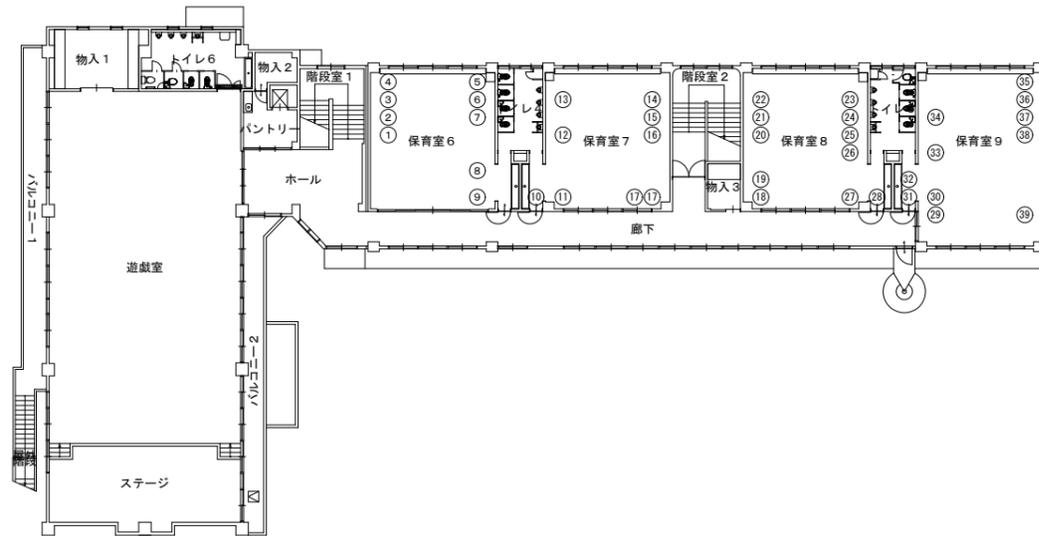
符号・名称					
室名	数量	仕上	見込	ガラス	改修内容

特記事項	1. 建築金物、ガラスは原則として見本提出の上、係員の承諾を得ること。	7. ガラスビート (撤去) ガラスシーリング (新設) のとき、ガラス (残置) をみること。	凡例	F 型板ガラス	A 空気層	工事名 安城こども園中規模及び保安改修主体工事 図面番号 A-54 日付 2025.12 設計 株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (い-3) 第13966号 河村康弘
	2. アルミパネル及びガラス部にはすべてシーリングを施すこと。	8. 工事着手前に建具検査を行い、その調査結果を元に監督員と協議し、改修すること。		FL 透明ガラス	① クレセント錠	
	3. 建具金物は原則としてステンレス製とする。	9. 部は網戸 (新設) 部分を示す。 部は飛散防止フィルム (新設) 部分を示す。		FW 網入り型板ガラス	② シリンダー錠	
	4. 外部建具廻りはシーリング (MS-2) を充填のこと、下部は2回充填とする。	10. 特記なき限り鎖継は下地調整の上UCとする。		PW 網入り磨きガラス	③ サムターン錠	
5. すべての建具において建具調整を行うこと。	11. クレセント取付位置は、FL+1500を基準とし、各々について監督員と協議をすること。	TF 強化型板ガラス	④ 空錠			
6. 外れ止め (新設) は二重外れ止めとする。	12. カバー工法によりサッシ巾が小さくなる場合は窓部分で調整するものとし、扉部分の幅は確保すること。窓部分の寸法はサッシ巾の均等割とする。	T 強化透明ガラス	内/外 内側/外側			

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)



1階平面図 (改修前) S=1/200



2階平面図 (改修前) S=1/200

備品リスト (1階)

番号	品名	数量	方法	素材	W	D	H
①	棚	1	移設・復旧	木製	600	600	900
②	タオル掛け	1	撤去 (粗大ごみ)	スチール	890	310	790
③	整理たんす	1	移設・復旧	木製	480	450	900
④	絵本棚	1	移設・復旧	木製	1200	330	900
⑤	電子オルガン	1	移設・復旧	木製	1300	250	750
⑥	棚	1	移設・復旧	木製	600	420	900
⑦	棚	1	移設・復旧	木製	1200	380	900
⑧	薬品棚	1	撤去 (粗大ごみ)	その他	620	280	1600
⑨	Cドラック	1	撤去 (粗大ごみ)	その他	520	340	1040
⑩	書庫	1	撤去 (粗大ごみ)	その他	890	500	1800
⑪	ロッカー	3	移設・復旧	スチール	900	520	1800
⑫	棚	1	撤去 (粗大ごみ)	木製	900	380	1540
⑬	食器棚	1	撤去 (粗大ごみ)	その他	850	355	1800
⑭	整理たんす	1	移設・復旧	木製	480	450	900
⑮	棚	1	撤去 (粗大ごみ)	木製	400	1100	900
⑯	ワゴン	1	移設・復旧	その他	920	500	800
⑰	棚	1	撤去 (粗大ごみ)	木製	800	400	400
⑱	ピアノ	1	移設・復旧	木製	1510	820	1330
⑲	棚	1	移設・復旧	木製	900	430	900
⑳	スチールロッカー	1	撤去 (粗大ごみ)	スチール	880	400	880
㉑	ままごと棚	1	移設・復旧	木製	1200	300	900
㉒	絵本棚	1	移設・復旧	木製	1200	330	900
㉓	タオル掛け	1	撤去 (粗大ごみ)	スチール	890	310	790
㉔	整理たんす	1	移設・復旧	木製	480	450	900
㉕	タオル掛け	1	撤去 (粗大ごみ)	スチール	890	310	790
㉖	棚	1	移設・復旧	木製	900	400	970
㉗	棚	1	撤去 (粗大ごみ)	木製	600	420	900
㉘	棚	1	移設・復旧	木製	940	450	900
㉙	棚	1	移設・復旧	木製	600	600	900
㉚	ピアノ	1	移設・復旧	木製	1510	820	1330
㉛	面用紙棚	1	移設・復旧	木製	600	420	900
㉜	棚	1	移設・復旧	木製	900	430	900
㉝	絵本棚	1	移設・復旧	木製	1200	330	900

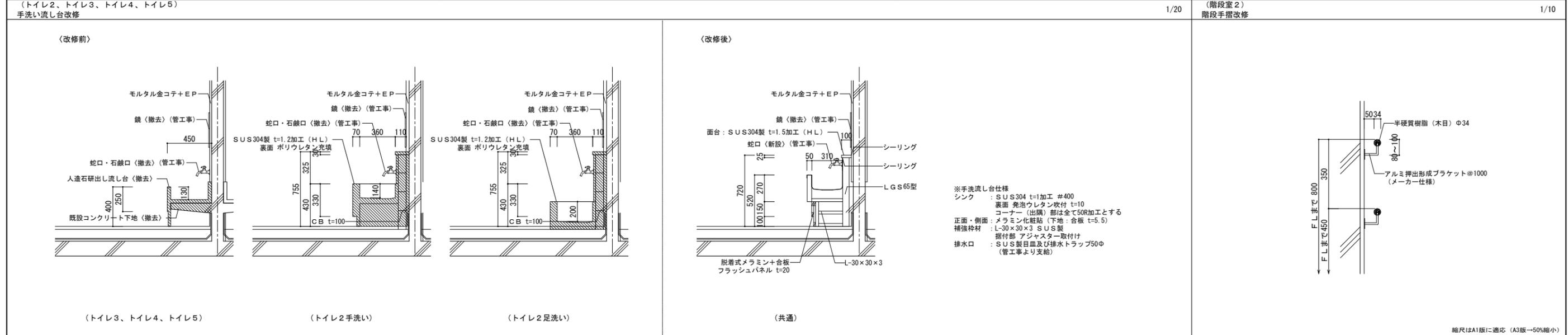
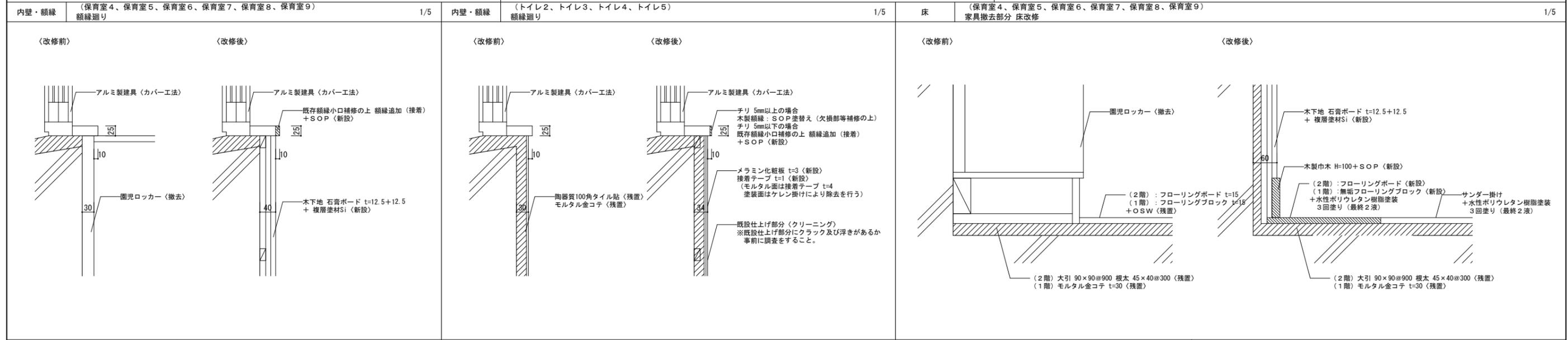
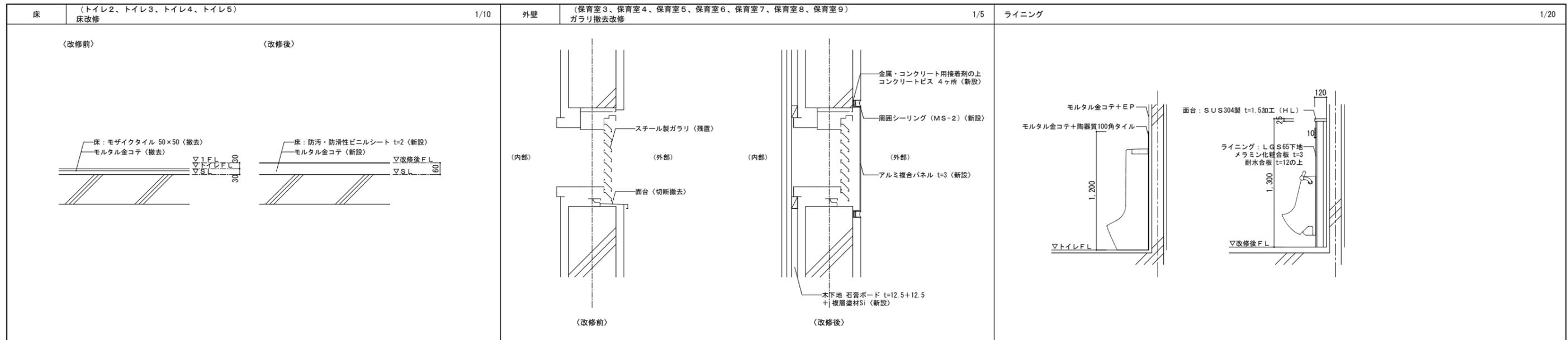
備品リスト (2階)

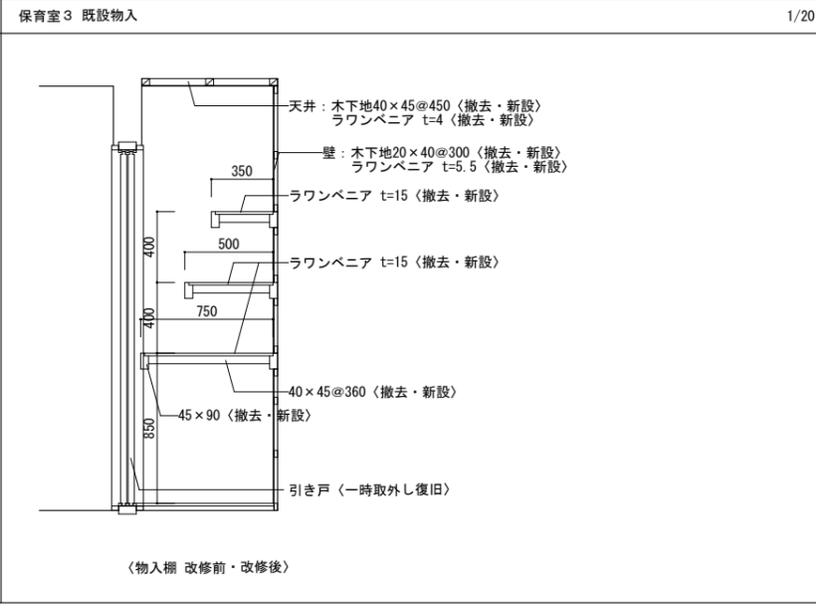
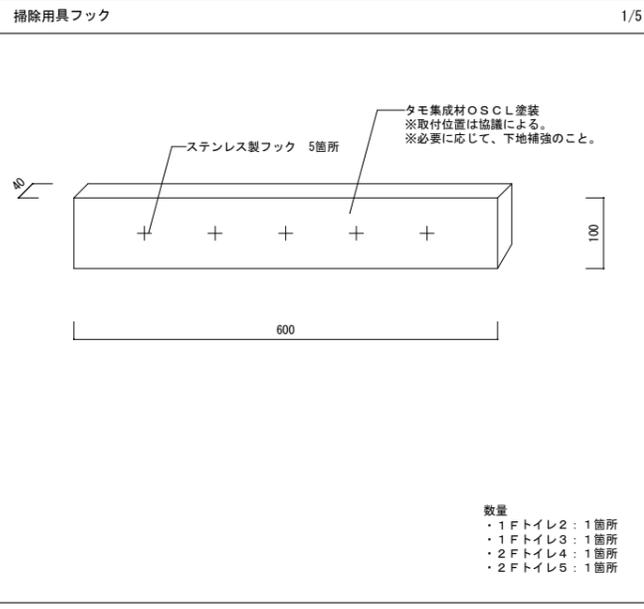
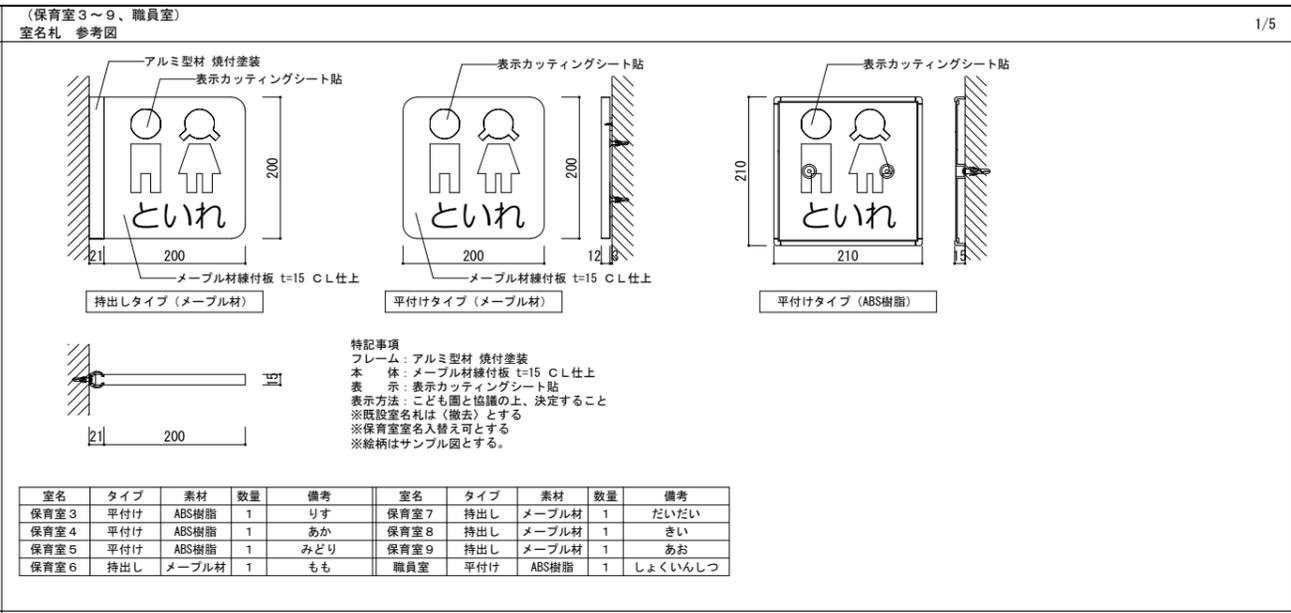
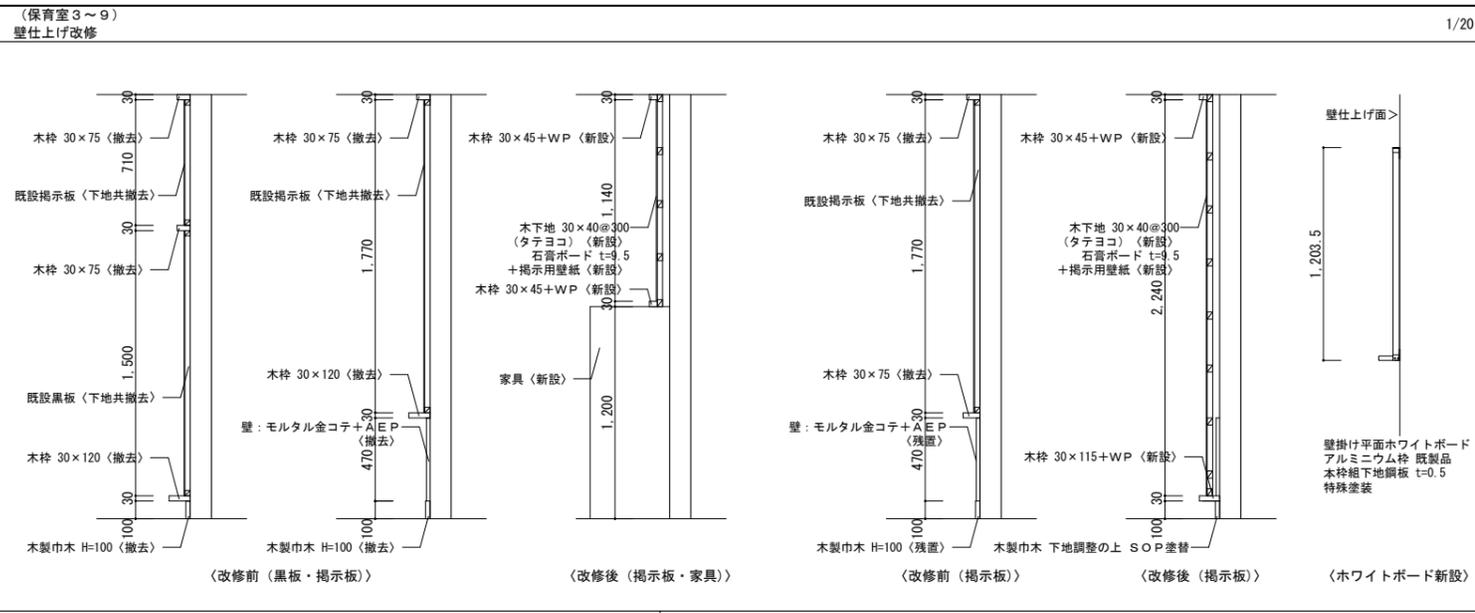
番号	品名	数量	方法	素材	W	D	H
①	ピアノ	1	移設・復旧	木製	1510	820	1330
②	棚	1	移設・復旧	木製	600	600	900
③	棚	1	移設・復旧	木製	900	400	970
④	棚	1	移設・復旧	木製	1200	320	900
⑤	棚	1	撤去 (粗大ごみ)	木製	290	320	900
⑥	ままごと棚	1	撤去 (粗大ごみ)	木製	430	380	1200
⑦	棚	1	撤去 (粗大ごみ)	木製	800	400	400
⑧	タオル掛け	1	撤去 (粗大ごみ)	スチール	890	310	790
⑨	整理棚	1	撤去 (粗大ごみ)	木製	1100	400	900
⑩	3段棚	1	撤去 (粗大ごみ)	木製	440	300	900
⑪	タオル掛け	1	撤去 (粗大ごみ)	スチール	890	310	790
⑫	スチールロッカー	1	撤去 (粗大ごみ)	スチール	880	400	880
⑬	ままごと棚	1	移設・復旧	木製	1200	300	900
⑭	絵本棚	1	移設・復旧	木製	880	450	900
⑮	棚	1	移設・復旧	木製	900	430	900
⑯	ピアノ	1	移設・復旧	木製	1510	820	1330
⑰	整理たんす	2	移設・復旧	木製	480	450	900
⑱	棚	1	移設・復旧	木製	900	420	900
⑲	製作ワゴン	1	移設・復旧	木製	900	430	830
⑳	ピアノ	1	移設・復旧	木製	1510	820	1330
㉑	棚	1	移設・復旧	木製	1200	380	900
㉒	整理棚	1	移設・復旧	木製	900	430	900
㉓	絵本棚	1	移設・復旧	木製	1200	440	800
㉔	棚	1	撤去 (粗大ごみ)	木製	940	330	900
㉕	棚	1	撤去 (粗大ごみ)	木製	800	400	400
㉖	タオル掛け	1	撤去 (粗大ごみ)	スチール	890	310	790
㉗	整理棚	1	撤去 (粗大ごみ)	木製	1100	400	900
㉘	棚	1	移設・復旧	木製	600	600	900
㉙	整理たんす	1	移設・復旧	木製	480	450	900
㉚	タオル掛け	1	撤去 (粗大ごみ)	スチール	890	310	790
㉛	棚	1	移設・復旧	木製	600	600	900
㉜	棚	1	撤去 (粗大ごみ)	木製	290	320	900
㉝	棚	1	移設・復旧	木製	1200	380	900
㉞	ままごと棚	1	撤去 (粗大ごみ)	木製	430	380	1200
㉟	絵本棚	1	移設・復旧	木製	1200	440	800
㊱	棚	1	移設・復旧	木製	600	600	900
㊲	棚	1	移設・復旧	木製	900	400	970
㊳	ピアノ	1	移設・復旧	木製	1510	820	1330
㊴	棚	1	移設・復旧	木製	1240	450	900

※「方法」欄の「移設・復旧」は本工事に含む (移設場所 (同階) は施設管理者の指示による)
 ※ピアノの「移設・復旧」は、移設時の床固定金物撤去 (1台あたり2箇所) を含む

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

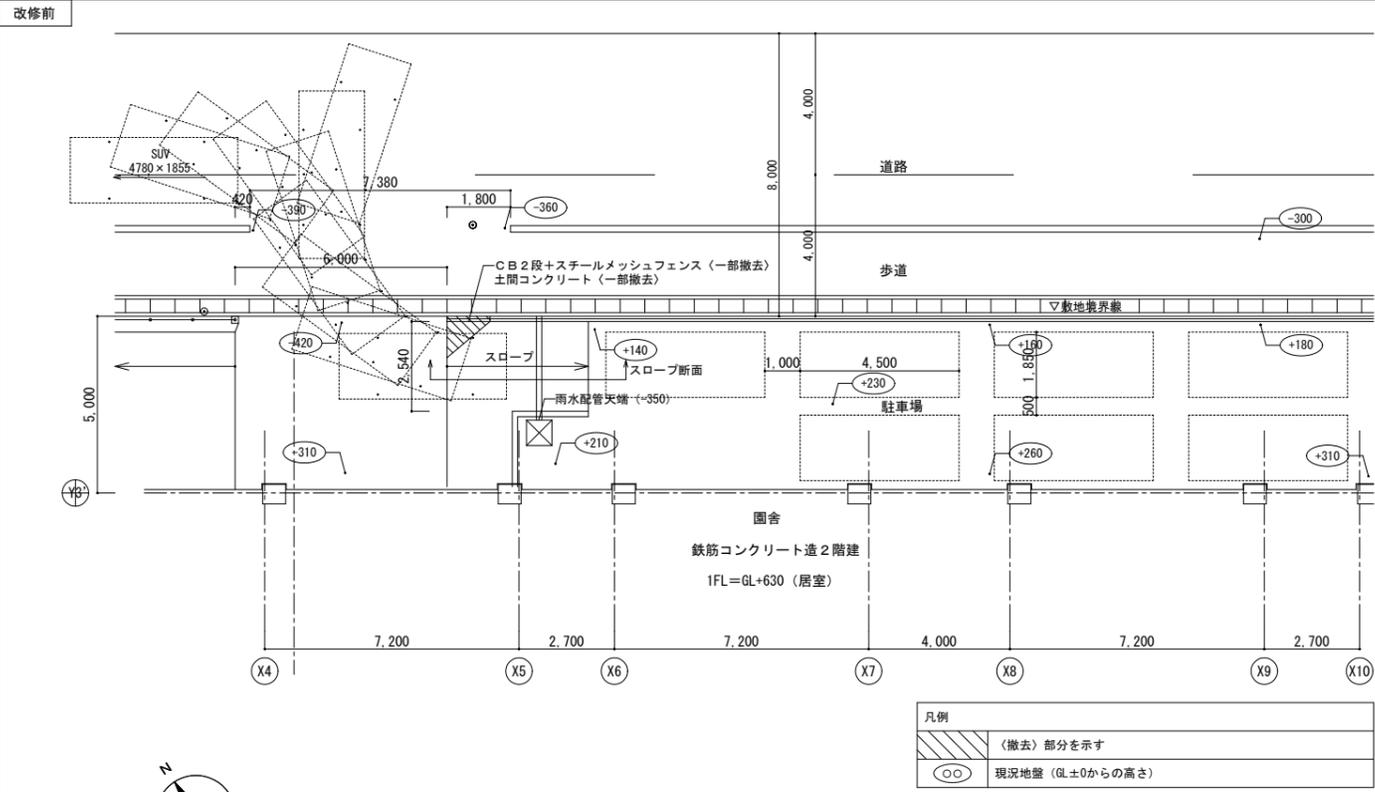
工事名		安城子ども園中規模及び保全改修主体工事		図番	A-55
図面名		既設備品リスト		縮尺	1/200
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス	一級建築士334761	設計	
		一級建築士事務所 愛知県 (いー3) 第13966号	河村康弘		





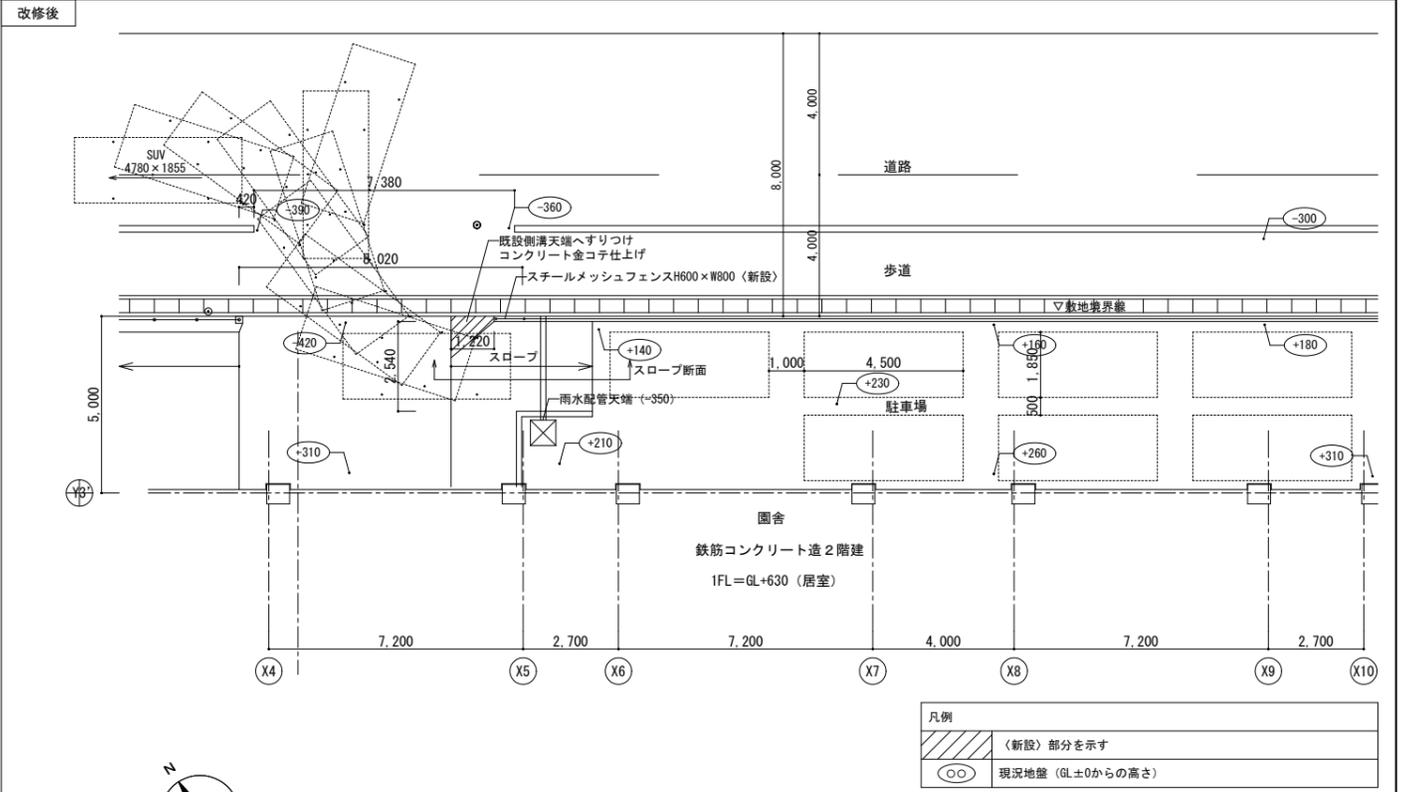
縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号	A-58
図面名	部分詳細図 2		縮尺	1/5・/20
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (イ-3) 第13966号	設計	一級建築士334761 河村康弘



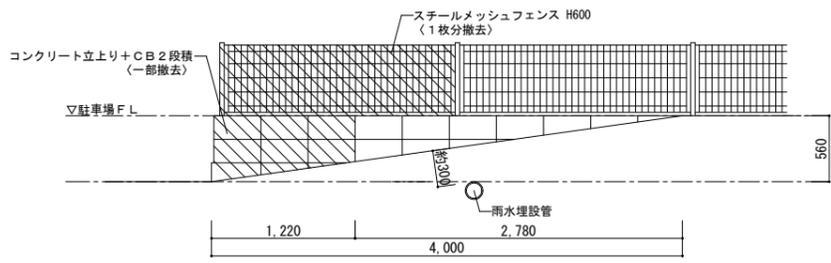
北側駐車場平面図 (改修前) S=1/100

	〈撤去〉部分を示す
	現況地盤 (GL±0からの高さ)

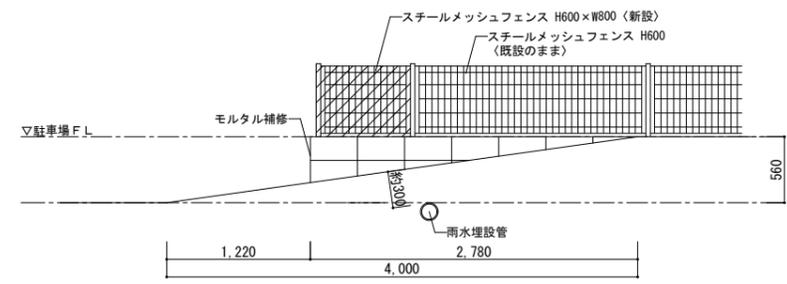


北側駐車場平面図 (改修後) S=1/100

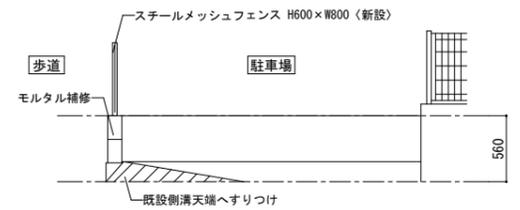
	〈新設〉部分を示す
	現況地盤 (GL±0からの高さ)



スロープ断面詳細図 (改修前) S=1/30



スロープ断面詳細図 (改修後) S=1/30

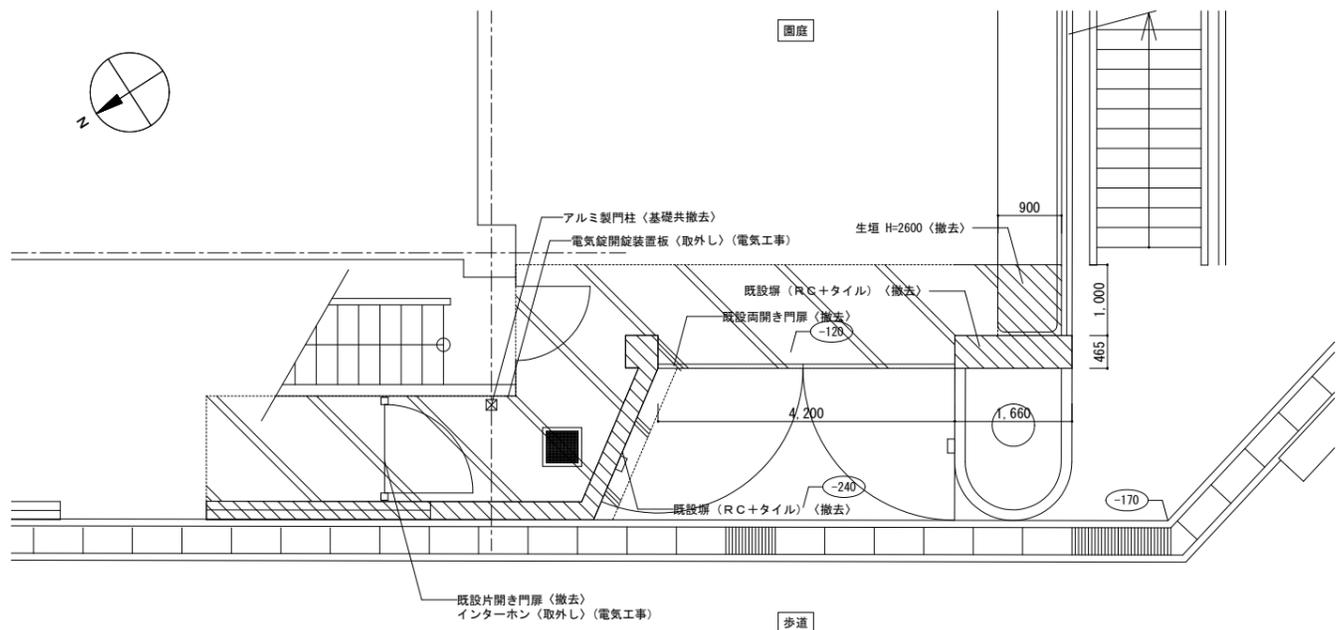


すりつけ部詳細図 (改修後) S=1/30

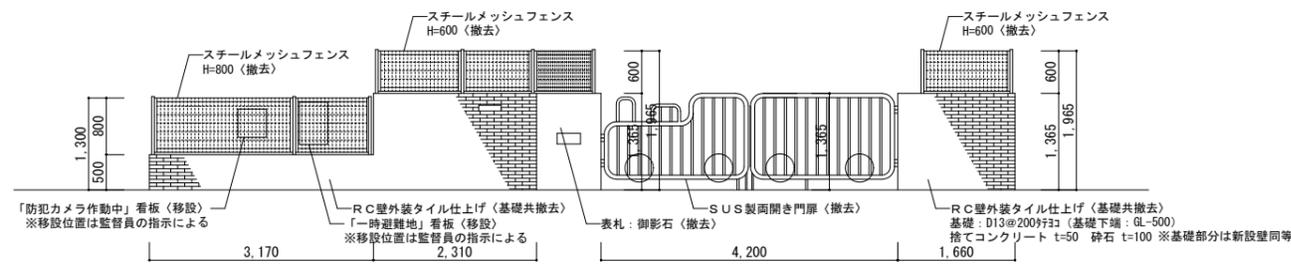
縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号	A-60
図面名	外構詳細図 2		縮尺	1/30・1/100
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (イ-3) 第13966号	設計	一級建築士334761 河村康弘

改修前

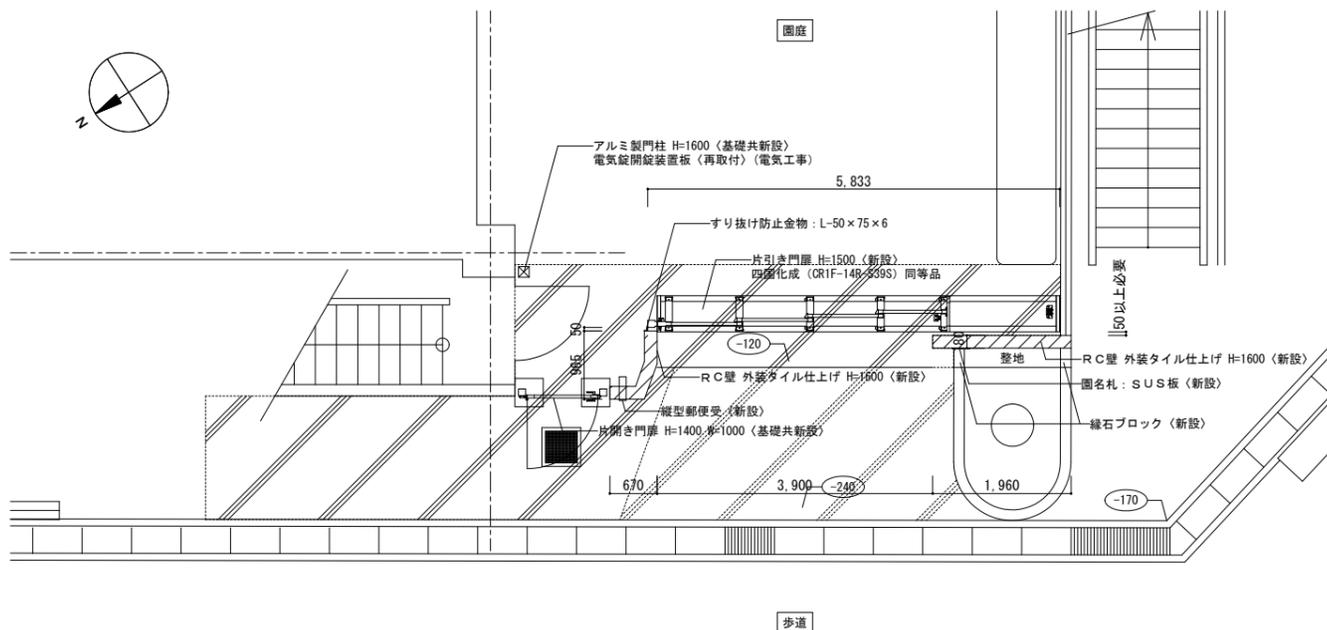


凡例	
	〈撤去〉部分を示す
	アスファルト舗装 t=50 砕石 t=50 〈撤去〉
	現況地盤 (GL±0からの高さ)

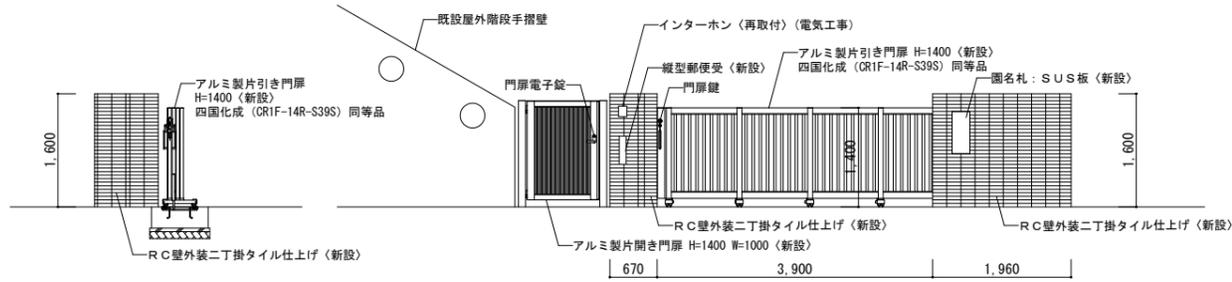


正門 立面図 (改修前) S=1/50

改修後

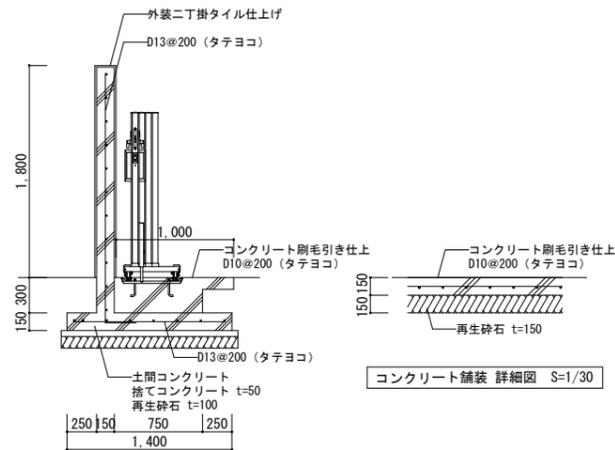


凡例	
	〈新設〉部分を示す
	コンクリート舗装 D10@200 (タテヨコ) 〈新設〉
	コンクリート舗装 〈既設のまま〉
	現況地盤 (GL±0からの高さ)

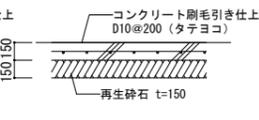


正門 立面図 (改修後) S=1/50

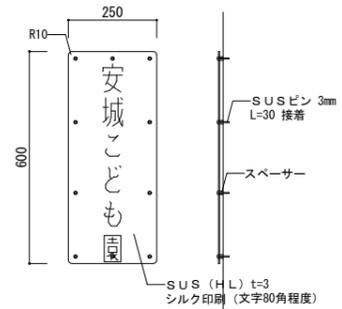
正門 立面図 (改修後) S=1/50



RC壁 詳細図 S=1/30



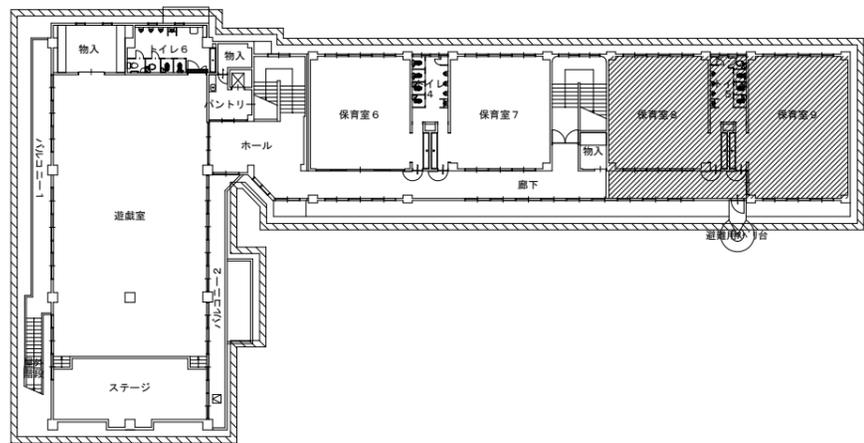
コンクリート舗装 詳細図 S=1/30



園名札 S=1/10

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事	図面番号	A-61
図面名	外構詳細図 3	縮尺	1/30・1/50
日付	2025.12	設計	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (いー3) 第13966号 河村廣弘



2階平面図 S=1/250

Construction schedule Gantt chart with columns for months (April to March) and rows for construction phases (仮設・乗入口整備, ①工区, ②工区, ③工区, etc.).

- 1. 施工条件
以下の通り工区分けを行い、各工区ごとに工事を行うこと。
①工区 1階 保育室4、保育室5、テラス 2階 保育室8、保育室9、廊下
②工区 1階 下足室、テラス 2階 階段室
③工区 1階 保育室3、湯沸、職員トイレ、倉庫、保健室、テラス 2階 保育室6、保育室7、廊下
④工区 正門
⑤工区 倉庫、道具、外構

【凡例】

- 各工区工事対象室
仮囲い (パネルフェンス H=1.8m)
仮囲い (ガードフェンス H=1.8m)
仮囲い (プラスチックフェンス H=1.2m)
アルミキャスターゲート (W=6.0m、H=1.8m)
アルミキャスターゲート (W=3.0m、H=1.8m)
足場 くさび緊結式、ネット状養生シート
仮設間仕切り
出入口確保箇所を示す
工事用出入口
工事車両導線
施設利用者・職員導線

- 2. 仮設工事
足場は建物外周設置を基本とする。
3. 樹木撤去
外壁改修に伴い支障となる樹木は、施設管理者と協議の上伐採を行うこと。
4. その他
工事中の利用者への安全対策は十分に注意すること。
工事中の臭い、材料の飛散、騒音等には特に留意して養生を行うこと。

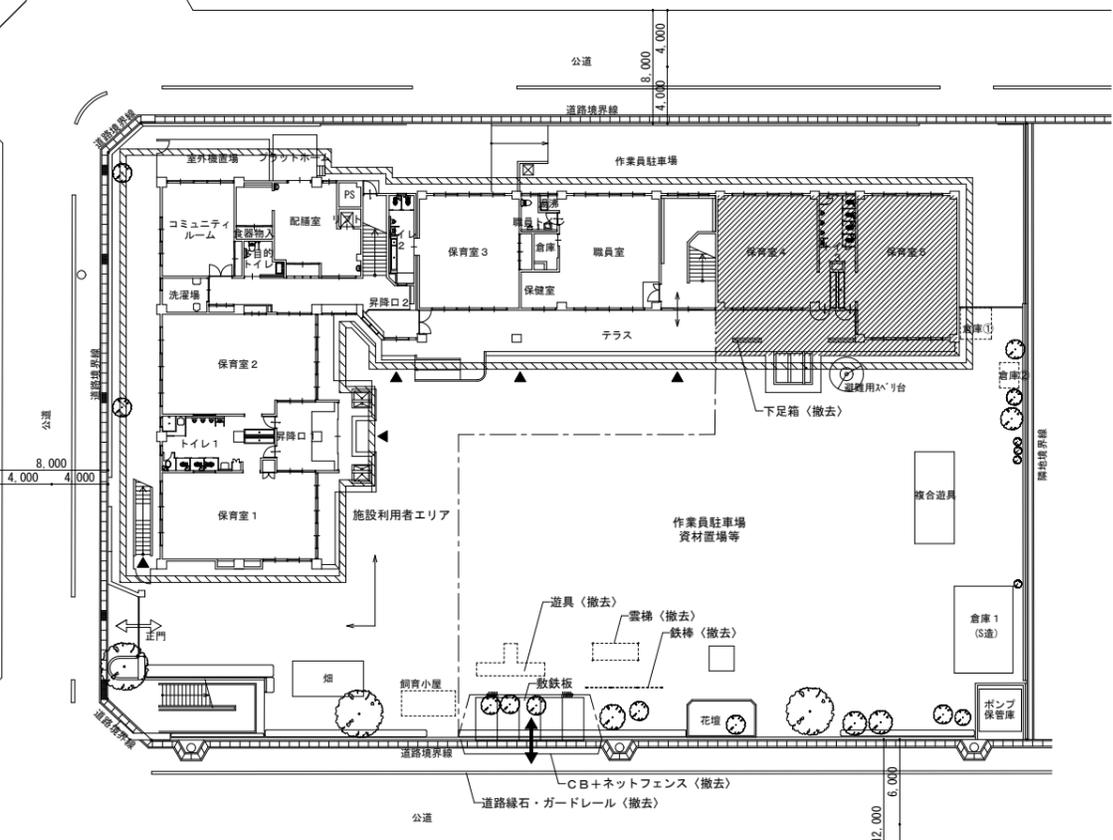
【電気工事については下記とする】(別途工事：以下参考)
工事中の既設設備
工事範囲外の部屋は工事期間内も使用する為、機器及び配線撤去の際には事前に施工前調査で既設配線ルート等の調査を行い、

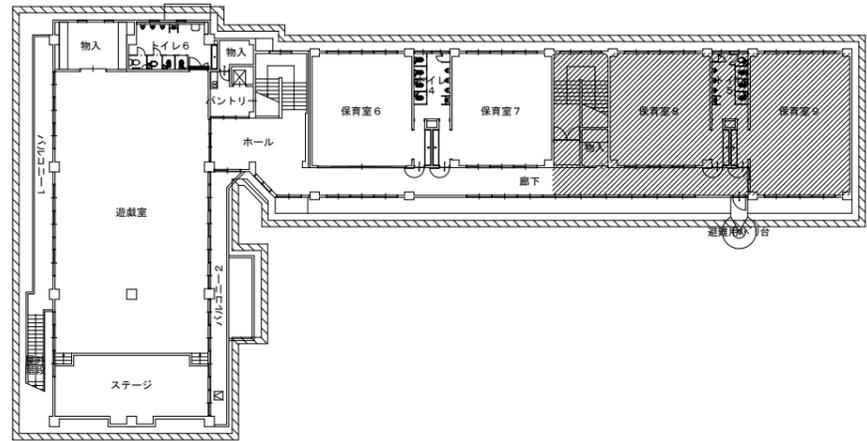
【管工事については下記とする】(別途工事：以下参考)
工事中の既設設備
工事範囲外の部屋は工事期間内も使用する為、機器及び配管撤去の際には事前に施工前調査で既設配管ルート等の調査を行い、

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

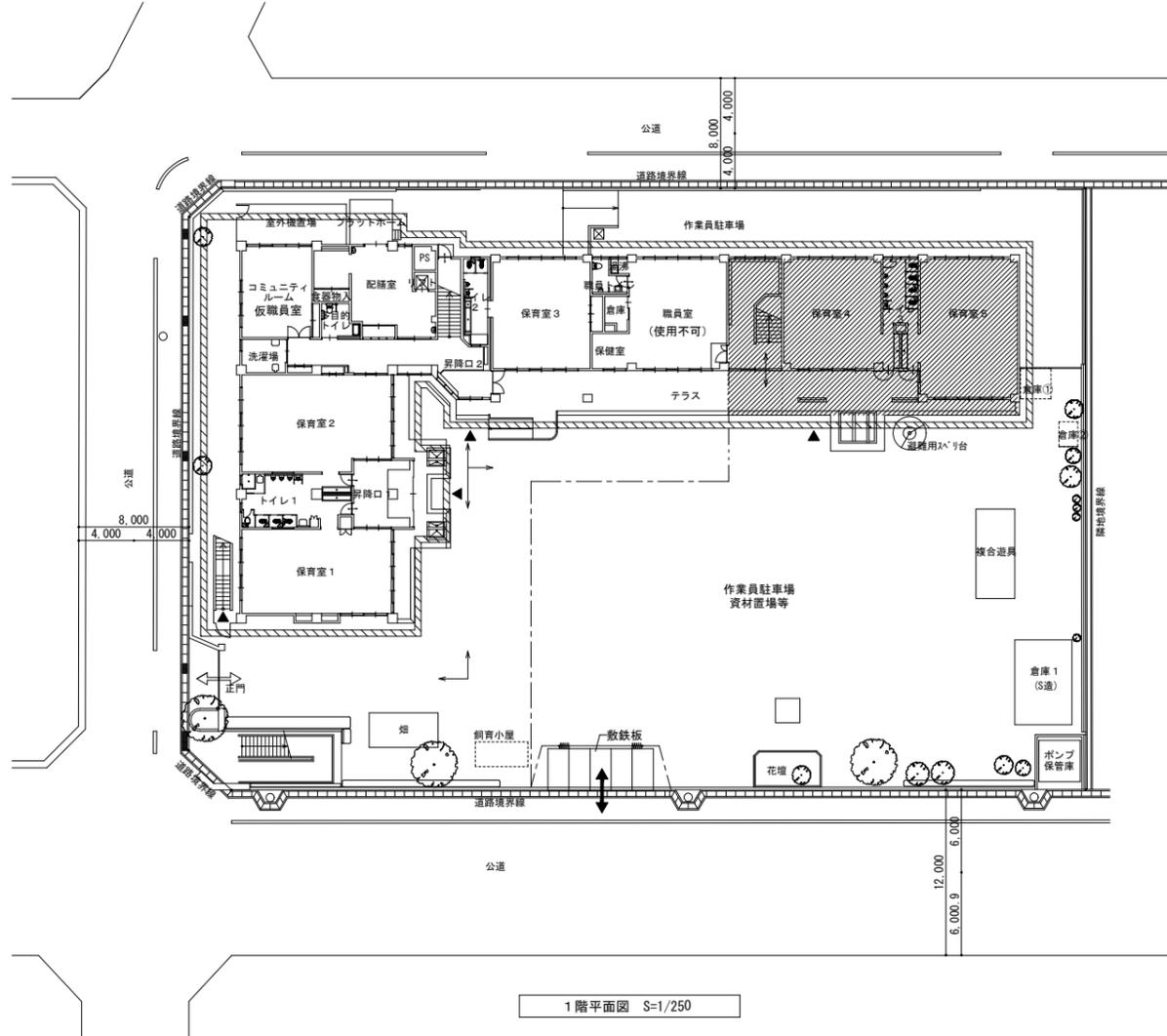
Project information table with fields for project name (安城こども園中規模及び保全改修主体工事), drawing name (仮設計画図1), date (2025.12), and designer (河村康弘).

1階平面図 S=1/250





2階平面図 S=1/250



1階平面図 S=1/250

	R8 (2026)						R9 (2027)					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
仮設、乗入口整備												
① 工区						保育室4/5/9・廊下						
② 工区						階段室・テラス						
③ 工区												
正門改修												
倉庫新設・遊具復旧												
乗入口復旧												
外壁改修・屋根改修												
園行事	▽入園式		▽運動会				引越			▽生活発表会		卒園式▽

- 施工条件
 - 以下の通り工区分けを行い、各工区ごとに工事を行うこと。なお、各部の使用開始前には部分使用検査を受検すること。
 - ①工区 1階 保育室4、保育室5、テラス 2階 保育室8、保育室9、廊下 既設飼育倉庫、既設屋外倉庫、既設遊具
 - ②工区 1階 下足室、テラス 2階 階段室
 - ③工区 1階 保育室3、湯沸、職員トイレ、倉庫、保健室、テラス 2階 保育室6、保育室7、廊下
 - ④工区 正門
 - ⑤工区 倉庫、遊具、外構
- 仮設工事
 - 足場は建物外周設置を基本とする。(くさび緊結式 W=900)
 - なお、プラットホーム周辺は給食配達車の出入りに干渉しないように位置及び幅を調整すること。
 - また、プラットホーム周辺及びバルコニー1周辺は早期に足場が撤去できるように工程計画を立てること。
 - 足場については「手すり先行等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月)により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
 - 足場は面外側四方向全てに設置すること。
 - 足場外周はネット状養生シート(防炎1類)設置し、下部には仮囲いを設置すること。
 - ガラス面は窓養生を行う。(シート材等)
 - 仮囲いはパネルフェンスH1.80とし、位置、形状については、監督員・施設管理者と協議を行うこと。(仮設用地及び足場外周)
 - 又、子供達のけが・手ばさみ防止として、パネルフェンスの隙間は全てシート養生又は養生テープ等にて目張りすること。
 - 圍面仮囲い設置の際は施設管理者及び監督員により圍面利用に支障がないことを確認すること。
- 樹木撤去
 - 外壁改修に伴い支障となる樹木は、施設管理者と協議の上伐採を行うこと。
- その他
 - 工事中の利用者への安全対策は十分に注意すること。
 - 工事中の臭い、材料の飛散、騒音等には特に留意して養生を行うこと。(特に既設フェンス面の養生)
 - ひび割れ補修及び爆裂補修について、設計図中の数値は参考値とする。施工に先立ち実測による調査を行い報告書を提出すること。
 - 工事用地外における荷揚げクレーン周囲及び作業員駐車場は、カラーコーン等の保安施設により区画をして、利用者の安全確保に十分配慮すること。
 - 監督員の指示する工事は休園日に行うこと。
 - 足場の位置は参考図とし、監督員及び施設管理者と協議すること。
 - 園中の作業員駐車場内は駐車可能とするが、その他で駐車場が必要な場合は、受注者の責において確保すること。
 - 工事用車両及び作業員車両の駐車は作業員駐車場内とし、スペースが不足する場合は送迎・乗り合わせ等対応を計画すること。
 - 借地や貸付駐車場の利用について、事務及び必要経費は受注者の責任・負担とする。
 - 傘立て、時計、家具は、施設管理者と協議の上、移設・復旧すること。(転倒防止措置共)
 - 車両入出時は、必ず誘導員を付けること。
 - 遊戯室を仮保育室として使用する際の仮ロッカへの往復運搬(安城市整備工場内に保管)、取付を工事で見込むこと。(※仮ロッカ-W1550×D450×H900 3台)
 - 仮設出入口設置に伴う道路占用許可ほかの必要な官庁手続きは本工事に含む。
 - 仮設出入口設置中は、敷き鉄板と既設歩道とのすりつけ、夜間照明等の対策を行い歩行者等の安全な通行に最大限配慮すること。

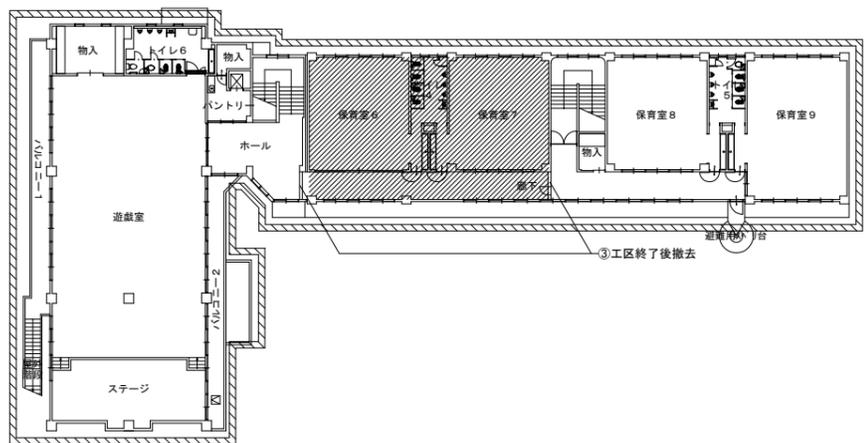
【凡例】

- 各工区工事対象室
- 仮囲い(パネルフェンス H=1.8m)
- 仮囲い(ガードフェンス H=1.8m)
- 仮囲い(プラスチックフェンス H=1.2m)
- アルミキャスターゲート (W=6.0m, H=1.8m)
- アルミキャスターゲート (W=3.0m, H=1.8m)
- 足場 くさび緊結式、ネット状養生シート (下面1段はパネルフェンス設置)
- 仮設間仕切り
- 出入口確保箇所を示す
- 工事用出入口
- 工事車両導線
- 施設利用者・職員導線

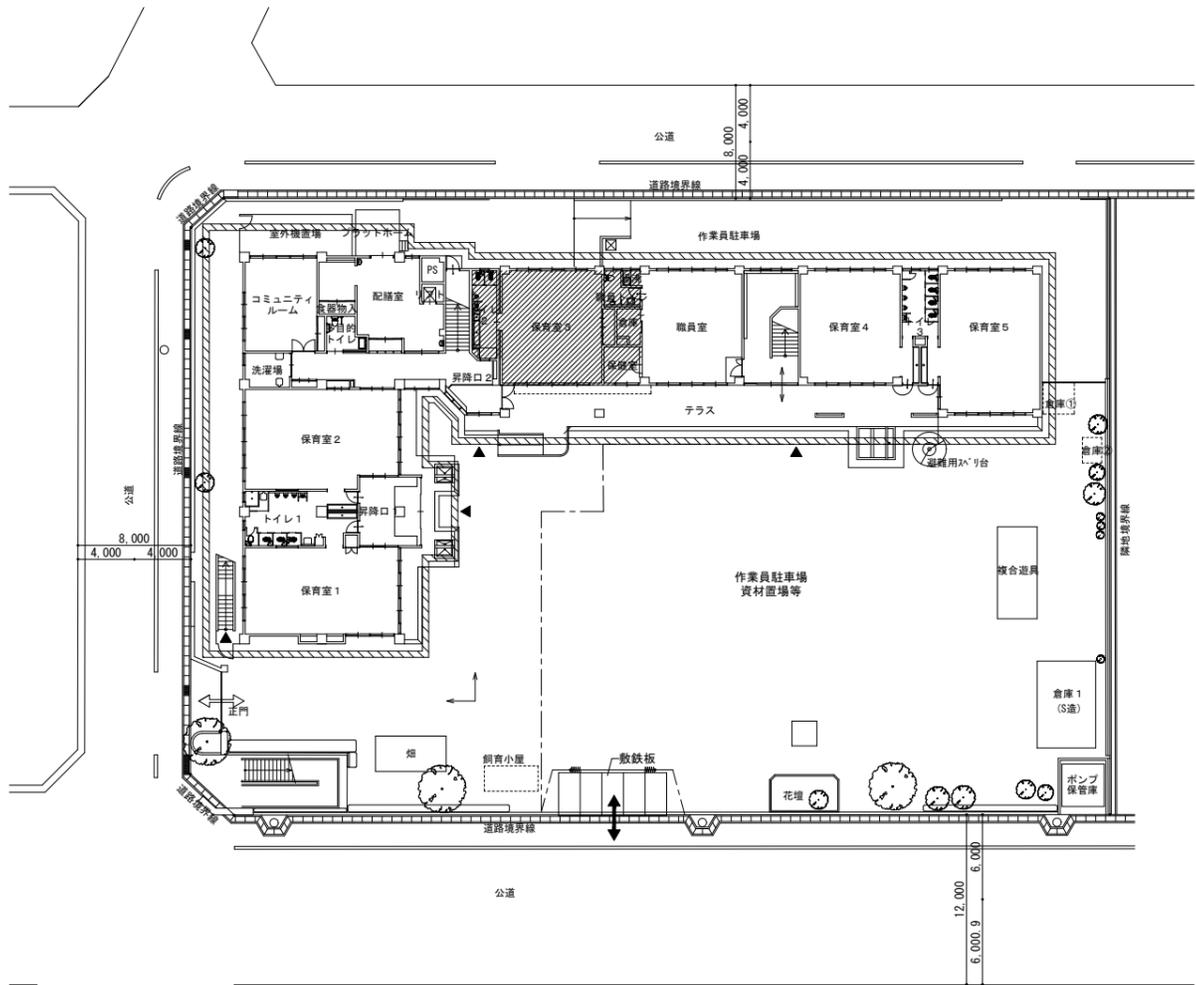
- 【電気工事については下記とする】(別途工事：以下参考)
- 工事中の既設設備
- 工事範囲外の部屋は工事期間内でも使用する為、機器及び配線撤去の際には事前に施工前調査で既設配線ルート等の調査を行い、工事範囲外の部屋の電気設備の影響の有無を確認の事。
 - 既設電気設備の影響が有る場合は監督職員と協議の上、配線迂回、仮電源の準備等の必要と思われる仮設工事を行う事。
 - 停電を伴う調査、工事は原則休園日に行うこと。
- 【管工事については下記とする】(別途工事：以下参考)
- 工事中の既設設備
- 工事範囲外の部屋は工事期間内でも使用する為、機器及び配管撤去の際には事前に施工前調査で既設配管ルート等の調査を行い、工事範囲外の部屋の機械設備の影響の有無を確認の事。既設機械設備の影響が有る場合は監督職員と協議の上、配管迂回、仮水道の準備等の必要と思われる仮設工事を行う事。
 - 断水等は園の運営に支障とならぬように、十分な協議を行う事。

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号	A-63
図面名	仮設計画図2		縮尺	1/250
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県(一)3)第13966号	設計	一級建築士334761 河村康弘



2階平面図 S=1/250



1階平面図 S=1/250

	R8 (2026)										R9 (2027)		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
仮設、乗入口整備													
① 工区					保育室4/5/8/9・廊下								
② 工区					階段室・テラス								
③ 工区						第1回 部分使用検査							
正門改修									第2回 部分使用検査				
倉庫新設・遊具復旧													
乗入口復旧										第3回 部分使用検査			
外壁改修・屋根改修					足場設置				足場撤去				
園行事	▽入園式			▽運動会			引越			引越	▽生活発表会		
												卒園式▽	

- 施工条件
 - 以下の通り工区分けを行い、各工区ごとに工事を行うこと。なお、各部の使用開始前には部分使用検査を受検すること。
 - ①工区 1階 保育室4、保育室5、テラス 2階 保育室8、保育室9、廊下 既設飼育倉庫、既設遊具
 - ②工区 1階 下足室、テラス 2階 階段室
 - ③工区 1階 保育室3、湯沸、職員トイレ、倉庫、保健室、テラス 2階 保育室6、保育室7、廊下
 - ④工区 正門
 - ⑤工区 倉庫、遊具、外構
 - 時期指定なし 外壁改修、屋根改修、2階バルコニー改修、保育室棟建具改修

【凡例】

- 各工区工事対象室
- 仮囲い (パネルフェンス H=1.8m)
- 仮囲い (ガードフェンス H=1.8m)
- 仮囲い (プラスチックフェンス H=1.2m)
- アルミキャスターゲート (W=6.0m, H=1.8m)
- アルミキャスターゲート (W=3.0m, H=1.8m)
- 足場 くさび緊結式、ネット状養生シート (下面1段はパネルフェンス設置)
- 仮設間仕切り
- 出入口確保箇所を示す
- 工事用出入口
- 工事車両導線
- 施設利用者・職員導線

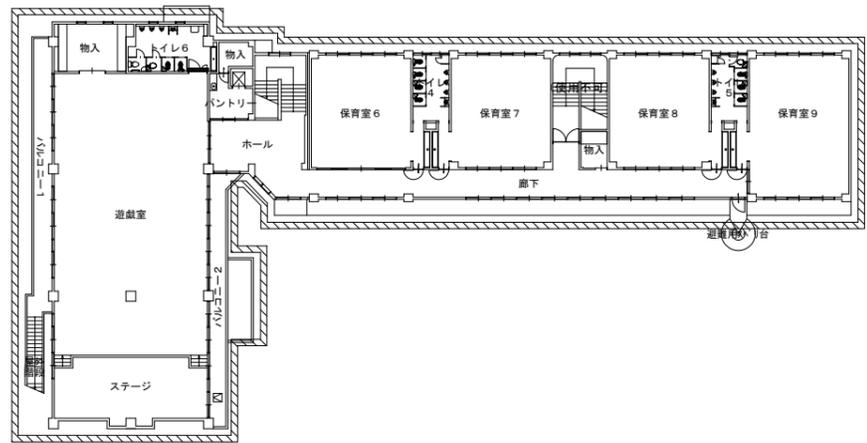
- 仮設工事
 - 足場は建物外周設置を基本とする。(くさび緊結式 W=900)
 - なお、プラットホーム周辺は給食配送車の出入りに干渉しないように位置及び幅を調整すること。
 - また、プラットホーム周辺及びバルコニー周辺は早期に足場が撤去できるように工程計画を立てること。
 - 足場については「手すり先行等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月)により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法」による足場の組立等に関する基準」の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
 - 足場は園舎外周四方全てに設置すること。
 - 足場外周はネット状養生シート(防炎1類)設置し、下部には仮囲いを設置すること。
 - ガラス面は悪影響を行う。(シート材等)
 - 仮囲いパネルフェンスH1800とし、位置、形状については、監督員・施設管理者と協議を行うこと。(仮設用地及び足場外周)
 - 又、子供達のけが、手ばさみ防止として、パネルフェンスの隙間は全てシート養生又は養生テープ等にて目張りすること。
 - 園庭仮囲い盛替えの際は施設管理者及び監督員により園庭利用に支障がないことを確認すること。
- 樹木撤去
 - 外壁改修に伴い支障となる樹木は、施設管理者と協議の上伐採を行うこと。
- その他
 - 工事中の利用者への安全対策は十分に注意すること。
 - 工事中の塵埃、材料の飛散、騒音等には特に留意して養生を行うこと。(特に既設フェンス面の養生)
 - ひび割れ補修及び傷損補修については、設計図中の数値は参考値とする。施工に先立ち実測による調査を行い報告書提出すること。
 - 工事用地外における荷揚げ用クレーン周辺及び作業員駐車場は、カラーコーン等の保安施設により区画をして、利用者の安全確保に十分配慮すること。
 - 監督員の指示する工事は休園日に行うこと。
 - 足場の位置は参考図とし、監督員及び施設管理者と協議すること。
 - 園中の作業員駐車場内は駐車可能とするが、その他に駐車場が必要な場合は、受注者の責において確保すること。
 - 工事用車両及び作業員車両の駐車は作業員駐車場内とし、スペースが不足する場合は送迎・乗り合わせ等対応を計画すること。
 - 借地や賃借場の利用について、事務及び必要経費は受注者の責任・負担とする。
 - 倉立て、荷計、家賃は、施設管理者と協議の上、移設・復旧すること。(転倒防止措置共)
 - 車両入出時は、必ず誘導員を付けること。
 - 遊戯室を仮保育室として使用する際の仮おかの往復遊働(安城市整備工場内に保管)、取付を工事で見込むこと。(※仮おかW1550×D450×H900 3台)
 - 仮設出入口設置中は、敷き鉄板と既設歩道とのすりつけ、夜間照明等の対策を行い歩行者等の安全な通行に最大限配慮すること。
 - 仮設出入口設置中は、敷き鉄板と既設歩道とのすりつけ、夜間照明等の対策を行い歩行者等の安全な通行に最大限配慮すること。

【電気工事については下記とする】(別途工事：以下参考)
 工事中の既設設備
 ・工事範囲外の部屋は工事期間内でも使用する為、機器及び配線撤去の際には事前に施工前調査で既設配線ルート等の調査を行い、工事範囲外の部屋の電気設備の影響の有無を確認の事。
 ・既設電気設備の影響が有る場合は監督職員と協議の上、配線迂回、仮電源の準備等の必要と思われる仮設備工事を行う事。
 ・停電を伴う調査、工事は原則休園日に行うこと。

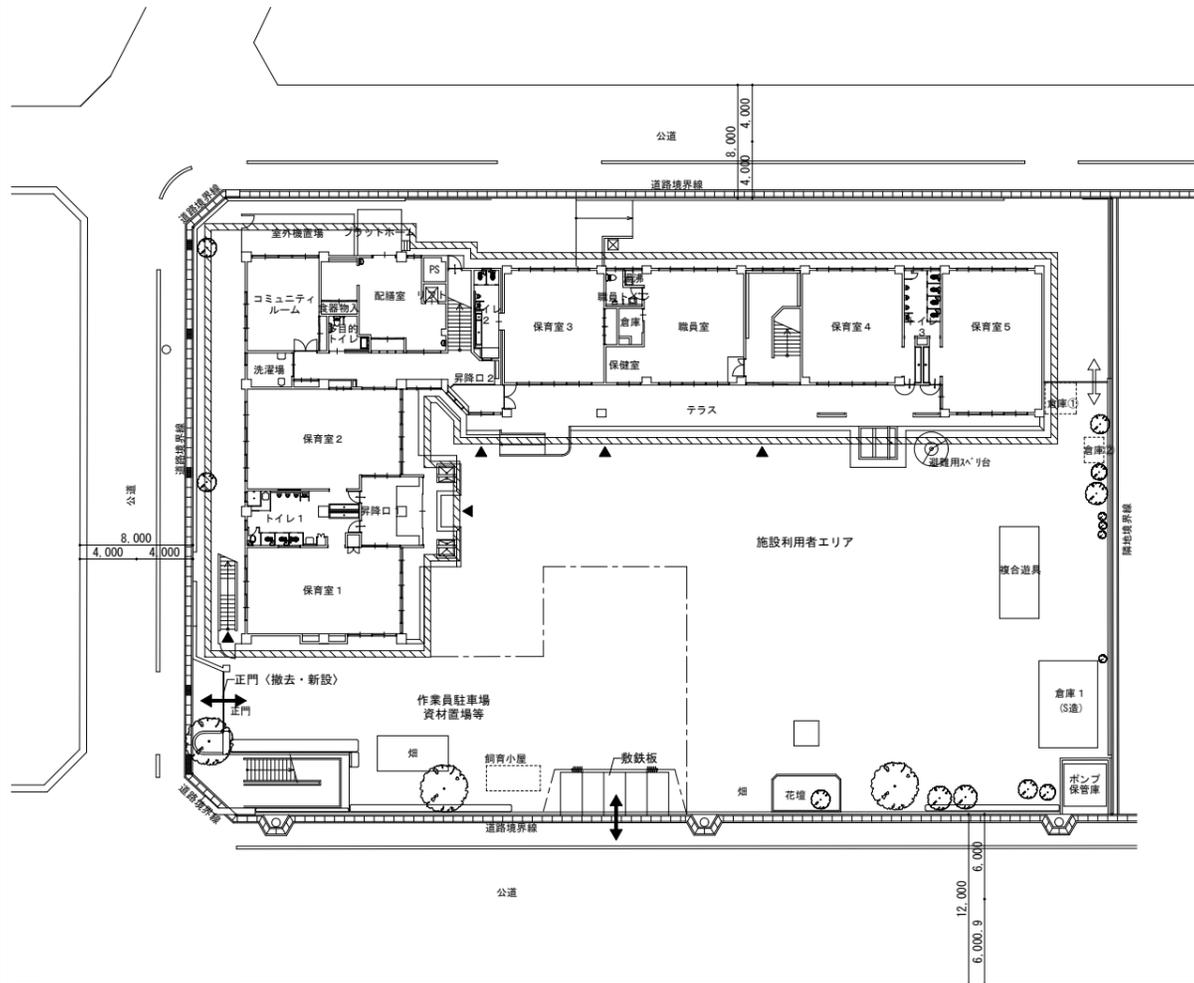
【管工事については下記とする】(別途工事：以下参考)
 工事中の既設設備
 ・工事範囲外の部屋は工事期間内でも使用する為、機器及び配管撤去の際には事前に施工前調査で既設配管ルート等の調査を行い、工事範囲外の部屋の機械設備の影響の有無を確認の事。既設機械設備の影響が有る場合は監督職員と協議の上、配管迂回、仮水道の準備等の必要と思われる仮設備工事を行う事。
 ・断水等は園の運営に支障とならぬように、十分な協議を行う事。

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事			図面番号	A-64
図面名	仮設計画図3			縮尺	1/250
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス	一級建築士334761	設計	河村康弘
		一級建築士事務所 愛知県 (L-3) 第13966号			



2階平面図 S=1/250



1階平面図 S=1/250

	R8 (2026)						R9 (2027)					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
仮設、乗入口整備												
① 工区				保育室4/5/8/9・廊下								
② 工区					階段室・テラス							
③ 工区						第1回 部分使用検査	保育室3/6/7・廊下					
正門改修								第2回 部分使用検査				
倉庫新設・遊具復旧										第9回 部分使用検査		
乗入口復旧												第4回 部分使用検査
外壁改修・屋根改修					足場設置				足場撤去			本検査
園行事	▽入園式		▽運動会				引越		引越	▽生活発表会		卒園式▽

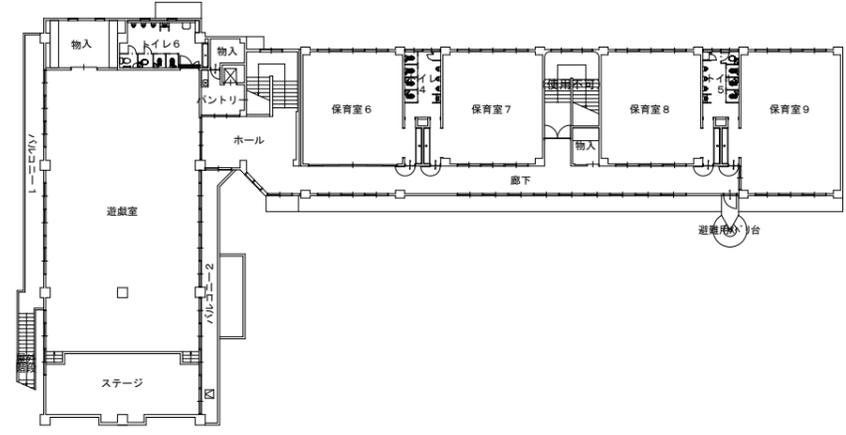
【凡例】

- : 各工区工事対象室
- : 仮囲い (パネルフェンス H=1.8m)
- : 仮囲い (ガードフェンス H=1.8m)
- : 仮囲い (プラスチックフェンス H=1.2m)
- : アルミキャスターゲート (W=6.0m, H=1.8m)
- : アルミキャスターゲート (W=3.0m, H=1.8m)
- : 足場 くさび緊結式、ネット養生シート (下面1段はパネルフェンス設置)
- : 仮設間仕切り
- : 出入口確保箇所を示す
- : 工事用出入口
- : 工事車両導線
- : 施設利用者・職員導線

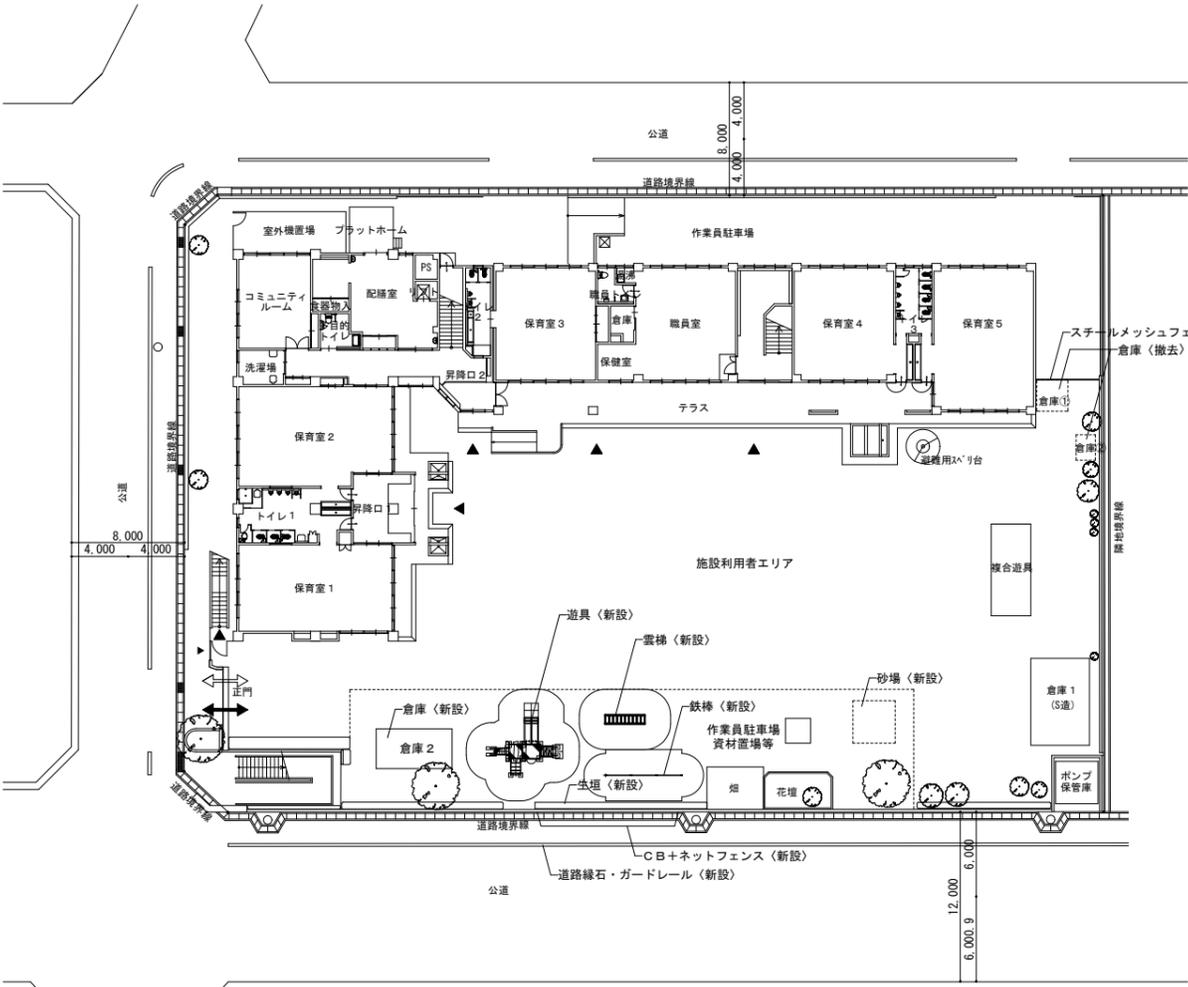
- 施工条件
 - 以下の通り工区分けを行い、各工区ごとに工事を行うこと。なお、各部の使用開始前には部分使用検査を受けなければならない。
 - ①工区 1階 保育室4、保育室5、テラス 2階 保育室8、保育室9、廊下 既設飼育倉庫、既設屋外倉庫、既設遊具
 - ②工区 1階 下足室、テラス 2階 階段室
 - ③工区 1階 保育室3、湯沸、職員トイレ、倉庫、保健室、テラス 2階 保育室6、保育室7、廊下
 - ④工区 正門
 - ⑤工区 倉庫、遊具、外構
 - 時期指定なし 外壁改修、屋根改修、2階バルコニー改修、保育室棟建具改修
 - 仮設間仕切りは軽量鉄骨 (LGS65) 壁下地石膏ボード t=9.5+フィルムシート t=0.15+目張りテープ、厚1ヶ所鍵付 (アルミ既製品) とする。
 - ③工区施工時は職員室内に仮設間仕切りを設置すること。(位置は施設管理者と協議すること)
 - また、トイレ4の床スラブ下 (職員室天井ふとこ) 施工時は、テラスから出入りすること。
 - 昼後の時間帯 (12:30~14:15) は、新り工事等の騒音・振動を伴う作業は中止とすること。
 - 10/15(木)の音楽会保育参観、12/1(火)の生活発表会予行練習、12/5(土)の生活発表会は、午前中の休工を基本とし、工事着事前に監督員と協議の上決定すること。
 - 6/2(火)の園開放(ゼエロショー)、11/4(水)の園開放(人形劇)は、午前中の音の出る作業を控えること。
 - 6/未定の歯科検診、9/未定のデンタルケア教室、10/未定の健康診断は、午後の音の出る作業を控えること。
 - 上記の工程を基本とし、監督員及施設管理者と協議の上で計画すること。
 - 仮設工事
 - 足場は建物外周設置を基本とする。(くさび緊結式 W=900)
 - なお、プラットホーム周辺は給食配送車の出入りに干渉しないように位置及び幅を調整すること。
 - また、プラットホーム周辺及びバルコニー1周辺は早期に足場が撤去できるように工程計画を立てること。
 - 足場については「手すり先行等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月)により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、ゆきさん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立、解体又は変更の作業は「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
 - 足場は園舎外周四方全てに設置すること。
 - 足場外周はネット養生シート (防災1類) 設置し、下部には仮囲いを設置すること。
 - ガラス面は窓養生を行う。(シート材等)
 - 仮囲いはパネルフェンスH1800とし、位置、形状については、監督員・施設管理者と協議を行うこと。(仮設用地及び足場外周) 又、子供達のけが・手ばさみ防止として、パネルフェンスの隙間は全てシート養生又は養生テープ等にて目張りすること。
 - 園庭仮囲い撤替の際は施設管理者及び監督員により園庭利用に支障がないことを確認すること。
 - 樹木撤去
 - 外壁改修に伴い支障となる樹木は、施設管理者と協議の上伐採を行うこと。
 - その他
 - 工事中の利用者への安全対策は十分に注意すること。
 - 工事中の臭い、材料の飛散、騒音等には特に留意して養生を行うこと。(特に既設フェンス面の養生)
 - ひび割れ補修及び爆発補修について、設計図中の数値は参考値とする。施工に先立ち実測による調査を行い報告書を提出すること。
 - 工事用地外における荷揚げ用クレーン周囲及び作業員駐車場は、カラーコーン等の保安施設により区画をして、利用者の安全確保に十分配慮すること。
 - 監督員の指示する工事は休園日に行うこと。
 - 足場の位置は参考図とし、監督員及び施設管理者と協議すること。
 - 園中の作業員駐車場内は駐車可能とするが、その他で駐車場が必要な場合は、受注者の責において確保すること。
 - 工事用車両及び作業員車両の駐車は作業員駐車場内とし、スペースが不足する場合は送迎・乗り合わせ等対応を計画すること。
 - 借地や貸し駐車場の利用について、事務及び必要経費は受注者の責任・負担とする。
 - 傘立て、時計、家具は、施設管理者と協議の上、移設・復旧すること。(転倒防止措置含む)
 - 車両入出時は、必ず誘導員を付けること。
 - 遊戯室を仮保育室として使用する際の仮仮の往復運搬 (安城市整備工場内に保管)、取付を工事で見込むこと。(※仮仮W1550×D450×H900 3台)
 - 仮設出入口設置に伴う道路占用許可はかかる必要ないが官庁手続きは本工事に含む。
 - 仮設出入口設置中は、敷き鉄板と既設歩道のすり付け、夜間照明等の対策を行い歩行者等の安全な通行に最大限配慮すること。
- 【電気工事については下記とする】(別途工事：以下参考)
- 工事中の既設設備
- 工事範囲外の部屋は工事期間内でも使用する為、機器及び配線撤去の際には事前に施工前調査で既設配線ルート等の調査を行い、工事範囲外の部屋の電気設備の影響の有無を確認の事。
 - 既設電気設備の影響が有る場合は監督職員と協議の上、配線迂回、仮電源の準備等の必要と思われる仮設機工事を行う事。
 - 停電を伴う調査、工事は原則休園日に行うこと。
- 【管工事については下記とする】(別途工事：以下参考)
- 工事中の既設設備
- 工事範囲外の部屋は工事期間内でも使用する為、機器及び配管撤去の際には事前に施工前調査で既設配管ルート等の調査を行い、工事範囲外の部屋の機械設備の影響の有無を確認の事。既設機械設備の影響が有る場合は監督職員と協議の上、配管迂回、仮水道の準備等の必要と思われる仮設機工事を行う事。
 - 断水等は園の運営に支障とならぬように、十分な協議を行う事。

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事			図面番号	A-65
図面名	仮設計画図4			縮尺	1/250
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県(一-3)第13966号	一級建築士334761 河村康弘	設計	



2階平面図 S=1/250



1階平面図 S=1/250

Construction schedule Gantt chart with columns for months from April to March and rows for various tasks like '仮設、乗入口整備' and '正門改修'.

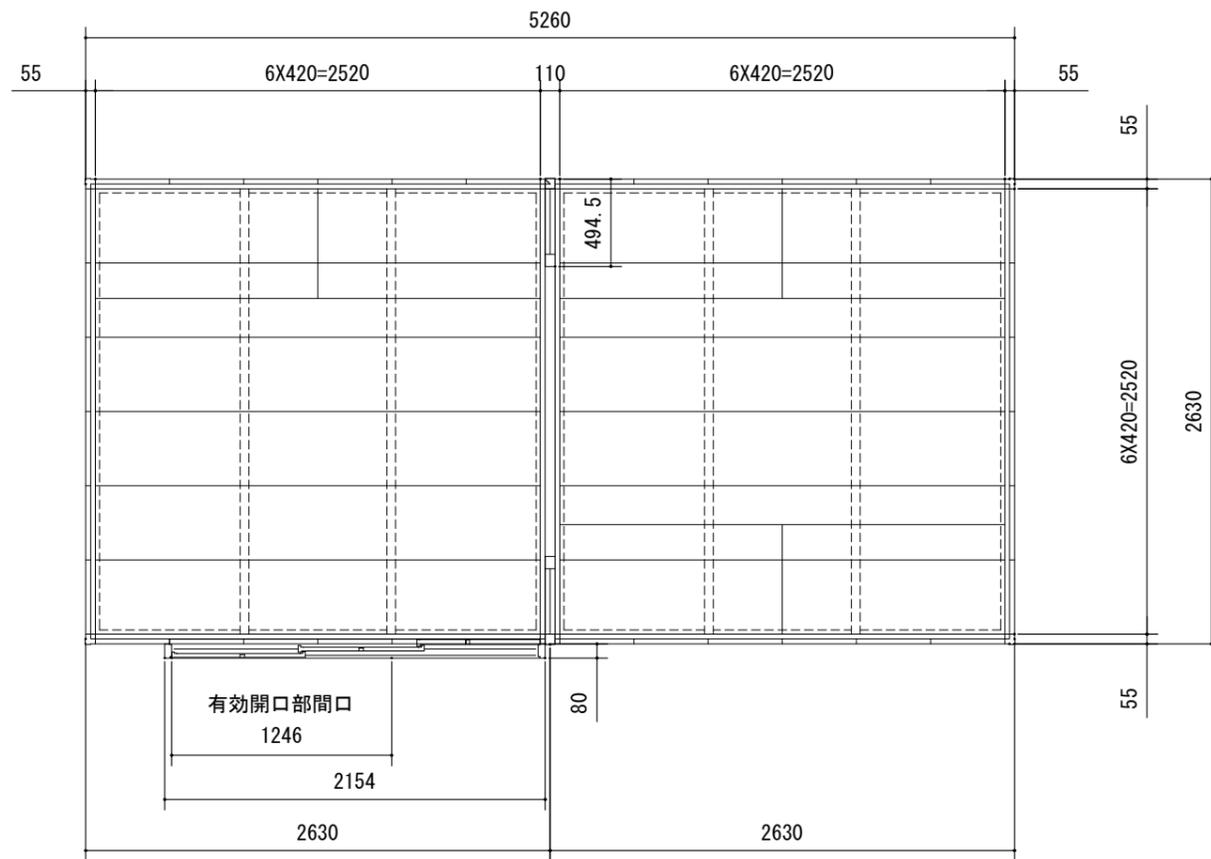
【凡例】

- Legend items including symbols for construction areas, fences, gates, and site boundaries.

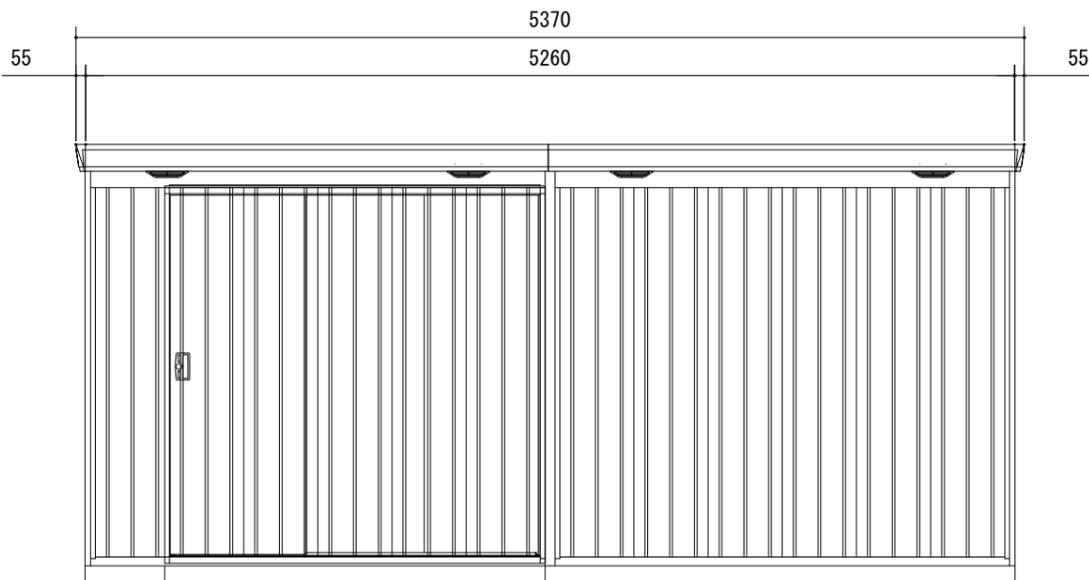
- 1. 施工条件 (Construction Conditions)
2. 仮設工事 (Temporary Work)
3. 樹木撤去 (Tree Removal)
4. その他 (Others)
【電気工事については下記とする】 (For electrical work, refer to the following)

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

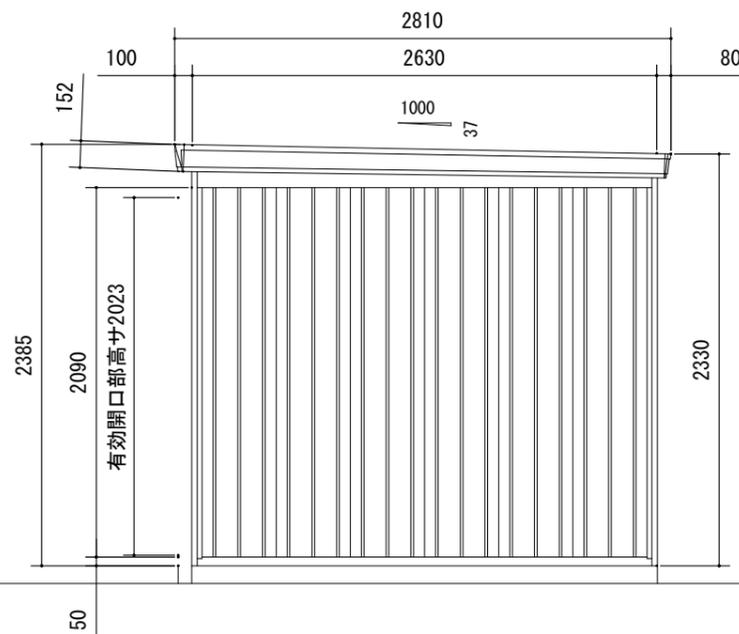
Project information table containing details like '安城こども園中規模及び保全改修主体工事' and '株式会社デザインボックス名古屋オフィス'.



平面図



正面図



側面図

品番	部 品 名	材料 (材質)	板厚 (mm)	
1	土台取付板	SGMH400 K27	2.3	
2	土台	SGC400 F12	1.2	
3	根太	SGCC F12	1.2	
4	柱	SGC400 F12	1.2	
5	床パネル	SGCC F12	1.0	
6	桁前	SZAC400 Y10	1.0	
7	桁後	SZAC400 Y10	1.0	
8	妻板左右	SZAC400 Y10	0.7	
9	梁中 (奥行2630mm)	SZAC400 Y10	1.0	
		SGC400 F12	1.0	
		SGH400 F12	1.6	
10	鼻隠シ前後	SZACC Y10	0.7	
11	屋根パネル	SZAC400 Y10	0.5	
12	母屋中 (間口2630mm)	一般型	SGC400 F12	1.2
		多雪型	SGH400 F12	2.3
13	壁パネル	SGC400 F12	0.7	
14	内壁	発泡ポリプロピレン		
15	天井	発泡ポリプロピレン		
16	梁中補強パネル	SGC400 F12	1.0	
17	コーナー金具	SGC400 F12	1.2	
18	火打ち	SGC400 F12	1.2	
19	壁面屏鴨居	SGC400 F12	0.7	
20	壁面屏敷居	SGCC F12	1.0	
21	壁面屏枠左右	SGC400 F12	1.0	
22	正面パネル	SGC400 F12	0.7	
23	扉	SGCC F12	0.8	

SGMH400 : 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (JIS G 3323)

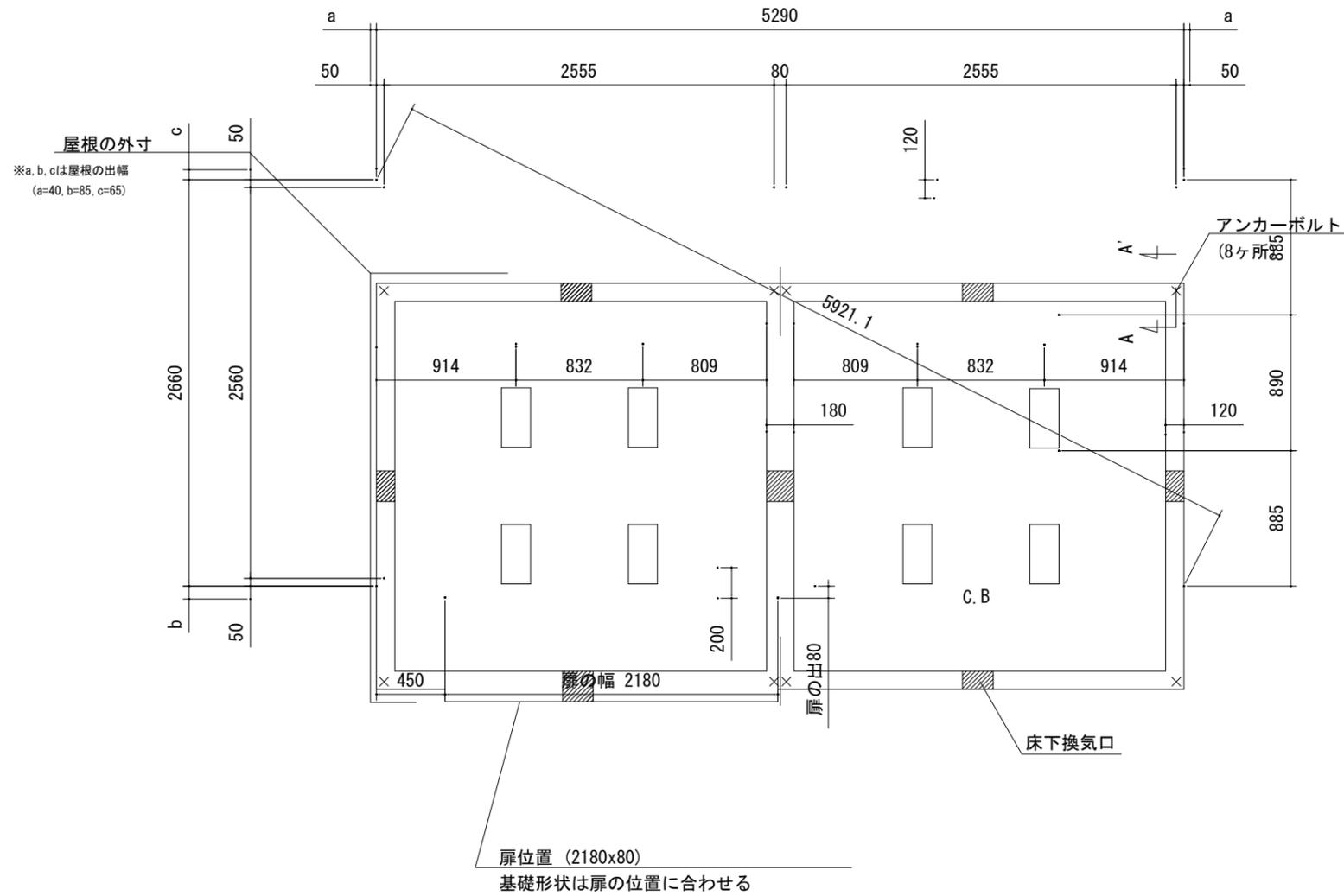
SGC400, SGCC, SGH400 : 溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)

SZAC400, SZACC : 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)

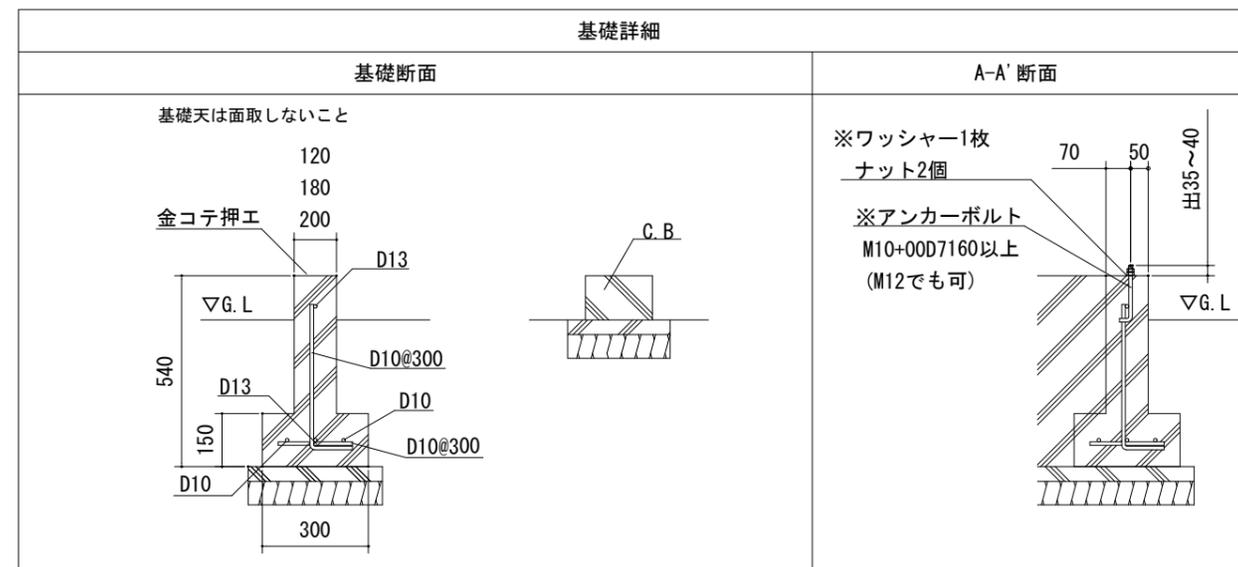
※稲葉製作所 : FP-5226HT 同等品

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号	A-67
図面名	新設倉庫詳細図 (参考図)		縮尺	1/40
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (イ-3) 第13966号	設計	一級建築士334761 河村康弘



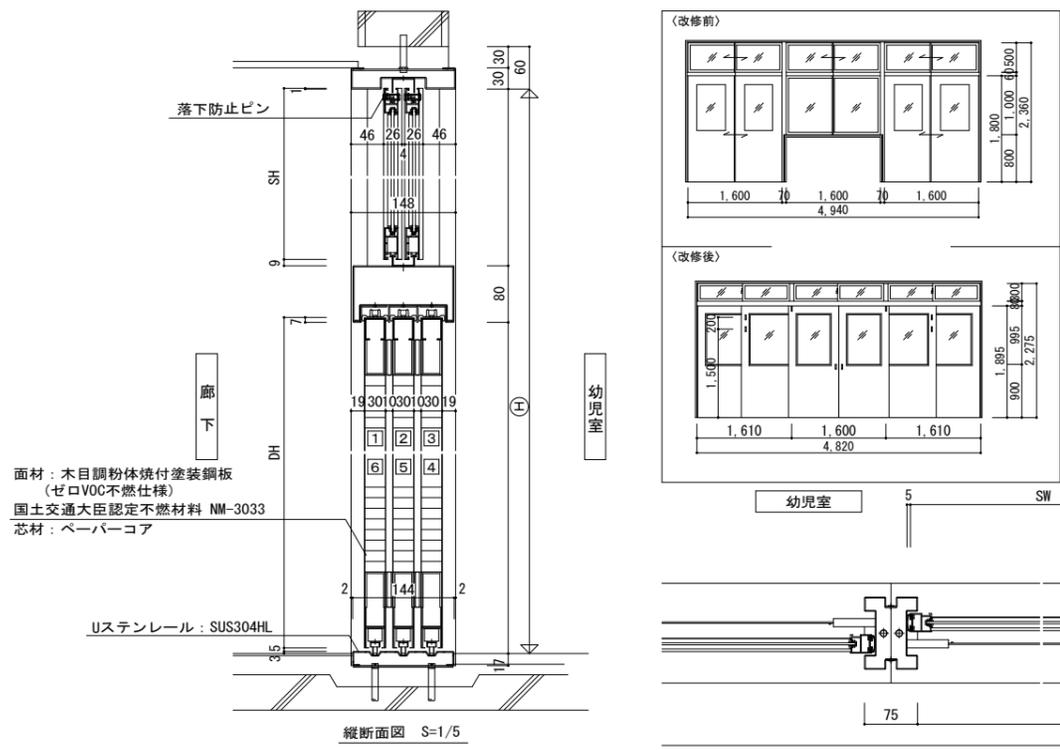
×・・・アンカーボルト位置を示す。



※稲葉製作所：FP-5226HT 同等品

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

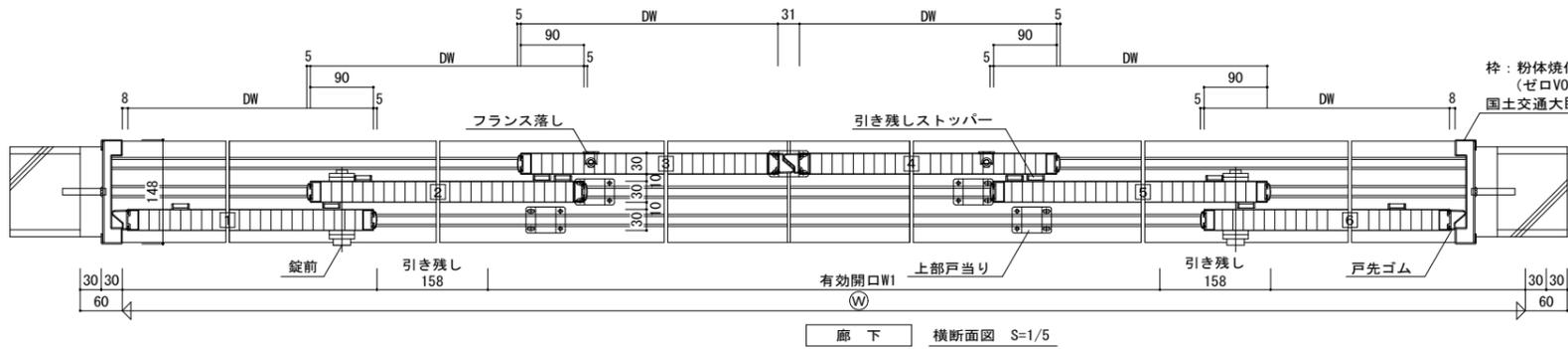
工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事	図面番号	A-68
図面名	新設倉庫基礎伏図 (参考図)	縮尺	1/20
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (いー3) 第13966号	一級建築士334761 河村康弘



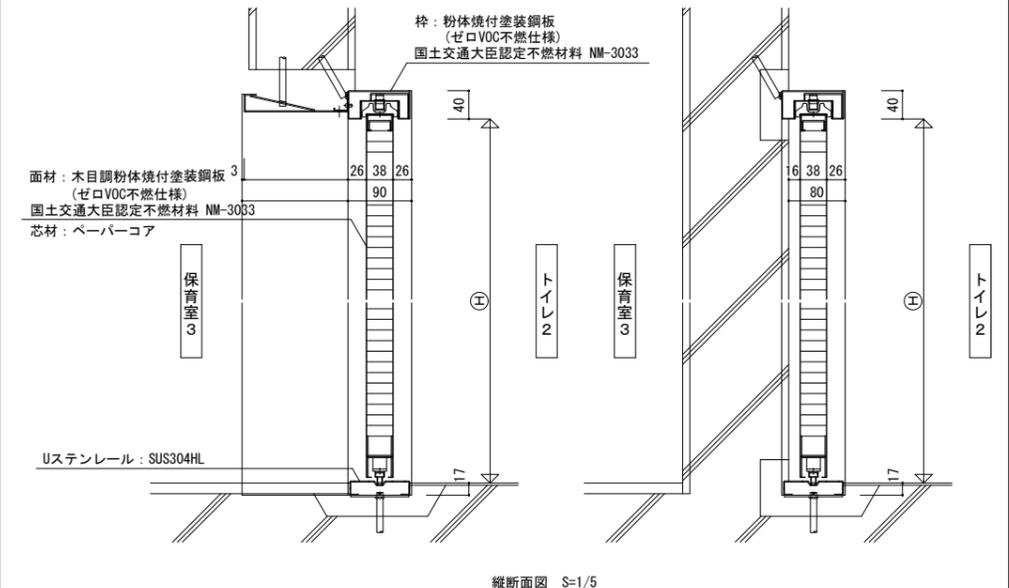
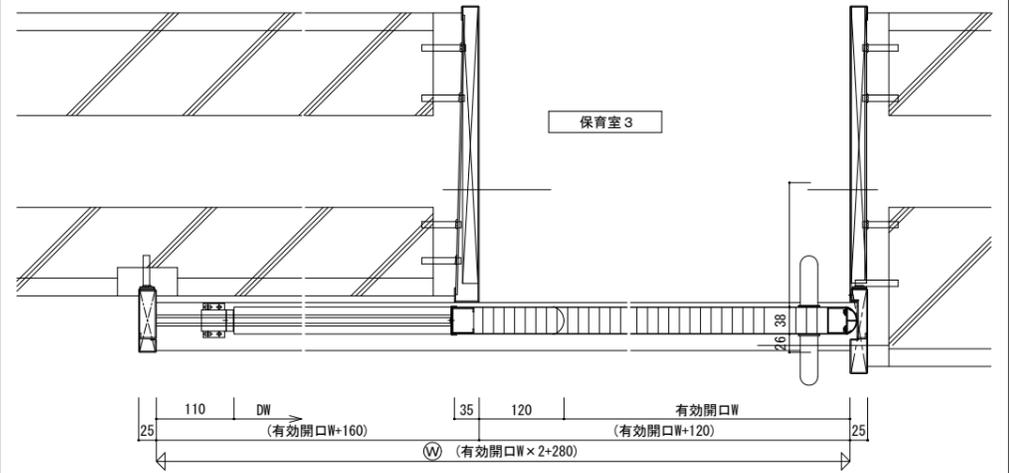
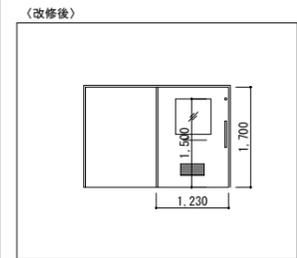
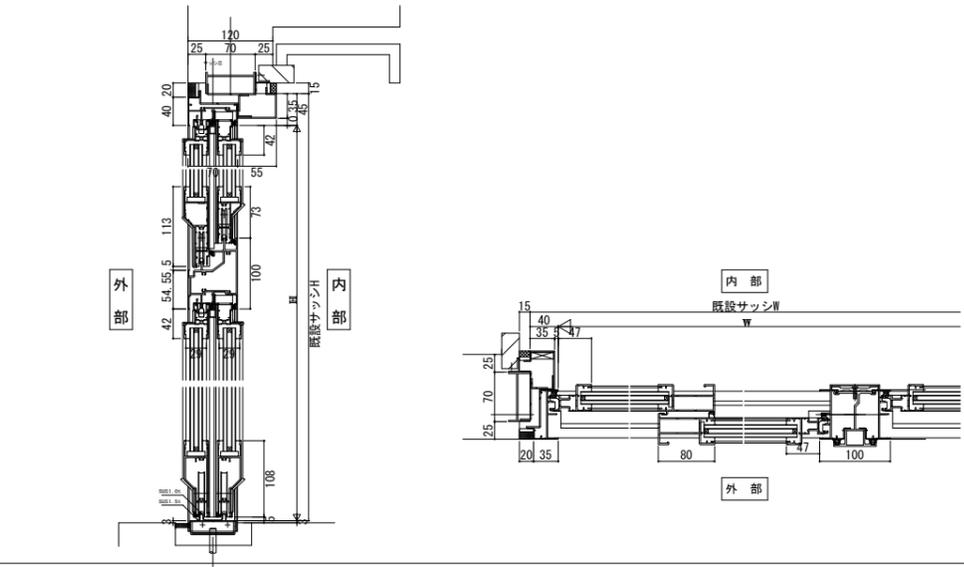
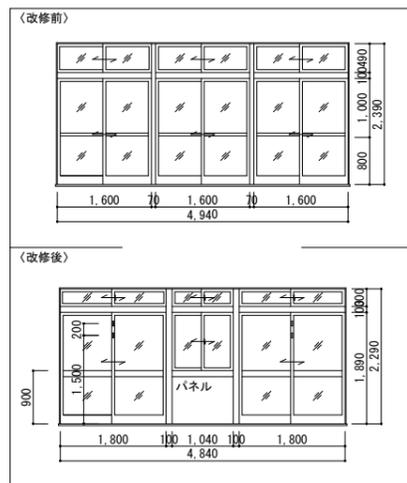
廊下
 面材：木目調粉体焼付塗装鋼板
 (ゼロVOC不燃仕様)
 国土交通大臣認定不燃材料 NM-3033
 芯材：ペーパーコア

*鋼製学校間仕切 仕様表 (SA-多連引きR)

部材名	材質・規格	板厚
上枠・縦枠・無目・引戸レール	粉体焼付塗装鋼板 (ゼロVOC不燃仕様)	1.6mm
番摺 U型ステンレール	SUS304HL	1.5mm
面材	木目調粉体焼付塗装鋼板 (ゼロVOC不燃仕様)	0.5mm
芯材	ペーパーコア	
エッジレスフラット明り窓	アルミ押出型材 (類似色 単色焼付塗装)	
戸先ゴム	硬質・軟質 塩化ビニル	
縦枠・横枠	アルミ押出型材 (類似色 単色焼付塗装)	
障子レール	粉体焼付塗装鋼板 (ゼロVOC不燃仕様)	1.6、0.8mm
金物	高さ調整式引戸車、掘込引手、引違戸用鍵錠、振れ止め、外れ止め フランス落し、上部戸当り、引き残しストッパー 高さ調整式障子戸車、クレセント、障子戸当り、落下防止ピン	
備考	鋼板：国土交通大臣認定不燃材料 NM-3033 耐久性：開閉繰り返し試験 (JISA5545) 20万回合格 耐衝撃性：耐衝撃性試験 (JISA1518) 35等級合格 YKSウォール	



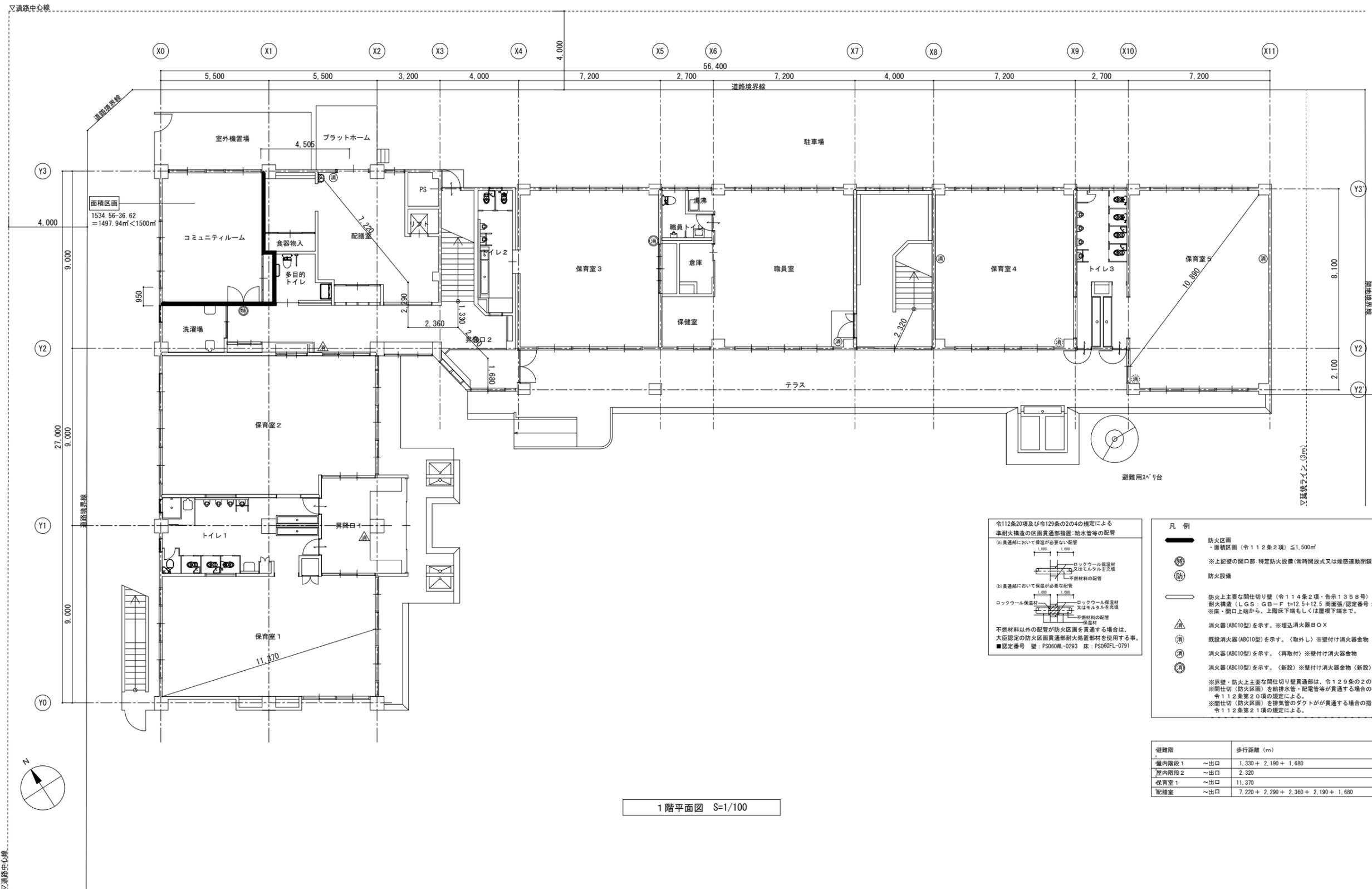
カバー工法アルミ製建具詳細図 参考図



保育室3
 面材：木目調粉体焼付塗装鋼板
 (ゼロVOC不燃仕様)
 国土交通大臣認定不燃材料 NM-3033
 芯材：ペーパーコア

*鋼製学校間仕切 仕様表

部材名	材質・規格	板厚
上枠・縦枠	粉体焼付塗装鋼板 (ゼロVOC不燃仕様)	1.2mm
額縁	粉体焼付塗装鋼板 (ゼロVOC不燃仕様)	1.6mm
番摺 U型ステンレール	SUS304HL	1.5mm
面材	木目調粉体焼付塗装鋼板 (ゼロVOC不燃仕様)	0.5mm
芯材	ペーパーコア	
エッジレスフラット明り窓	アルミ押出型材 (近似色粉体焼付塗装)	
エッジレスフラットガラリ	アルミ押出型材 (近似色粉体焼付塗装)	
戸先ゴム	硬質・軟質 塩化ビニル	
金物	高さ調整式引戸車、引棒、錠前、振れ止め、YKSスローリークローザー	
備考	鋼板：国土交通大臣認定材料 NM-3033 YKSウォール	



1階平面図 S=1/100

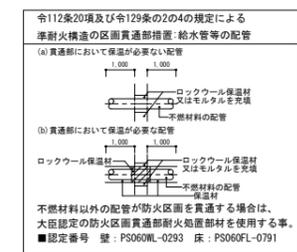
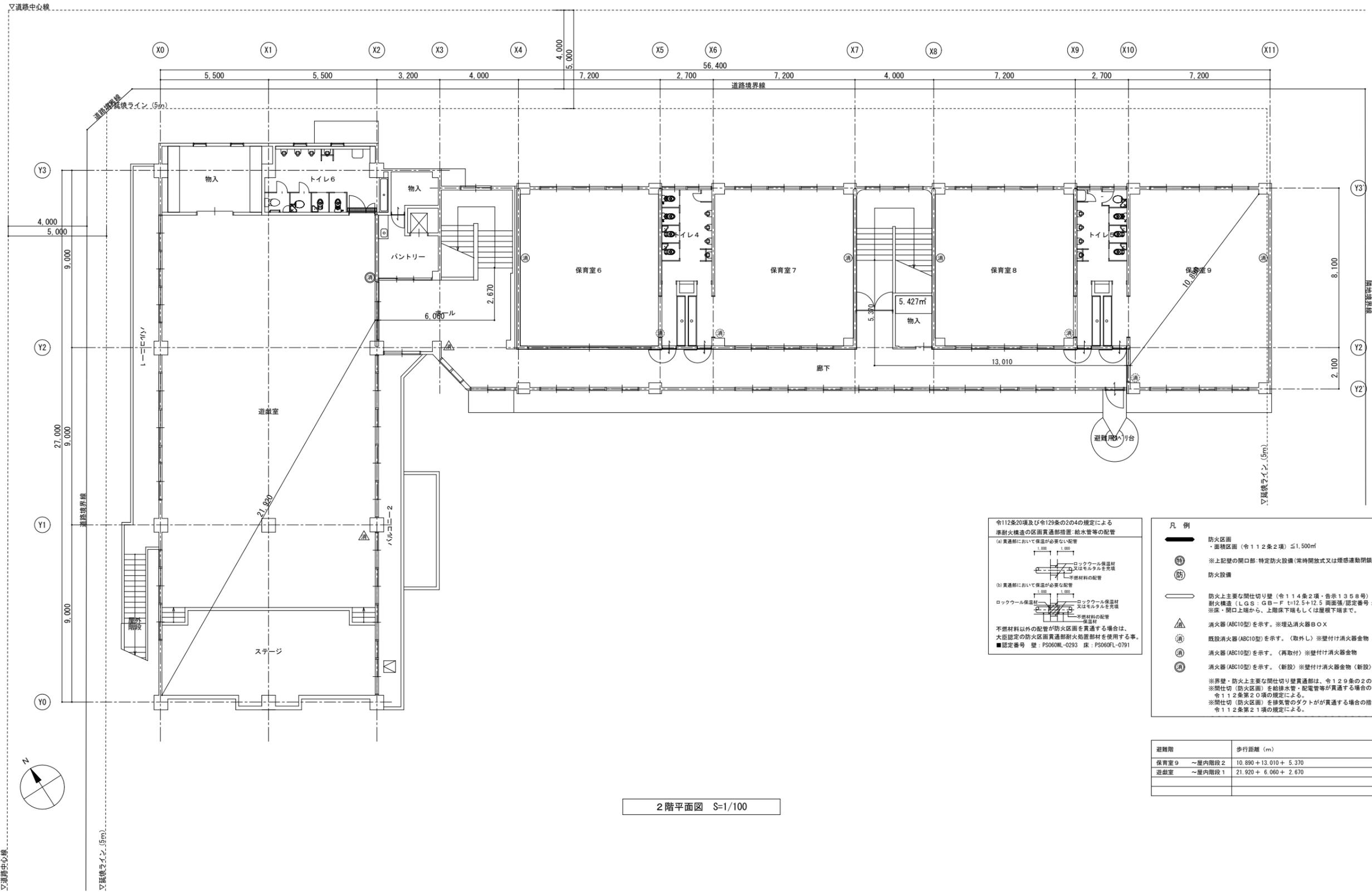


- 凡例**
- 防火区画
 - 面積区画 (令112条2項) ≤1,500㎡
 - ※上記壁の開口部・特定防火設備(常時開放式又は煙感連動閉鎖式)…告示1369号
 - 防火設備
 - 防火上主要な間仕切り壁 (令114条2項・告示1358号)
 - 耐火構造 (LGS:GB-F t=12.5+12.5 両面張/認定番号:FP060NP-0174)
 - ※床・開口上端から、上階床下端もしくは屋根下地まで。
 - 消火器 (ABC10型) を示す。 ※埋込消火器BOX
 - 既設消火器 (ABC10型) を示す。 (取外し) ※壁付け消火器金物
 - 消火器 (ABC10型) を示す。 (再取付) ※壁付け消火器金物
 - 消火器 (ABC10型) を示す。 (新設) ※壁付け消火器金物 (新設)
 - ※扉壁・防火上主要な間仕切り壁貫通部は、令129条の2の4第7項による。
 - ※間仕切り (防火区画) を給排水管・配電管等が貫通する場合の措置は、令112条第20項の規定による。
 - ※間仕切り (防火区画) を給排水管のタクトが貫通する場合の措置は、令112条第21項の規定による。

避難階	歩行距離 (m)		
屋内階段1	~出口	1,330 + 2,190 + 1,680	= 5,200 ≤50
屋内階段2	~出口	2,320	= 2,320 ≤100
保育室1	~出口	11,370	= 11,370 ≤100
配膳室	~出口	7,220 + 2,290 + 2,360 + 2,190 + 1,680	= 15,740 ≤100

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保育改修主体工事		図面番号	A-71
図面名	法チェック図1		縮尺	1/100
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (いー3) 第13966号	設計	一級建築士324761 河村康弘

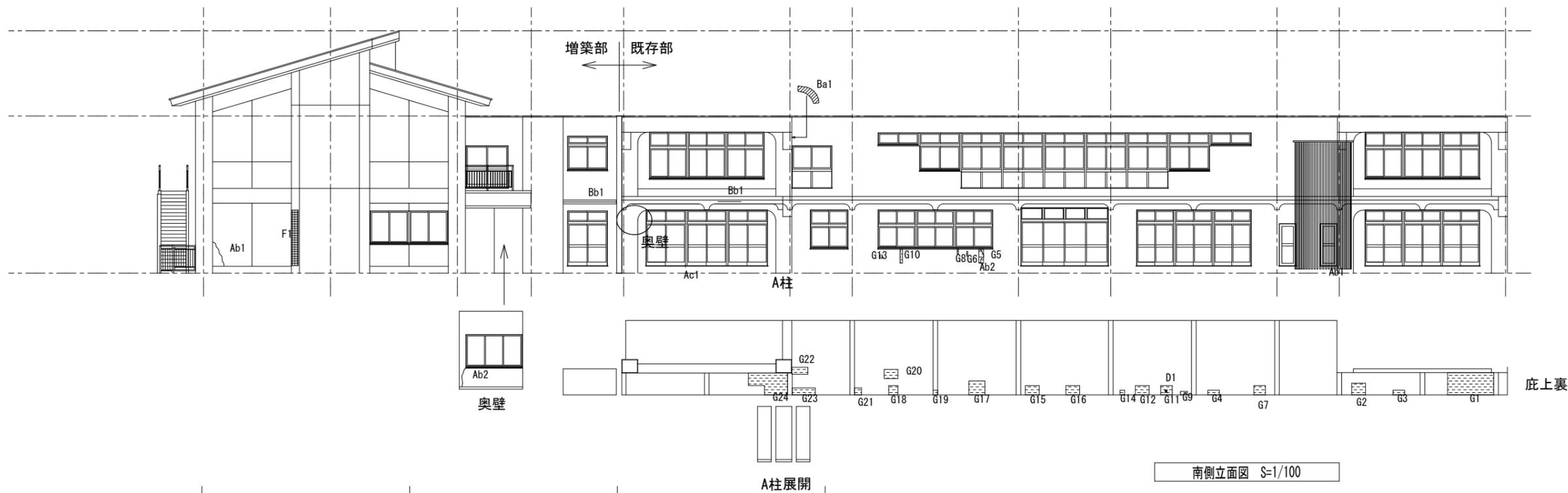


- 凡例
- 防火区画
・面積区画 (令112条2項) $\leq 1,500\text{m}^2$
※上記区画の開口部：特定防火設備(常時開放式又は煙感動作閉鎖式)…告示1369号
 - 防火設備
 - 防火上主要な間仕切り壁 (令114条2項・告示1358号)
耐火構造 (LGS:GB-F t=12.5+12.5 両面張/認定番号:FP060NP-0174)
※床：開口上端から、上階床下端もしくは層床下端まで。
 - 消火器 (ABC10型) を示す。 ※埋込消火器 B O X
 - 既設消火器 (ABC10型) を示す。 (取外し) ※壁付け消火器金物
 - 消火器 (ABC10型) を示す。 (再取付) ※壁付け消火器金物
 - 消火器 (ABC10型) を示す。 (新設) ※壁付け消火器金物 (新設)
 - ※界壁・防火上主要な間仕切り壁貫通部は、令129条の2の4第7項による。
※間仕切り (防火区画) を給排水管・配電管等が貫通する場合の措置は、
令112条第20項の規定による。
※間仕切り (防火区画) を給排水管のダクト等が貫通する場合の措置は、
令112条第21項の規定による。

避難階	歩行距離 (m)	
保育室9 ~ 屋内階段2	10.890 + 13.010 + 5.370	= 29.270 ≤ 50
遊戯室 ~ 屋内階段1	21.920 + 6.060 + 2.670	= 30.650 ≤ 50

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号	A-72
図面名	法チェック図2		縮尺	1/100
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (いー3) 第13966号	設計	一級建築士334761 河村康弘



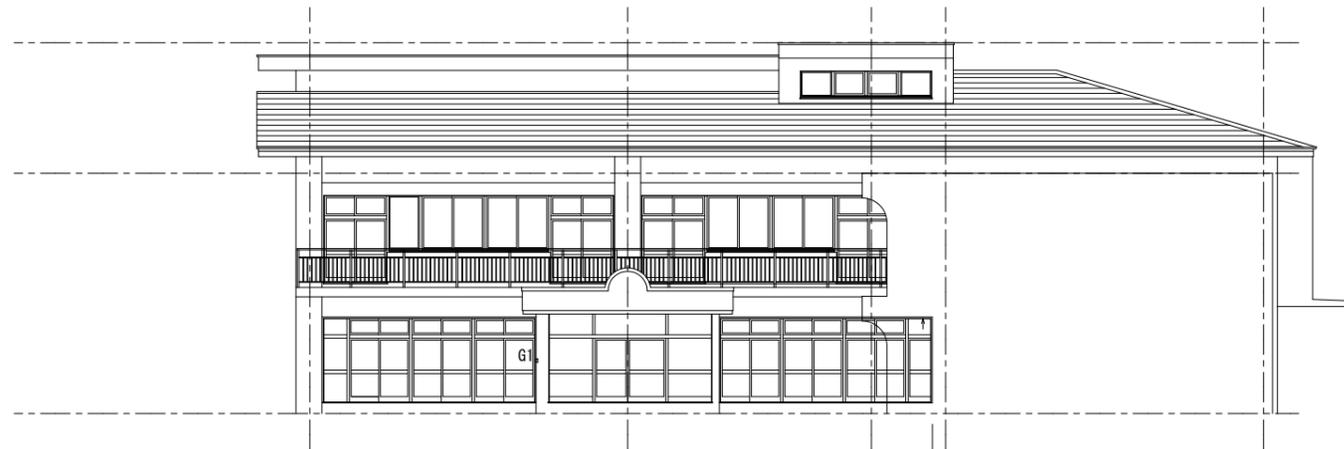
外壁 (全面合計)		想定倍率1.8倍	
凡例	調査数量	想定数量	
Ab1	Ab : ひび割れ(巾0.2mm以上~1.0mm未満)	24.2 m	43.6 m
Ac1	Ac : ひび割れ(巾1.0mm以上)	0.1 m	0.2 m
Ba1	Ba : モルタル浮き	2.5 m ²	4.6 m ²
Bb1	Bb : モルタル浮き・狭幅部(巾200mm以下)	6.2 m	11.1 m
Cb1	C : 欠損・小	1箇所	2箇所
D1	D : 爆裂・小	1箇所	2箇所
F1	F : タイル浮き	0.7 m ²	1.3 m ²
G1	G : 塗膜剥がれ	8.3 m ²	14.9 m ²
H1	H : アンカ跡	1箇所	2箇所

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

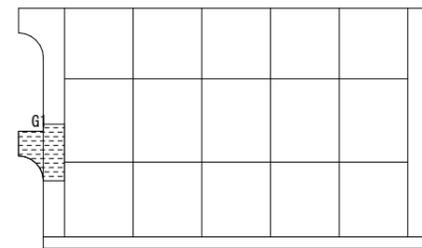
工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号	B-01
図面名	外壁劣化調査図1	縮尺	1/100	設計
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (い-3) 第13966号	一級建築士334761 河村廣弘	



北側立面図 S=1/100



東側立面図 S=1/100

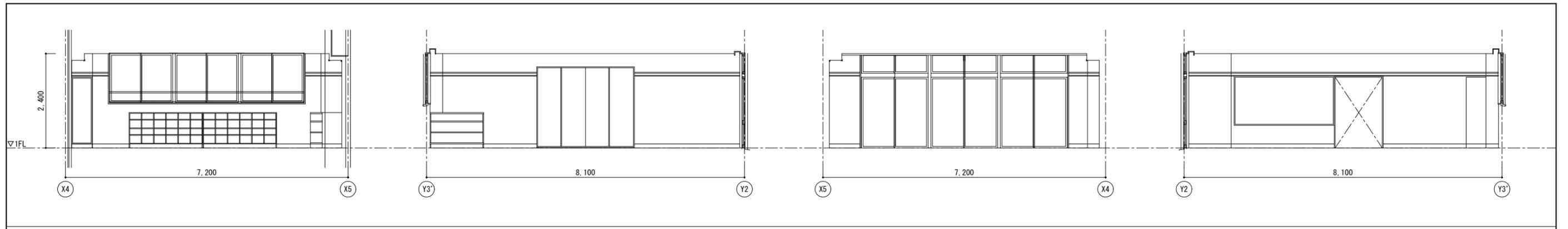


既存部

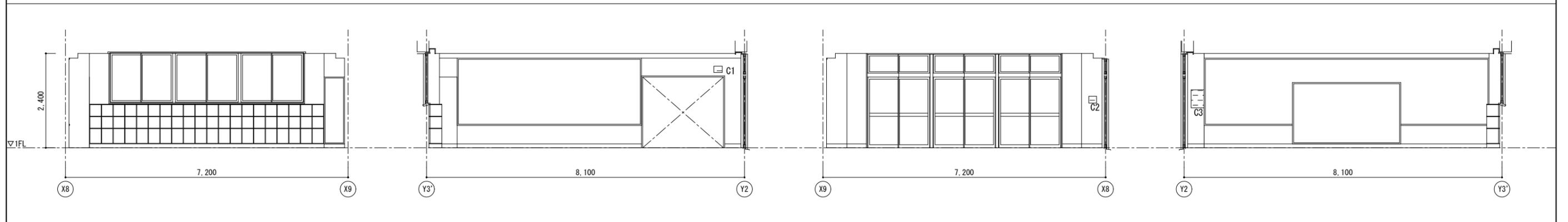
	Ab1	Ab : ひび割れ(巾0.2mm以上~1.0mm未満)
	Ac1	Ac : ひび割れ(巾1.0mm以上)
	Ba	Ba : モルタル浮き
	Bb1	Bb : モルタル浮き・狭幅部(巾200mm以下)
	Cb1	C : 欠損・小
	D1	D : 爆裂・小
	F	F : タイル浮き
	G	G : 塗膜剥がれ
	H1	H : アンカー跡

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

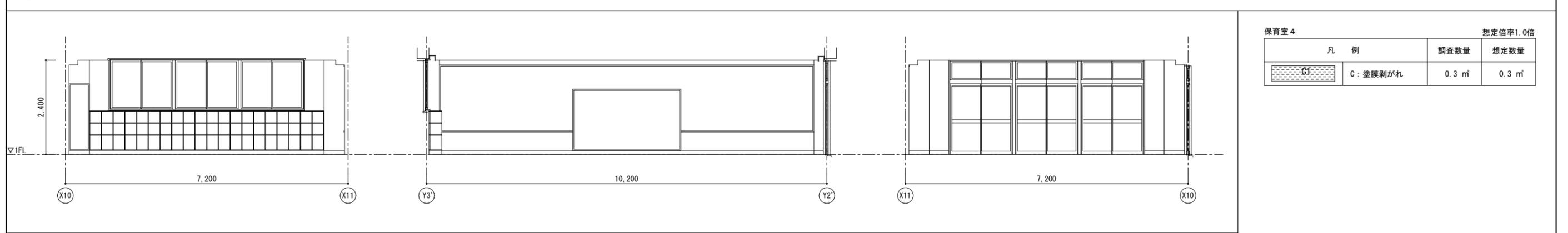
工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号	B-02
図面名	外壁劣化調査図2		縮尺	1/100
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (い-3) 第13966号	設計	一級建築士334761 河村康弘



保育室 3 A B C D



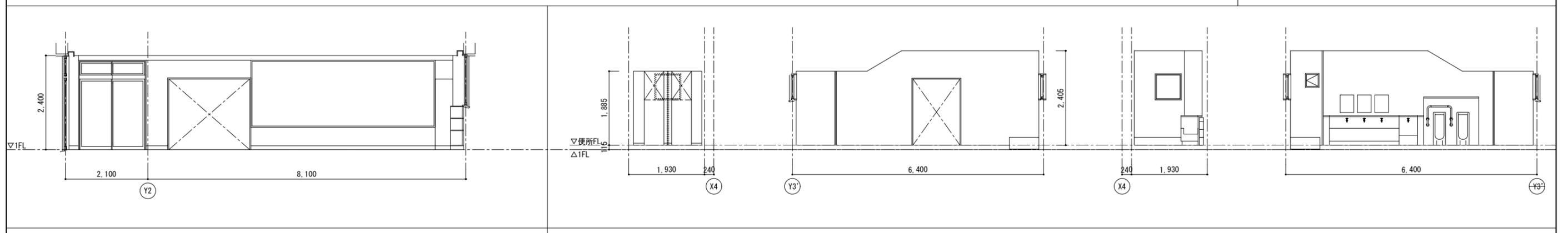
保育室 4 A B C D



保育室 5 A B C

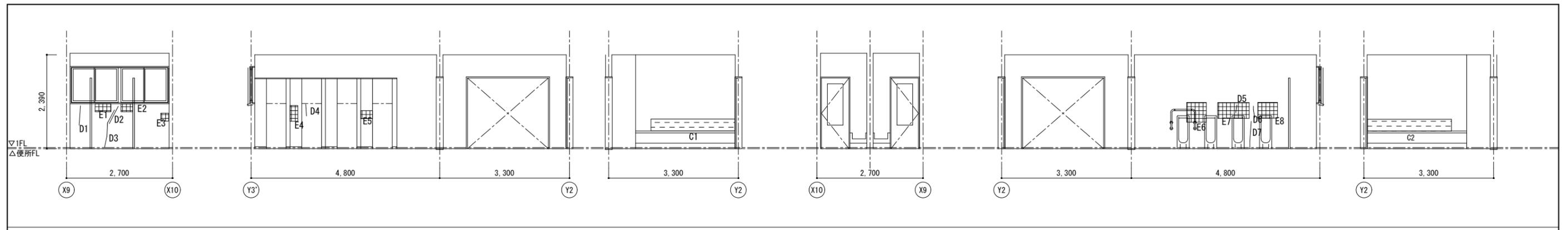
保育室 4 想定倍率1.0倍

凡例	調査数量	想定数量
C1	C: 塗膜剥がれ	0.3 m ²

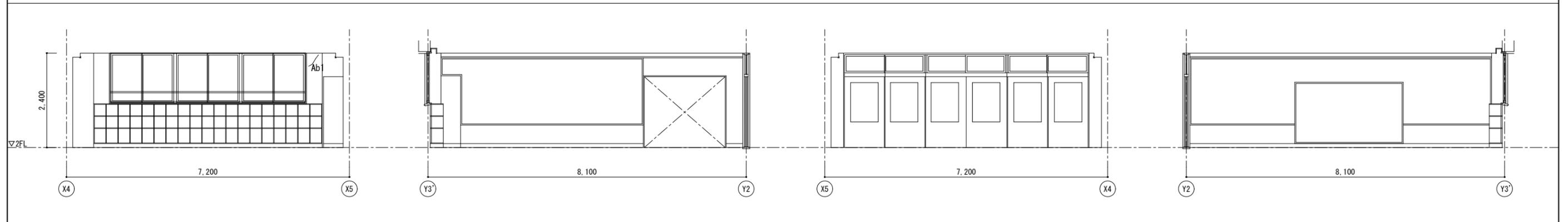


保育室 5 D トイレ 2 A B C D

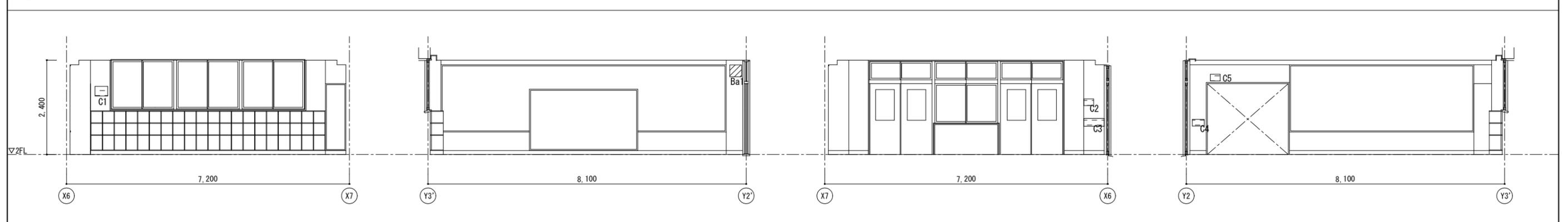
工事名 安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号 B-03	
図面名 内壁劣化調査図 1		縮尺 1/50	設計
日付 2025. 12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (いー3) 第13966号	一級建築士334761 河村康弘	縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)



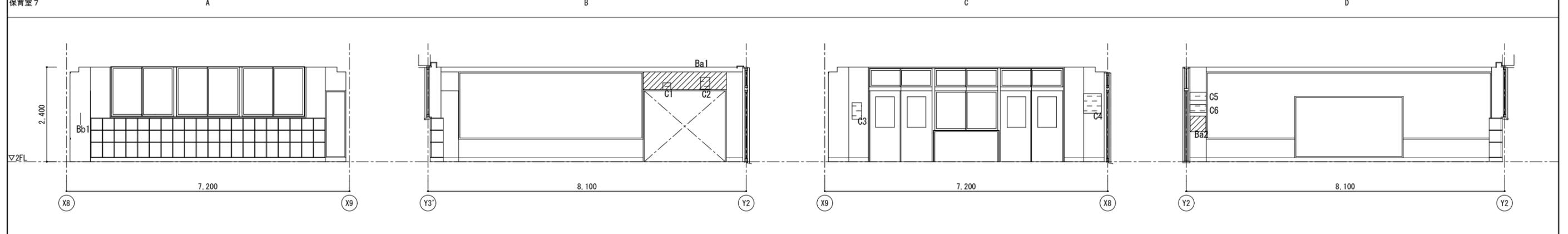
トイレ3 A B-1 B-2 ※D-2は反転 C D-1



保育室6 A B C D

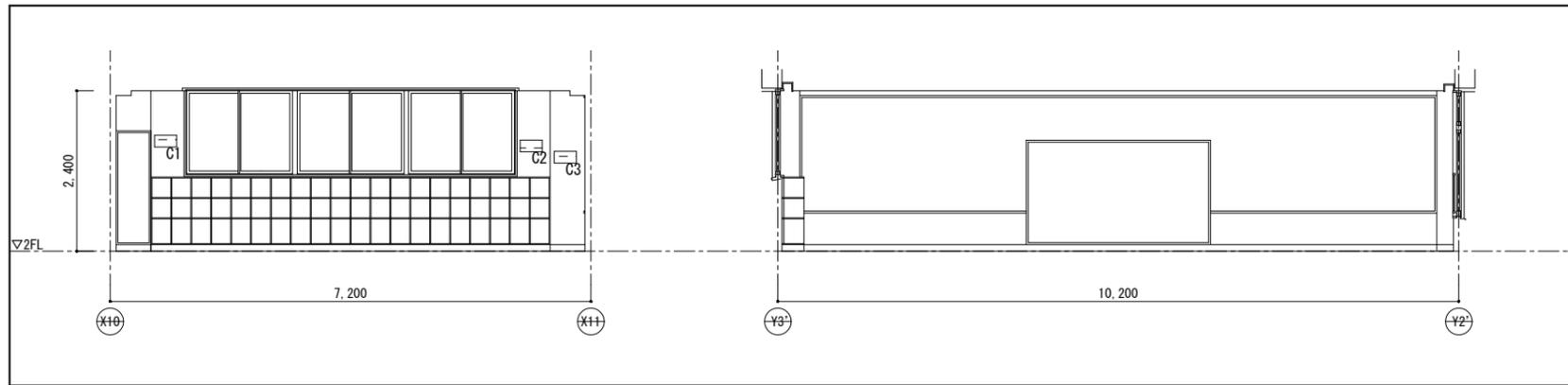


保育室7 A B C D



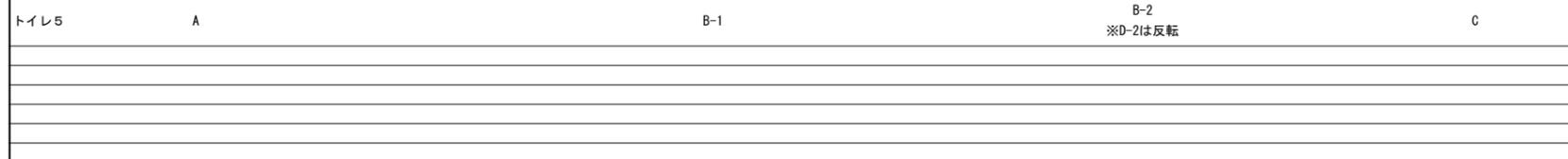
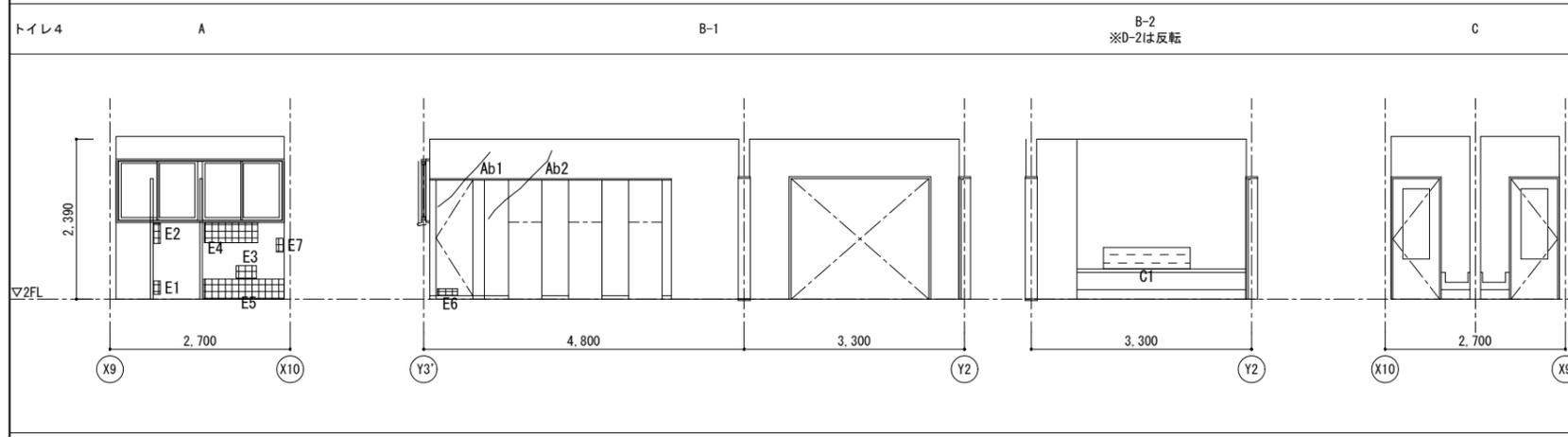
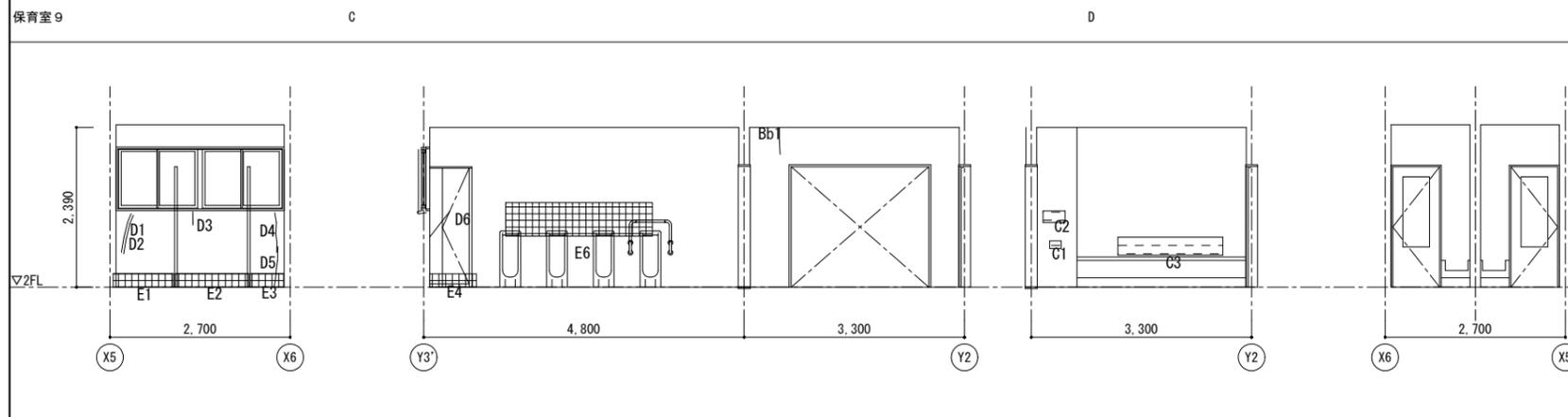
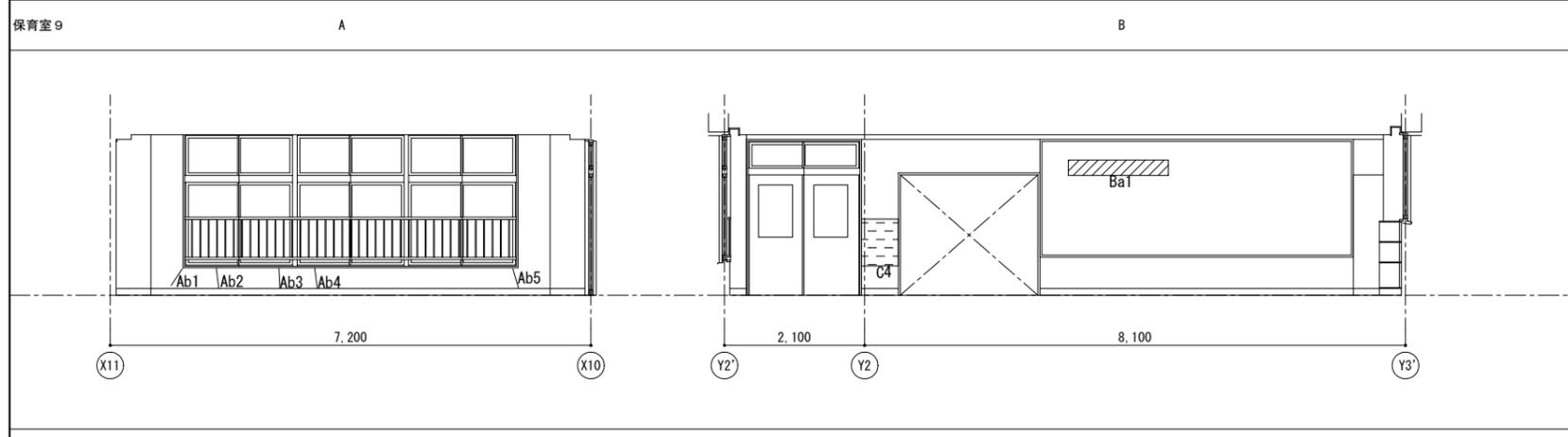
保育室8 A B C D

<p>凡例</p> <p>Ab1: ひび割れ(巾0.2mm以上~1.0mm未満)</p> <p>Ba: 珪藻土浮き</p>		<p>想定数量 (調査数量×1.0)</p> <p>保育室6 : 0.4 m</p> <p>保育室7 : 0.1 m²、保育室8 : 1.1 m²</p>	<p>Bb1: 珪藻土浮き・狭幅部(巾200mm以下)</p> <p>C: 塗膜剥がれ</p> <p>E: 珪藻土浮き</p>	<p>保育室8 : 0.3 m</p> <p>トイレ3 : 0.4 m²、保育室7 : 0.4 m²、保育室8 : 0.6 m²</p> <p>トイレ3 : 1.1 m²</p>	<p>工事名: 安城こども園中規模及び保全改修主体工事</p> <p>調査名: 内壁劣化調査図2</p> <p>日付: 2025.12</p> <p>株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県(イ-3)第13966号</p>	<p>縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)</p> <p>図面番号: B-04</p> <p>縮尺: 1/50</p> <p>設計: 一級建築士334761 河村康弘</p>
---	--	---	---	---	---	--

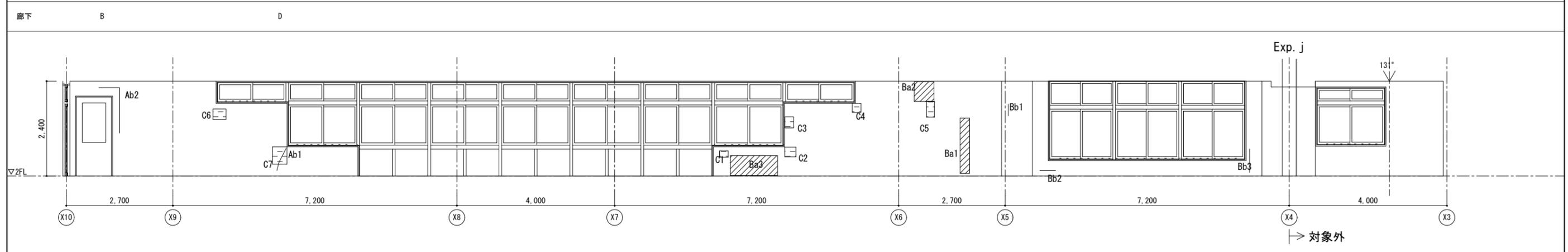
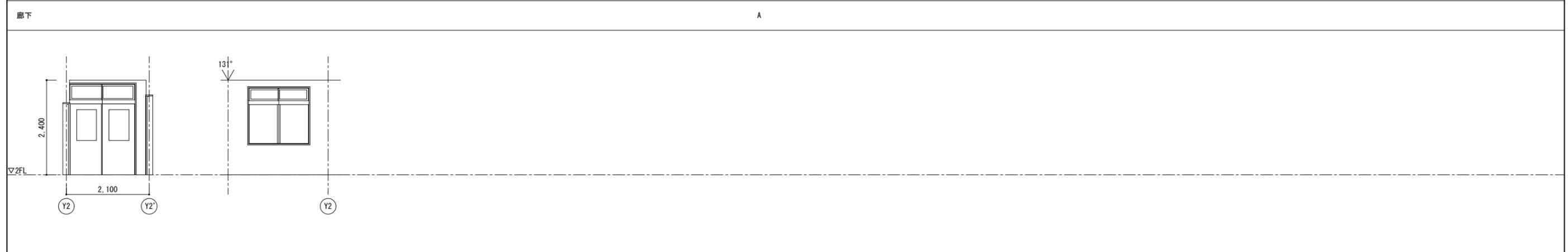
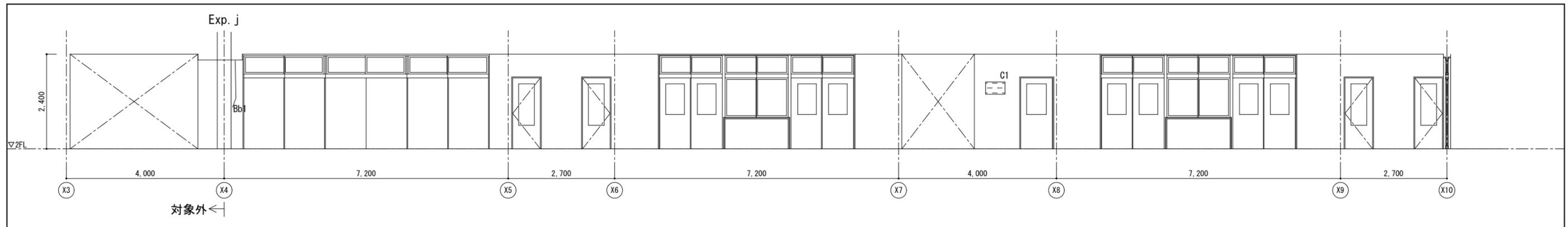


凡 例	想定数量 (調査数量×1.0)			
	保育室 9	トイレ 4	トイレ 5	
Ab1	Ab : ひび割れ (巾0.2mm以上~1.0mm未満)	1.5 m	3.7 m	4.2 m
Ba1	Ba : モルタル浮き	0.4 m ²	0.1 m ²	—
Bb1	Bb : モルタル浮き・狭幅部 (巾200mm以下)	—	0.4 m ²	—
C1	C : 塗膜剥がれ	0.6 m ²	0.9 m ²	0.8 m ²
D1	D : タイルひび割れ (巾0.2mm未満)	—	3.1 m (31 枚)	1.9 m (19 枚)
E1	E : タイル浮き	—	2.7 m ² (270 枚)	1.7 m ² (170 枚)

※タイル寸法 : 100×100



工 事 名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事	図面番号	B-05
図 面 名	内壁劣化調査図 3	縮 尺	1/50
日 付	2025.12	設 計	河村康弘
	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県 (レ-3) 第13966号	一級建築士334761	



廊下 C

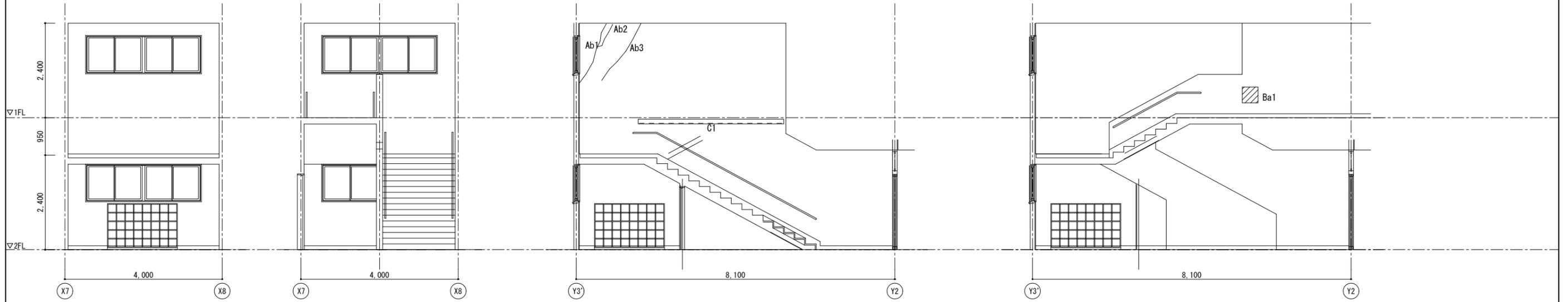
廊下 想定倍率1.0倍

凡例	調査数量	想定数量
Ab1 Ab: ひび割れ(巾0.2mm以上~1.0mm未満)	2.3 m	2.3 m
Ba1 Ba: モルタル浮き	1.2 m ²	1.2 m ²
Bb1 Bb: モルタル浮き・狭幅部(巾200mm以下)	2.5 m	2.5 m
C C: 塗膜剥がれ	0.8 m ²	0.8 m ²

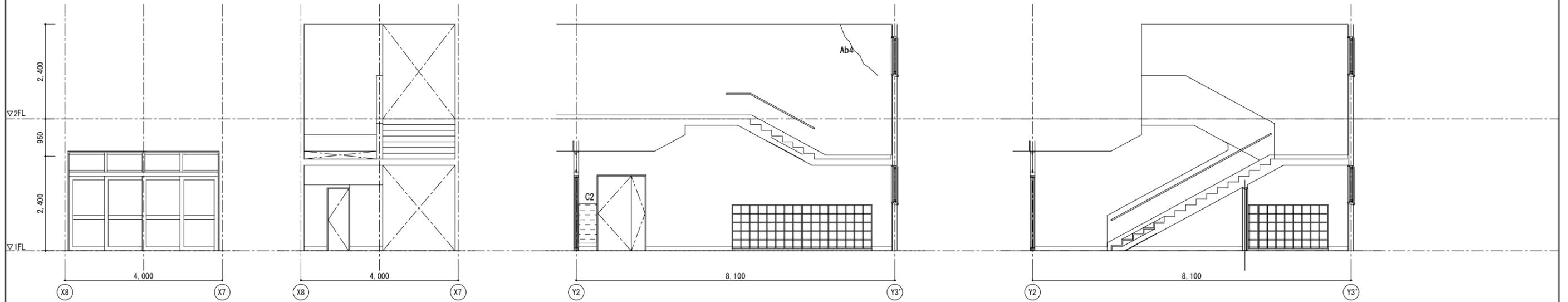
縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事		図面番号	B-06
図面名	内壁劣化調査図4	縮尺	1/50	設計
日付	2025.12	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県(イ-3)第13966号	一級建築士334761 河村康弘	

階段・階段下		調査数量	想定倍率1.0倍
凡 例			
	Ab1: ひび割れ(巾0.2mm以上~1.0mm未満)	5.8 m	5.8 m
	Ba: 浮き	0.2 m ²	0.2 m ²
	C: 塗膜剥がれ	0.9 m ²	0.9 m ²



階段・階段下 A-1 A-2 B-1 B-2



階段・階段下 C-1 C-2 D-1 D-2

縮尺はA1版に適合 (A3版→50%縮小)

工事名	安城こども園中規模及び保全改修主体工事	図面番号	B-07
調査名	内壁劣化調査図5	縮尺	1/50
日付	2025.12	設計	河村康弘
	株式会社デザインボックス名古屋オフィス 一級建築士事務所 愛知県(いー3)第13966号		一級建築士334761